

令和4（2022）年度
武蔵野市民意識調査報告書

令和5（2023）年3月

武 蔵 野 市

は じ め に

武蔵野市では、これまで市の総合計画である「長期計画」およびその「調整計画」を新たに策定する際に「市民意識調査」を実施しており、昭和 59 (1984) 年に第1回を実施して以来、今回で 12 回目の調査となります。

武蔵野市第六期長期計画(令和2～11 年度)では、「効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション」を基本施策のひとつに掲げ、市民意識調査のほか、各種アンケートや、市民と市長との対話の機会、意見交換会などの広聴の機会の充実により市民ニーズの的確な把握に努めるとともに、市民が住み続けたいと思う、市への愛着の醸成等に取り組むこととしています。

本調査は、令和4～5年度に行われる長期計画・調整計画の策定に先立ち、市民の皆さまの市政に対する考えをうかがうことにより現在行っている事務や事業の満足度のほか、新たな行政課題や多様な市民ニーズを把握することを目的に実施しました。

今回は、前回(令和2年度実施)に引き続き、市の施策や新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度調査に加え、戦争体験者の高齢化に伴う体験の伝承の課題等をふまえ、平和・多文化共生に関する項目を設定しました。

今回の調査結果を、今後の長期計画・調整計画策定を含めた、市政全般に関する基礎資料として活用し、誰もが安心して暮らし続けられるための市政を推進していきたいと思います。

この調査にご協力をいただきました市民の皆さまには心からお礼を申し上げますとともに、今後とも市政へのご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年3月

武 蔵 野 市 長

松下 玲子

目 次

はじめに

武蔵野市民意識調査実施の沿革	1
I 調査の概要	3
II 調査回答者の属性	7
III 調査結果	15
1 お住まいの地域のことについて	17
1-1 定住のきっかけ	17
1-2 生活環境の評価	22
1-3 定住意向	27
1-4 定住意向の理由	32
1-5 転出意向の理由	40
1-6 地域への関心度	54
1-7 近隣との交際状況	63
1-8 近隣との交際のきっかけ	68
1-9 近隣との交際がない理由	70
1-10 地域における行動の状況・意向	74
1-11 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと	77
1-12 地域への誇り・愛着	79
1-13 困っていること・不安なこと	85
1-14 手伝ってもらう相手	91
1-15 相談相手	94
2 市政に関する情報提供などについて	97
2-1 市の情報の入手状況	97
2-2 知りたい行政情報	100
2-3 広報媒体の認知状況	108
3 市の施策に対する満足度・重要度について	110
3-1 満足度	110
3-2 重要度	121
3-3 ニーズ得点	131
3-4 満足度と重要度の分析（居住地域別）	139
3-5 市政の現状や問題点	142
3-6 武蔵野市の将来像	143
4 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度などについて	148
4-1 満足度	148
4-2 重要度	164
4-3 不安に感じたことや困ったことの内容	170
4-4 生活や行動の変化	174
4-5 今後も利用が促進されるべきオンライン活動	178
4-6 行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取り組み	183
4-7 優先してデジタル化に取り組むべき理由	185
5 平和・多文化共生について	187
5-1 「平和」についての関心の有無	187

5-2	関心を持っていない理由	189
5-3	市の平和事業の認知状況	191
5-4	市の平和事業の参加状況	193
5-5	参加しなかった理由	195
5-6	参加したい事業・イベント	198
5-7	戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度	201
5-8	「武蔵野市平和の日」（11月24日）の認知度	205
5-9	平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと	208
5-10	平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身が取り組めること	210
5-11	武蔵野市在住の外国人との関わりの希望	212
5-12	希望する外国人との関わり方	217
5-13	外国人と関わる際の支障	219
5-14	外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと	221
5-15	地域に外国人が増えることによる影響	224
5-16	多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと	227
6	平和・多文化共生についての自由回答	229
7	市政についての自由回答	235
8	新型コロナウイルス感染症についての自由回答	248
IV	調査票	253

武蔵野市民意識調査実施の沿革

武蔵野市では、昭和59(1984)年に第1回市民意識調査を実施して以降、3～4年に一度の間隔で「武蔵野市民意識調査」を継続して行っていましたが、平成30年度より市政アンケート調査と交互に隔年で実施しております。調査項目と実施の背景は以下の表のとおりです。

第12回である今回の調査は、郵送配布－郵送・WEB回収併用法によって行いました。その中で、標本対象を前回調査と同様に満18歳以上とし、4,000件の調査票を郵送したところ、1,468件の市民の皆様の声をいただきました。

また調査項目を近年の社会状況等を勘案して一部を見直すとともに、「平和・多文化共生について」などの設問を追加しました。

	実施年度	調査手法	標本数 /回収率	調査項目
第1回	昭和59(1984)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 82.0%	1 地域に関する関心 2 市政評価 3 学習活動と教育 4 『老後』観 5 市政と情報
第2回	昭和62(1987)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.9%	1 地域生活とコミュニティ意識 2 市政評価と自治体意識 3 有償福祉に対する市民意識
第3回	平成3(1991)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 71.9%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第4回	平成7(1995)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.3%	1 地域に関する関心 2 市政の主要課題に対する考え 3 市政の現状、今後のあるべき姿について
第5回	平成11(1999)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 75.2%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動とコミュニティ活動 3 市政の主要課題に対する考え 4 市の行政のあり方について 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第6回	平成15(2003)年	訪問配布－ 訪問回収法	1,000 72.1%	1 地域に関する関心 2 ボランティア活動 3 市民生活の安全 4 市政の主要課題に対する考え 5 市政の現状、今後のあるべき姿について
第7回	平成19(2007)年	郵送配布－ 郵送回収法	3,000 48.1%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第8回	平成22(2010)年	郵送配布－ 郵送回収法	3,500 47.8%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第9回	平成26(2014)年	郵送配布－ 郵送回収法	3,500 40.1%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度
第10回	平成30(2018)年	郵送配布－ 郵送・WEB 回収併用法	3,500 43.0%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度

	実施年度	調査手法	標本数 /回収率	調査項目
第11回	令和2(2020)年	郵送配布－ 郵送・WEB 回収併用法	3,500 51.6%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 市の施策に対する満足度・重要度 4 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供など について 5 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度・ 重要度
第12回	令和4(2022)年	郵送配布－ 郵送・WEB 回収併用法	4,000 36.7%	1 地域のことについて 2 市政に関する情報提供などについて 3 現在の市の施策に対する満足度・重要度について 4 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度 などについて 5 平和・多文化共生について

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の経緯と目的

武蔵野市では、長期計画・調整計画の策定に先立ち、市民の皆様の市政に対する考えをうかがうことにより現在行っている事務や事業の満足度のほか、新たな行政課題や多様な市民ニーズを把握することを目的に、市民意識調査を実施してきました。

今回の調査結果は、今後の長期計画・調整計画策定を含めた、市政全般に関する基礎資料として活用します。

2 調査項目

今回の調査では、以下のテーマについて調査しました。

＜調査テーマ＞	＜問番号＞
(1) お住まいの地域のことについて 〔定住のきっかけ、生活環境の評価、定住意向、地域への関心度、近隣との交際状況、地域における行動の状況・意向、地域の活動の参加者を増やすために必要なこと、地域への誇り・愛着、困っていること・不安なこと、手伝ってもらおう相手、相談相手〕	(問1～問11)
(2) 市政に関する情報提供などについて 〔市の情報の入手状況、知りたい行政情報、広報媒体の認知状況〕	(問12～問14)
(3) 市の施策に対する満足度・重要度について 〔市の施策に対する満足度・重要度、市政の現状や問題点、市の将来像〕	(問15～問17)
(4) 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度などについて 〔新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度・重要度、不安に感じたことや困ったことの内容、生活や行動の変化、今後も利用が促進されるべきオンライン活動、行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取り組み〕	(問18～問23-1)
(5) 平和・多文化共生について 〔「平和」についての関心の有無、市の平和事業の認知・参加状況、中島飛行機武蔵製作所の認知度、「武蔵野市平和の日」の認知度、平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと、平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身が取り組めること、武蔵野市在住の外国人との関わりの希望、外国人と関わる際の支障、外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと、地域に外国人が増えることによる影響、多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと〕	(問24～問34)
(6) 自由意見欄 〔平和・多文化共生についての自由回答 市政についての自由回答 新型コロナウイルス感染症についての自由回答〕	

3 調査設計

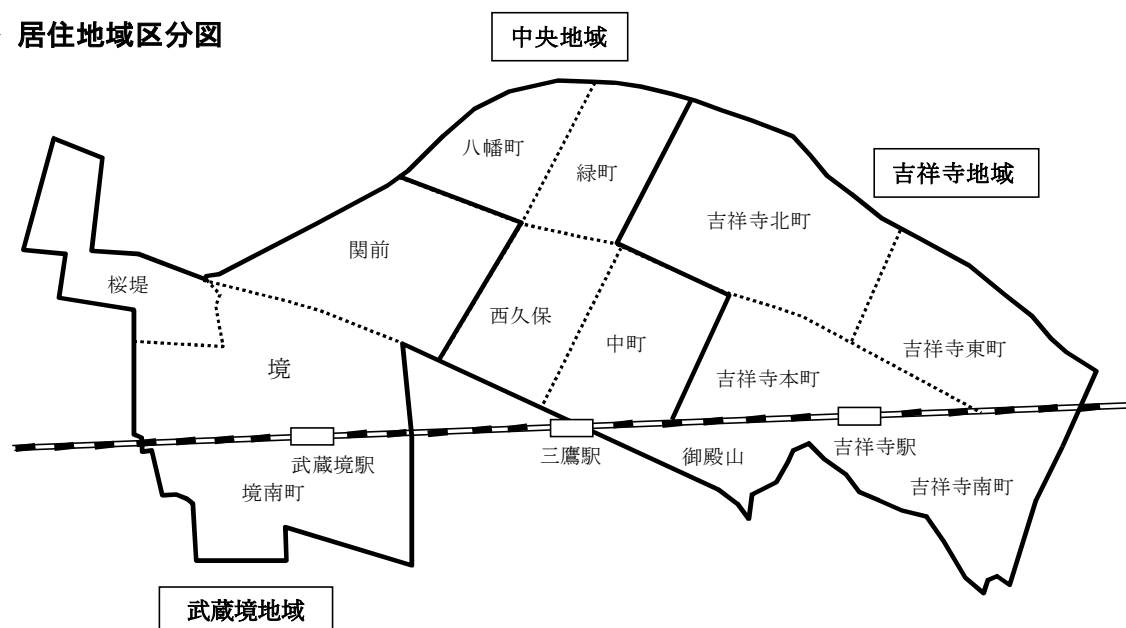
- | | |
|----------|-----------------------------|
| (1) 調査地域 | 武蔵野市全域 |
| (2) 調査対象 | 武蔵野市に居住する満18歳以上の方 |
| (3) 標本抽出 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布－郵送・WEB回収併用 |
| (5) 調査時期 | 令和4（2022）年7月27日（水）～8月26日（金） |

4 回収結果

	標本数	回収率	
今回（令和4（2022）年）	4,000標本	36.7%（1,468件）	郵送回収：922件 WEB回収：546件
令和2（2020）年	3,500標本	51.6%（1,805件）	郵送回収：1,244件 WEB回収：561件
平成30（2018）年	3,500標本	43.0%（1,504件）	郵送回収：1,180件 WEB回収：324件

5 居住地域区分

◆ 居住地域区分図



◆ 居住地域該当町表

<地域名>	<地域該当町>
1 吉祥寺地域	吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町
2 中央地域	中町、西久保、緑町、八幡町
3 武蔵境地域	関前、境、境南町、桜堤

6 報告書の見方

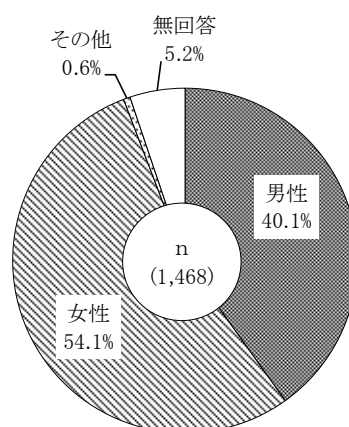
- (1) 集計は、原則として小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。（P. 114～120の満足度、P. 124～130の重要度、P. 131～141のニーズ得点、P. 151～163の満足度は小数点第4位を四捨五入しています。）
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数です。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- (4) 回答者数が30人未満の場合、数値に偏りが出やすいため図を表記するにとどめ、本文では原則として触れていません。
- (5) 各設問の回答者の属性別の表では、無回答数を表記していないため、合計が全体の数値と合わない場合があります。
- (6) いくつかの調査項目は令和2年度（前回調査）と比較しています。
- (7) 表で示している集計結果（P. 44～53など）において、同率数値の項目が複数ある場合は、全体の上位順を基準としています。

Ⅱ 調査回答者の属性

Ⅱ 調査回答者の属性

1 性別

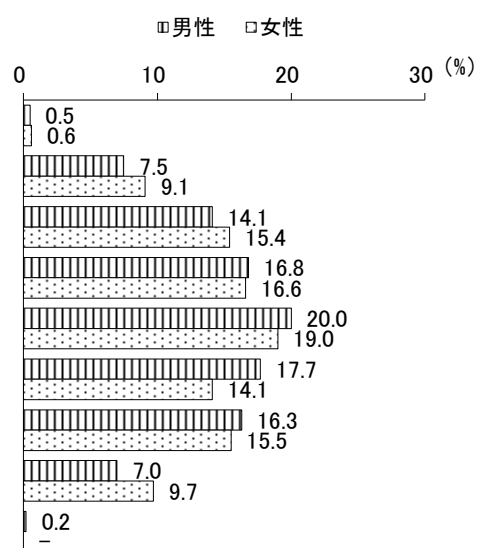
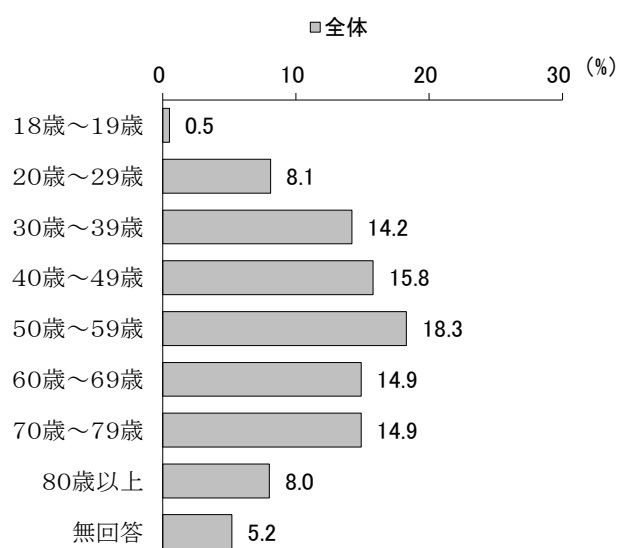
	基 数	構成比 (%)
1 男性	589	40.1
2 女性	794	54.1
3 その他	9	0.6
(無回答)	76	5.2
合 計	1,468	100.0



2 年齢／性・年齢

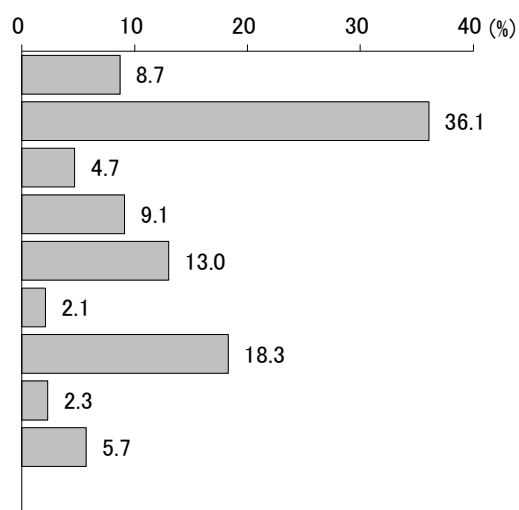
	全体		男性		女性	
	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)	基数	構成比 (%)
1 18歳～19歳	8	0.5	3	0.5	5	0.6
2 20歳～29歳	119	8.1	44	7.5	72	9.1
3 30歳～39歳	208	14.2	83	14.1	122	15.4
4 40歳～49歳	232	15.8	99	16.8	132	16.6
5 50歳～59歳	269	18.3	118	20.0	151	19.0
6 60歳～69歳	219	14.9	104	17.7	112	14.1
7 70歳～79歳	219	14.9	96	16.3	123	15.5
8 80歳以上	118	8.0	41	7.0	77	9.7
(無回答)	76	5.2	1	0.2	0	0.0
合 計	1,468	100.0	589	100.0	794	100.0

※性別では、男女を足し合わせても、回答数のごく少数のその他・無回答を表記していないため、全体の人数にはなりません。



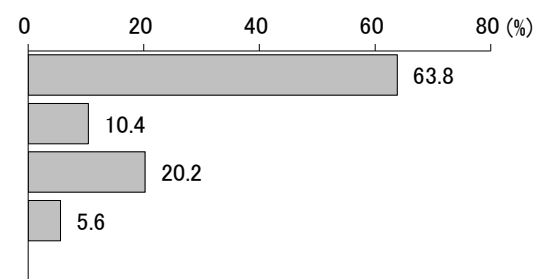
3 職業

	基 数	構成比(%)
1 自営業・自由業	127	8.7
2 正社員、正職員	530	36.1
3 契約社員、派遣社員	69	4.7
4 アルバイト、パート	134	9.1
5 家事専業	191	13.0
6 学生	31	2.1
7 無職	268	18.3
8 その他	34	2.3
(無回答)	84	5.7
合 計	1,468	100.0



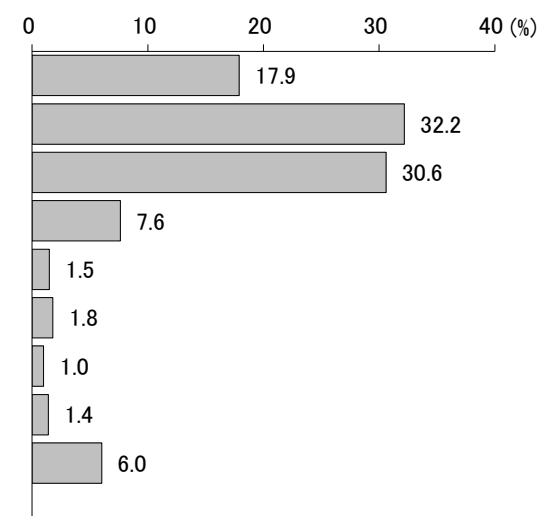
4 婚姻状況

	基 数	構成比(%)
1 現在、結婚している	936	63.8
2 過去に結婚していた(離別、死別など)	153	10.4
3 一度も結婚したことはない	297	20.2
(無回答)	82	5.6
合 計	1,468	100.0



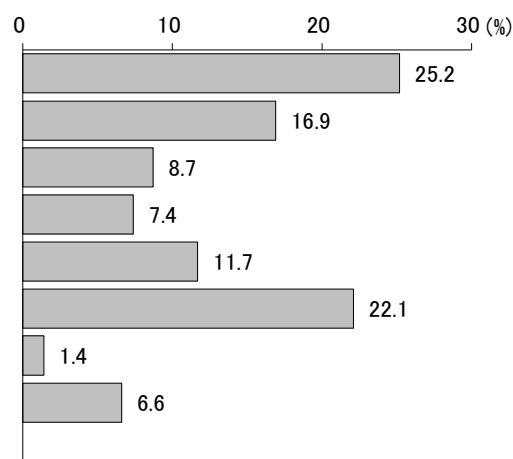
5 家族構成

	基 数	構成比(%)
1 ひとり暮らし	263	17.9
2 自分と配偶者(事実婚含む)・パートナー	473	32.2
3 自分と子(2世代世帯)	449	30.6
4 自分と親(2世代世帯)	112	7.6
5 自分と子と孫(3世代世帯)	22	1.5
6 親と自分と子(3世代世帯)	26	1.8
7 祖父母と親と自分(3世代世帯)	15	1.0
8 その他	20	1.4
(無回答)	88	6.0
合 計	1,468	100.0



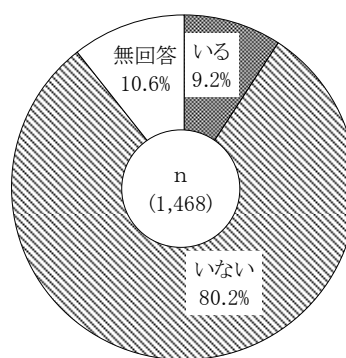
5-1 お子さんの就学状況(一番年少の方)

	基 数	構成比(%)
1 小学校入学前	125	25.2
2 小学生	84	16.9
3 中学生	43	8.7
4 高校生	37	7.4
5 専門学校、短期大学、大学生等	58	11.7
6 社会人	110	22.1
7 その他	7	1.4
(無回答)	33	6.6
合 計	497	100.0



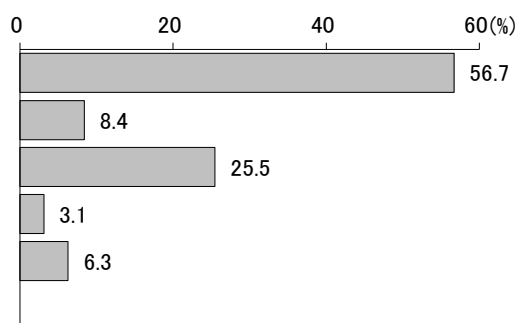
6 介護が必要な高齢者や障がい者の同居の有無

	基 数	構成比(%)
1 いる	135	9.2
2 いない	1,177	80.2
(無回答)	156	10.6
合 計	1,468	100.0



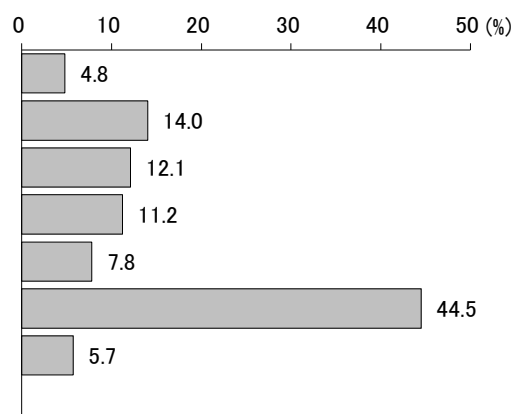
7 日中最も多くの時間を過ごす場所

	基 数	構成比(%)
1 武蔵野市内	832	56.7
2 武蔵野市以外の東京都の市町村	124	8.4
3 東京都23区内	375	25.5
4 東京都外	45	3.1
(無回答)	92	6.3
合 計	1,468	100.0



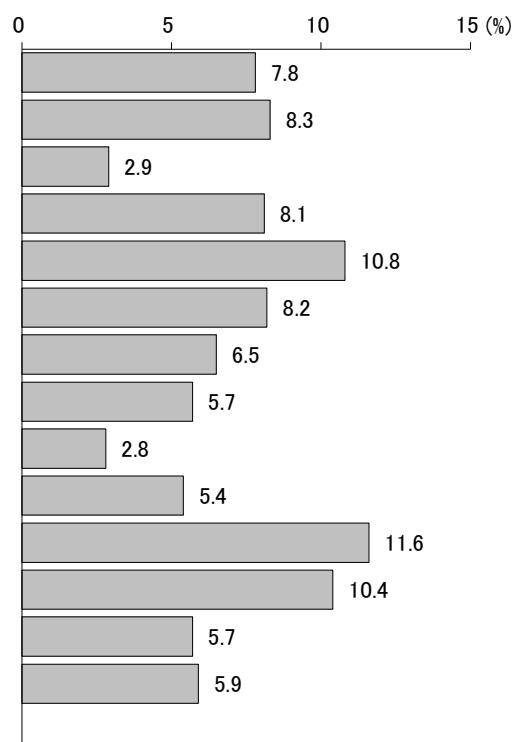
8 居住年数

	基 数	構成比(%)
1 1年未満	70	4.8
2 1年～5年未満	206	14.0
3 5年～10年未満	177	12.1
4 10年～15年未満	164	11.2
5 15年～20年未満	114	7.8
6 20年以上	653	44.5
(無回答)	84	5.7
合 計	1,468	100.0

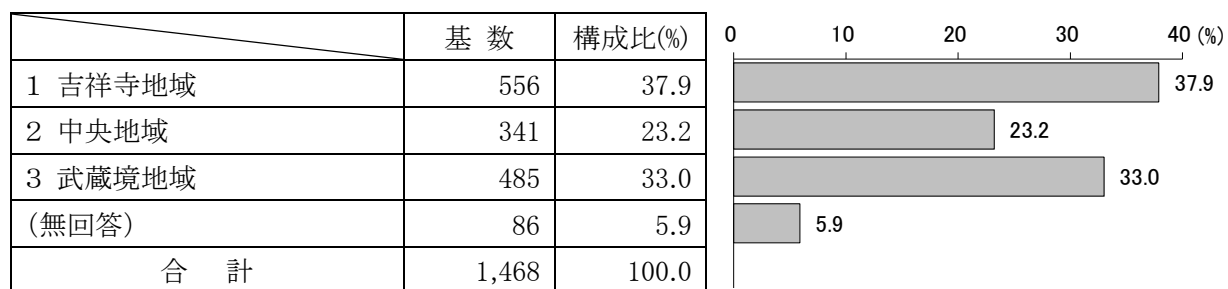


9 居住町名

	基 数	構成比(%)
1 吉祥寺東町	115	7.8
2 吉祥寺南町	122	8.3
3 御殿山	42	2.9
4 吉祥寺本町	119	8.1
5 吉祥寺北町	158	10.8
6 中町	120	8.2
7 西久保	96	6.5
8 緑町	84	5.7
9 八幡町	41	2.8
10 関前	79	5.4
11 境	171	11.6
12 境南町	152	10.4
13 桜堤	83	5.7
(無回答)	86	5.9
合 計	1,468	100.0



9-1 居住地域※

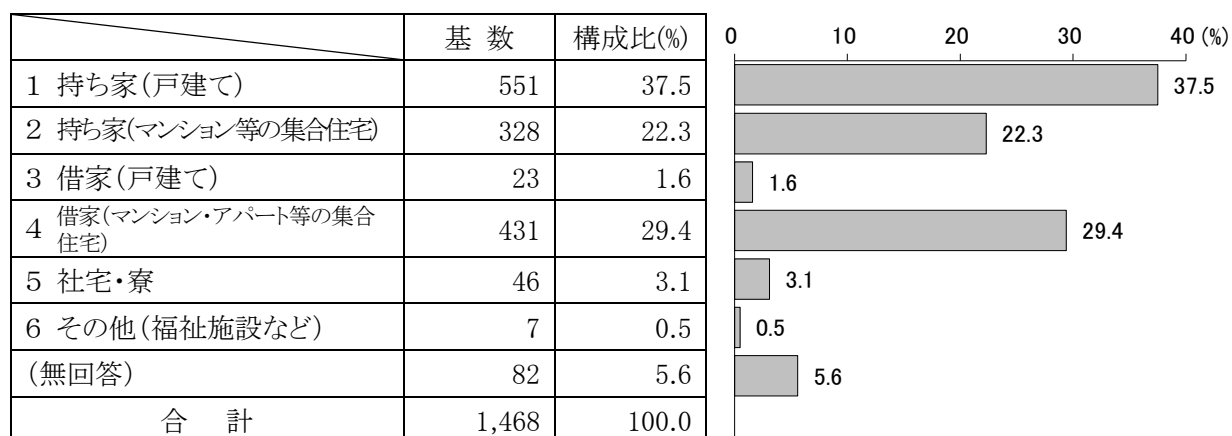


※吉祥寺地域 …(吉祥寺東町、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺本町、吉祥寺北町)

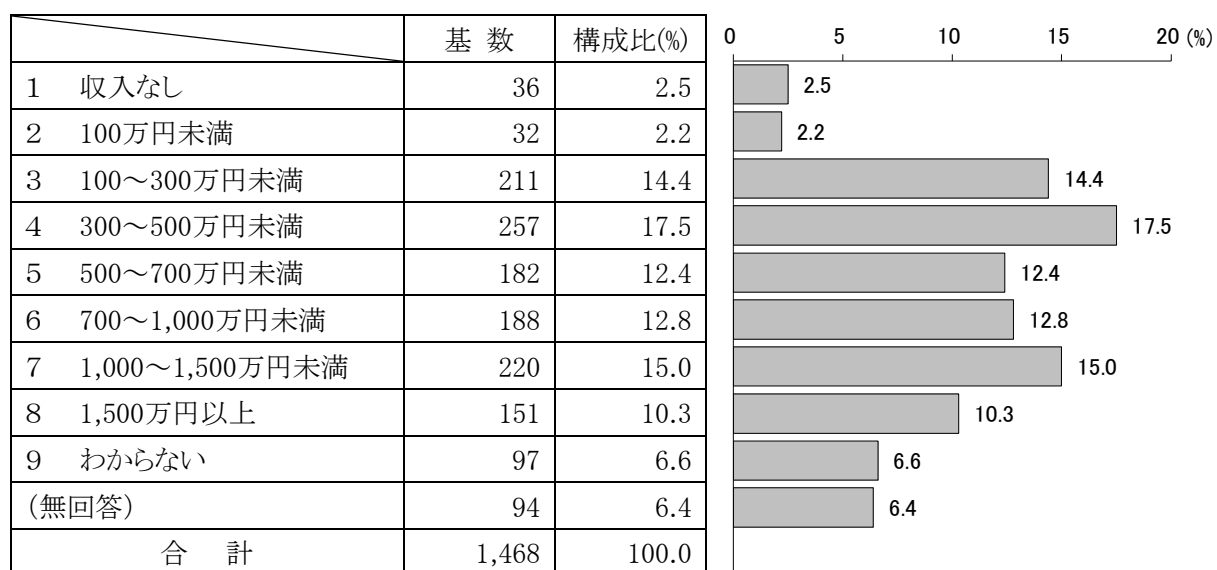
中 央 地 域 …(中町、西久保、緑町、八幡町)

武蔵境地域 …(関前、境、境南町、桜堤)

10 住宅の種類



11 世帯収入



Ⅲ 調査結果

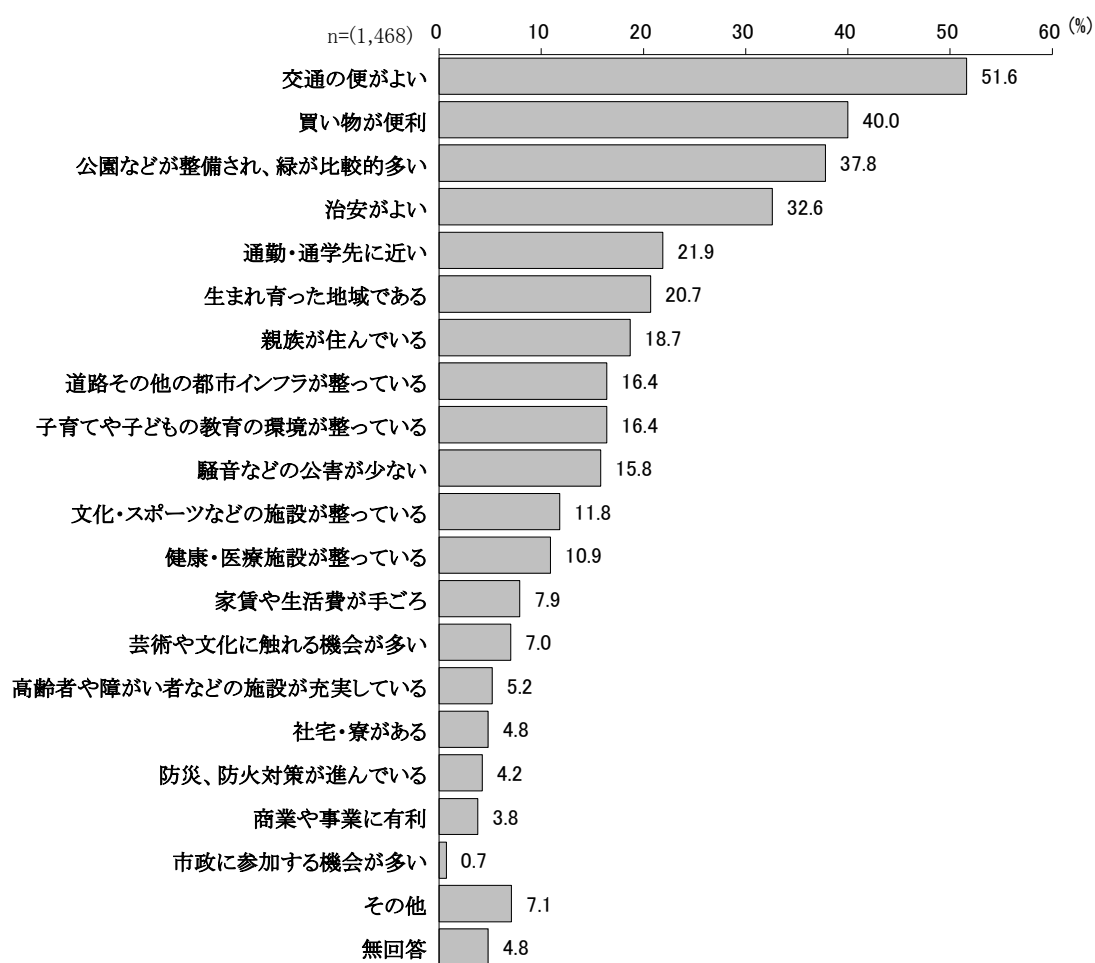
1 お住まいの地域のことについて

1-1 定住のきっかけ

◎「交通の便がよい」、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が上位3項目。

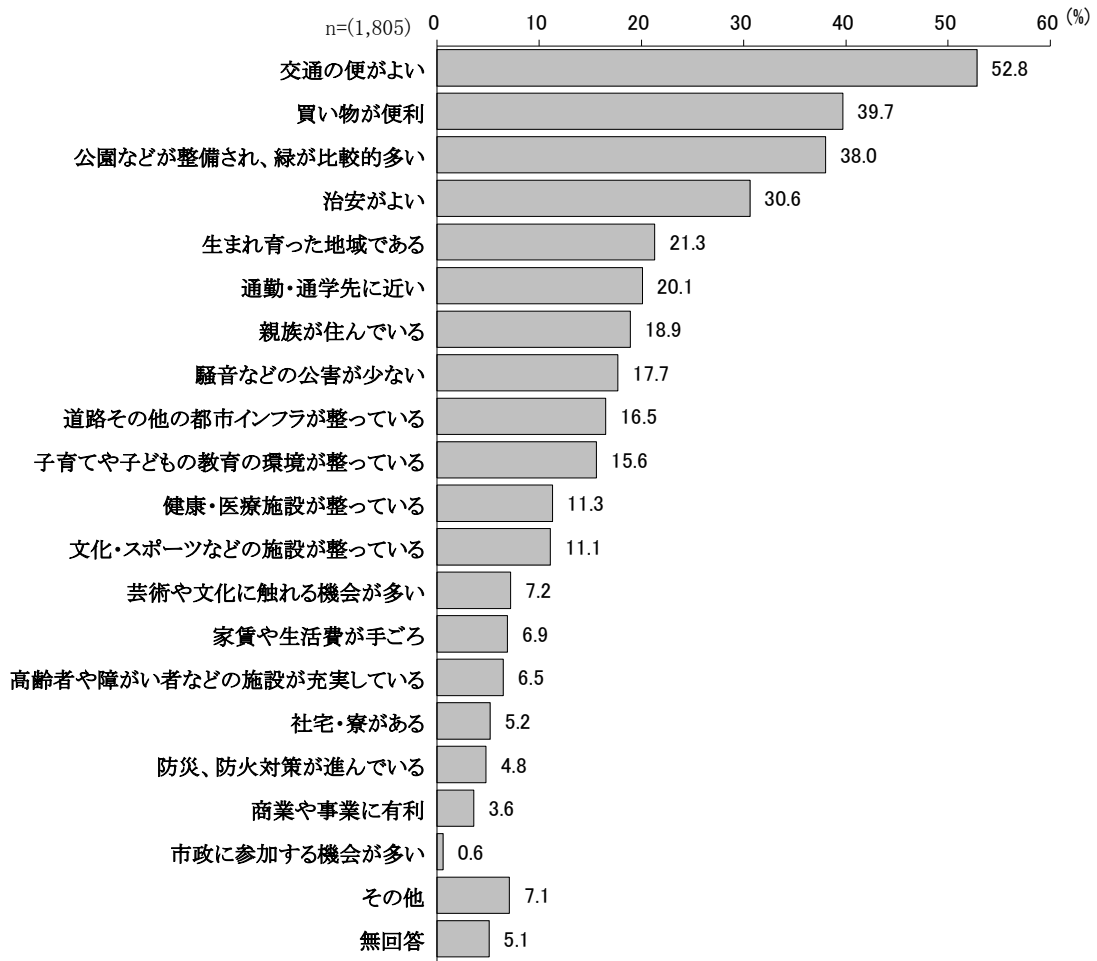
問1 あなたが現在住んでいるところに住みはじめた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-1 定住のきっかけ(複数回答)



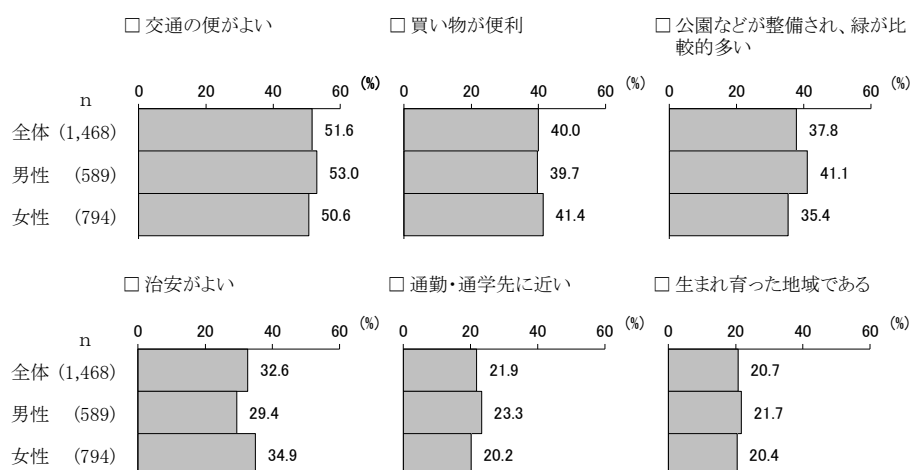
定住のきっかけとしては、「交通の便がよい」(51.6%)が5割を超えて最も高い。次いで、「買い物が便利」(40.0%)が4割台、「公園などが整備され、緑が比較的多い」(37.8%)、「治安がよい」(32.6%)が3割台、「通勤・通学先に近い」(21.9%)、「生まれ育った地域である」(20.7%)がそれぞれ2割台で続く。(図表1-1)

参考：令和2年度調査の結果



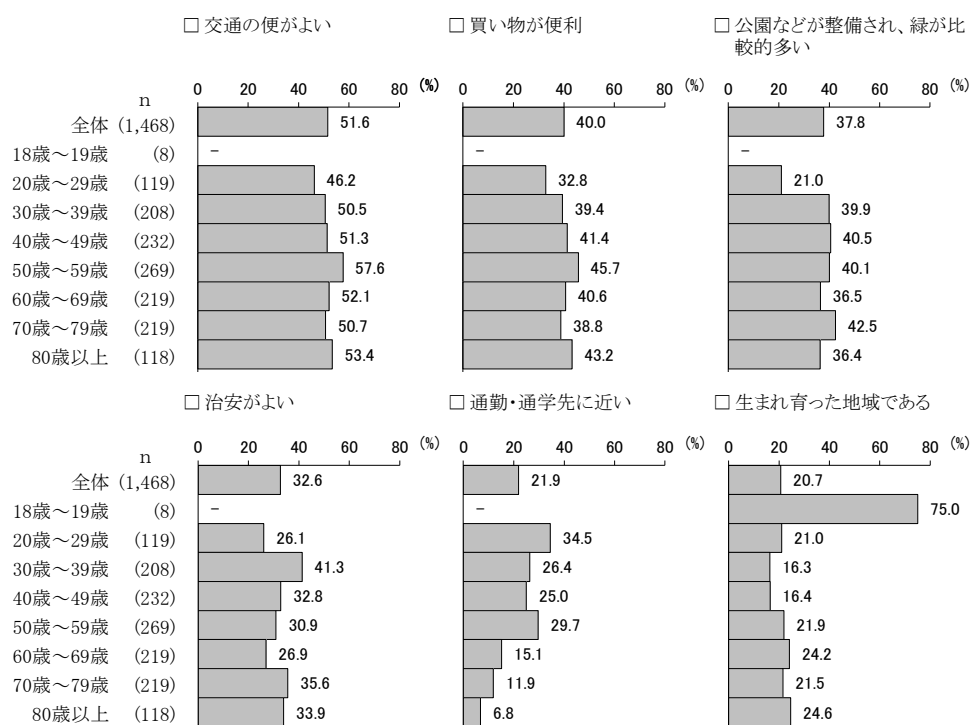
前回調査と比較すると、上位3項目の割合が高い点に変わりはないものの、「通勤・通学先に近い」が1.8ポイント増加し第5位となった。

図表1－2 定住のきっかけ（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、男性の方が女性より5.7ポイント高く、「治安がよい」は、女性の方が男性より5.5ポイント高い。（図表1－2）

図表1－3 定住のきっかけ（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」は、50歳～59歳で5割台後半と最も高く、次いで80歳以上、60歳～69歳、40歳～49歳、70歳～79歳、30歳～39歳で5割台前半となっている。「買い物が便利」は、50歳～59歳で4割台半ばと最も高く、次いで80歳以上、40歳～49歳、60歳～69歳で4割台前半となっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、70歳～79歳、40歳～49歳、50歳～59歳で4割台となっている。「治安がよい」は、30歳～39歳で4割台前半と最も高く、次いで70歳～79歳、80歳以上、40歳～49歳、50歳～59歳で3割台となっている。「通勤・通学先に近い」は、20歳～29歳で3割台半ばと最も高く、50歳～59歳で約3割、30歳～39歳で2割台後半、40歳～49歳で2割台半ばとなっている。「生まれ育った地域である」は、80歳以上、60歳～69歳で2割台半ばと高く、50歳～59歳、70歳～79歳、20歳～29歳で2割台となっている。（図表1－3）

図表1－4 定住のきっかけ（居住地域別）上位5項目

（％）

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 51.6	買い物が便利 40.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 37.8	治安がよい 32.6	通勤・通学先に近い 21.9
居住地域別	吉祥寺地域	交通の便がよい 54.9	買い物が便利 48.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 41.9	治安がよい 29.0	生まれ育った地域 である 23.7
		交通の便がよい 60.9	買い物が便利 54.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 43.5	治安がよい 33.9	生まれ育った地域 である 29.6
		交通の便がよい 52.5	買い物が便利 44.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 35.2	親族が住んでいる 27.9	治安がよい 23.0
		交通の便がよい 76.2	買い物が便利 公園などが整備され、 緑が比較的多い 64.3	－ －	治安がよい 28.6	通勤・通学先に近い 23.8
		交通の便がよい 58.0	買い物が便利 49.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 36.1	生まれ育った地域 である 25.2	治安がよい 22.7
		交通の便がよい 公園などが整備され、 緑が比較的多い 44.3	－ －	買い物が便利 40.5	治安がよい 34.8	生まれ育った地域 である 25.9
	中央地域	交通の便がよい 54.8	買い物が便利 36.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 35.8	治安がよい 34.3	通勤・通学先に近い 25.5
		交通の便がよい 68.3	買い物が便利 45.8	治安がよい 38.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 31.7	通勤・通学先に近い 30.0
		交通の便がよい 61.5	治安がよい 39.6	買い物が便利 36.5	通勤・通学先に近い 32.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 29.2
		公園などが整備され、 緑が比較的多い 50.0	交通の便がよい 45.2	買い物が便利 38.1	治安がよい 31.0	文化・スポーツなどの 施設が整っている 22.6
		公園などが整備され、 緑が比較的多い 34.1	生まれ育った地域 である 26.8	交通の便がよい 親族が住んでいる 19.5	－ －	治安がよい 道路その他の都市イ ンフラが整っている 子育てや子どもの教 育の環境が整ってい る 家賃や生活費が手ご ろ 17.1
		交通の便がよい 45.6	買い物が便利 34.6	治安がよい 34.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 34.2	通勤・通学先に近い 21.9
	武蔵境地域	公園などが整備され、 緑が比較的多い 45.6	交通の便がよい 43.0	治安がよい 40.5	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 30.4	騒音などの公害が 少ない 27.8
		交通の便がよい 50.3	買い物が便利 42.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 治安がよい 34.5	－ －	通勤・通学先に近い 22.2
		交通の便がよい 50.7	買い物が便利 41.4	治安がよい 34.2	通勤・通学先に近い 25.0	生まれ育った地域 である 23.0
		公園などが整備され、 緑が比較的多い 44.6	交通の便がよい 治安がよい 28.9	－ －	生まれ育った地域 である 21.7	買い物が便利 16.9

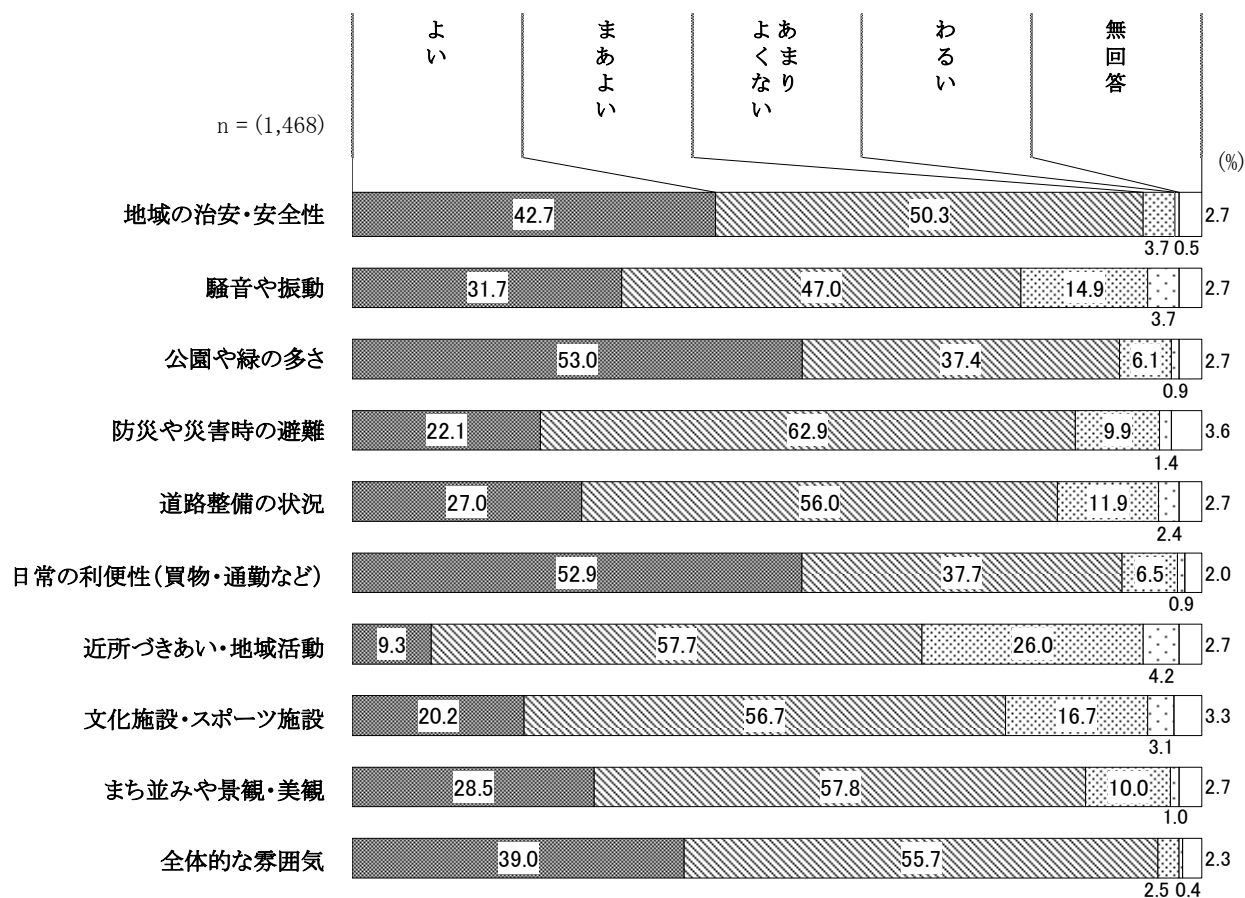
居住地域別で見ると、「交通の便がよい」は、緑町、八幡町、関前、桜堤以外で第1位となっており、御殿山で7割台後半と最も高くなっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、吉祥寺北町（「交通の便がよい」と同率第1位）、緑町、八幡町、関前、桜堤で第1位となっている。（図表1－4）

1－2 生活環境の評価

◎「よい」が〔公園や緑の多さ〕、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕で5割台前半となっている。
〔全体的な雰囲気〕では「まあよい」が5割台半ばである。

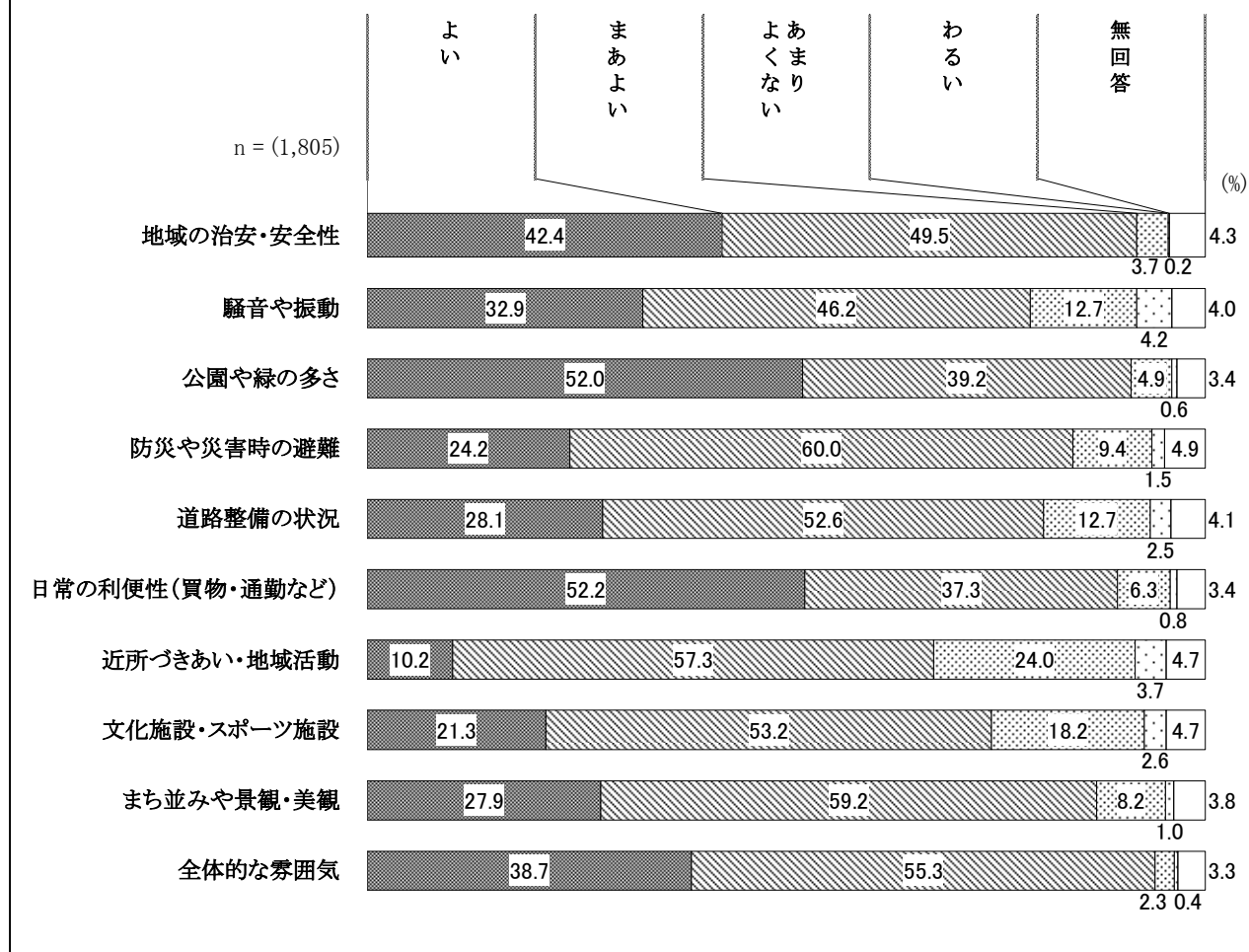
問2 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。（○はそれぞれ1つ）

図表1－5 生活環境の評価



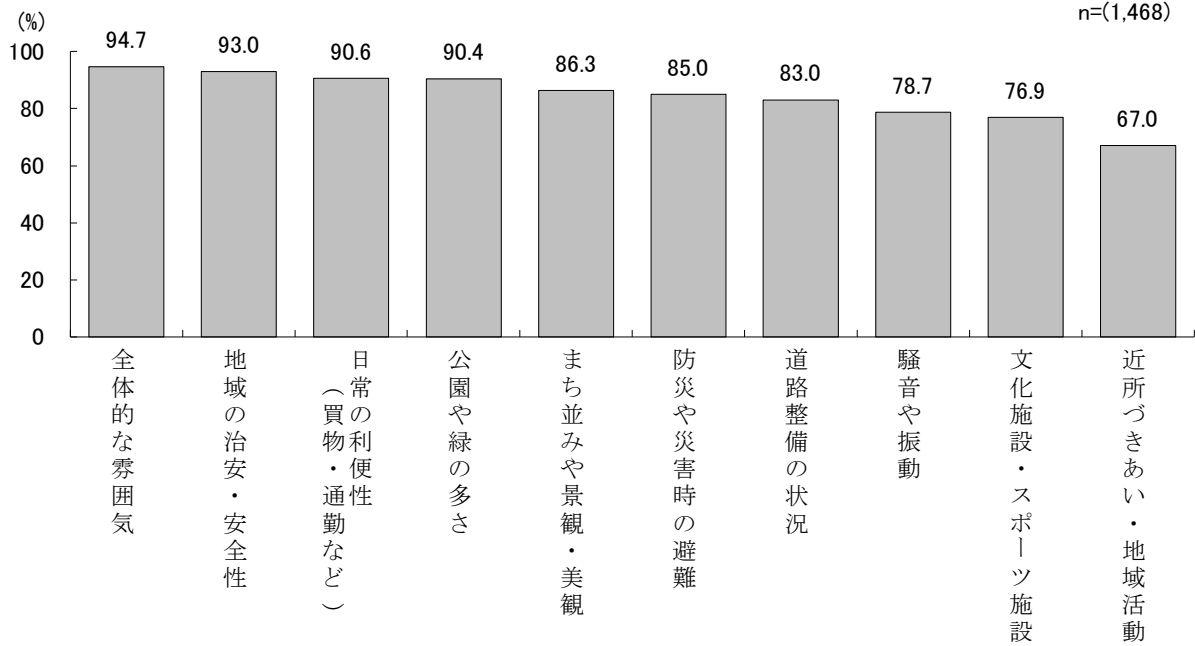
〔全体的な雰囲気〕では、「よい」（39.0％）が3割台後半、「まあよい」（55.7％）が5割台半ばで合わせて9割以上の方から評価を得ている。その他に「よい」が多い項目は、〔公園や緑の多さ〕（53.0％）、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕（52.9％）がそれぞれ5割台前半となっている。その他の項目では「まあよい」がそれぞれ最も高い。（図表1－5）

参考：令和2年度調査の結果



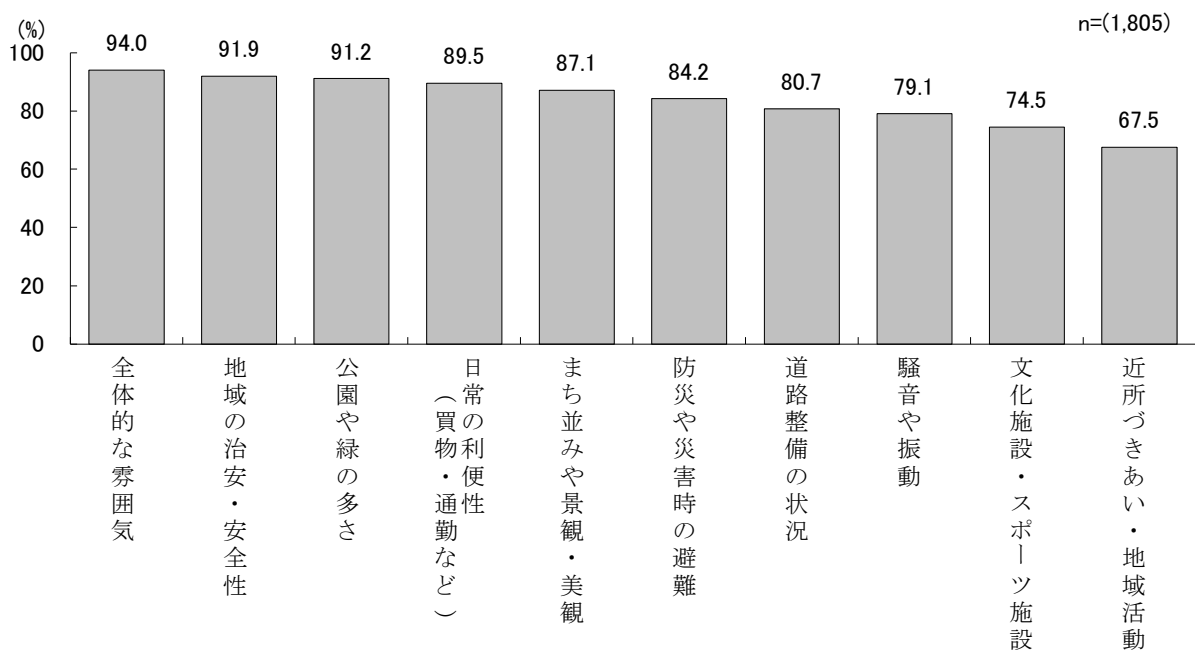
前回調査と比較すると、「全体的な雰囲気」は、ほとんど変化が見られない。個別に見ると、「防災や災害時の避難」について「よい」の割合が2.1ポイント減少している。

図表1－6 生活環境の評価（『よい』の多い順）



『よい』（「よい」＋「まあよい」）の多さで見ると、〔全体的な雰囲気〕、〔地域の治安・安全性〕、〔日常の利便性（買物・通勤など）〕、〔公園や緑の多さ〕が9割を超えている。次いで、〔まち並みや景観・美観〕が8割台後半となっている。（図表1－6）

参考：令和2年度調査の結果



前回調査と比較すると、大きな違いは見られないが、〔文化施設・スポーツ施設〕が2.4ポイント、〔道路整備の状況〕が2.3ポイント増加している。

図表1－7 生活環境の評価(『よい』の多い順、性別・居住地域別)

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		全体的な雰囲気 94.7	地域の治安・安全性 93.0	日常の利便性 (買物・通勤など) 90.6	公園や緑の多さ 90.4	まち並みや景観・美観 86.3
性別	男性	全体的な雰囲気 95.0	地域の治安・安全性 93.9	公園や緑の多さ 91.8	日常の利便性 (買物・通勤など) 89.6	防災や災害時の避難 87.2
	女性	全体的な雰囲気 95.1	地域の治安・安全性 92.7	日常の利便性 (買物・通勤など) 91.7	公園や緑の多さ 89.9	まち並みや景観・美観 87.3
居住地域	吉祥寺地域	日常の利便性 (買物・通勤など) 94.1	全体的な雰囲気 93.9	地域の治安・安全性 90.7	公園や緑の多さ 90.0	まち並みや景観・美観 84.7
	中央地域	全体的な雰囲気 地域の治安・安全性 95.3	－ －	公園や緑の多さ 91.5	日常の利便性 (買物・通勤など) 89.8	まち並みや景観・美観 88.0
	武蔵境地域	全体的な雰囲気 95.5	地域の治安・安全性 93.9	公園や緑の多さ 89.9	日常の利便性 (買物・通勤など) まち並みや景観・美観 87.0	－ －

『よい』（「よい」＋「まあよい」）の上位5項目を属性別に分析した。

性別でみると、男女ともに「全体的な雰囲気」が第1位、「地域の治安・安全性」が第2位となっている。第3位は男性で「公園や緑の多さ」、女性で「日常の利便性（買物・通勤など）」となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域以外で「全体的な雰囲気」が第1位、中央地域では「地域の治安・安全性」も同率第1位となっている。吉祥寺地域で「日常の利便性（買物・通勤など）」が第1位となっている。（図表1－7）

図表1－8 生活環境の評価
(『よい』の多い順、子どもの就学状況別・介護が必要な同居家族の有無別)

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
子どもの就学状況	小学校入学前	全体的な雰囲気 96.8	防災や災害時の避難 94.5	公園や緑の多さ 地域の治安・安全性 93.7	－	－	まち並みや景観・美観 92.1
	小学生	全体的な雰囲気 96.4	地域の治安・安全性 95.3	公園や緑の多さ 92.9	防災や災害時の避難 90.5	日常の利便性 (買物・通勤など) 90.4	
	中学生	全体的な雰囲気 100.0	日常の利便性 (買物・通勤など) 95.5	地域の治安・安全性 道路整備の状況 93.2	－	防災や災害時の避難 91.0	
	高校生	全体的な雰囲気 地域の治安・安全性 まち並みや景観・美観 97.3	－	－	道路整備の状況 94.6	公園や緑の多さ 防災や災害時の避難 91.9	
	専門学校、 短期大学、 大学生等	全体的な雰囲気 94.9	地域の治安・安全性 93.3	まち並みや景観・美観 91.5	公園や緑の多さ 86.4	日常の利便性 (買物・通勤など) 83.1	
	社会人	地域の治安・安全性 95.7	全体的な雰囲気 94.8	日常の利便性 (買物・通勤など) 93.9	公園や緑の多さ 87.9	まち並みや景観・美観 81.8	
	その他	騒音や振動 100.0	全体的な雰囲気 地域の治安・安全性 公園や緑の多さ 85.8	－	－	近所づきあい・地域 活動 85.7	
同居家族が 介護が必要 な有無別	いる	全体的な雰囲気 91.8	地域の治安・安全性 91.1	公園や緑の多さ 85.2	日常の利便性 (買物・通勤など) 84.4	まち並みや景観・美観 騒音や振動 80.0	
	いない	全体的な雰囲気 95.6	地域の治安・安全性 93.8	日常の利便性 (買物・通勤など) 91.7	公園や緑の多さ 91.6	まち並みや景観・美観 87.2	

『よい』（「よい」＋「まあよい」）の多い5項目を子どもの就学状況別で見ると、「全体的な雰囲気」は、社会人、その他以外で第1位となっており、中学生で全数と最も高くなっている。「地域の治安・安全性」は、高校生（「まち並みや景観・美観」も同率第1位）、社会人で第1位となっている。

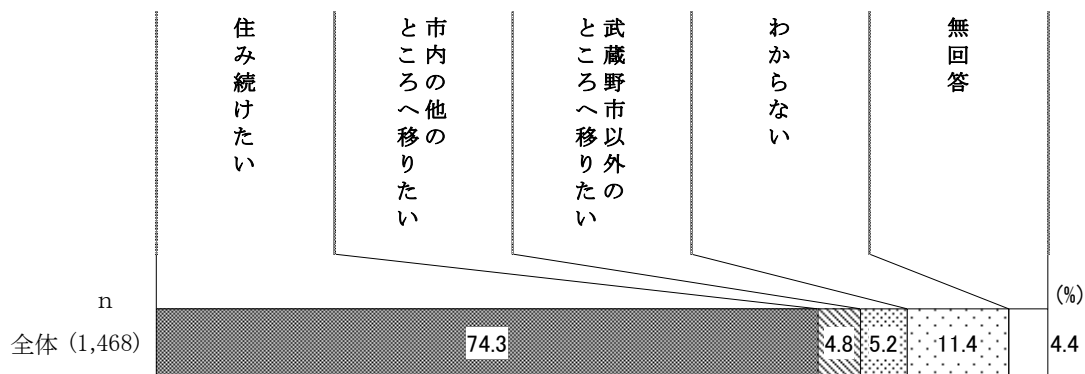
介護が必要な同居家族の有無別で見ると、ともに第1位は「全体的な雰囲気」、第2位は「地域の治安・安全性」となっている。第3位は該当者がいる場合で「公園や緑の多さ」、いない場合で「日常の利便性（買物・通勤など）」となっている。（図表1－8）

1－3 定住意向

◎ 「住み続けたい」が7割台半ばと最も高い。

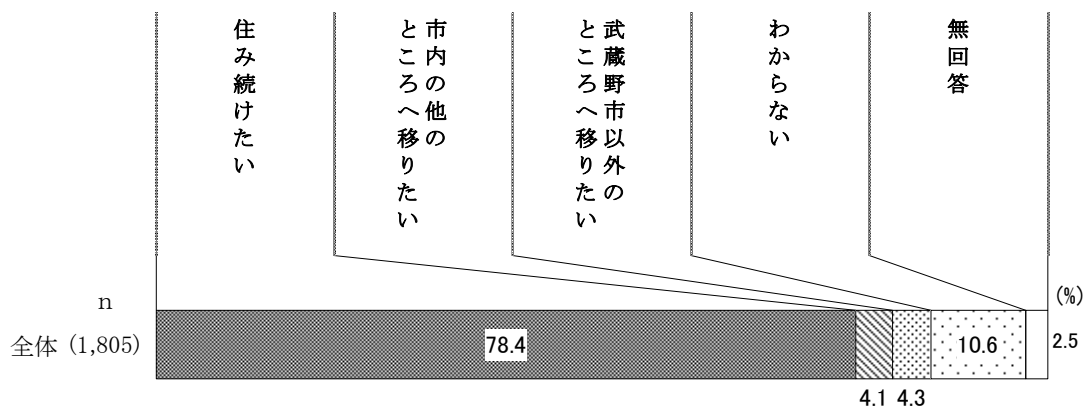
問3 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

図表1－9 定住意向



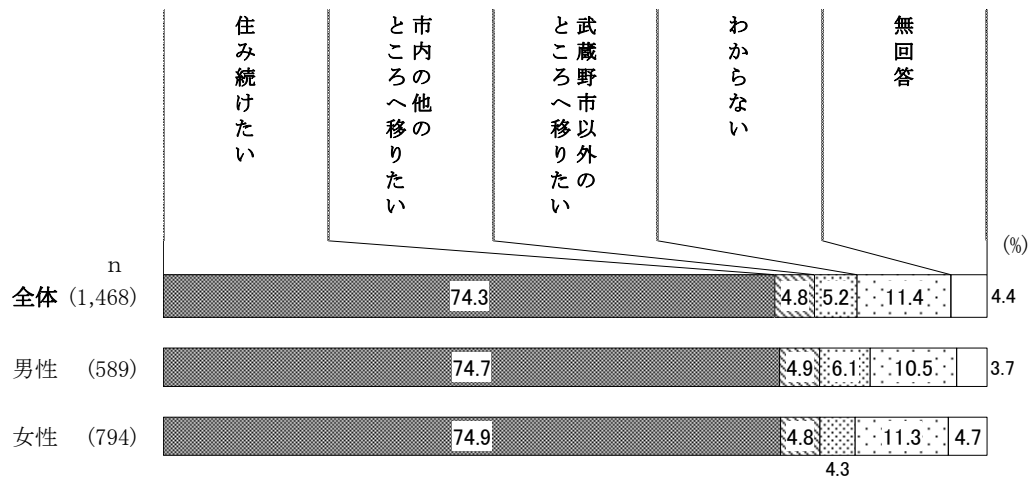
定住意向としては、「住み続けたい」(74.3%)が7割台半ばと最も高くなっている。(図表1－9)

参考：令和2年度調査の結果



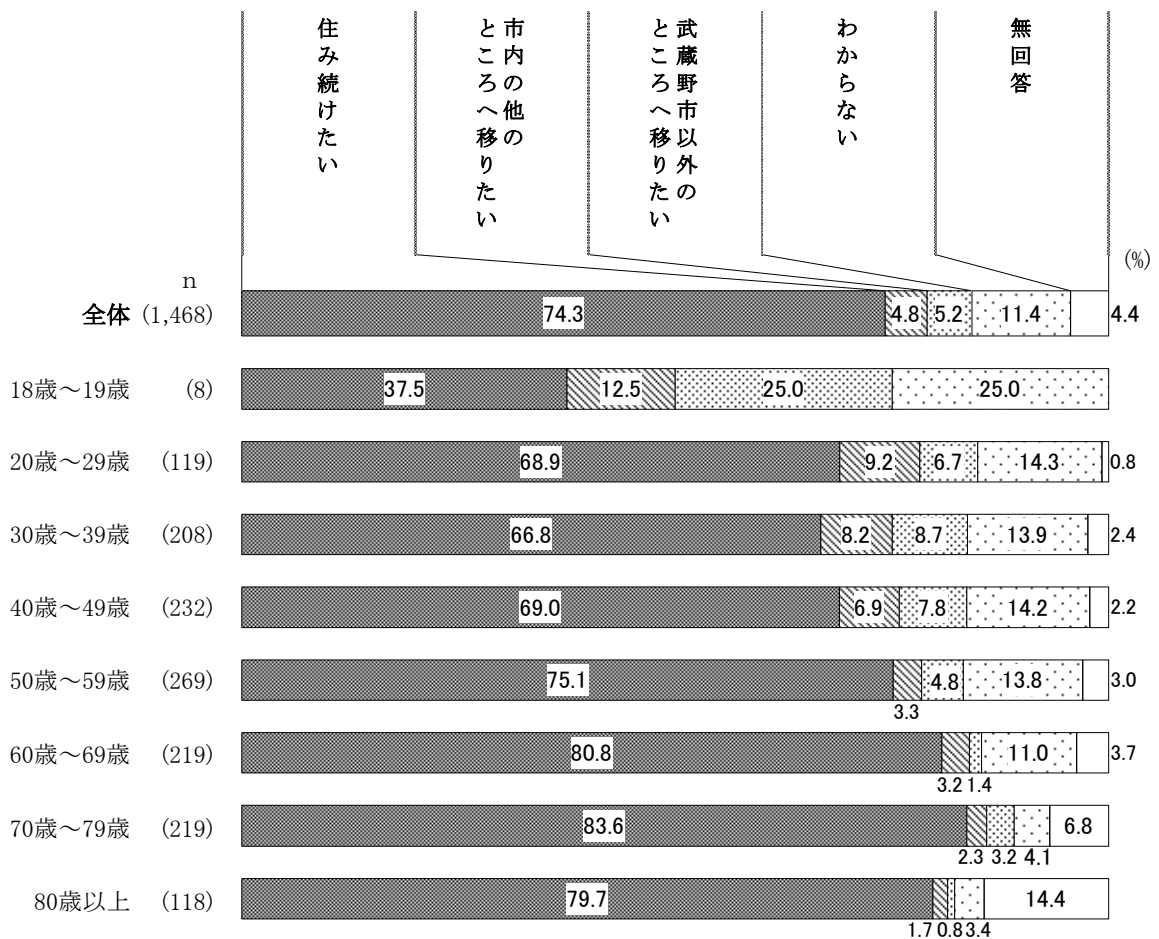
前回調査と比較すると、「住み続けたい」が4.1ポイント減少している。

図表1－10 定住意向（性別）



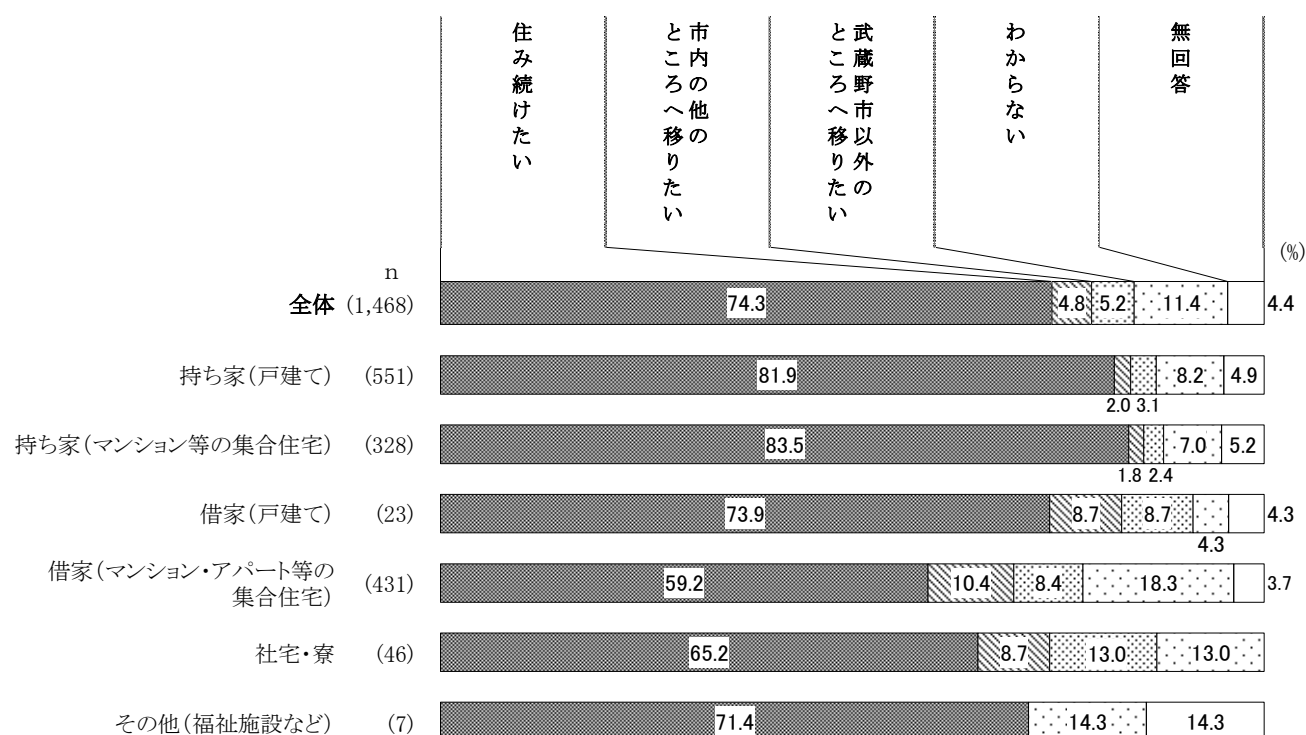
性別で見ると、特に大きな違いは見られない。（図表1－10）

図表1－11 定住意向（年代別）



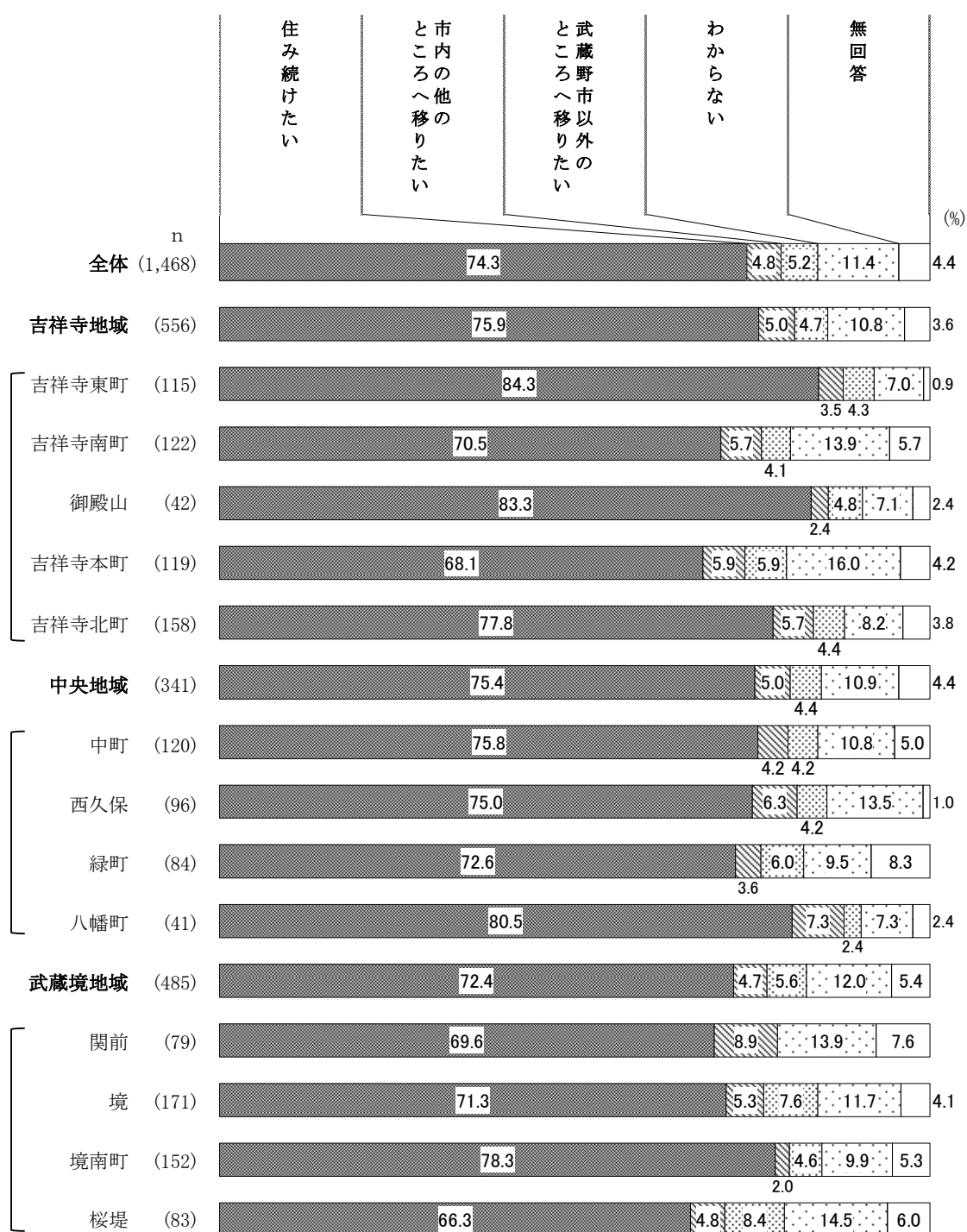
年代別で見ると、「住み続けたい」は、年代が上がるほど増加する傾向にあり、60～69歳と70～79歳で8割台前半と高くなっている。一方、「市内の他のところへ移りたい」は、年代が低くなるほど増加する傾向にある。（図表1－11）

図表1－12 定住意向（住宅の種類別）



住宅の種類別で見ると、「住み続けたい」は、持ち家（マンション等の集合住宅）、持ち家（戸建て）で8割を超えている。一方、「わからない」は、借家（マンション・アパート等の集合住宅）で1割台後半と他の住宅の種類と比べて高くなっている。（図表1－12）

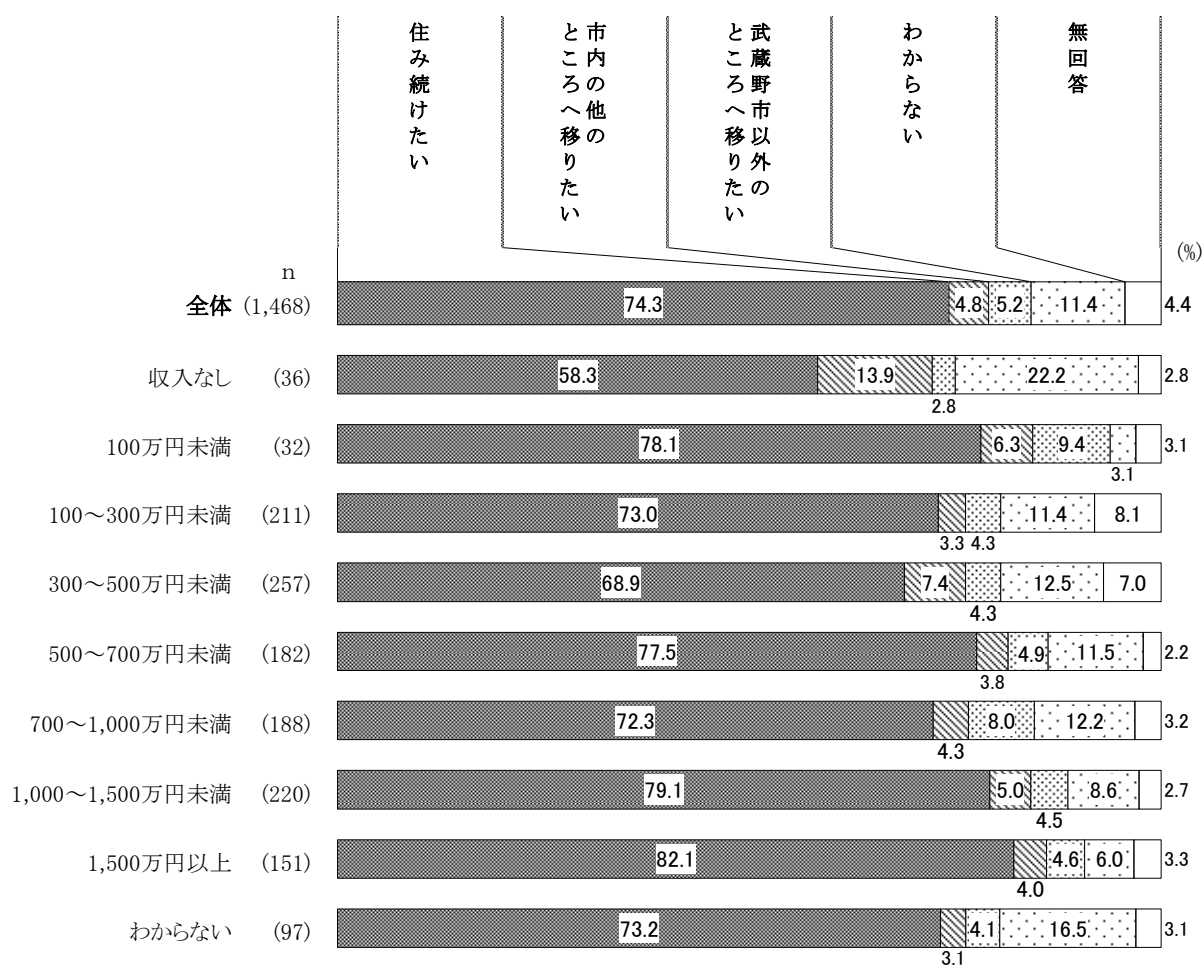
図表1－13 定住意向（居住地域別）



居住地域別で見ると、「住み続けたい」は、吉祥寺地域、中央地域で7割台半ばとなっているほか、武蔵境地域でも7割台前半となっている。

居住町名別で見ると、「住み続けたい」は、吉祥寺東町で8割台半ばとなっており、次いで、御殿山、八幡町でも8割を超えている。（図表1－13）

図表1－14 定住意向（世帯収入別）



世帯収入別で見ると、「住み続けたい」は、1,500万円以上で8割台前半と最も高く、次いで1,000～1,500万円未満で約8割、100万円未満、500～700万円未満で7割台後半と続く。（図表1－14）

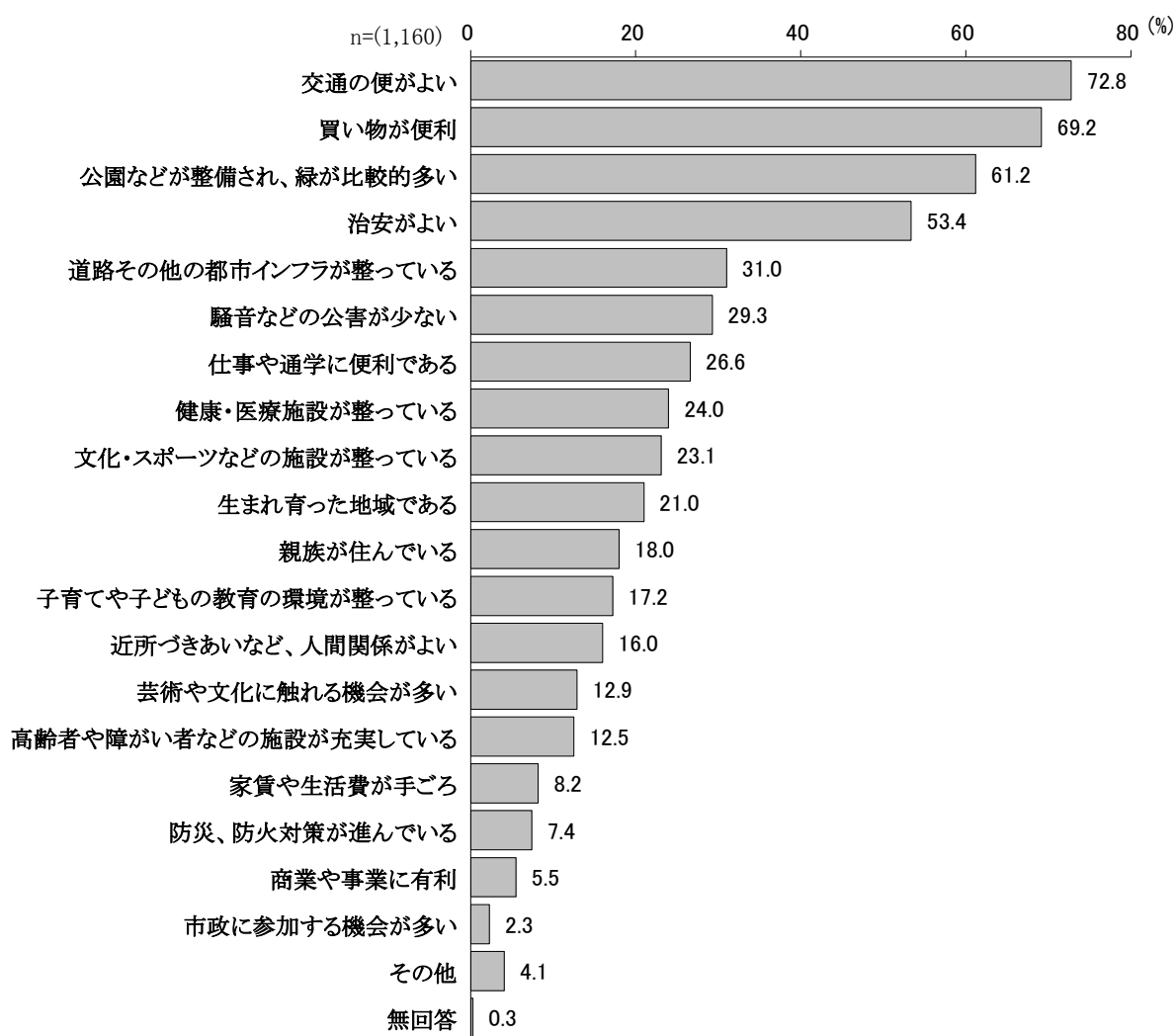
1－4 定住意向の理由

◎ 「交通の便がよい」、「買い物が便利」、「公園などが整備され、緑が比較的多い」が上位3項目となる。

【問3で「住み続けたい」か「市内の他のところへ移りたい」とお答えの方に】

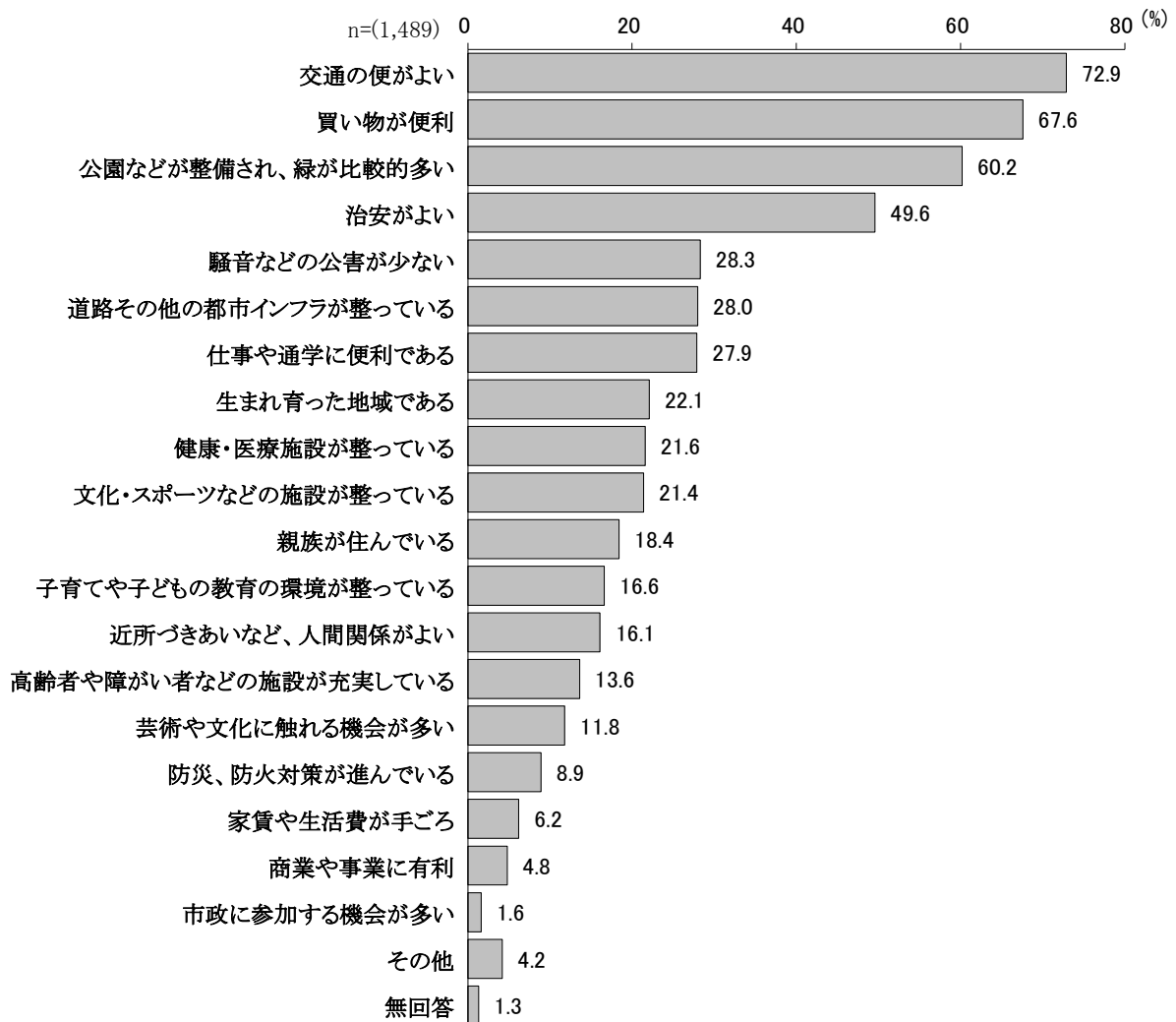
問3－1 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1－15 定住意向の理由(複数回答)



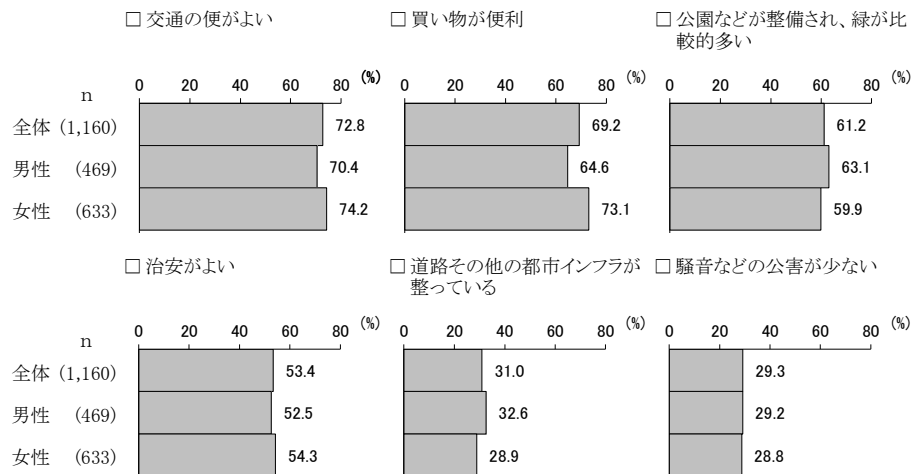
定住意向の理由としては、「交通の便がよい」(72.8%)が7割台前半と最も高い。次いで、「買い物が便利」(69.2%)が約7割、「公園などが整備され、緑が比較的多い」(61.2%)が6割台前半、「治安がよい」(53.4%)が5割台前半と続く。(図表1－15)

参考：令和2年度調査の結果



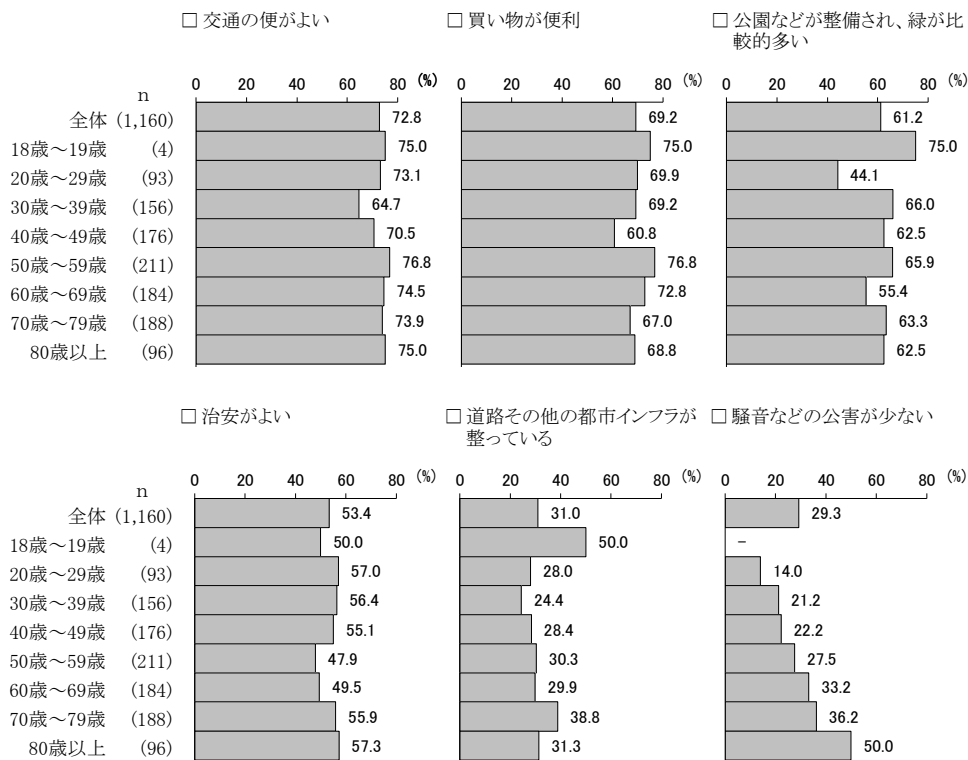
前回調査と比較すると、大きく順位は変わっておらず、上位3項目の割合が高い点も同様である。なお、割合を見ると、「治安がよい」は、前回調査から3.8ポイント増加している。

図表1－16 定住意向の理由（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「買い物が便利」は、女性の方が男性より8.5ポイント高く、「交通の便がよい」も、女性の方が男性より3.8ポイント高くなっている。（図表1－16）

図表1－17 定住意向の理由（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「交通の便がよい」は、50歳～59歳が7割台後半と最も高く、次いで80歳以上、60歳～69歳で7割台半ばとなっている。「買い物が便利」は、50歳～59歳で7割台後半となっている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、30歳～39歳、50歳～59歳で6割台半ばとなっている。「治安がよい」は、80歳以上、20歳～29歳、30歳～39歳で5割台後半となっている。「騒音などの公害が少ない」は、80歳以上で5割となっている。（図表1－17）

図表1－18 定住意向の理由（居住地域別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.8	買い物が便利 69.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.2	治安がよい 53.4	道路その他の都市 インフラが整っている 31.0
居住地域別	吉祥寺地域	買い物が便利 78.0	交通の便がよい 76.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.3	治安がよい 47.6	道路その他の都市 インフラが整っている 28.4
	吉祥寺東町	買い物が便利 80.2	交通の便がよい 77.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.4	治安がよい 43.6	騒音などの公害が 少ない 31.7
	吉祥寺南町	交通の便がよい	－	公園などが整備され、 緑が比較的多い 59.1	治安がよい 49.5	騒音などの公害が 少ない
		買い物が便利 80.6				親族が住んでいる 24.7
	御殿山	買い物が便利 公園などが整備され、 緑が比較的多い 80.6	－	交通の便がよい 75.0	治安がよい 50.0	道路その他の都市 インフラが整っている 36.1
	吉祥寺本町	買い物が便利 88.6				道路その他の都市 インフラが整っている 34.1
	吉祥寺北町	買い物が便利 66.7	交通の便がよい 65.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 65.2	治安がよい 54.5	文化・スポーツなど の施設が整っている 34.8
	中央地域	交通の便がよい 71.2	買い物が便利 62.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 58.8	治安がよい 56.6	仕事や通学に 便利である 28.8
	中町	交通の便がよい 77.1	買い物が便利 71.9	治安がよい 46.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 43.8	道路その他の都市 インフラが整っている 文化・スポーツなどの 施設が整っている 27.1
	西久保	交通の便がよい 79.5	買い物が便利 71.8	治安がよい 59.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 53.8	仕事や通学に 便利である 38.5
	緑町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 81.3	交通の便がよい 67.2	治安がよい 64.1	買い物が便利 56.3	道路その他の都市 インフラが整っている 騒音などの公害が 少ない 文化・スポーツなど の施設が整っている 29.7
	八幡町	公園などが整備され、 緑が比較的多い 69.4	治安がよい 63.9	交通の便がよい 44.4	道路その他の都市 インフラが整っている 30.6	買い物が便利 騒音などの公害が 少ない 仕事や通学に 便利である 高齢者や障がい者など の施設が充実している 27.8

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居住地域別	武蔵境地域	交通の便がよい 69.3	買い物が便利 64.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 59.9	治安がよい 58.0	道路その他の都市 インフラが整っている 34.8
	関前	公園などが整備され、 緑が比較的多い 75.8	治安がよい 64.5	交通の便がよい 58.1	買い物が便利 騒音などの公害が 少ない 50.0	— —
	境	交通の便がよい 78.6	買い物が便利 71.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 58.8	治安がよい 55.7	道路その他の都市 インフラが整っている 37.4
	境南町	買い物が便利 74.6	交通の便がよい 73.8	治安がよい 55.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 44.3	健康・医療施設が 整っている 35.2
	桜堤	公園などが整備され、 緑が比較的多い 78.0	治安がよい 61.0	交通の便がよい 50.8	買い物が便利 44.1	騒音などの公害が 少ない 37.3

居住地域別で見ると、「交通の便がよい」は吉祥寺本町で8割台後半、吉祥寺南町で8割を超えている。「買い物が便利」は、吉祥寺本町、吉祥寺南町（「交通の便がよい」と同率第1位）、御殿山（「公園などが整備され、緑が比較的多い」と同率第1位）、吉祥寺東町、境南町、吉祥寺北町で第1位となっており、吉祥寺本町で8割台後半、吉祥寺南町、御殿山、吉祥寺東町で8割を超えている。「公園などが整備され、緑が比較的多い」は、緑町、御殿山、桜堤、関前、八幡町で第1位となっている。（図表1－18）

図表１－１９ 定住意向の理由（職業別）上位５項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.8	買い物が便利 69.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.2	治安がよい 53.4	道路その他の都市 インフラが整っている 31.0
職業別	自営業・自由業	買い物が便利 72.4	交通の便がよい 69.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 59.2	治安がよい 51.0	道路その他の都市 インフラが整っている 33.7
	正社員、正職員	交通の便がよい 71.5	買い物が便利 67.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.5	治安がよい 51.2	仕事や通学に 便利である 36.4
	契約社員、 派遣社員	買い物が便利 79.6	交通の便がよい 77.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 74.1	治安がよい 50.0	仕事や通学に 便利である 38.9
	アルバイト、パート	買い物が便利 73.3	交通の便がよい 72.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.4	治安がよい 52.5	仕事や通学に 便利である 35.6
	家事専業	交通の便がよい 71.8	買い物が便利 69.0	治安がよい 59.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 59.2	騒音などの公害が 少ない 37.3
	学生	公園などが整備され、 緑が比較的多い 治安がよい 63.6	－ －	交通の便がよい 買い物が便利 59.1	－ －	道路その他の都市 インフラが整っている 50.0
	無職	交通の便がよい 77.0	買い物が便利 70.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.3	治安がよい 56.1	騒音などの公害が 少ない 40.4
	その他	交通の便がよい 76.9	買い物が便利 73.1	公園などが整備され、 緑が比較的多い 57.7	治安がよい 46.2	仕事や通学に 便利である 42.3

職業別で見ると、「交通の便がよい」は無職、その他、家事専業、正社員、正職員で第１位となっている。「買い物が便利」は、契約社員、派遣社員、アルバイト、パート、自営業・自由業で第１位となっており、契約社員、派遣社員で約８割となっている。（図表１－１９）

図表1－20 定住意向の理由（居住年数別・住宅の種別別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.8	買い物が便利 69.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.2	治安がよい 53.4	道路その他の都市 インフラが整っている 31.0
居住年数	1年未満	交通の便がよい 63.6	治安がよい 56.4	買い物が便利 54.5	公園などが整備され、 緑が比較的多い 50.9	仕事や通学に 便利である 32.7
	1年～5年未満	交通の便がよい 73.6	買い物が便利 73.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.5	治安がよい 49.3	仕事や通学に 便利である 31.8
	5年～10年未満	交通の便がよい 72.5	買い物が便利 69.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 65.8	治安がよい 51.0	仕事や通学に 便利である 32.2
	10年～15年未満	交通の便がよい 72.3	買い物が便利 69.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.8	治安がよい 55.4	道路その他の都市 インフラが整っている 37.7
	15年～20年未満	買い物が便利 69.4	交通の便がよい 68.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 67.1	治安がよい 57.6	道路その他の都市 インフラが整っている 37.6
	20年以上	交通の便がよい 73.5	買い物が便利 69.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 58.8	治安がよい 53.9	生まれ育った地域 である 36.1
住宅の種別	持ち家（戸建て）	交通の便がよい 70.1	買い物が便利 68.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.3	治安がよい 54.5	騒音などの公害が 少ない 36.6
	持ち家（マンション 等の集合住宅）	交通の便がよい 77.5	買い物が便利 74.6	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.7	治安がよい 50.7	道路その他の都市 インフラが整っている 30.0
	借家（戸建て）	公園などが整備され、 緑が比較的多い 78.9	買い物が便利 68.4	交通の便がよい 63.2	治安がよい 子育てや子どもの教育 の環境が整っている 47.4	－ －
	借家（マンション・ア パート等の集合住 宅）	交通の便がよい 72.7	買い物が便利 67.7	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.3	治安がよい 53.7	仕事や通学に 便利である 35.3
	社宅・寮	交通の便がよい 買い物が便利 64.7	－ －	治安がよい 55.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 52.9	仕事や通学に 便利である 41.2
	その他 （福祉施設など）	交通の便がよい 80.0	買い物が便利 治安がよい 60.0	－ －	高齢者や障がい者など の施設が充実している 40.0	公園などが整備され、 緑が比較的多い 生まれ育った地域 である 20.0

居住年数別で見ると、「交通の便がよい」は、15年～20年未満以外で第1位となっており、「買い物が便利」は15年～20年未満で第1位となっている。

住宅の種別別で見ると、「交通の便がよい」は、借家（戸建て）以外で第1位、「買い物が便利」は社宅・寮で同率第1位となっている。（図表1－20）

図表1－21 定住意向の理由（世帯収入別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		交通の便がよい 72.8	買い物が便利 69.2	公園などが整備され、 緑が比較的多い 61.2	治安がよい 53.4	道路その他の都市 インフラが整っている 31.0
世帯 収入別	収入なし	交通の便がよい 76.9	買い物が便利 73.1	治安がよい 53.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 50.0	仕事や通学に 便利である 26.9
	100万円未満	交通の便がよい 70.4	買い物が便利 63.0	治安がよい 59.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 51.9	道路その他の都市 インフラが整っている 騒音などの公害が 少ない 仕事や通学に 便利である 33.3
	100～300万円 未満	交通の便がよい 75.2	買い物が便利 71.4	公園などが整備され、 緑が比較的多い 56.5	治安がよい 51.6	騒音などの公害が 少ない 37.3
	300～500万円 未満	買い物が便利 69.4	交通の便がよい 67.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 57.7	治安がよい 43.9	道路その他の都市 インフラが整っている 30.6
	500～700万円 未満	買い物が便利 71.6	交通の便がよい 70.3	公園などが整備され、 緑が比較的多い 62.8	治安がよい 53.4	道路その他の都市 インフラが整っている 32.4
	700～1,000万円 未満	交通の便がよい 75.0	買い物が便利 63.9	公園などが整備され、 緑が比較的多い 60.4	治安がよい 51.4	仕事や通学に 便利である 31.3
	1,000～1,500万円 未満	交通の便がよい 78.4	買い物が便利 70.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 69.7	治安がよい 62.7	子育てや子どもの教育 の環境が整っている 35.7
	1,500万円以上	買い物が便利 74.6	交通の便がよい 70.8	公園などが整備され、 緑が比較的多い 63.1	治安がよい 54.6	騒音などの公害が 少ない 31.5

世帯収入別で見ると、「交通の便がよい」は300～500万円未満、500～700万円未満、1,500万円以上以外で第1位となっている。「買い物が便利」は、1,500万円以上、500～700万円未満、300～500万円未満で第1位となっている。（図表1－21）

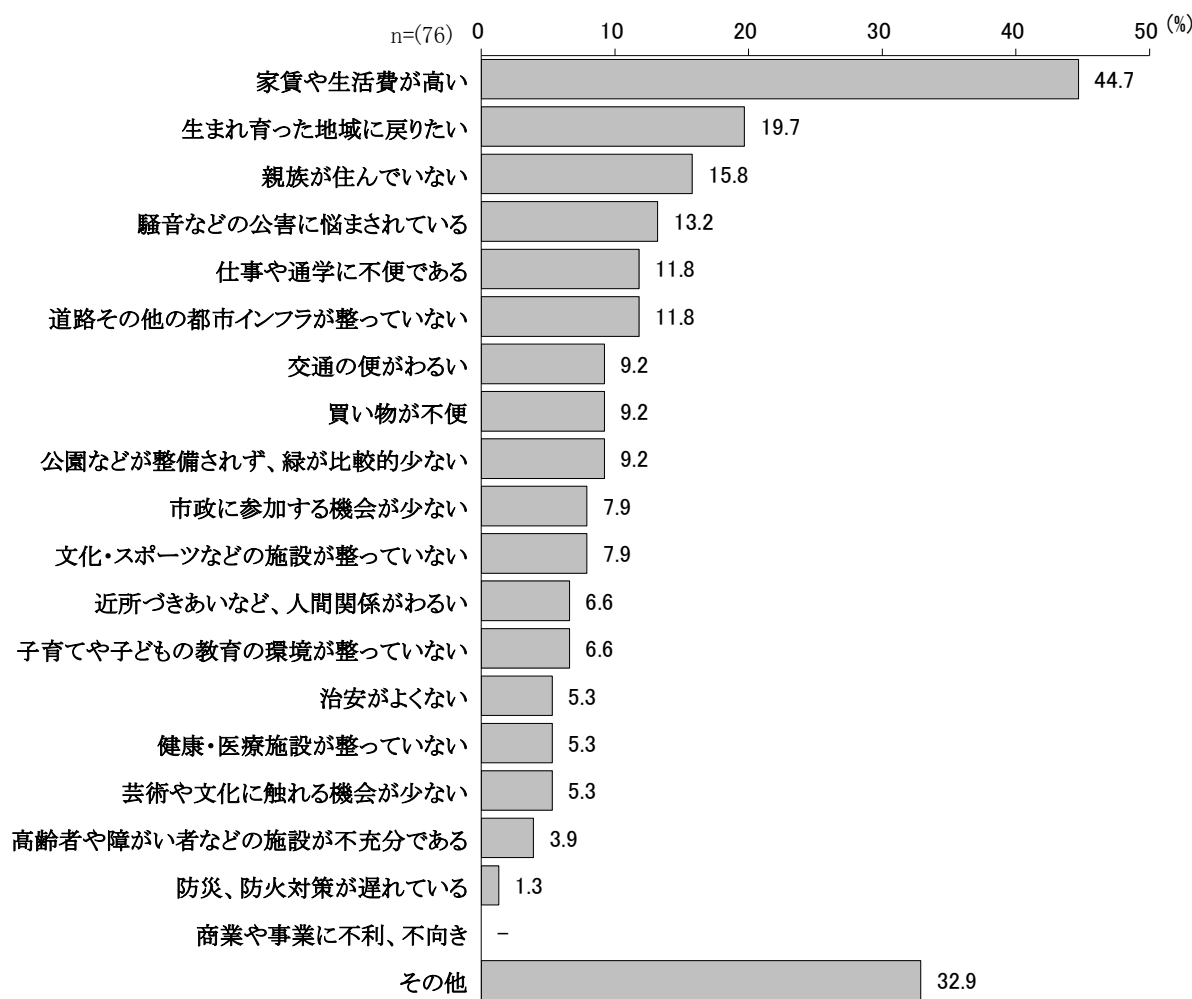
1-5 転出意向の理由

◎ 「家賃や生活費が高い」が4割台半ばと最も高い。

【問3で「武蔵野市以外のところへ移りたい」とお答えの方に】

問3-2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表1-22 転出意向の理由(複数回答)

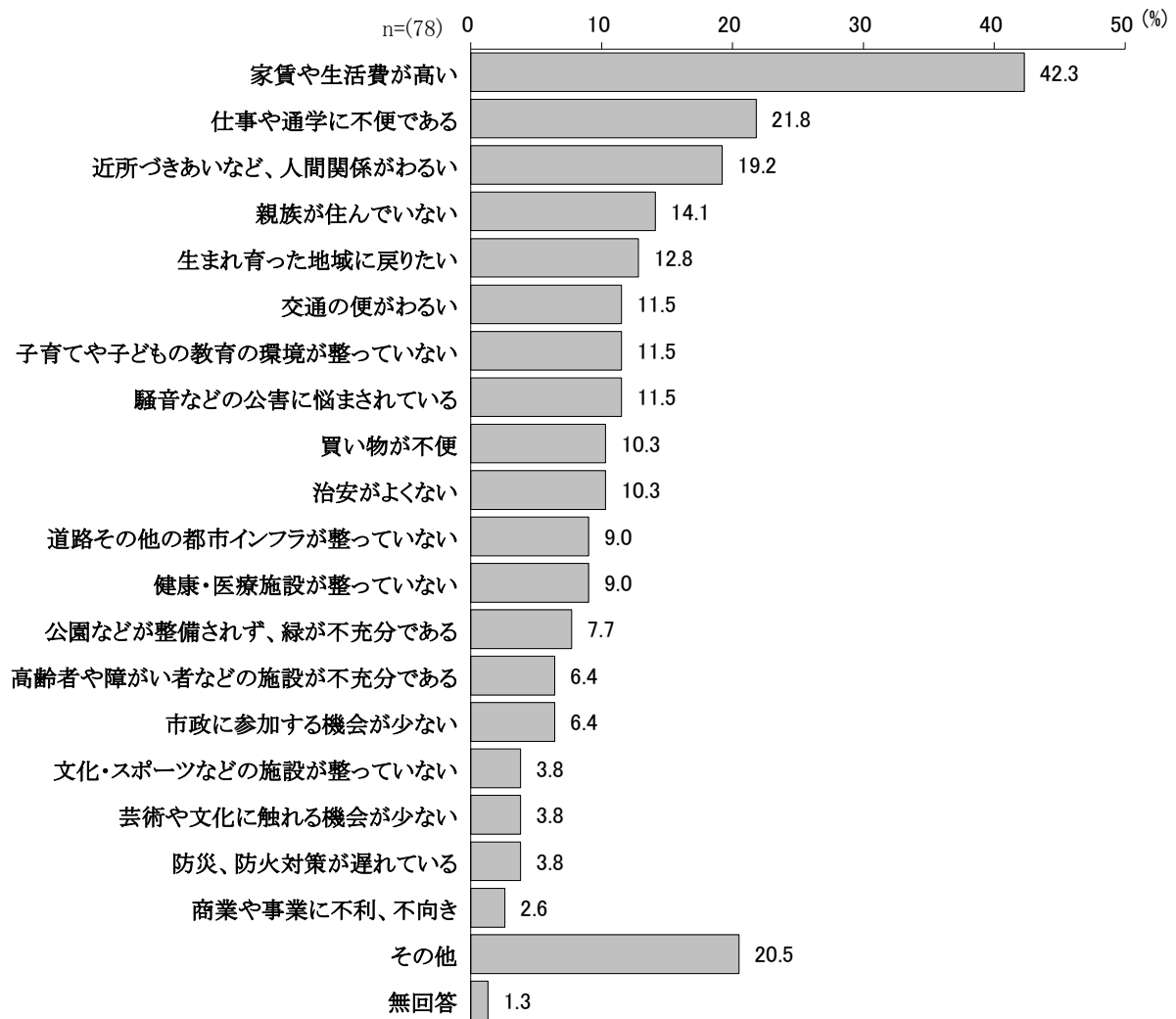


※回答者数は、他の設問の回答と比べて少ない

転出意向の理由としては、「家賃や生活費が高い」(44.7%)が、4割台半ばと最も高い。次いで、「生まれ育った地域に戻りたい」(19.7%)が約2割、「親族が住んでいない」(15.8%)が1割台半ば、「騒音などの公害に悩まされている」(13.2%)が1割台前半と続く。

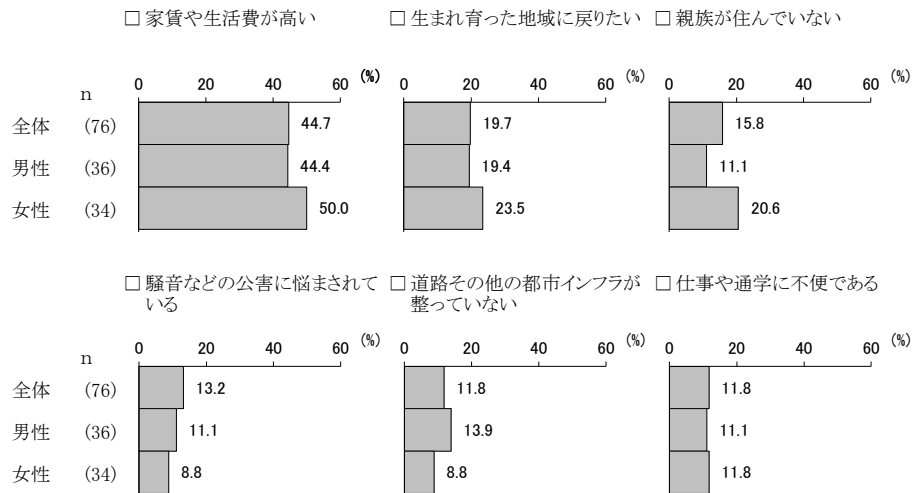
「その他」の主な内容は、「市政・市長がよくない」、「住宅事情がよくない」、「人が多すぎる」などが挙げられている。(図表1-22)

参考：令和2年度調査の結果



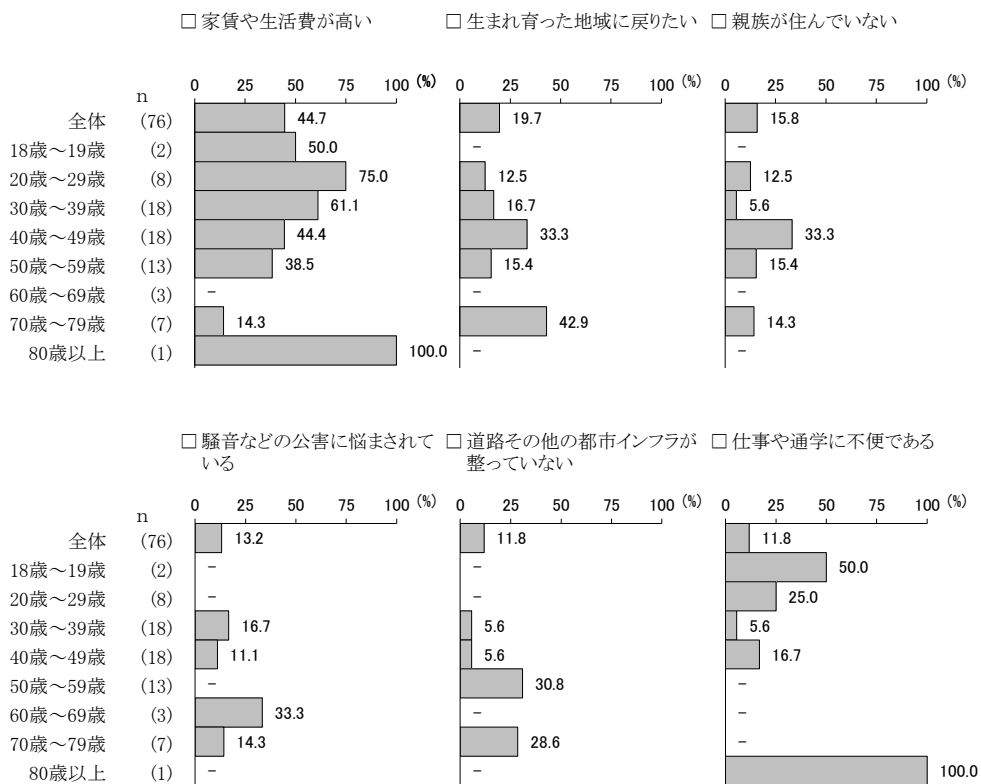
前回調査と比較すると、第1位は前回調査と同様の「家賃や生活費が高い」となっている。「生まれ育った地域に戻りたい」は6.9ポイント増加し第2位となっている。また、「近所づきあいなど、人間関係がわるい」は、12.6ポイント減少、「仕事や通学に不便である」は、10.0ポイント減少している。

図表1－23 転出意向の理由（性別）上位6項目



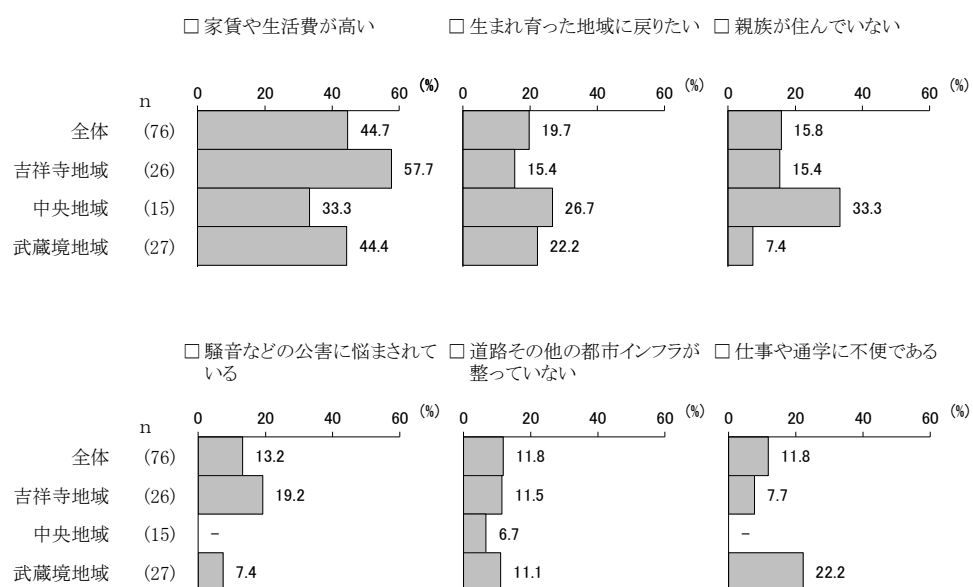
上位6項目について、性別で見ると、「親族が住んでいない」は、女性の方が男性より9.5ポイント高く、「道路その他の都市インフラが整っていない」は、男性の方が女性より5.1ポイント高い。（図表1－23）

図表1－24 転出意向の理由（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、回答者がごく少数の80歳以上を除くと、20歳～29歳で7割台半ば、30歳～39歳で6割台前半となっている。（図表1－24）

図表1－25 転出意向の理由（居住地域別）上位6項目



居住地域別で見ると、「家賃や生活費が高い」、「騒音などの公害に悩まされている」は、吉祥寺地域で高く、「仕事や通学に不便である」は、武蔵境地域で高くなっている。（図表1－25）

図表1－26 転出意向の理由（居住地域別）上位5項目

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		n=(76)	家賃や生活費が高い 44.7	生まれ育った地域に 戻りたい 19.7	親族が住んでいない 15.8	騒音などの公害に悩 まされている 13.2	道路その他の都市イン フラが整っていない 仕事や通学に不便で ある 11.8
居住地域別	吉祥寺地域		n=(26)	家賃や生活費が高い 57.7	騒音などの公害に 悩まされている 19.2	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 15.4	道路その他の都市イン フラが整っていない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 11.5
	吉祥寺東町		n=(5)	家賃や生活費が高い 60.0	生まれ育った地域に 戻りたい 騒音などの公害に 悩まされている 道路その他の都市イン フラが整っていない 買い物が不便 公園などが整備され ず、緑が比較的少ない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 20.0	-	-
	吉祥寺南町		n=(5)	家賃や生活費が高い 道路その他の都市イン フラが整っていない 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 40.0	-	騒音などの公害に 悩まされている 市政に参加する機会 が少ない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 治安がよくない 健康・医療施設が 整っていない 20.0	-
	御殿山		n=(2)	家賃や生活費が高い 100.0	親族が住んでいない 50.0	-	-
	吉祥寺本町		n=(7)	家賃や生活費が高い 71.4	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 騒音などの公害に 悩まされている 28.6	-	文化・スポーツなどの 施設が整っていない 14.3
	吉祥寺北町		n=(7)	家賃や生活費が高い 42.9	仕事や通学に不便で ある 28.6	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 騒音などの公害に 悩まされている 交通の便がわるい 健康・医療施設が 整っていない 芸術や文化に触れる 機会が少ない 高齢者や障がい者など の施設が不十分である 14.3	-

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居住地域別	中央地域 n=(15)	家賃や生活費が高い 親族が住んでいない 33.3	-	生まれ育った地域に 戻りたい 26.7	交通の便がわるい 買い物が不便 公園などが整備され ず、緑が比較的少ない 13.3	-
	中町 n=(5)	家賃や生活費が高い 公園などが整備され ず、緑が比較的少ない 40.0	-	-	-	-
	西久保 n=(4)	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 75.0	-	家賃や生活費が高い 50.0	交通の便がわるい 25.0	-
	緑町 n=(5)	親族が住んでいない 40.0	生まれ育った地域に 戻りたい 20.0	-	-	-
	八幡町 n=(1)	家賃や生活費が高い 道路その他の都市イ ンフラが整っていない 100.0	-	-	-	-
		買い物が不便	-	-	-	-

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
居住地域別	武蔵境地域 n=(27)	家賃や生活費が高い 44.4	生まれ育った地域に 戻りたい 仕事や通学に不便で ある 22.2	－	買い物が不便 子育てや子どもの教育 の環境が整っていない 14.8	－
	関前 n=(0)	－	－	－	－	－
	境 n=(13)	家賃や生活費が高い 46.2	仕事や通学に不便で ある 30.8	生まれ育った地域に 戻りたい 買い物が不便 15.4	－	親族が住んでいない 交通の便がわるい 公園などが整備され ず、緑が比較的少ない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 子育てや子どもの教育 の環境が整っていない 芸術や文化に触れる 機会が少ない 高齢者や障がい者など の施設が不十分である 7.7
	境南町 n=(7)	生まれ育った地域に 戻りたい 57.1	家賃や生活費が高い 42.9	道路その他の都市イン フラが整っていない 交通の便がわるい 公園などが整備され ず、緑が比較的少な い 子育てや子どもの教 育の環境が整ってい ない 治安がよくない 健康・医療施設が 整っていない 28.6	－	－
	桜堤 n=(7)	家賃や生活費が高い 42.9	市政に参加する機会 が少ない 28.6	親族が住んでいない 騒音などの公害に 悩まされている 仕事や通学に不便で ある 道路その他の都市イン フラが整っていない 買い物が不便 子育てや子どもの教 育の環境が整ってい ない 芸術や文化に触れる 機会が少ない 14.3	－	－

居住地域別（町別）で見ると、西久保、緑町、境南町以外の地域において、「家賃や生活費が高い」が第1位、八幡町で「道路その他の都市インフラが整っていない」と「買い物が不便」、吉祥寺南町で「道路その他の都市インフラが整っていない」と「近所づきあいなど、人間関係がわるい」、中町で「公園などが整備されず、緑が比較的少ない」も同率第1位となっている。（図表1－26）

図表1-27 転出意向の理由（職業別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体 n=(76)		家賃や生活費が高い 44.7	生まれ育った地域に 戻りたい 19.7	親族が住んでいない 15.8	騒音などの公害に悩 まされている 13.2	仕事や通学に不便で ある 道路その他の都市イ ンフラが整っていない 11.8
職業別	自営業・自由業 n=(7)	家賃や生活費が高い 42.9	親族が住んでいない 28.6	生まれ育った地域に 戻りたい 騒音などの公害に 悩まされている 仕事や通学に不便で ある 道路その他の都市イ ンフラが整っていない 交通の便がわるい 公園などが整備され ず、緑が比較的少な い 14.3	-	-
	正社員、正職員 n=(34)	家賃や生活費が高い 47.1	生まれ育った地域に 戻りたい 20.6	親族が住んでいない 仕事や通学に不便で ある 11.8	-	騒音などの公害に 悩まされている 道路その他の都市イ ンフラが整っていない 交通の便がわるい 買い物が不便 健康・医療施設が 整っていない 8.8
	契約社員、 派遣社員 n=(0)	-	-	-	-	-
	アルバイト、パート n=(3)	家賃や生活費が高い 100.0	騒音などの公害に 悩まされている 治安がよくない 66.7	-	生まれ育った地域に 戻りたい 公園などが整備され ず、緑が比較的少な い 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 健康・医療施設が 整っていない 高齢者や障がい者な どの施設が不十分で ある 33.3	-
	家事専業 n=(15)	家賃や生活費が高い 46.7	親族が住んでいない 33.3	生まれ育った地域に 戻りたい 26.7	買い物が不便 20.0	道路その他の都市イ ンフラが整っていない 交通の便がわるい 公園などが整備され ず、緑が比較的少な い 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 芸術や文化に触れる 機会が少ない 13.3

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
職業別	学生 n=(4)	家賃や生活費が高い 仕事や通学に不便である 50.0	-	生まれ育った地域に戻りたい 市政に参加する機会が少ない 文化・スポーツなどの施設が整っていない 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 25.0	-	-
	無職 n=(5)	家賃や生活費が高い 近所づきあいなど、人間関係がわるい 40.0	-	生まれ育った地域に戻りたい 仕事や通学に不便である 道路その他の都市インフラが整っていない 買い物が不便 市政に参加する機会が少ない 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 20.0	-	-
	その他 n=(2)	道路その他の都市インフラが整っていない 市政に参加する機会が少ない 文化・スポーツなどの施設が整っていない 近所づきあいなど、人間関係がわるい 50.0	-	-	-	-

職業別で見ると、「家賃や生活費が高い」は、その他を除くすべての職業で第1位となっている。「仕事や通学に不便である」は、学生で同率第1位、「近所づきあいなど、人間関係がわるい」は、無職で同率第1位となっている。（図表1-27）

図表1－28 転出意向の理由（居住年数別）上位5項目

（％）

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体 n=(76)		家賃や生活費が高い 44.7	生まれ育った地域に 戻りたい 19.7	親族が住んでいない 15.8	騒音などの公害に 悩まされている 13.2	仕事や通学に不便で ある 道路その他の都市イ ンフラが整っていない 11.8
居住年数	1年未満 n=(4)	家賃や生活費が高い 50.0	－	騒音などの公害に 悩まされている 25.0	－	－
	1年～5年未満 n=(18)	家賃や生活費が高い 50.0	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 22.2	－	仕事や通学に不便で ある 16.7	買い物が不便 公園などが整備され ず、緑が比較的少ない 11.1
	5年～10年未満 n=(8)	家賃や生活費が高い 50.0	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 25.0	－	仕事や通学に不便で ある 公園などが整備され ず、緑が比較的少ない 市政に参加する機会 が少ない 子育てや子どもの教育 の環境が整っていない 12.5	－
	10年～15年未満 n=(10)	家賃や生活費が高い 50.0	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 騒音などの公害に 悩まされている 仕事や通学に不便で ある 交通の便がわるい 芸術や文化に触れる 機会が少ない 20.0	－	－	－
	15年～20年未満 n=(8)	家賃や生活費が高い 50.0	騒音などの公害に 悩まされている 25.0	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 治安がよくない 12.5	－	－
	20年以上 n=(21)	家賃や生活費が高い 42.9	道路その他の都市イ ンフラが整っていない 28.6	買い物が不便 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 19.0	－	生まれ育った地域に 戻りたい 交通の便がわるい 公園などが整備され ず、緑が比較的少ない 健康・医療施設が整 っていない 14.3

居住年数別で見ると、すべての年数で「家賃や生活費が高い」が最も高く、1年未満で「生まれ育った地域に戻りたい」も同率第1位となっている。（図表1－28）

図表1－29 転出意向の理由（住宅の種類別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体 n=(76)		家賃や生活費が高い 44.7	生まれ育った地域に 戻りたい 19.7	親族が住んでいない 15.8	騒音などの公害に 悩まされている 13.2	仕事や通学に不便で ある 道路その他の都市イ ンフラが整っていない 11.8
住宅の 種類	持ち家(戸建て) n=(17)	家賃や生活費が高い 23.5	-	道路その他の都市イ ンフラが整っていない 公園などが整備され ず、緑が比較的少な い 市政に参加する機会 が少ない 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 近所づきあいなど、 人間関係がわるい 17.6	-	-
	持ち家(マンション 等の集合住宅) n=(8)	家賃や生活費が高い 37.5	-	-	道路その他の都市イ ンフラが整っていない 交通の便がわるい 買い物が不便 公園などが整備され ず、緑が比較的少な い 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 治安がよくない 芸術や文化に触れる 機会が少ない 高齢者や障がい者な どの施設が不十分で ある 防災、防火対策が遅 れている 12.5	-
	借家(戸建て) n=(2)	生まれ育った地域に 戻りたい 公園などが整備され ず、緑が比較的少な い 子育てや子どもの教 育の環境が整ってい ない 50.0	-	-	-	-
	借家(マンション・ア パート等の集合住 宅) n=(36)	家賃や生活費が高い 66.7	親族が住んでいない 16.7	生まれ育った地域に 戻りたい 買い物が不便 13.9	-	仕事や通学に不便で ある 11.1
	社宅・寮 n=(6)	家賃や生活費が高い 騒音などの公害に 悩まされている 仕事や通学に不便で ある 33.3	-	-	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 16.7	-

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
	その他 (福祉施設など) n=(0)	-	-	-	-	-

住宅の種類別で見ると、借家（戸建て）以外の種類で「家賃や生活費が高い」が第1位、持ち家（マンション等の集合住宅）で「生まれ育った地域に戻りたい」と「親族が住んでいない」、社宅・寮で「騒音などの公害に悩まされている」と「仕事や通学に不便である」、持ち家（戸建て）で「生まれ育った地域に戻りたい」も同率第1位となっている。（図表1-29）

図表1－30 転出意向の理由（世帯収入別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体 n=(76)		家賃や生活費が高い 44.7	生まれ育った地域に 戻りたい 19.7	親族が住んでいない 15.8	騒音などの公害に 悩まされている 13.2	仕事や通学に不便で ある 道路その他の都市イ ンフラが整っていない 11.8
世帯 収入別	収入なし n=(1)	家賃や生活費が高い 文化・スポーツなどの 施設が整っていない 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －
	100万円未満 n=(3)	家賃や生活費が高い 66.7	騒音などの公害に 悩まされている 治安がよくない 33.3	－ －	－ －	－ －
	100～300万円 未満 n=(9)	家賃や生活費が高い 66.7	買い物が不便 33.3	生まれ育った地域に 戻りたい 騒音などの公害に 悩まされている 公園などが整備され ず、緑が比較的少な い 22.2	－ －	－ －
	300～500万円 未満 n=(11)	家賃や生活費が高い 63.6	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 仕事や通学に不便で ある 交通の便がわるい 27.3	－ －	－ －	－ －
	500～700万円 未満 n=(9)	家賃や生活費が高い 66.7	生まれ育った地域に 戻りたい 親族が住んでいない 22.2	－ －	仕事や通学に不便で ある 道路その他の都市イ ンフラが整っていない 交通の便がわるい 買い物が不便 近所づきあいなど、人 間関係がわるい 健康・医療施設が 整っていない 芸術や文化に触れる 機会が少ない 高齢者や障がい者な どの施設が不充分で ある 11.1	－ －
	700～1,000万円 未満 n=(15)	家賃や生活費が高い 40.0	生まれ育った地域に 戻りたい 仕事や通学に不便で ある 道路その他の都市イ ンフラが整っていない 公園などが整備され ず、緑が比較的少な い 13.3	－ －	－ －	－ －

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
世帯収入別	1,000～1,500万円未満 n=(10)		生まれ育った地域に戻りたい 40.0	家賃や生活費が高い 30.0 親族が住んでいない	－	市政に参加する機会が少ない 20.0	仕事や通学に不便である 10.0 公園などが整備されず、緑が比較的少ない 子育てや子どもの教育の環境が整っていない 高齢者や障がい者などの施設が不十分である
	1,500万円以上 n=(7)		道路その他の都市インフラが整っていない 28.6	家賃や生活費が高い 14.3 騒音などの公害に悩まされている 交通の便がわるい 公園などが整備されず、緑が比較的少ない 市政に参加する機会が少ない 文化・スポーツなどの施設が整っていない 近所づきあいなど、人間関係がわるい	－ －	－ －	－

世帯収入別で見ると、1,000～1,500万円未満、1,500万円以上を除いた世帯で「家賃や生活費が高い」が第1位、収入なしで「文化・スポーツなどの施設が整っていない」も同率第1位となっている。（図表1－30）

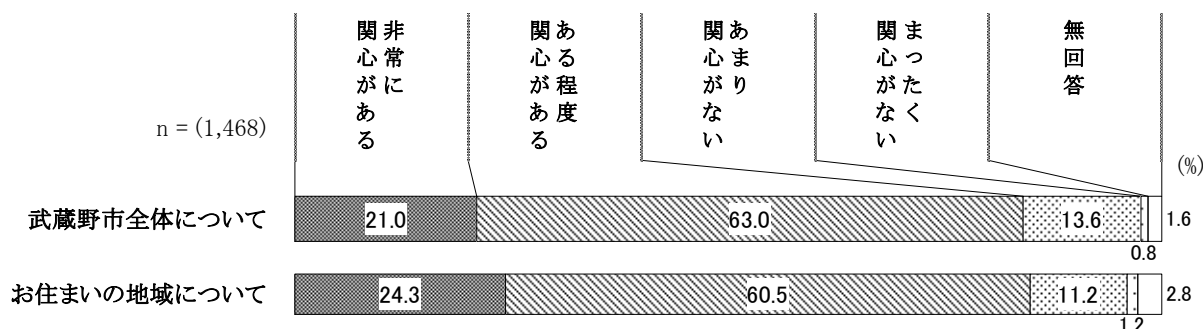
1-6 地域への関心度

◎ 「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」で『関心がある』がともに8割台半ばである。

問4 あなたは、武蔵野市全体のできごとにどの程度関心をお持ちですか。

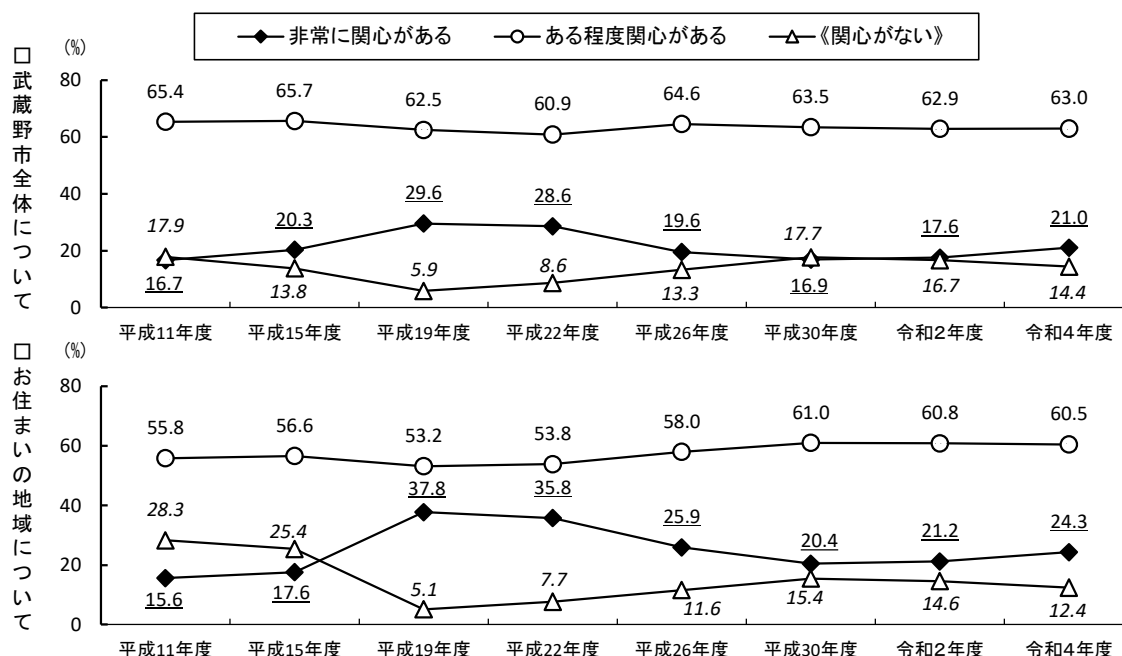
また、お住まいの地域のできごとについてはいかがですか。(○はそれぞれ1つ)

図表1-31 地域への関心度



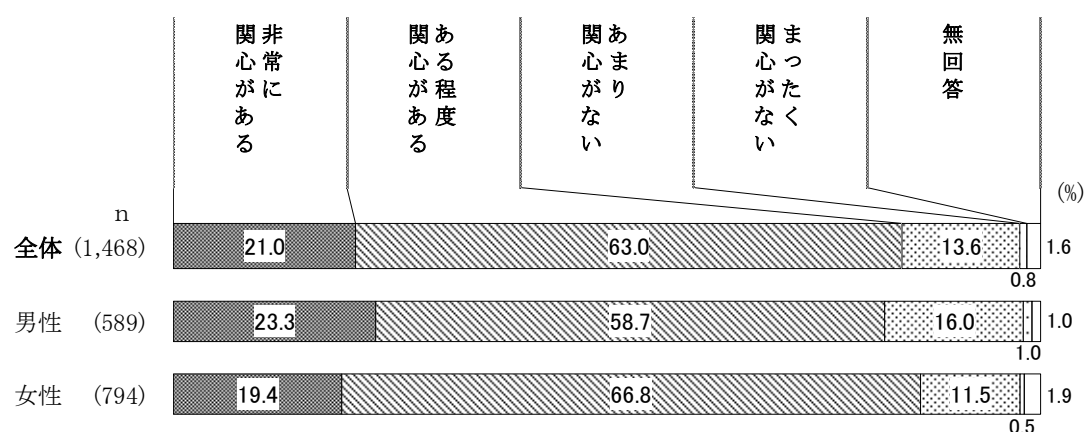
地域への関心度について見ると、「非常に興味がある」＋「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』の割合は、「武蔵野市全体について」(84.0%)、「お住まいの地域について」(84.8%)双方で8割台半ばとなっている。(図表1-31)

図表1-32 地域への関心度(経年比較)

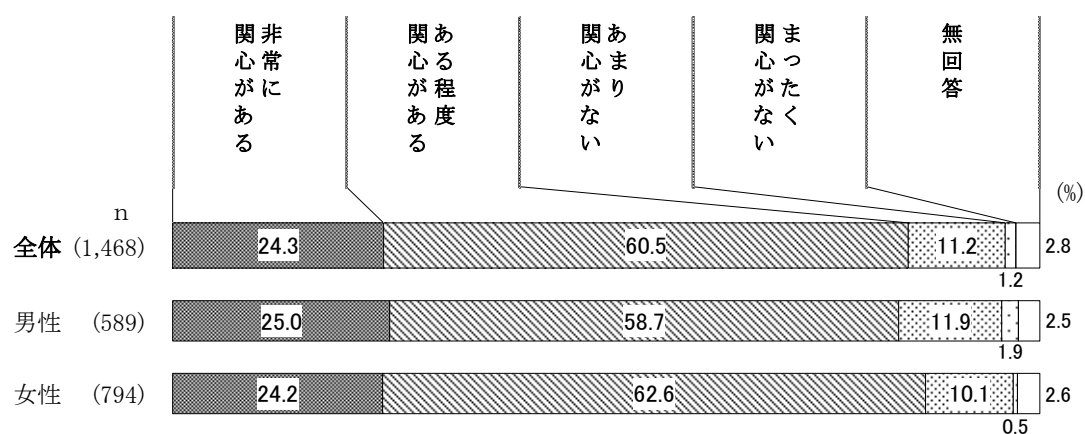


過去の調査と比較すると、「武蔵野市全体について」では、「非常に興味がある」は、令和2年度と比べ3.4ポイント増加している。一方、『関心がない』（「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」）は、2.3ポイント減少している。「お住まいの地域について」では、「非常に興味がある」は令和2年度と比べ3.1ポイント増加、『関心がない』は2.2ポイント減少している。(図表1-32)

図表1－33 地域への関心度・武蔵野市全体について（性別）

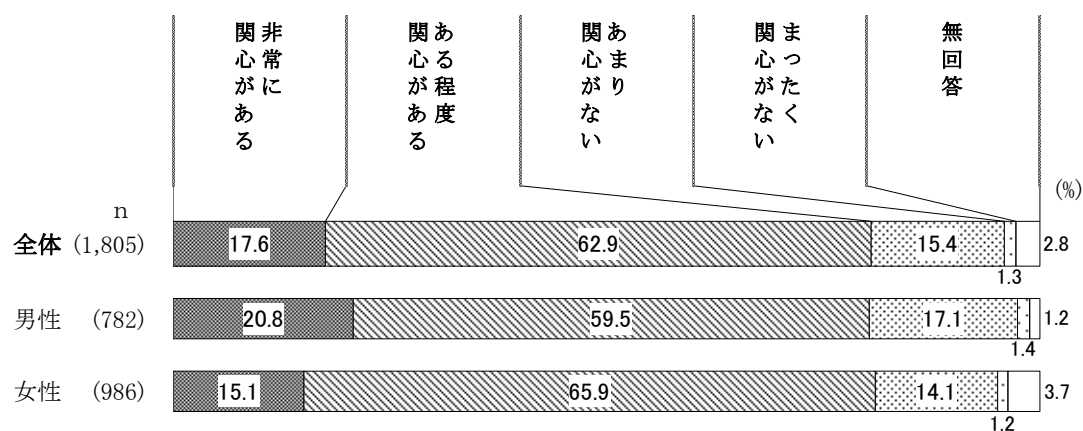


図表1－34 地域への関心度・お住まいの地域について（性別）

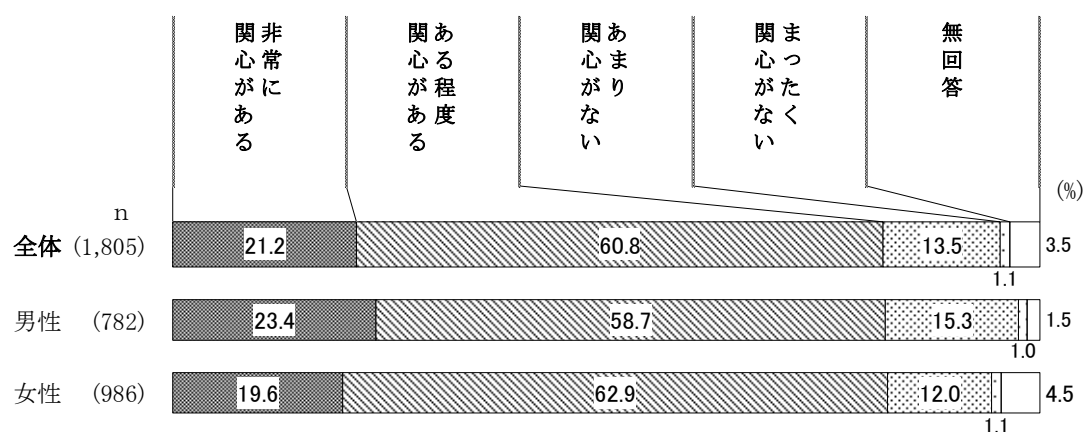


性別で見ると、「非常に関心がある」は、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」ともに、女性より男性が高くなっており、「武蔵野市全体について」で男性の方が女性より3.9ポイント、「お住まいの地域について」で男性の方が女性より0.8ポイント高くなっている。（図表1－33、図表1－34）

武蔵野市全体について（性別）

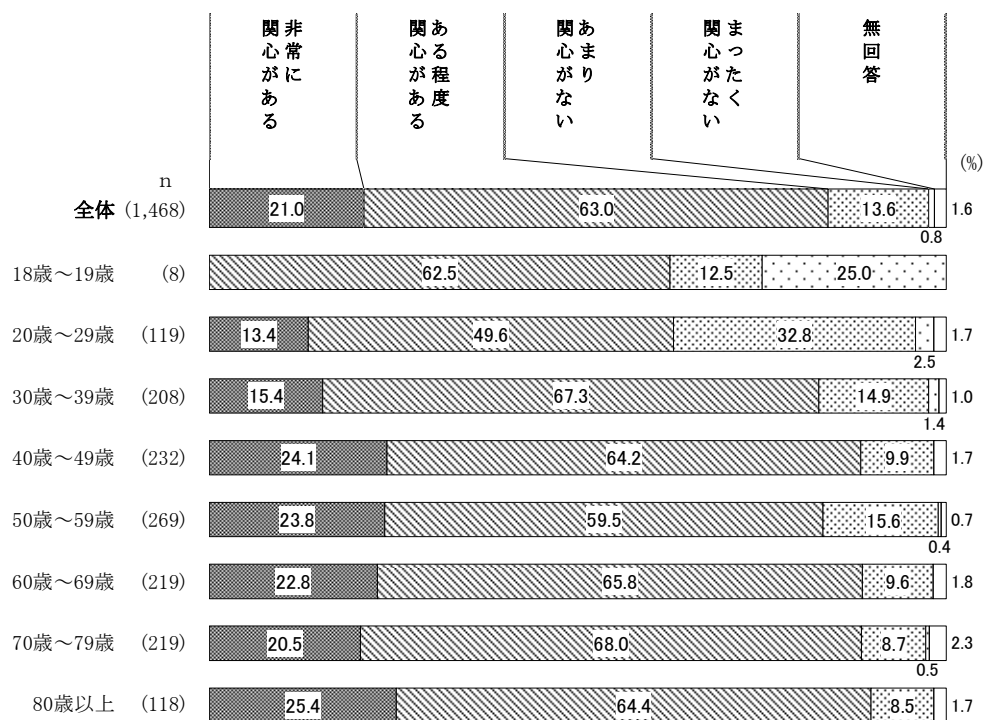


お住まいの地域について（性別）

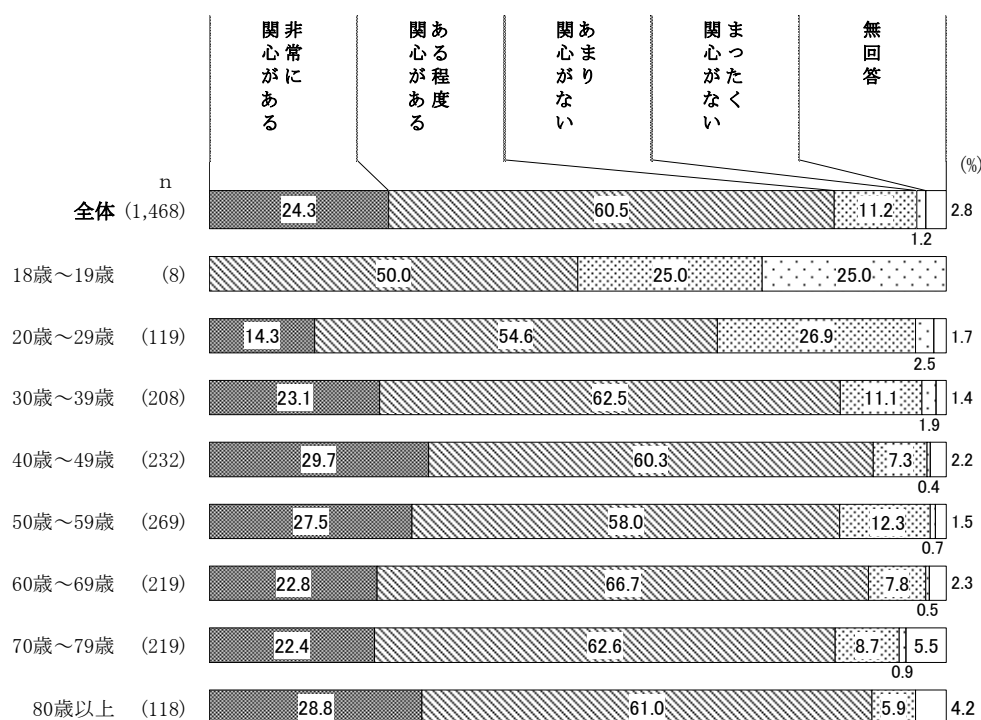


前回調査と比較すると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」ともに、男女とも「非常に関心がある」の割合が増加している。

図表1－35 地域への関心度・武蔵野市全体について（年代別）

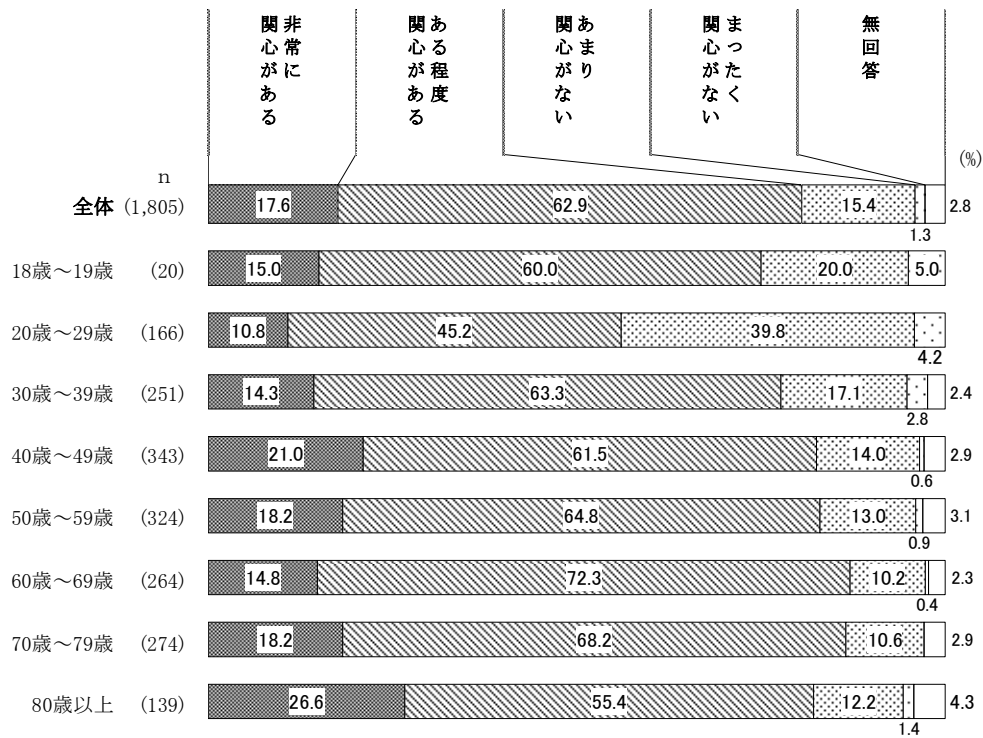


図表1－36 地域への関心度・お住まいの地域について（年代別）

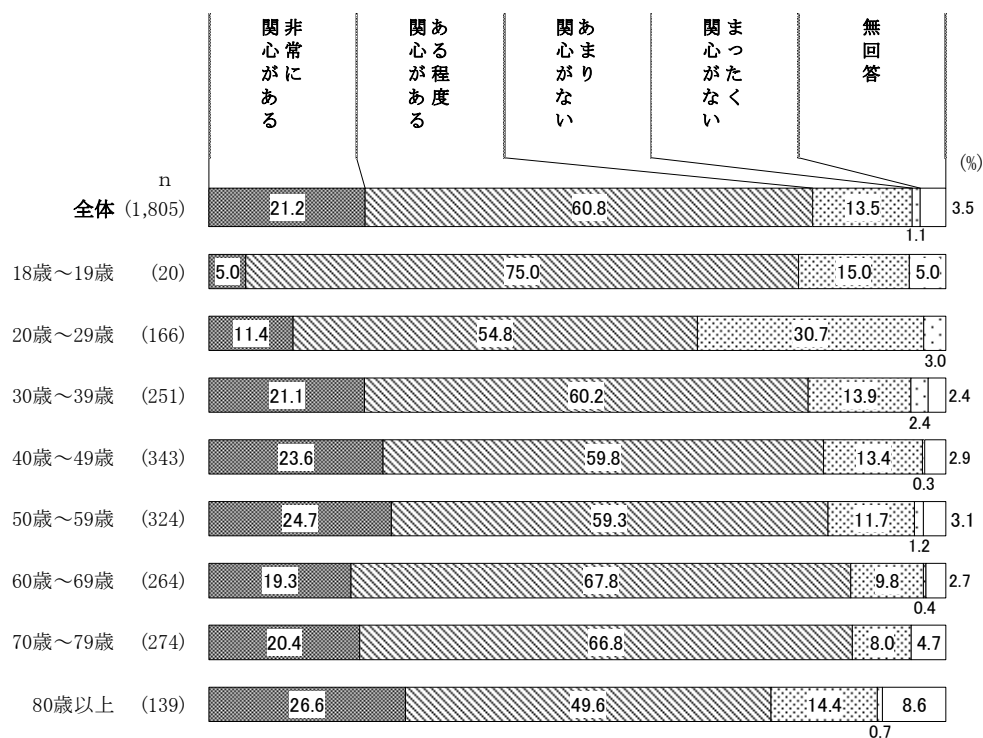


年代別で見ると、「武蔵野市全体について」では、『関心がある』は、80歳以上で約9割、60歳～69歳、70歳～79歳、40歳～49歳では8割台後半となっており、50歳～59歳、30歳～39歳で8割台前半となっている。「お住まいの地域について」では、『関心がある』は40歳～49歳で9割、80歳以上、60歳～69歳で約9割となっており、30歳～39歳、50歳～59歳、70歳～79歳で8割台半ばとなっている。（図表1－35、図表1－36）

武蔵野市全体について（年代別）

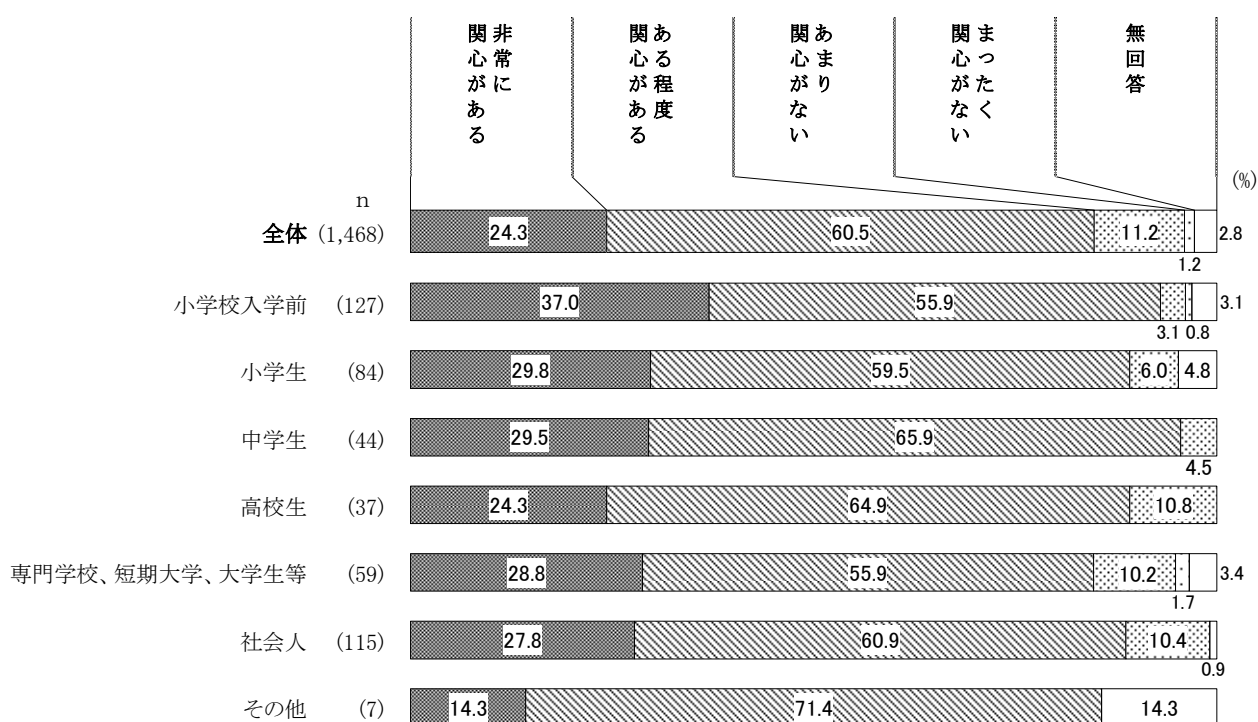


お住まいの地域について（年代別）



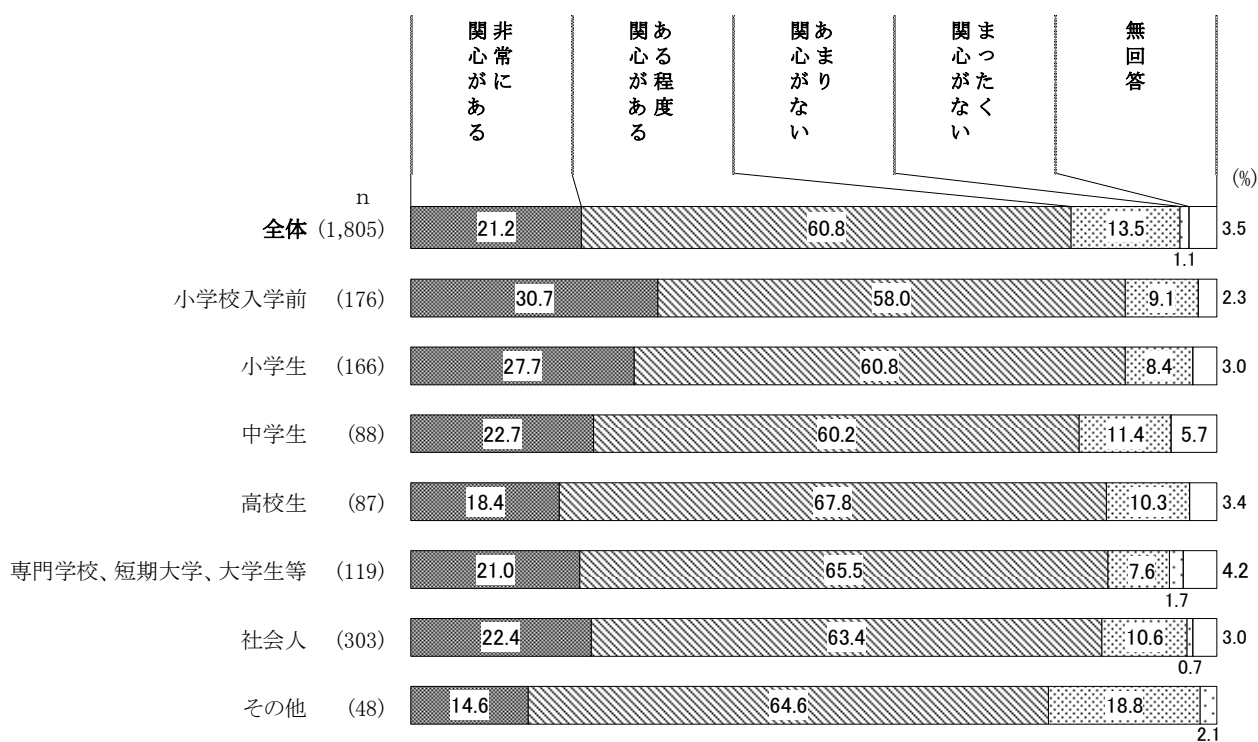
前回調査と比較すると、「武蔵野市全体について」では「非常に関心がある」は、60歳～69歳で8.0ポイント、50歳～59歳で5.6ポイントの増加となっている。「お住まいの地域について」では、「非常に関心がある」は、40歳～49歳で6.1ポイントの増加、60歳～69歳で3.5ポイントの増加となっている。

図表1－37 地域への関心度・お住まいの地域について（子どもの就学状況別）



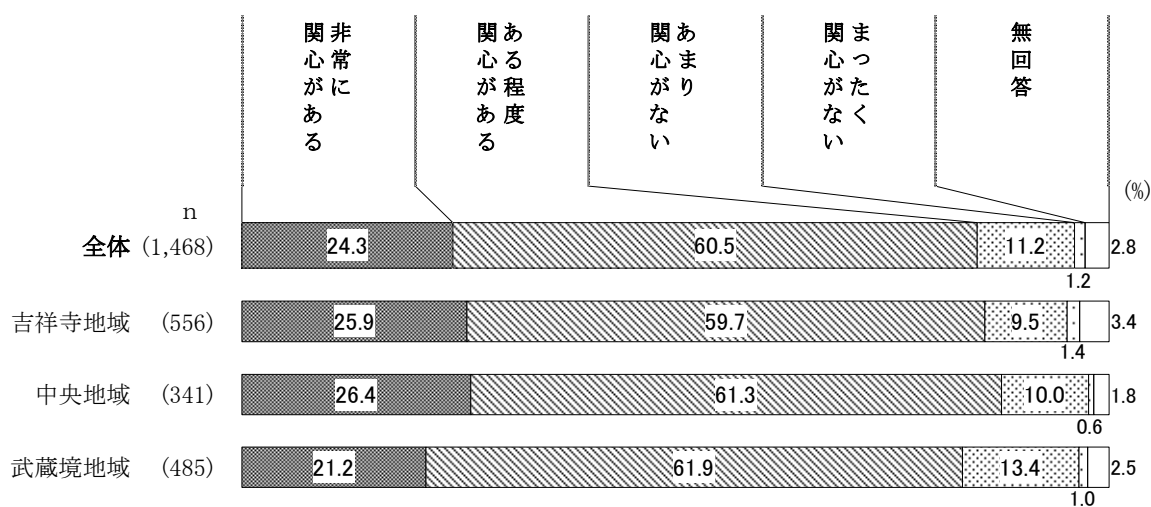
〔お住まいの地域について〕子どもの就学状況別で見ると、『関心がある』は、中学生及び小学校入学前の子を持つ方で9割台となっている。（図表1－37）

参考：令和2年度調査の結果



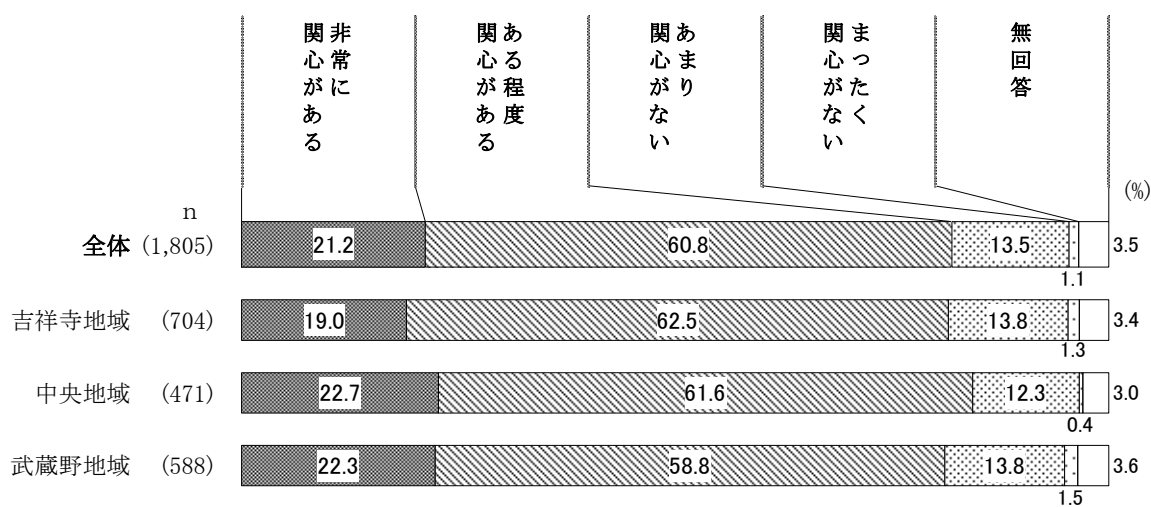
〔お住まいの地域について〕前回調査と比較すると、「非常に関心がある」は、専門学校、短期大学、大学生等で7.8ポイント増加、中学生で6.8ポイント増加している。

図表1－38 地域への関心度・お住まいの地域について（居住地域別）



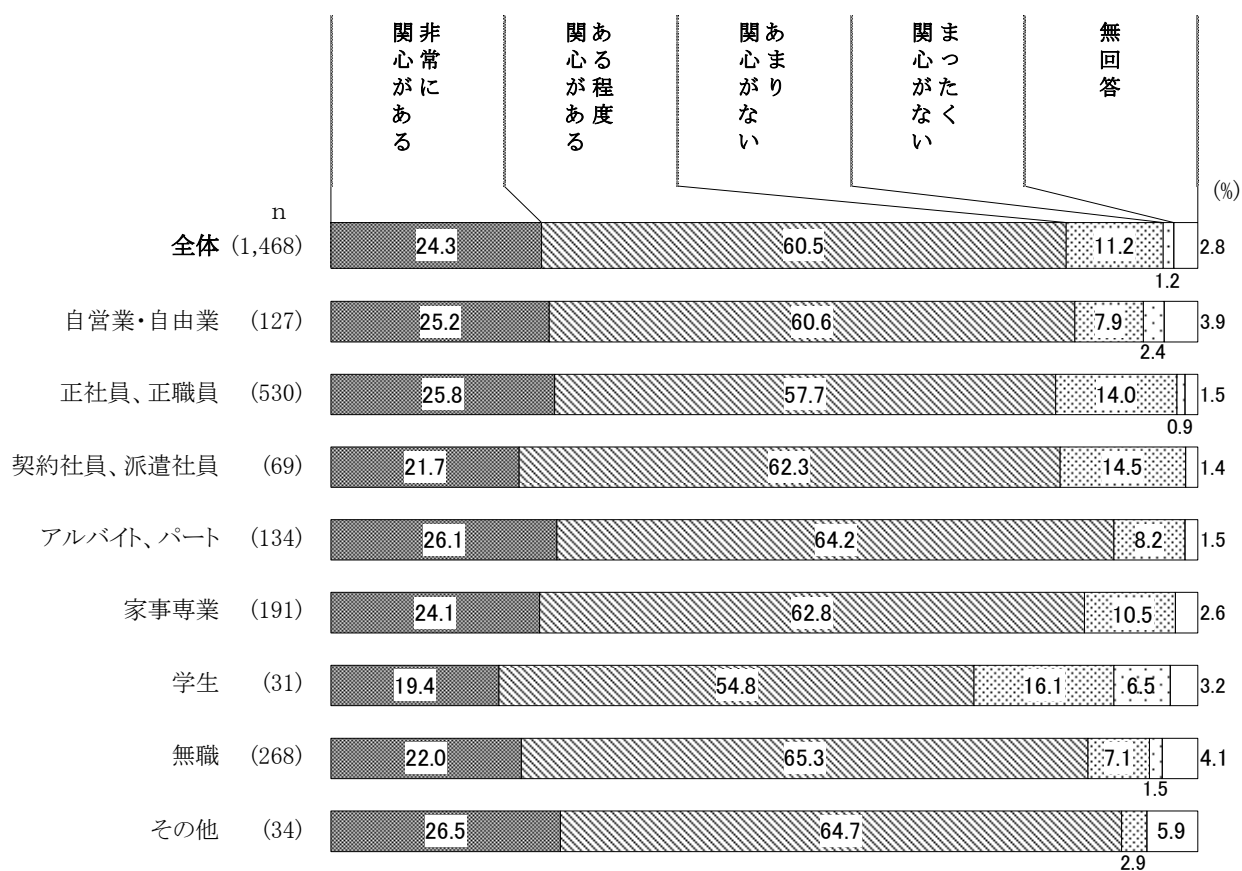
〔お住まいの地域について〕居住地域別で見ると、『関心がある』は、中央地域で8割台後半、吉祥寺地域で8割台半ば、武蔵境地域で8割台前半となっている。（図表1－38）

参考：令和2年度調査の結果



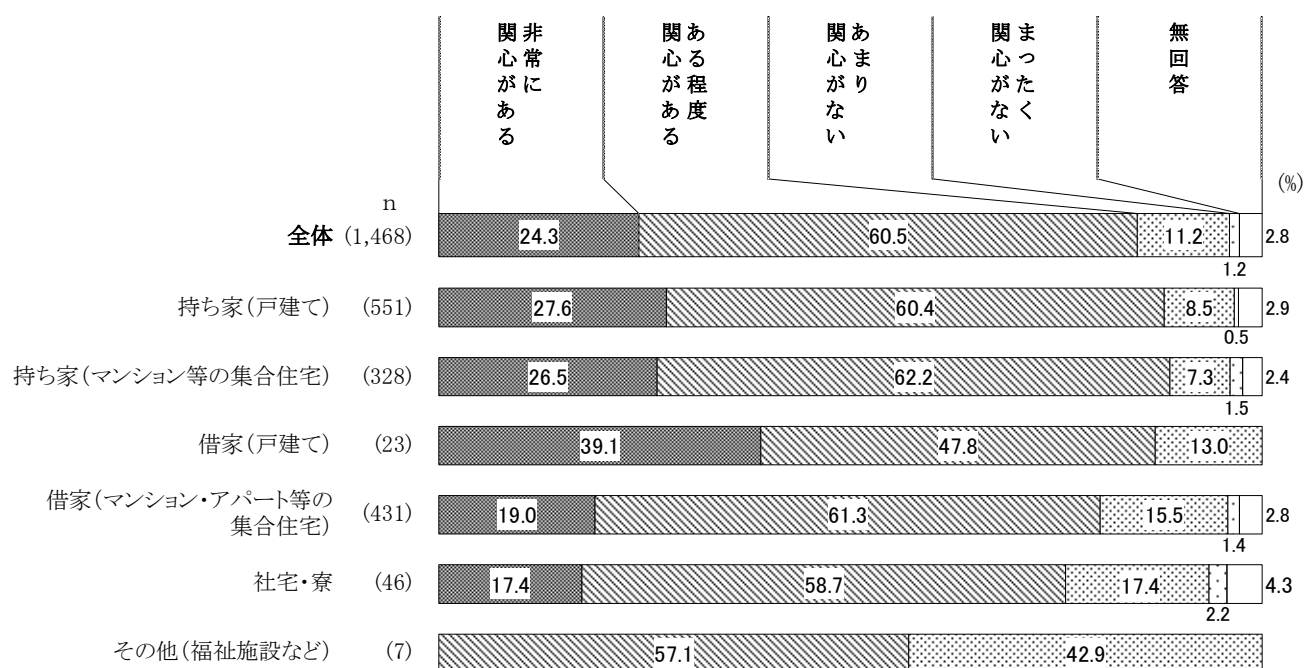
〔お住まいの地域について〕前回調査と比較すると、「非常に興味がある」は、吉祥寺地域で6.9ポイント増加、中央地域で3.7ポイント増加、武蔵境地域で1.1ポイント減少している。

図表1－39 地域への関心度・お住まいの地域について（職業別）



〔お住まいの地域について〕職業別で見ると、『関心がある』は、その他、アルバイト、パートで9割台と高く、無職、家事専業で8割台後半となっている。一方、学生では7割台半ばと他に比べて低くなっている。（図表1－39）

図表1－40 地域への関心度・お住まいの地域について（住宅の種類別）



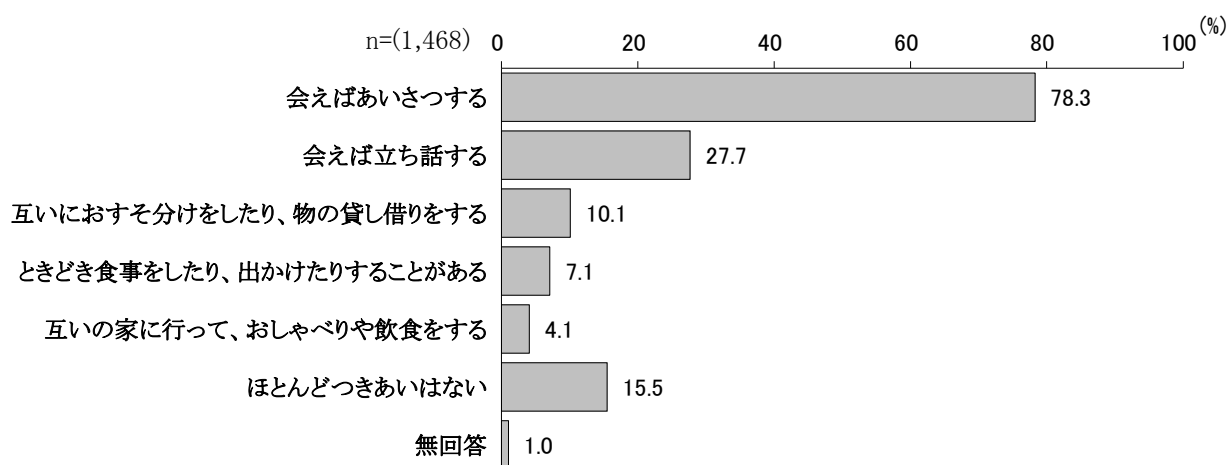
〔お住まいの地域について〕住宅の種類別で見ると、『関心がある』は、持ち家（マンション等の集合住宅）、持ち家（戸建て）、借家（戸建て）で8割台後半、借家（マンション・アパート等の集合住宅）で8割、社宅・寮で7割台後半となっている。（図表1－40）

1-7 近隣との交際状況

◎ 「会えばあいさつする」が7割台後半、「会えば立ち話する」が2割台後半である。

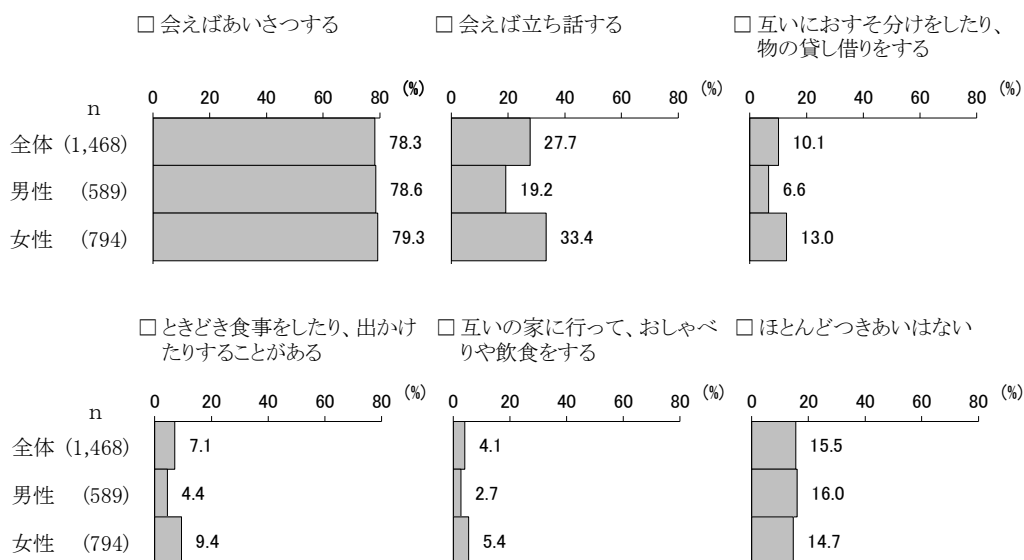
問5 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(〇はいくつでも)

図表1-41 近隣との交際状況(複数回答)



近隣との交際は、「会えばあいさつする」(78.3%)が7割台後半と最も高く、次いで、「会えば立ち話する」(27.7%)が2割台後半となっている。(図表1-41)

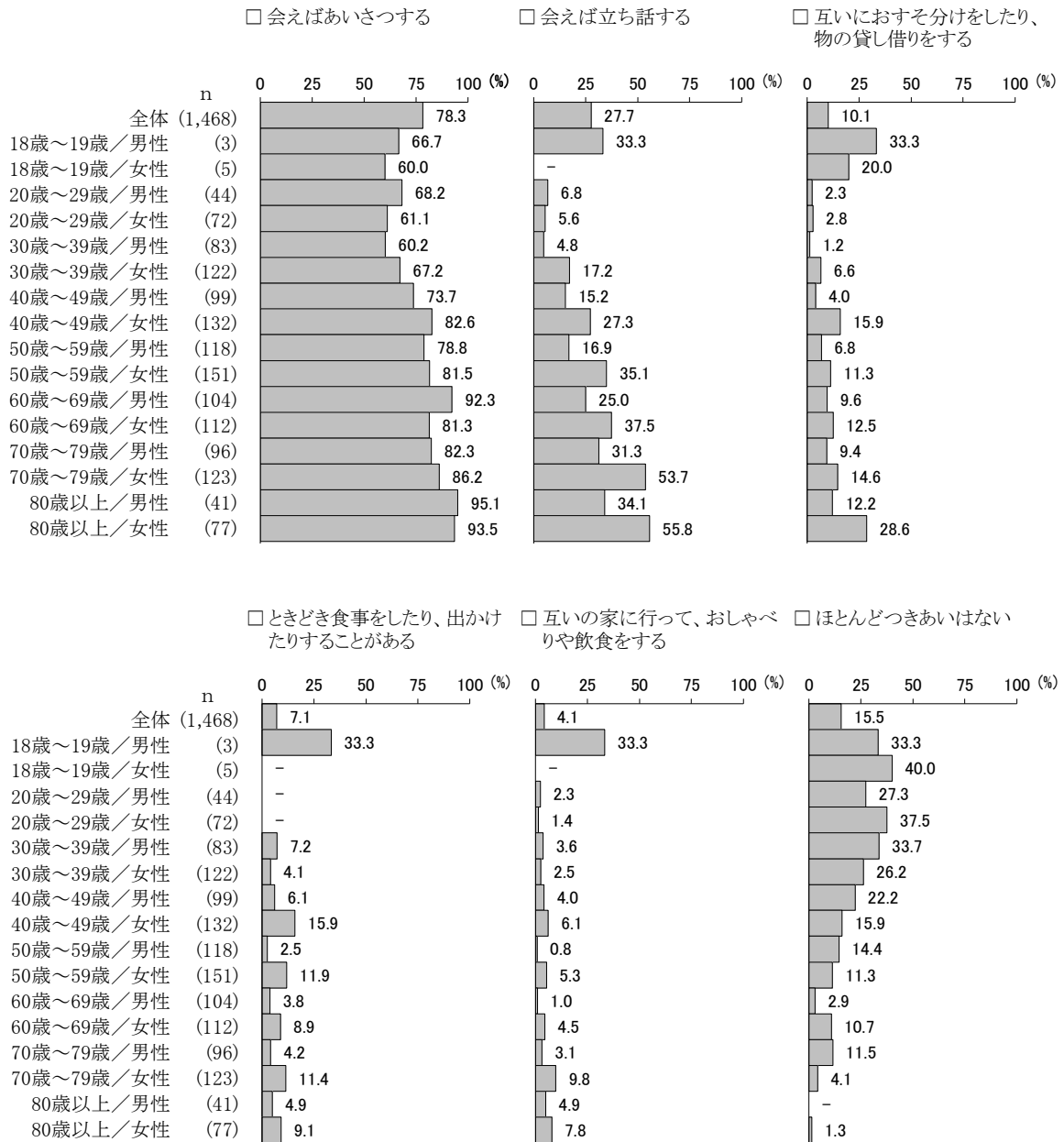
図表1-42 近隣との交際状況(性別)



性別で見ると、「会えば立ち話する」は、女性の方が男性より14.2ポイント高く、「互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする」は、女性の方が男性より6.4ポイント高い。「ときどき食事をしたり、出かけたりすることがある」は、女性の方が男性より5.0ポイント高くなっている。

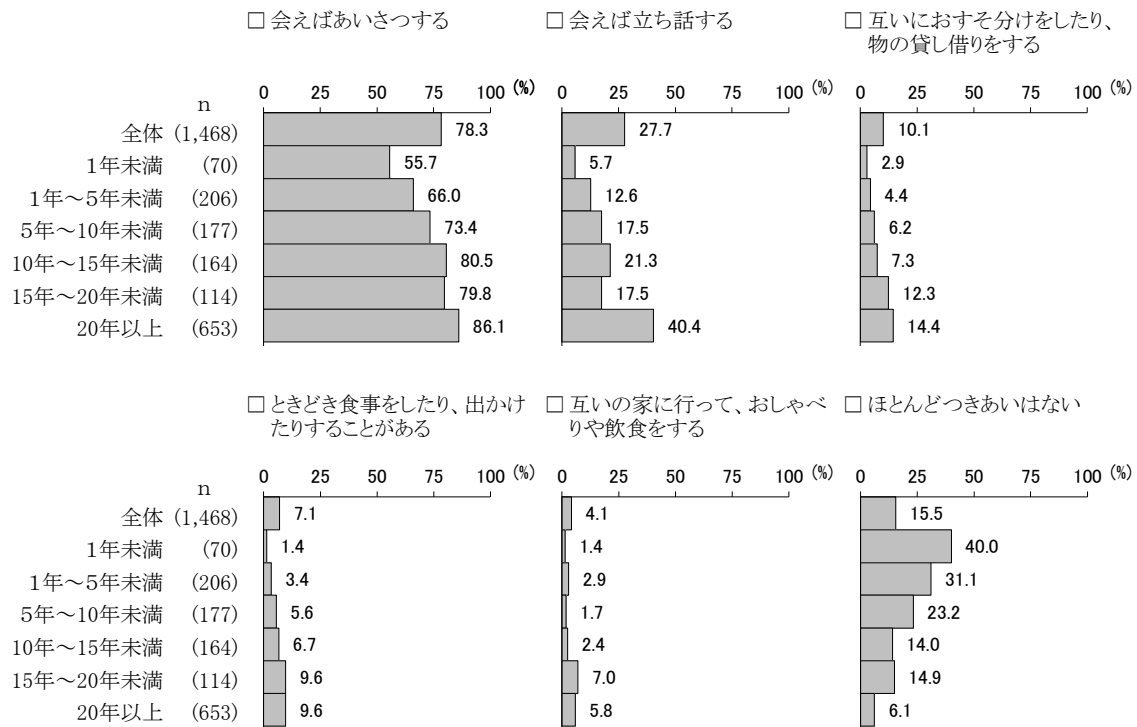
一方で、「ほとんどつきあいはない」は男性の方が女性より1.3ポイント高くなっている。(図表1-42)

図表1－43 近隣との交際状況（性／年代別）



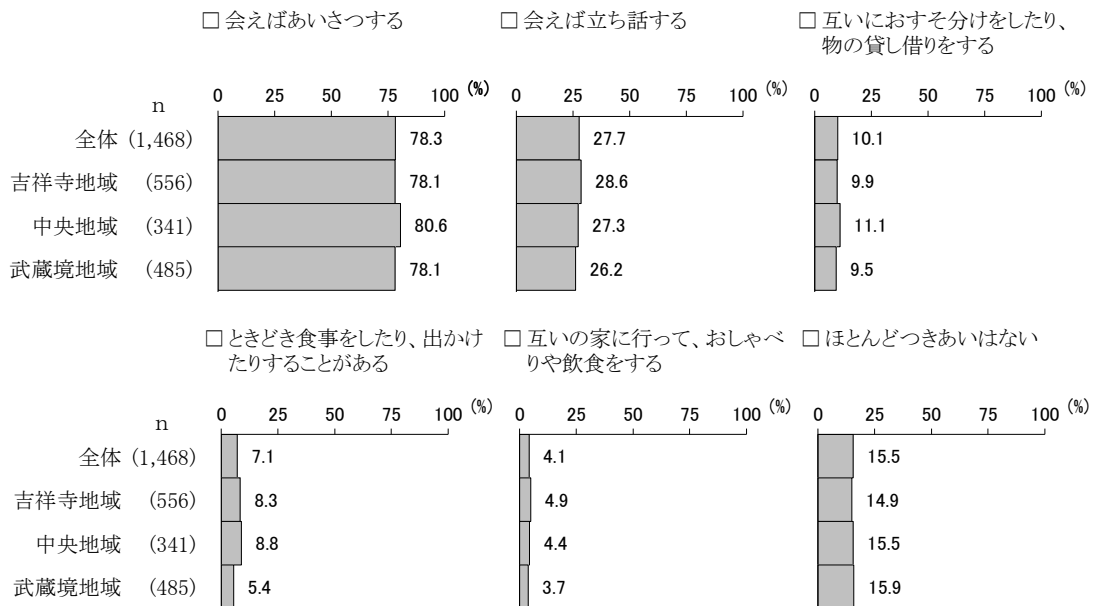
性／年代別で見ると、「会えばあいさつする」は、男女ともに60歳～80歳以上で8割以上となっており、男女ともに80歳以上、男性の60歳～69歳で9割台と高くなっている。一方、男女ともに18歳～39歳で6割台となっている。「会えば立ち話をする」は、男女ともに年代が上がるほど増加する傾向となっている。「ほとんどつきあいはない」は、女性の20歳～29歳で3割台後半、男性の30歳～39歳で3割台前半と高くなっている。（図表1－43）

図表1－44 近隣との交際状況（居住年数別）



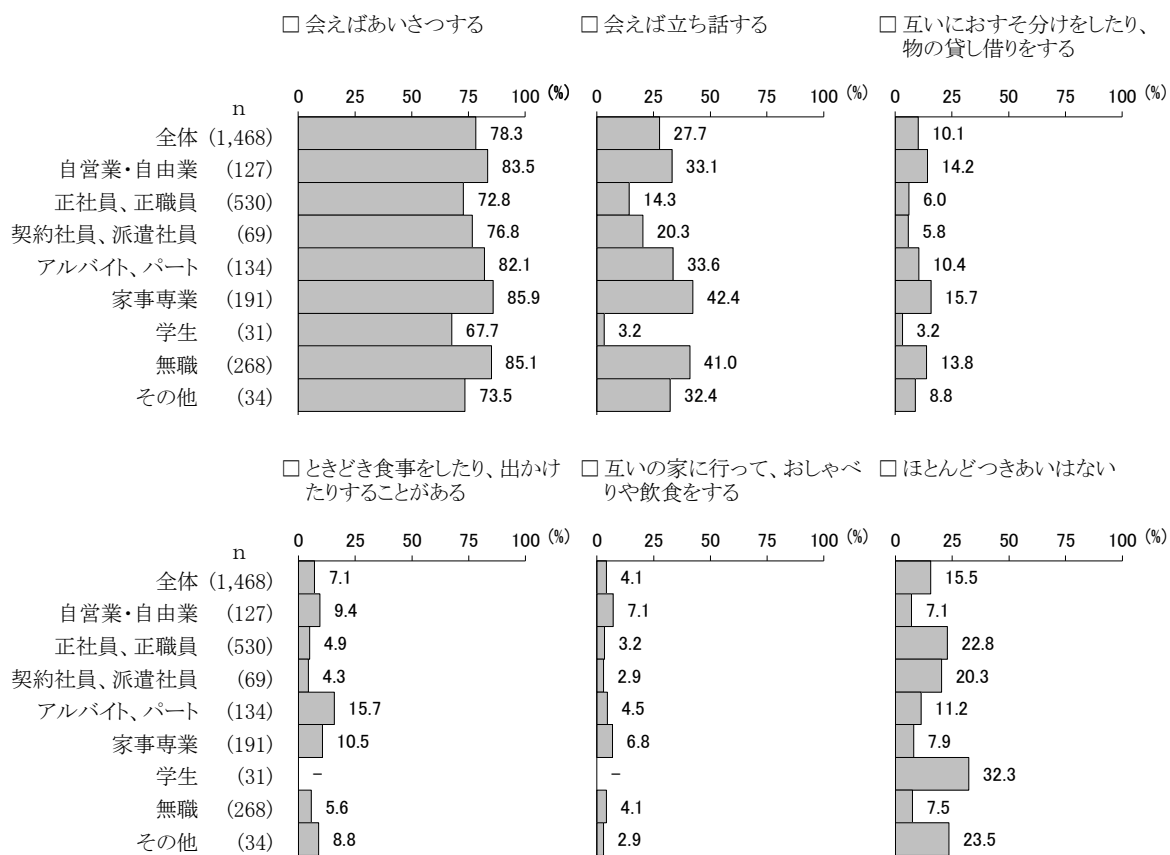
居住年数別で見ると、「会えばあいさつする」は居住年数が長いほど高くなる傾向にあり、20年以上で8割台後半、10年～15年未満では8割を超えている。「会えば立ち話する」は、20年以上で4割と最も高くなっている。一方、「ほとんどつきあいはない」は居住年数が短いほど高くなる傾向にあり、1年未満で4割となっている。（図表1－44）

図表1－45 近隣との交際状況（居住地域別）



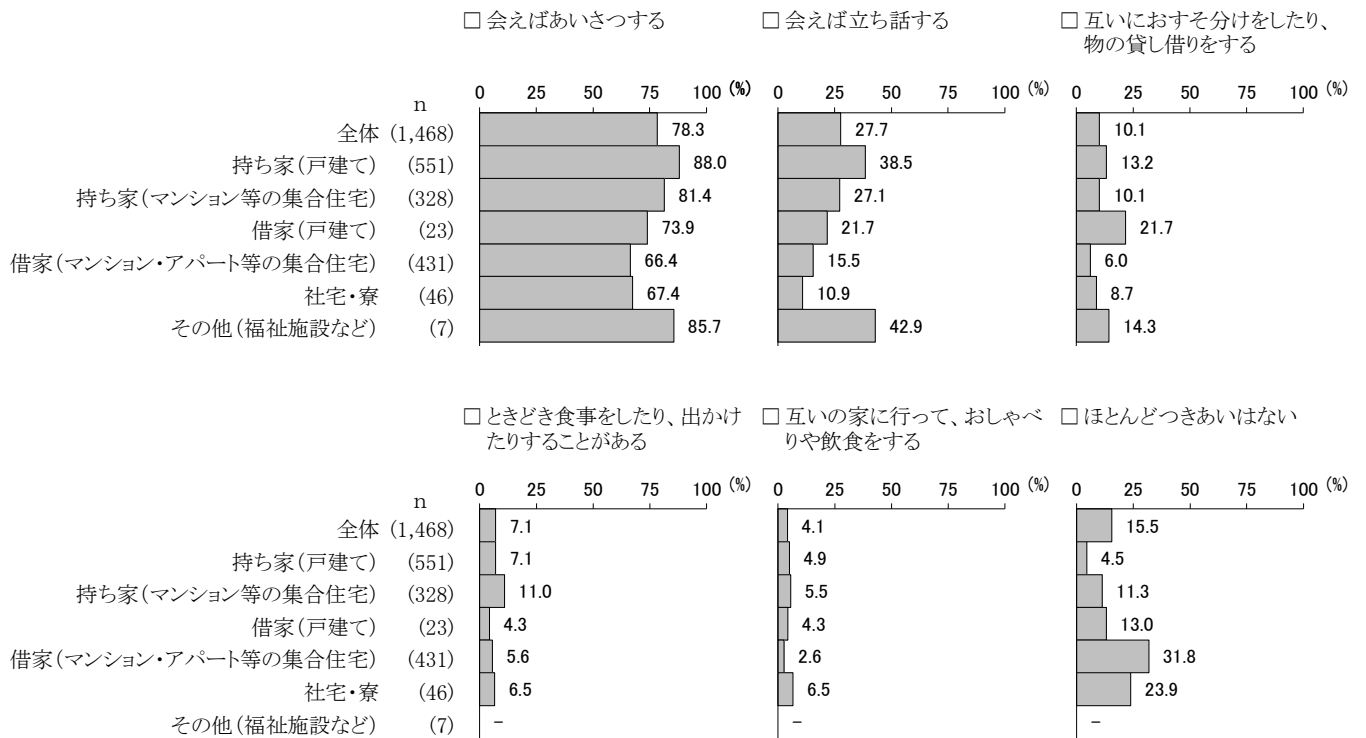
居住地域別で見ると、地域による大きな違いは見られない。（図表1－45）

図表1－46 近隣との交際状況（職業別）



職業別で見ると、「会えばあいさつする」は、家事専業、無職で8割台半ばと高くなっている。「会えば立ち話する」は、家事専業、無職で4割台前半と高くなっている。一方、学生で1割未満、正社員、正職員で1割台半ばと低くなっている。（図表1－46）

図表1－47 近隣との交際状況（住宅の種類別）



住宅の種類別で見ると、「会えばあいさつする」は、持ち家（戸建て）で8割台後半と高くなっている。一方、「ほとんどつきあいはない」は、借家（マンション・アパート等の集合住宅）で3割台前半、社宅・寮で2割台前半と他に比べて高くなっている。（図表1－47）

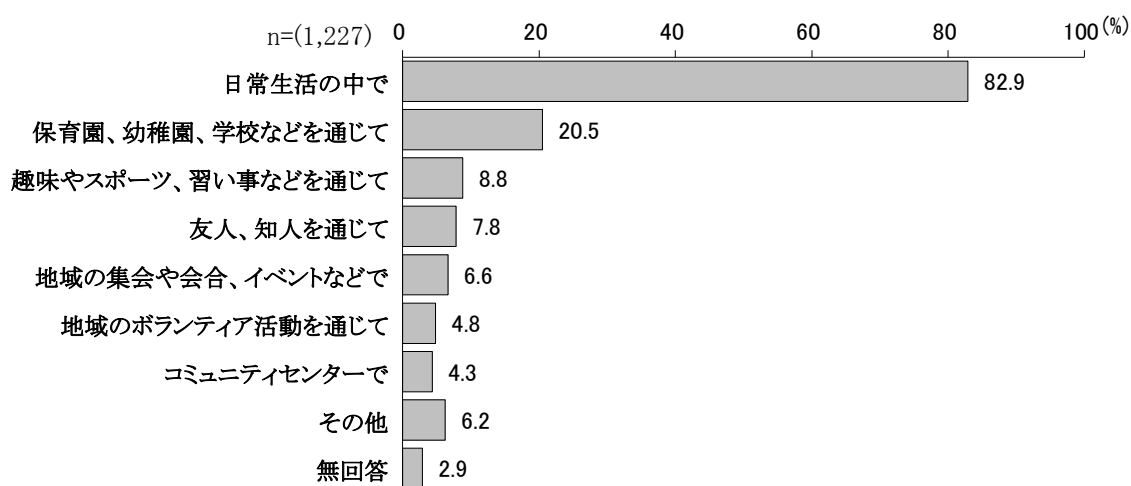
1－8 近隣との交際のきっかけ

◎ 「日常生活の中で」が8割台前半と最も高い。

【問5で「会えばあいさつをする」、「会えば立ち話をする」、「ときどき食事をしたり、出かけたりすることがある」、「互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする」、「互いの家に行って、おしゃべりや飲食をする」を選んだ方にお尋ねします。】

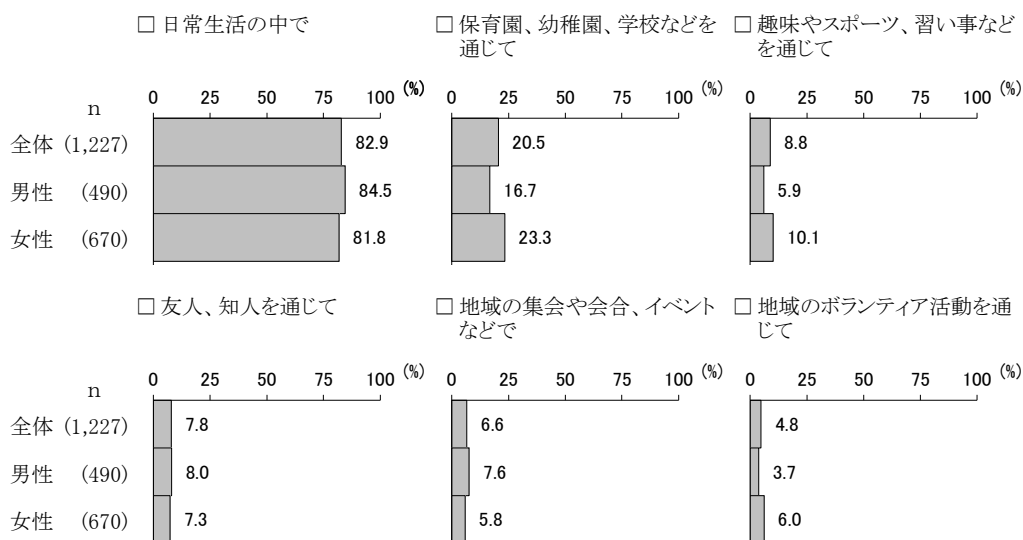
問5－1 どのようなきっかけで、近所の方とのつながりができましたか。(〇はいくつでも)

図表1－48 近隣との交際のきっかけ(複数回答)



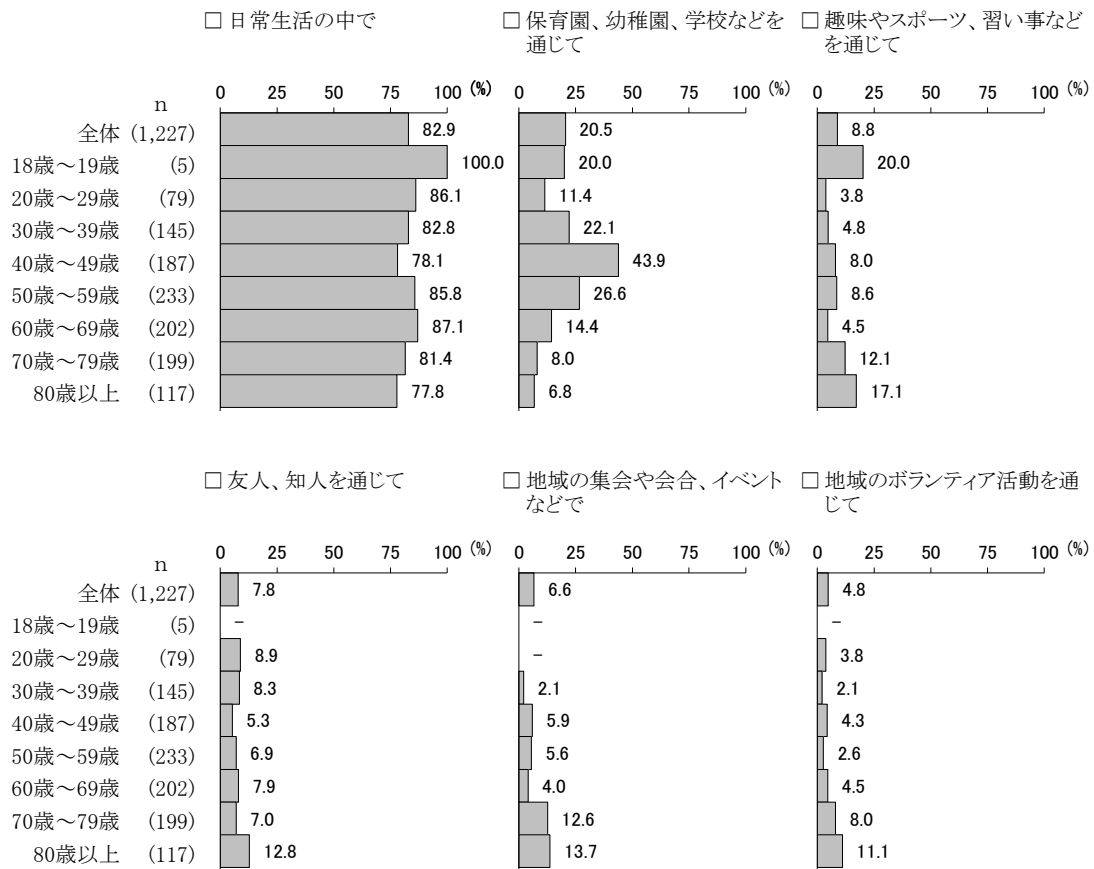
近隣との交際のきっかけは、「日常生活の中で」(82.9%)が8割台前半で最も高く、次いで、「保育園、幼稚園、学校などを通じて」(20.5%)が2割となっている。(図表1－48)

図表1－49 近隣との交際のきっかけ(性別)上位6項目



性別で見ると、「日常生活の中で」は、男性の方が女性より2.7ポイント高く、「保育園、幼稚園、学校などを通じて」は、女性の方が男性より6.6ポイント高い。「趣味やスポーツ、習い事などを通じて」は、女性の方が男性より4.2ポイント高くなっている。(図表1－49)

図表1－50 近隣との交際のきっかけ（年代別）上位6項目



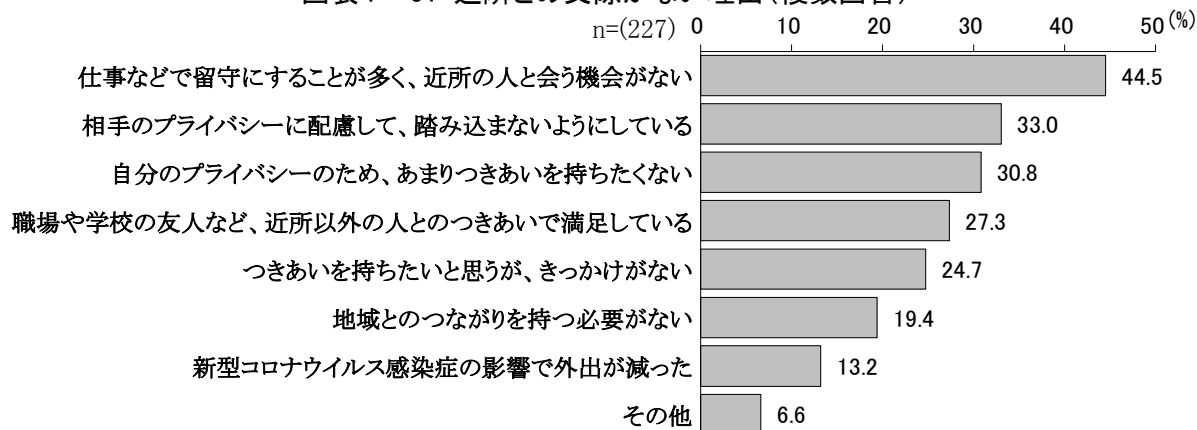
年代別で見ると、「日常生活の中で」は60歳～69歳と20歳～29歳で8割台後半と高くなっている。「保育園、幼稚園、学校などを通じて」は、40歳～49歳で4割台前半と最も高く、次いで50歳～59歳が2割台後半となっている。「趣味やスポーツ、習い事などを通じて」は、80歳以上で1割台後半となっている。「友人、知人を通じて」は、80歳以上で1割台前半となっている。「地域の集会や会合、イベントなどで」は、80歳以上、70歳～79歳で1割台前半と他と比べて高くなっている。「地域のボランティア活動を通じて」は、80歳以上で1割台前半と最も高くなっている。（図表1－50）

1-9 近隣との交際がない理由

◎ 「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」が4割台半ばと最も高い。

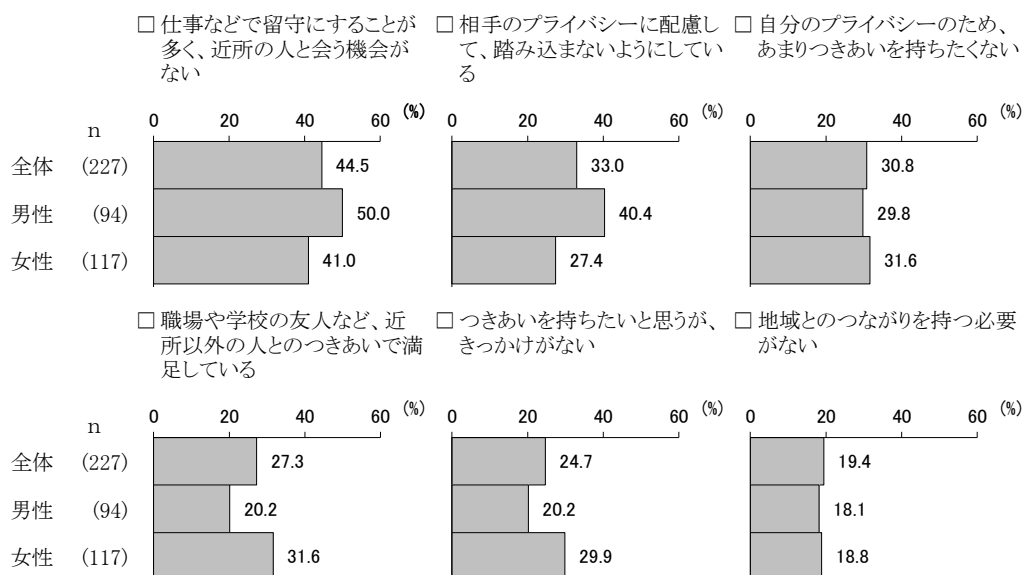
問5-2 近所の方とのつきあいがいい理由は何でしょうか。(○はいくつでも)

図表1-51 近隣との交際がない理由(複数回答)



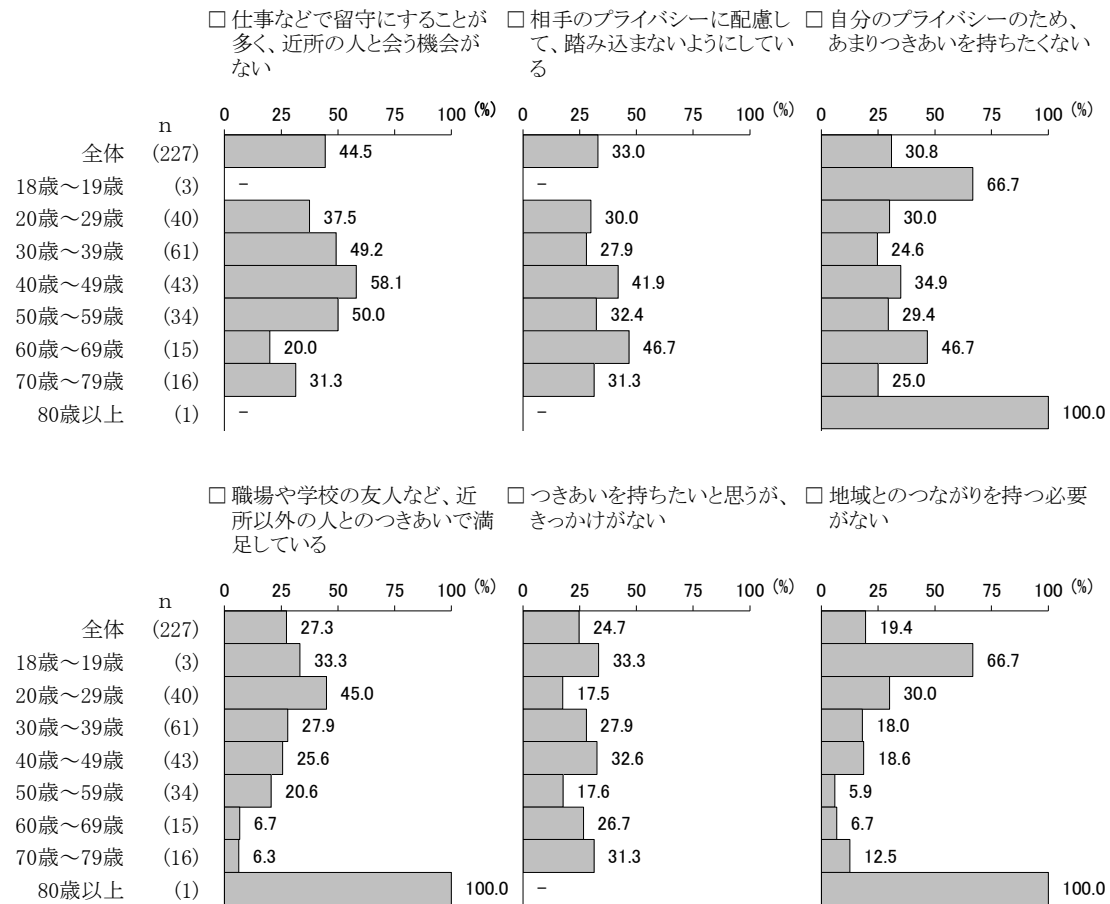
近隣との交際がない理由は、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」(44.5%)が4割台半ばで最も高く、次いで、「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」(33.0%)が3割台前半、「自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない」(30.8%)が3割、「職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している」(27.3%)が2割台後半、「つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない」(24.7%)が2割台半ば、「地域とのつながりを持つ必要がない」(19.4%)が約2割となっている。(図表1-51)

図表1-52 近隣との交際がない理由(性別)



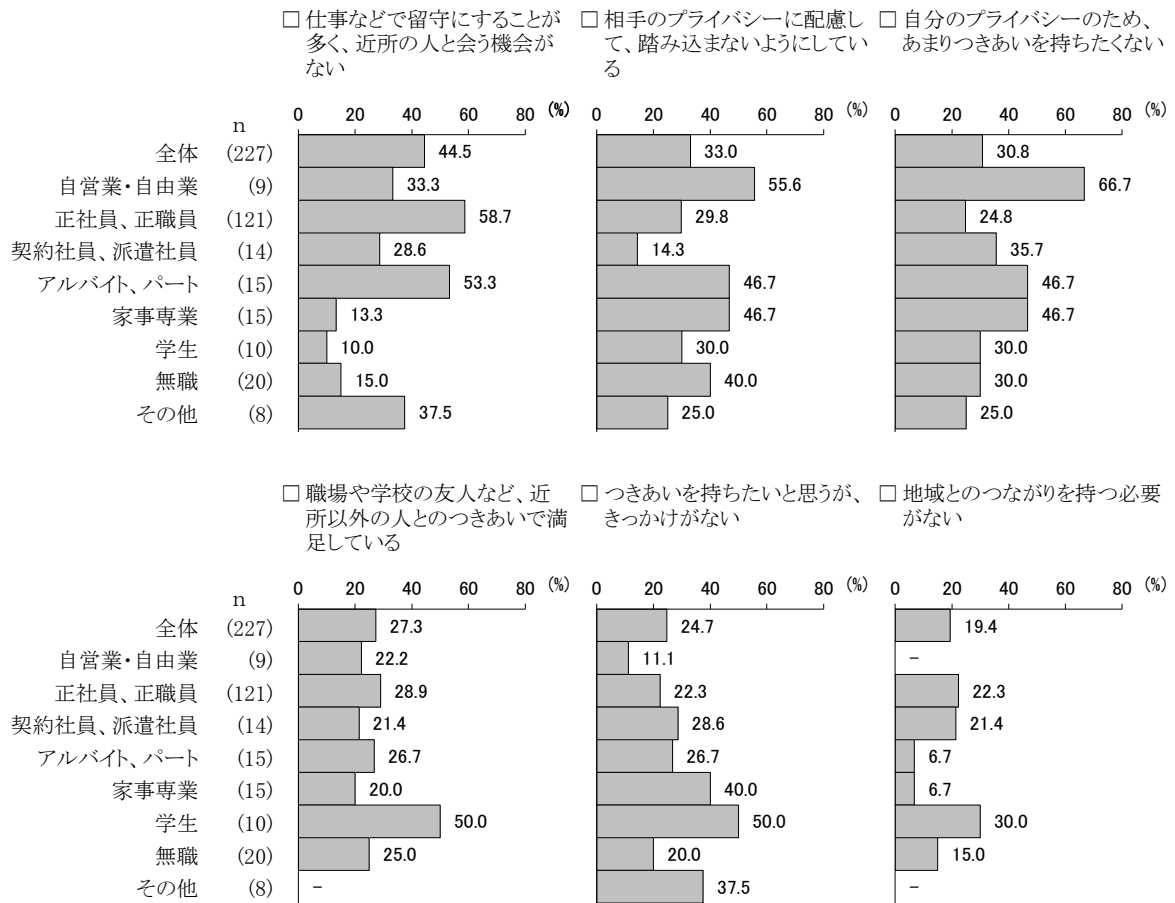
性別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、男性の方が女性より9.0ポイント高く、「相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」は、男性の方が女性より13.0ポイント高くなっている。「職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している」は、女性の方が男性より11.4ポイント高くなっている。(図表1-52)

図表1－53 近隣との交際がない理由（年代別）



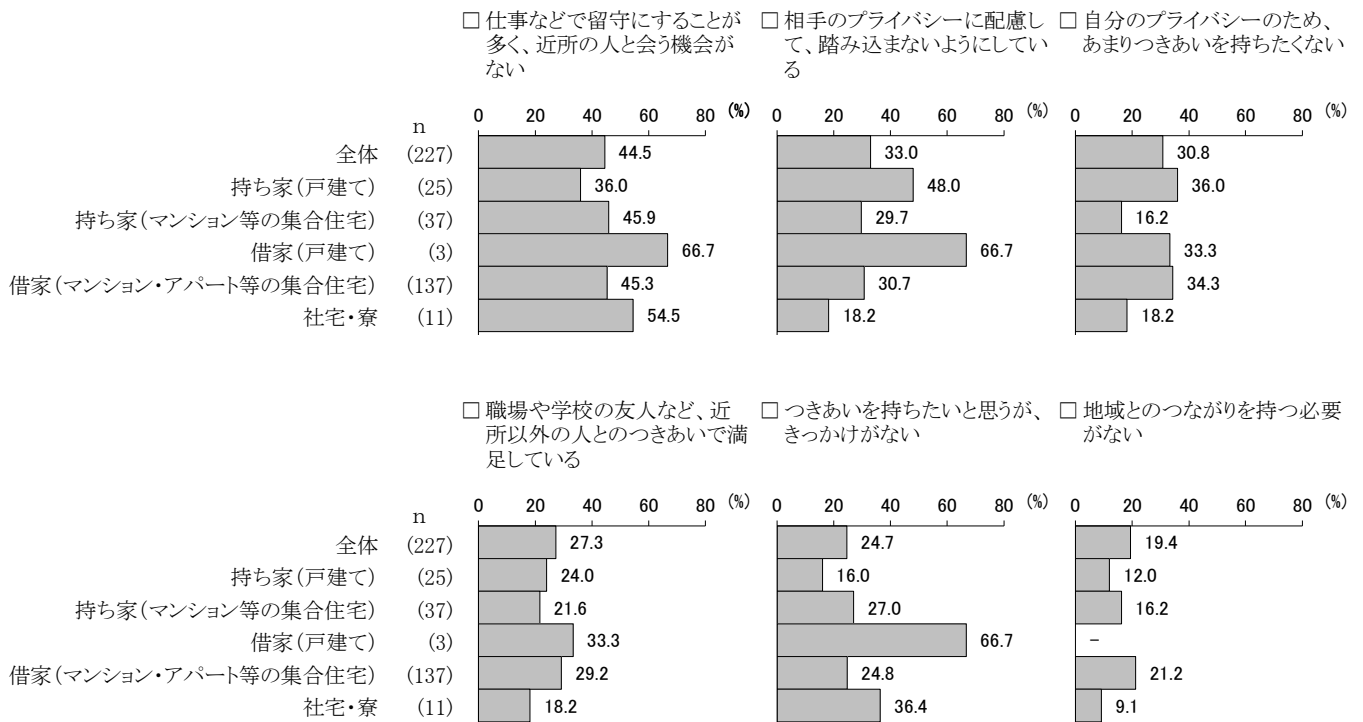
年代別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、40歳～49歳で5割台後半と最も高くなっている。「相手の相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている」は、40歳～49歳で4割台前半と最も高くなっている。「職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している」は、20～29歳で4割台半ばと最も高くなっている。（図表1－53）

図表1－54 近隣との交際がない理由（職業別）



職業別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、正社員、正職員で5割台後半と最も高くなっている。（図表1－54）

図表1－55 近隣との交際がない理由（住宅の種類別）



※その他（福祉施設など）は0件のため省略。

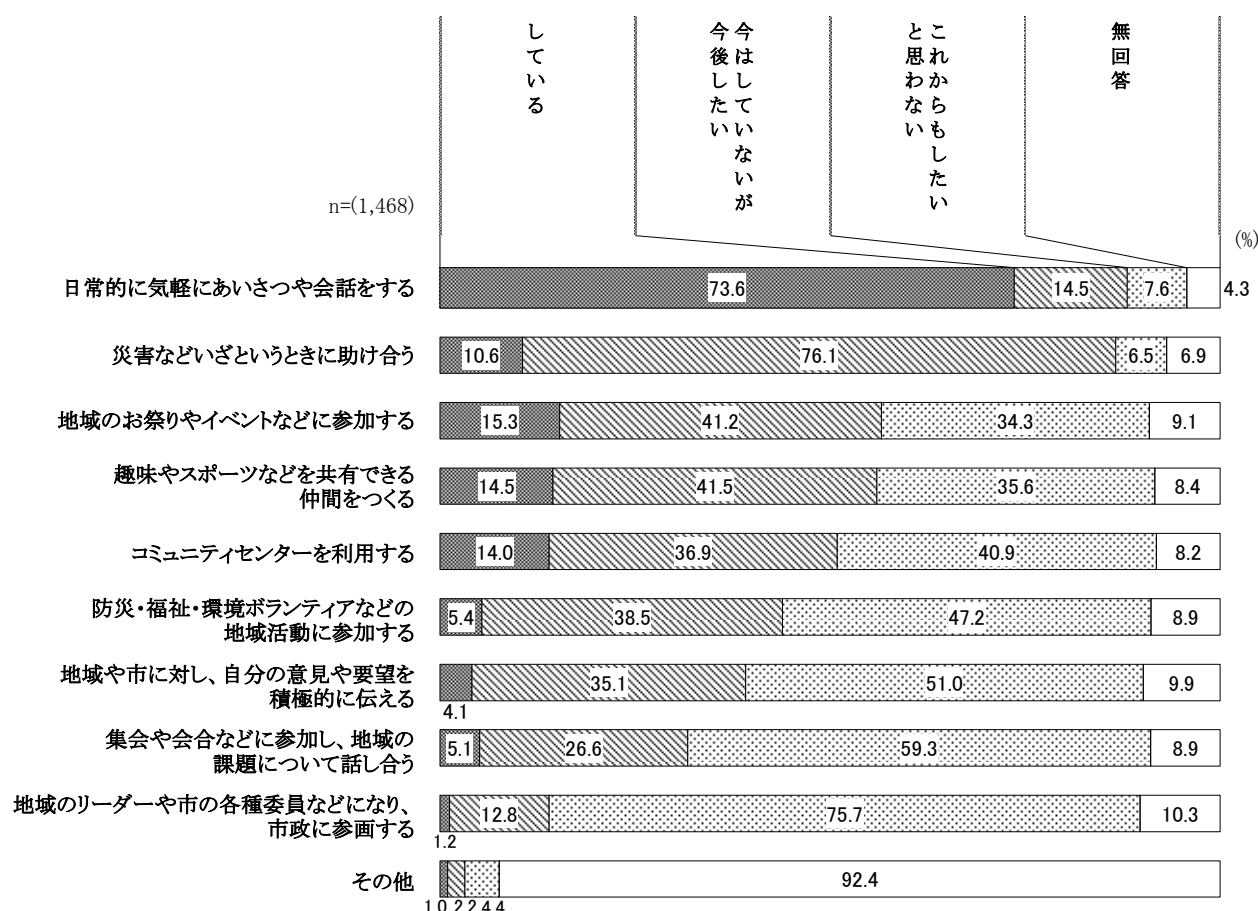
住宅の種類別で見ると、「仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない」は、持ち家（マンション等の集合住宅）、借家（マンション・アパート等の集合住宅）で4割台半ばと最も高くなっている。（図表1－55）

1-10 地域における行動の状況・意向

◎ 「日常的に気軽にあいさつや会話をする」の『意向あり』が8割台後半で最多。

問6 あなたは、お住まいの地域とのつながりやコミュニケーションのために何かしていることがありますか。していることがない場合、今後したいと思っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

図表1-56 地域における行動の状況・意向



地域における行動の状況・意向について見ると、『意向あり』（「している」＋「今はしていないが今後したい」）は「日常的に気軽にあいさつや会話をする」（88.1%）、「災害などいざというときに助け合う」（86.7%）が8割台後半で高く、「地域のお祭りやイベントなどに参加する」（56.5%）、「趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる」（56.0%）、「コミュニティセンターを利用する」（50.9%）で過半数を超えている。（図表1-56）

図表1－57 地域における行動の状況・意向『意向あり』（性別・年代別・居住地域別）

(%)

		調査数（n）	日常的に気軽に や会話を する	災害などいざという ときに助け合う	地域のお祭りやイ ベントなどに参加 する	趣味やスポーツなど を共有できる仲間 をつくる	コミュニティーセン ターを利用する	防災・福祉・環境 ボランティアなどの 地域活動に参加 する	地域や市に対し、自 分の意見や要望を積 極的に伝える	地域や市に対し、自 分の意見や要望を積 極的に伝える	話し合う	集会や会合などに 参加し、地域の課 題について話し 合う	地域のリーダーや 市の各種委員など になり、市政に 参画する	その他
全体		1,468	88.1	86.7	56.5	56.0	50.9	43.9	39.2	31.7	14.0	3.2		
性別	男性	589	87.1	87.1	55.2	55.5	48.1	44.3	42.8	35.5	17.0	3.7		
	女性	794	89.8	87.3	58.4	57.5	54.4	44.2	37.0	29.6	11.9	2.4		
年代別	18歳～19歳	8	75.0	75.0	75.0	37.5	37.5	37.5	50.0	25.0	-	-		
	20歳～29歳	119	76.5	87.4	67.2	49.6	42.1	36.2	32.7	19.3	14.3	0.8		
	30歳～39歳	208	88.5	88.5	73.6	55.3	55.3	39.0	42.7	29.3	13.9	3.4		
	40歳～49歳	232	91.8	91.8	70.2	63.0	56.1	47.8	44.8	33.1	16.4	2.2		
	50歳～59歳	269	92.2	92.9	53.9	59.8	51.3	53.5	39.0	33.5	16.0	4.0		
	60歳～69歳	219	91.8	91.4	57.6	63.0	55.3	51.6	45.6	37.9	15.6	5.5		
	70歳～79歳	219	89.0	81.8	39.8	49.8	48.0	41.6	37.0	35.6	13.2	1.8		
	80歳以上	118	81.3	66.9	29.7	45.8	49.2	26.2	25.4	29.7	4.2	1.6		
居住地域別	吉祥寺地域	556	87.4	88.0	55.2	56.3	51.4	44.6	39.2	32.2	14.5	2.8		
	中央地域	341	89.8	86.5	59.2	57.2	51.3	43.7	39.0	32.6	14.7	2.4		
	武蔵境地域	485	89.9	86.8	56.2	55.7	51.4	43.9	39.4	31.3	12.3	3.3		

地域における行動の状況・意向について、『意向あり』の割合を性別で見ると、〔コミュニティーセンターを利用する〕では、女性の方が男性より6.3ポイント高くなっている。一方、〔集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う〕は5.9ポイント、〔地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える〕では5.8ポイント、男性の方が女性より高くなっている。

年代別で見ると、〔地域のお祭りやイベントなどに参加する〕では、30歳～39歳、40歳～49歳で7割台となっている。〔趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる〕では、40歳～49歳、60歳～69歳で6割台前半となっている。〔コミュニティーセンターを利用する〕では、40歳～49歳で5割台後半と最も高くなっている。

地域別で見ると、地域による目立った差はみられない。（図表1－57）

図表1－58 地域における行動の状況・意向『意向あり』
（住宅の種類別・家族構成別・地域への愛着を『感じている』回答者別）

(%)

		調査数（n）	日常的に気軽にあいさつや会話をする	災害などいざというときに助け合う	地域のお祭りやイベントなどに参加する	趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる	コミュニティセンターを利用する	防災・福祉・環境ボランティアなどの地域活動に参加する	地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える	地域や市の課題について話し合う	集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う	地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する	その他
全体		1,468	88.1	86.7	56.5	56.0	50.9	43.9	39.2	31.7	14.0	3.2	
住宅の種類別	持ち家（戸建て）	551	91.9	86.8	51.9	55.3	51.3	46.8	39.9	34.1	14.5	2.8	
	持ち家（マンション等の集合住宅）	328	92.6	89.4	57.6	62.8	54.9	47.0	41.2	39.0	13.7	4.2	
	借家（戸建て）	23	87.0	95.7	73.9	60.9	39.1	39.1	30.4	26.1	13.0	4.3	
	借家（マンション・アパート等の集合住宅）	431	82.4	86.3	59.9	52.7	49.6	38.9	37.8	24.4	12.6	2.4	
	社宅・寮	46	89.1	86.9	76.1	58.7	54.4	47.8	37.0	28.2	19.6	2.2	
	その他（福祉施設など）	7	85.7	57.2	－	28.6	14.3	－	14.3	28.6	－	－	
家族構成別	ひとり暮らし	263	76.1	80.2	44.9	52.8	45.6	36.5	34.9	24.3	12.6	3.4	
	自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー	473	91.7	85.8	55.0	52.9	50.2	40.8	36.3	32.4	10.8	2.6	
	自分と子（2世代世帯）	449	92.2	92.4	67.0	61.7	57.3	50.7	42.5	33.8	15.1	2.9	
	自分と親（2世代世帯）	112	89.3	92.9	55.3	58.0	50.0	46.5	44.7	34.8	18.8	6.3	
	自分と子と孫（3世代世帯）	22	86.4	81.8	45.5	59.1	59.1	50.0	50.0	45.4	22.7	－	
	親と自分と子（3世代世帯）	26	96.2	88.4	69.2	61.5	61.5	65.4	53.8	46.2	30.8	－	
	祖父母と親と自分（3世代世帯）	15	93.3	80.0	73.3	66.7	60.0	46.7	53.3	46.7	20.0	－	
	その他	20	80.0	75.0	35.0	50.0	30.0	40.0	35.0	25.0	10.0	5.0	
武蔵野市全体に誇りや愛着を『感じている』※		1,288	90.7	89.5	59.7	59.3	54.1	46.7	41.3	33.8	15.5	3.3	
お住まいの地域に誇りや愛着を『感じている』※		1,275	91.0	89.5	59.4	59.4	54.0	46.5	41.3	33.5	15.3	3.3	

※「問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか」の質問に、『感じている』（「感じている」＋「やや感じている」）と回答した方が対象となる。

地域における行動の状況・意向について、『意向あり』の割合を住宅の種類別で見ると、「地域のお祭りやイベントなどに参加する」では、社宅・寮で7割台後半、借家（戸建て）で7割台前半と高くなっている。また、「趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる」では、持ち家（マンション等の集合住宅）で6割台前半と高くなっている。

家族構成別で見ると、「地域のお祭りやイベントなどに参加する」では、祖父母と親と自分（3世代世帯）で7割台前半と高くなっている。また、「趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる」でも祖父母と親と自分（3世代世帯）で6割台後半と高くなっている。

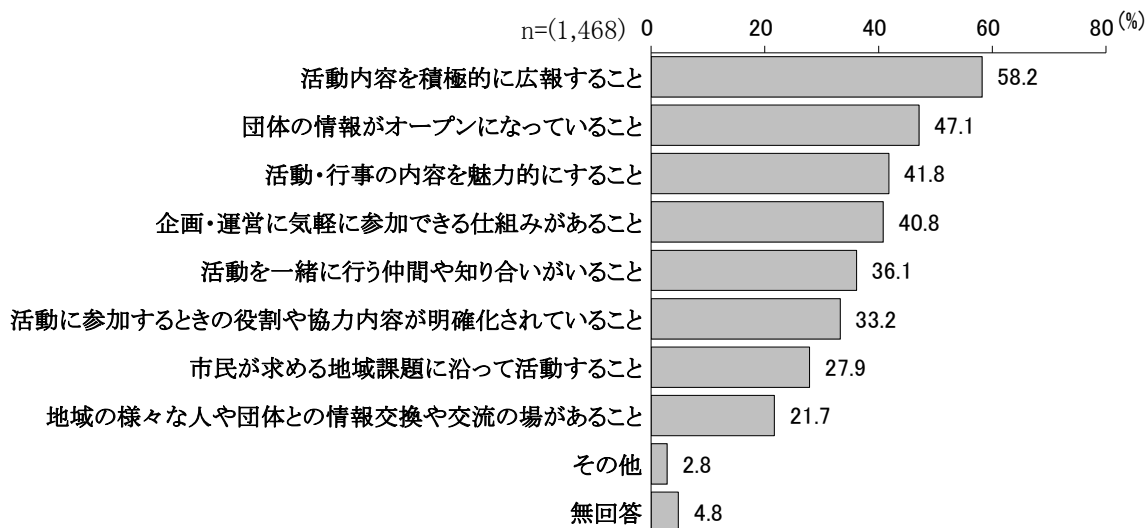
「武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じている」と回答した方では、「日常的に気軽にあいさつや会話をする」では、どちらも9割を超えているほか、他の項目でも同程度の値となっており、大きな違いはみられない。（図表1－58）

1-11 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと

◎ 「活動内容を積極的に広報すること」が5割台後半で最も高い。

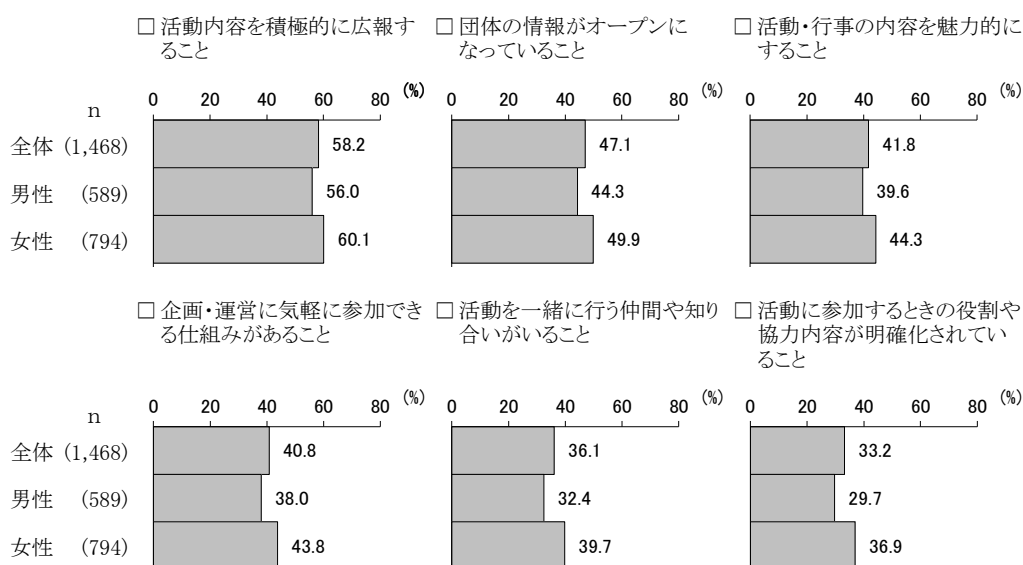
問7 防災・福祉・環境ボランティアなど、地域の活動に、より多くの人が参加するようになるために必要なことは何だと思いませんか。(〇はいくつでも)

図表1-59 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと(複数回答)



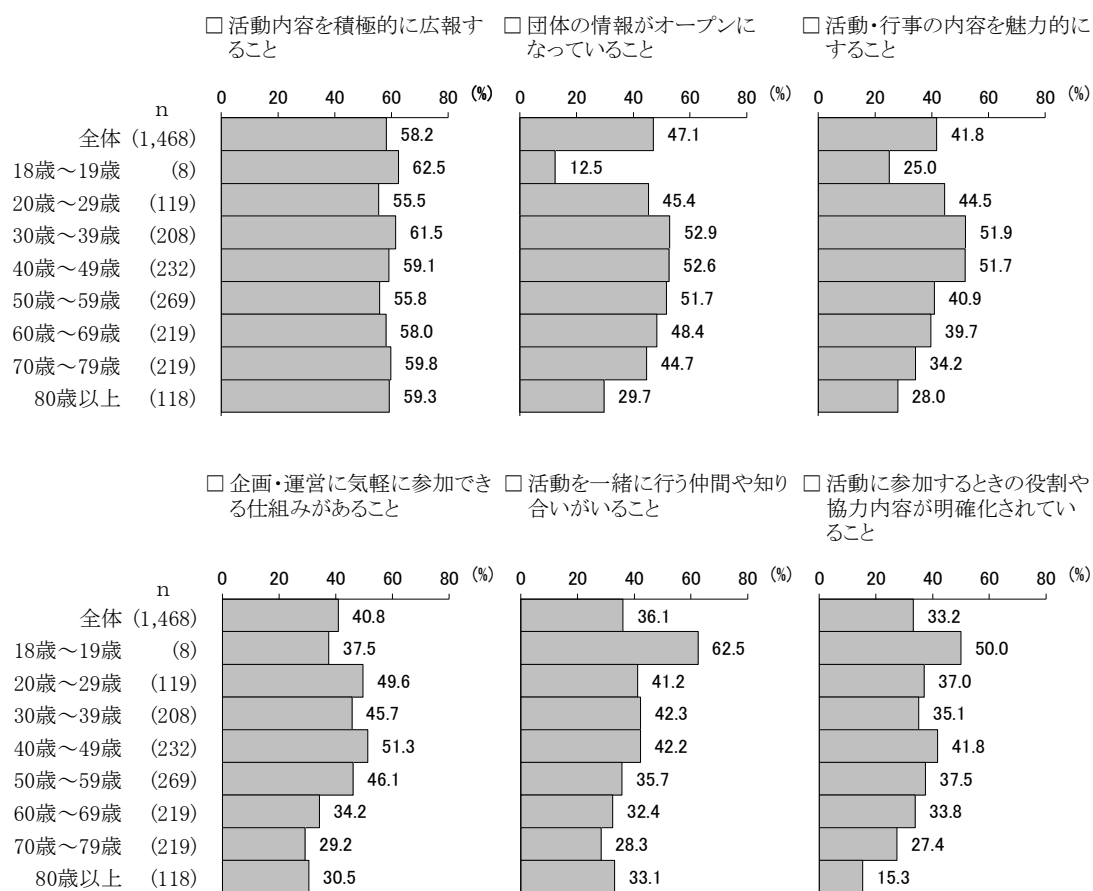
地域の活動の参加者を増やすために必要なことは、「活動内容を積極的に広報すること」(58.2%)が5割台後半で最も高く、次いで、「団体の情報がオープンになっていること」(47.1%)が4割台後半、「活動・行事の内容を魅力的にすること」(41.8%)、「企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること」(40.8%)が4割台前半と続く。(図表1-59)

図表1-60 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと(性別)上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、いずれも女性の方が男性より高い傾向となっている。(図表1-60)

図表1－61 地域の活動の参加者を増やすために必要なこと（年代別）上位6項目



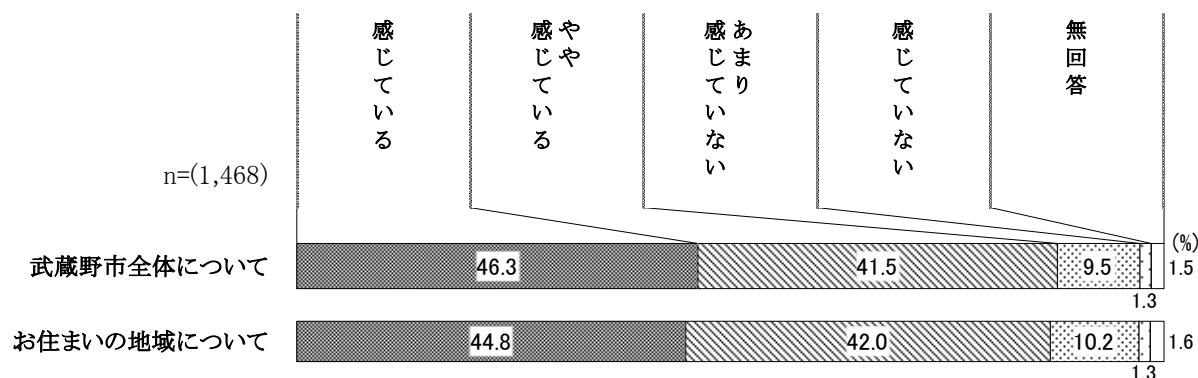
年代別で見ると、「活動内容を積極的に広報すること」は、すべての年代で過半数を超えて高くなっている。「団体の情報がオープンになっていること」と「活動・行事の内容を魅力的にすること」は、30歳～39歳、40歳～49歳で5割台前半と高くなっている。「企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること」は、40歳～49歳で5割台前半と最も高くなっている。（図表1－61）

1-12 地域への誇り・愛着

◎ 〔武蔵野市全体について〕、〔お住まいの地域について〕で「（誇りや愛着を）感じている」がともに8割台後半となっている。

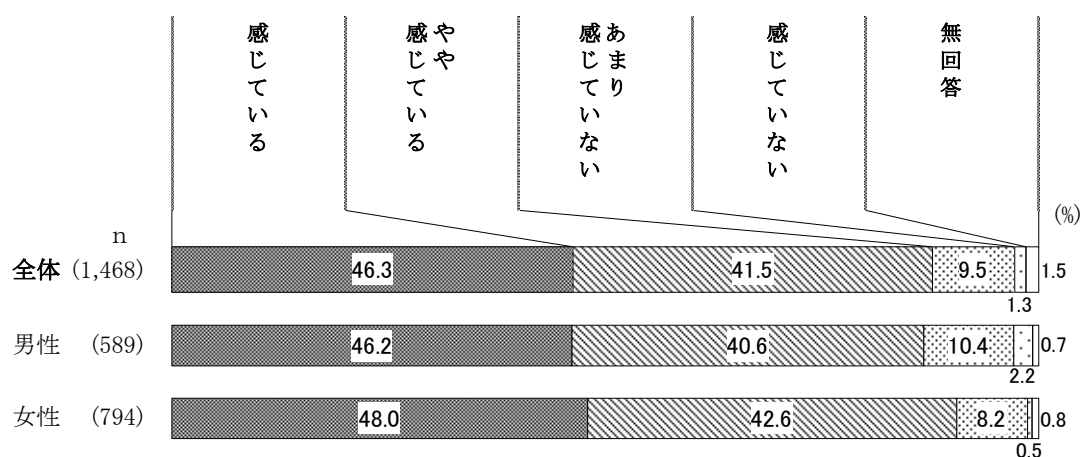
問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか。（○はそれぞれ1つ）

図表1-62 地域への誇り・愛着

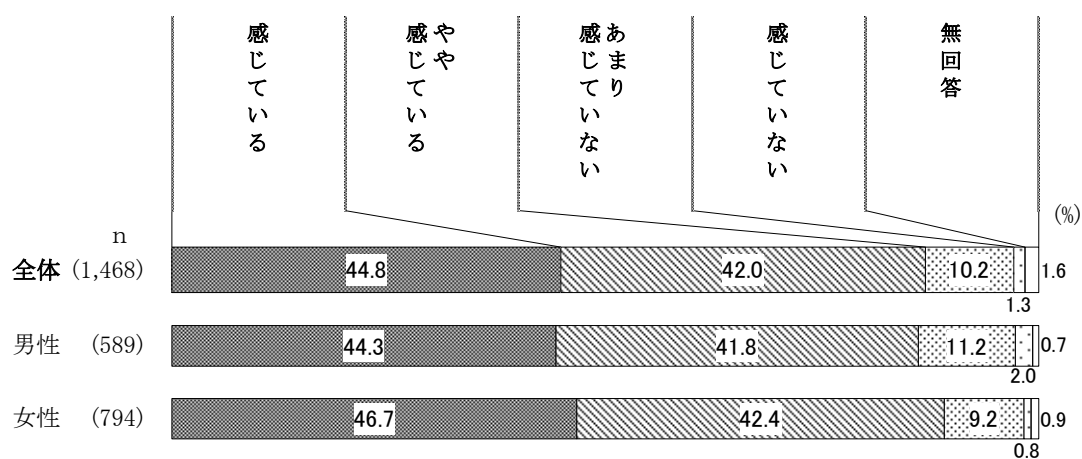


〔武蔵野市全体について〕の誇り・愛着は、『感じている』（「感じている」＋「やや感じている」）（87.8%）が8割台後半、〔お住まいの地域について〕でも『感じている』（86.8%）が8割台後半となっている。（図表1-62）

図表1－63 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(性別)

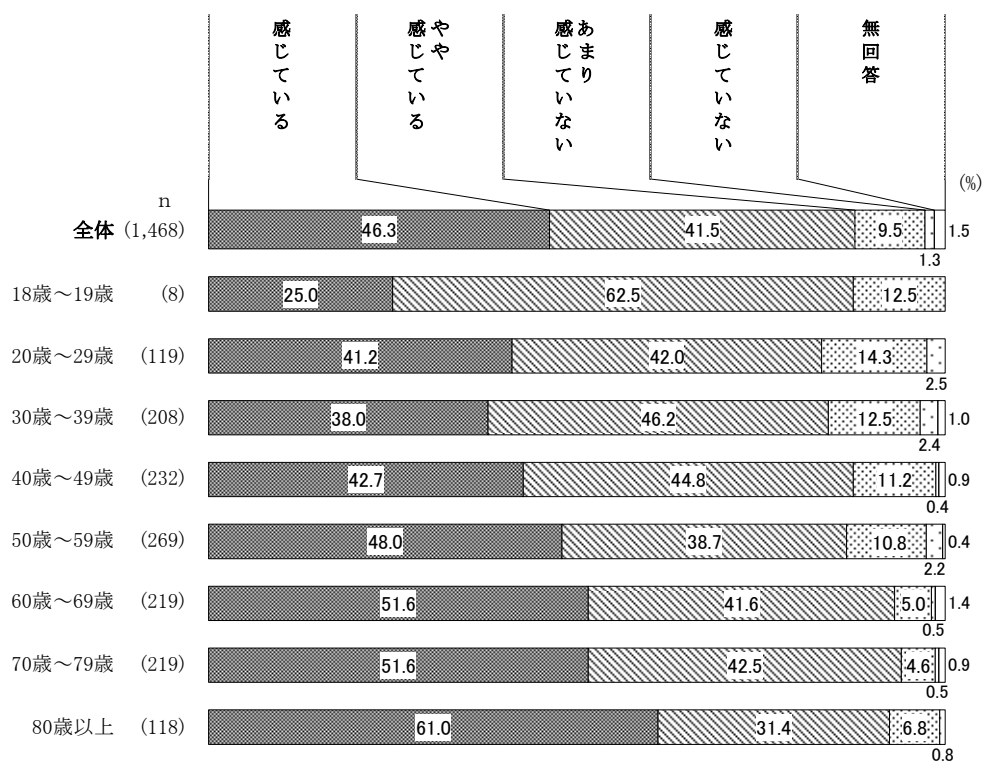


図表1－64 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(性別)

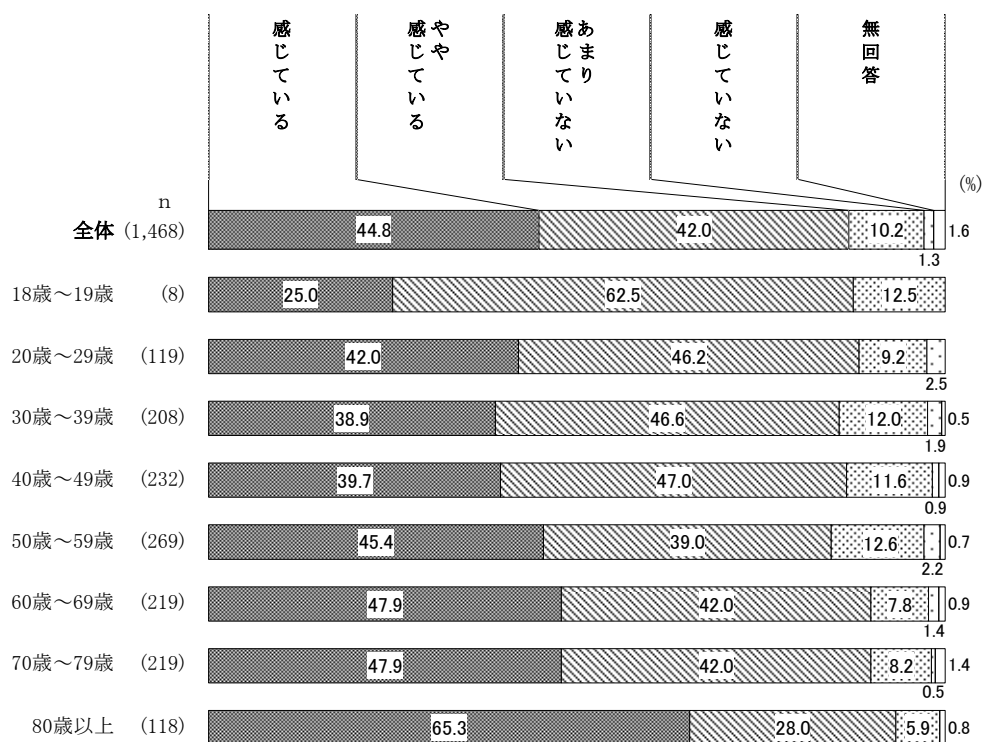


性別で見ると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」とともに『感じている』は、女性の方が男性よりもやや高い傾向にある。（図表1－63、図表1－64）

図表1－65 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(年代別)

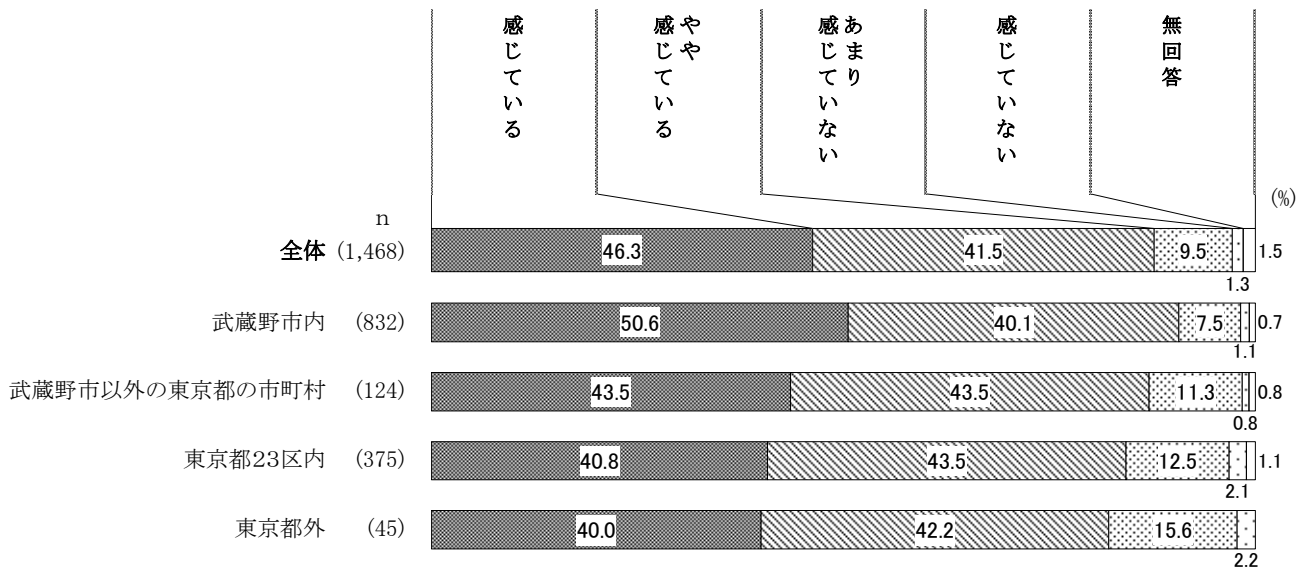


図表1－66 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(年代別)

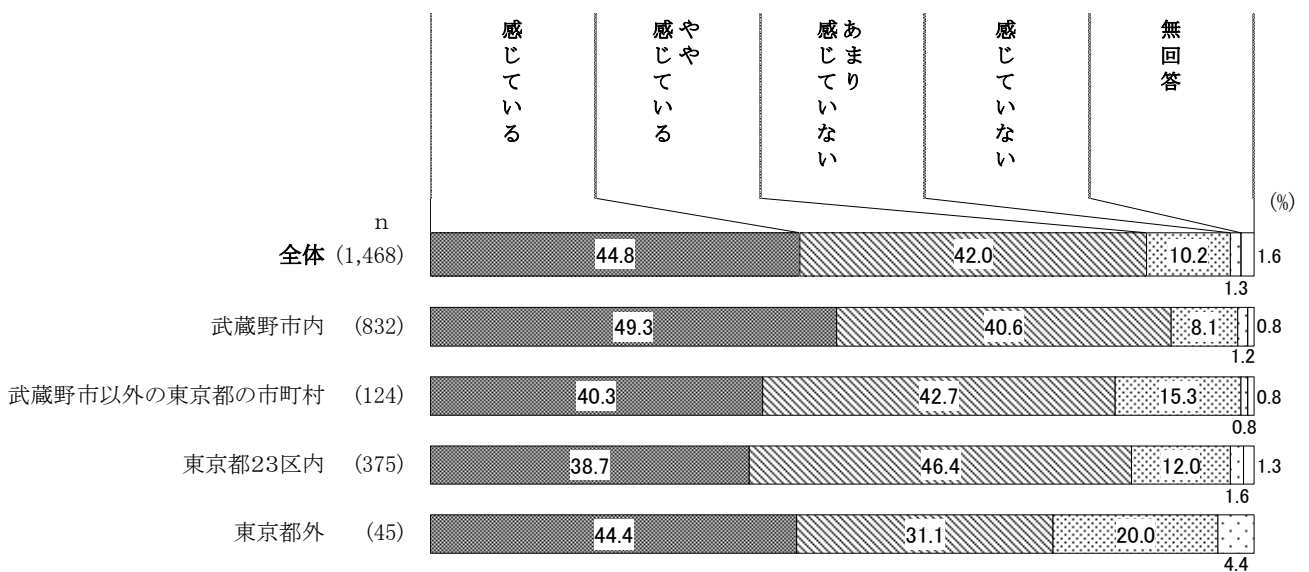


年代別で見ると、「武蔵野市全体について」は、『感じている』が60歳～80歳以上の年代で9割を超えて高くなっている。「お住まいの地域について」は、『感じている』が80歳以上で9割台前半と高くなっている。(図表1－65、図表1－66)

図表1－67 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について
(日中最も多くの時間を過ごす場所別)

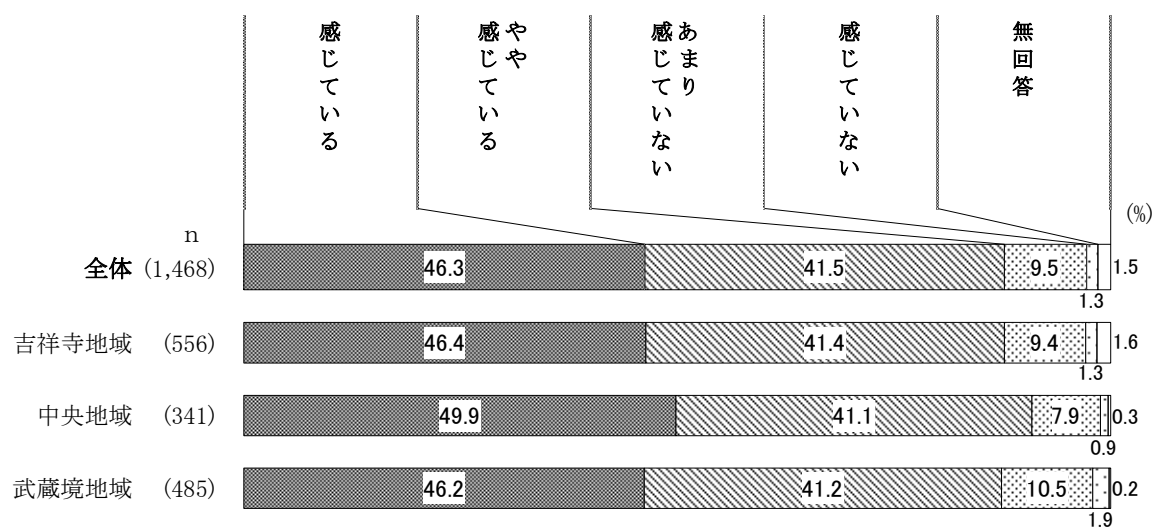


図表1－68 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について
(日中最も多くの時間を過ごす場所別)

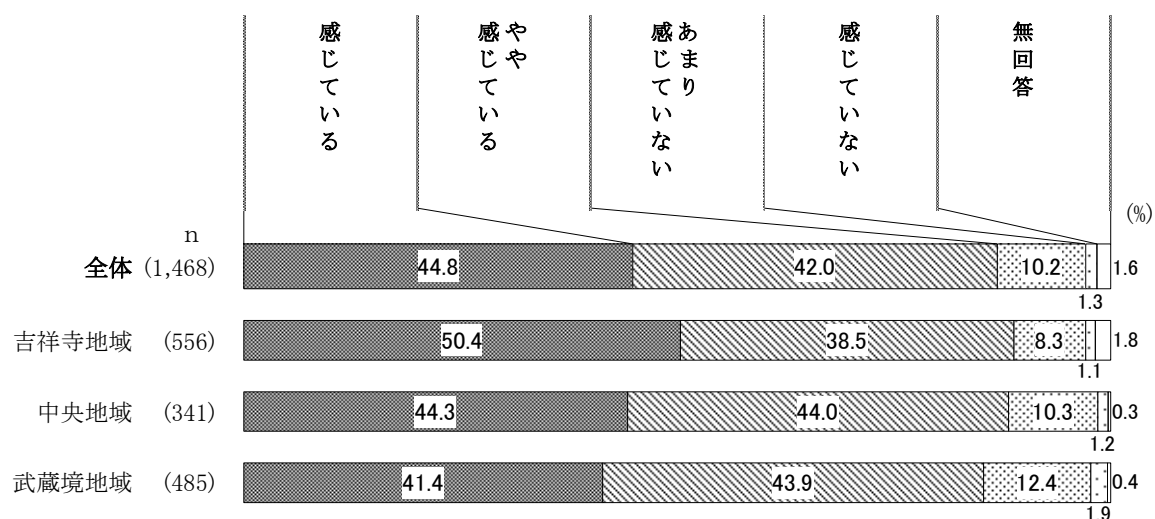


日中最も多くの時間を過ごす場所別で見ると、「武蔵野市全体について」、「お住まいの地域について」は、どちらも『感じている』が、武蔵野市内で約9割と高くなっている。〔お住まいの地域について〕は、東京都外で7割台半ばと他の場所と比べてやや低いものの、それ以外の場所で8割を超えている。(図表1－67、図表1－68)

図表1－69 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(居住地域別)

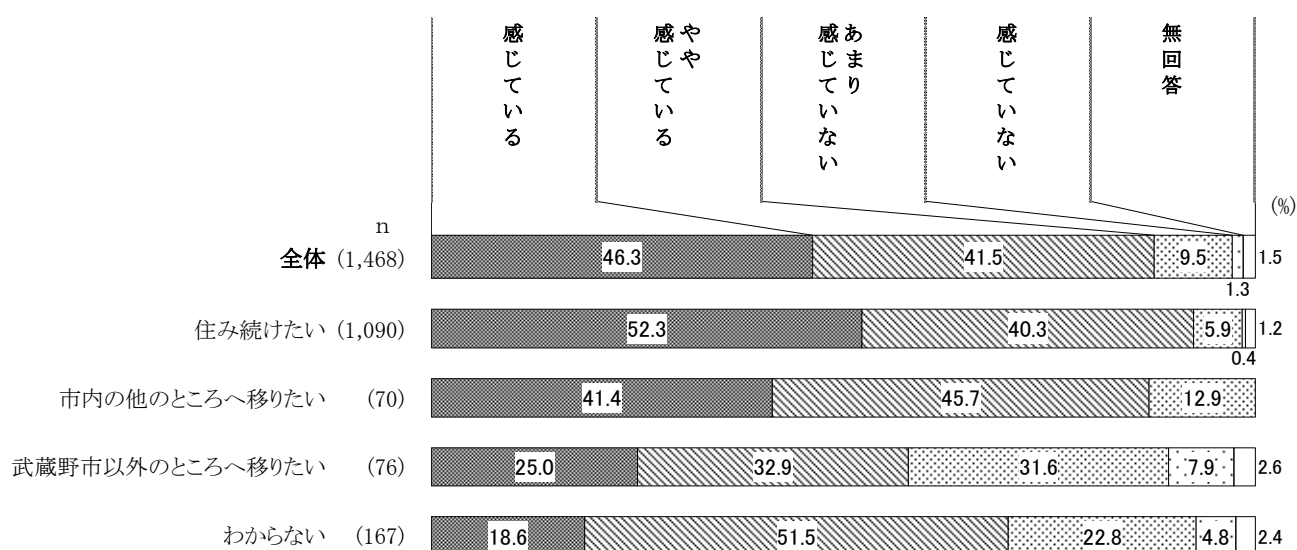


図表1－70 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(居住地域別)

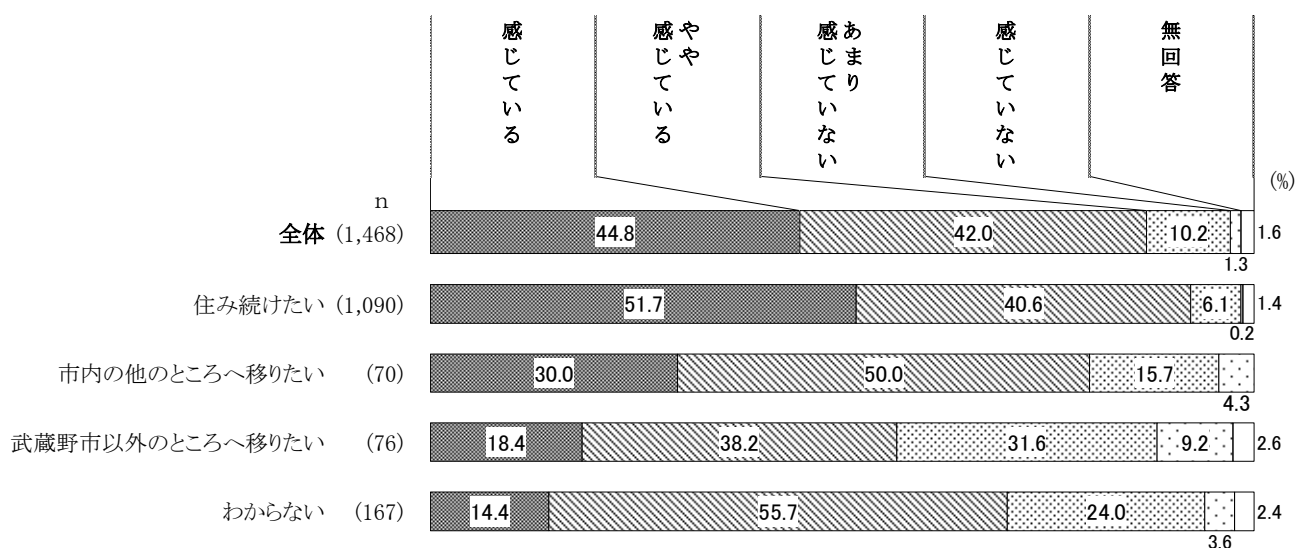


居住地域別で見ると、〔武蔵野市全体について〕は、『感じている』は、中央地域で9割を超えているほか、吉祥寺地域、武蔵境地域でも8割台後半となっている。対して、〔お住まいの地域について〕は、『感じている』は、吉祥寺地域と中央地域で8割台後半と高く、武蔵境地域でも8割台半ばとなっている。（図表1－69、図表1－70）

図表1－71 武蔵野市への誇り・愛着 武蔵野市全体について(定住意向別)



図表1－72 武蔵野市への誇り・愛着 お住まいの地域について(定住意向別)



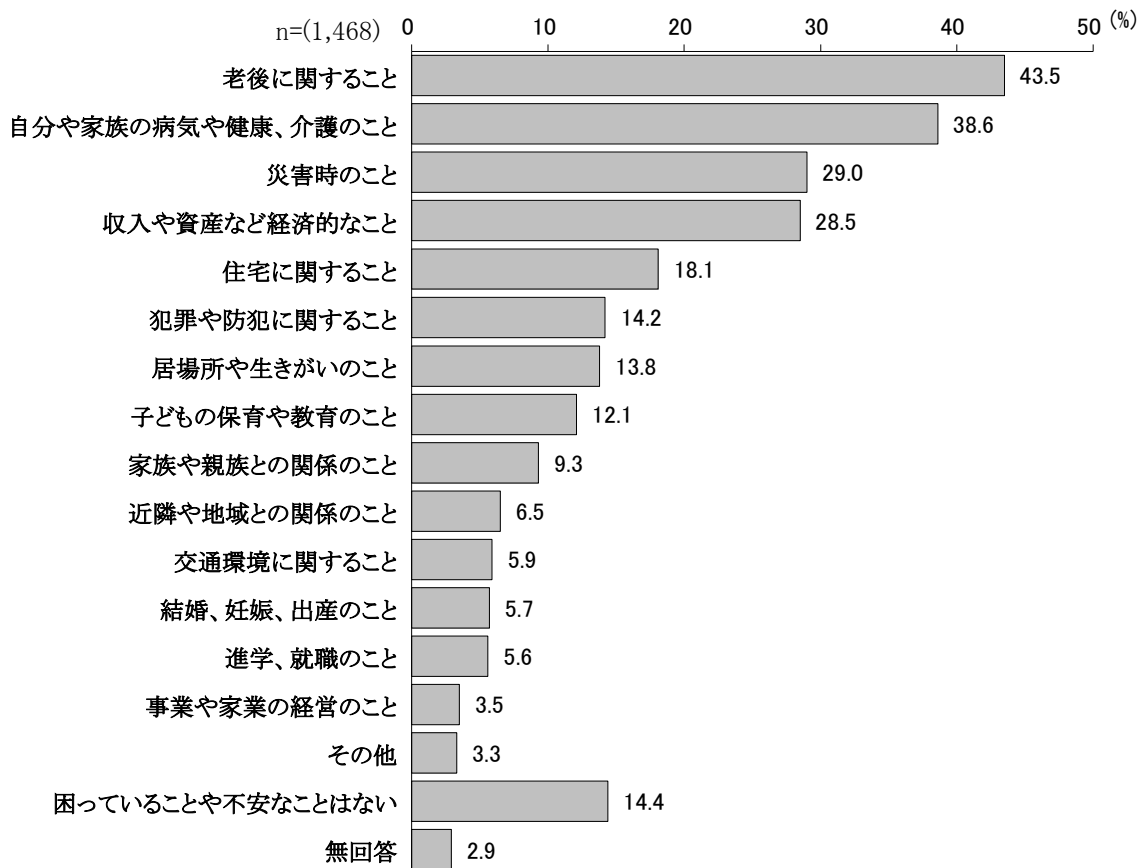
定住意向別で見ると、〔武蔵野市全体について〕は、『感じている』は、住み続けたいで9割台前半、市内の他のところへ移りたいで8割台後半となっている。一方、武蔵野市以外のところへ移りたいでは5割台後半となっている。〔お住まいの地域について〕は、『感じている』は、住み続けたいで9割台前半と最も高くなっている。一方、武蔵野市以外のところへ移りたいでは5割台後半となっている。（図表1－71、図表1－72）

1-13 困っていること・不安なこと

◎ 「老後に関すること」が4割台前半で最も高い。

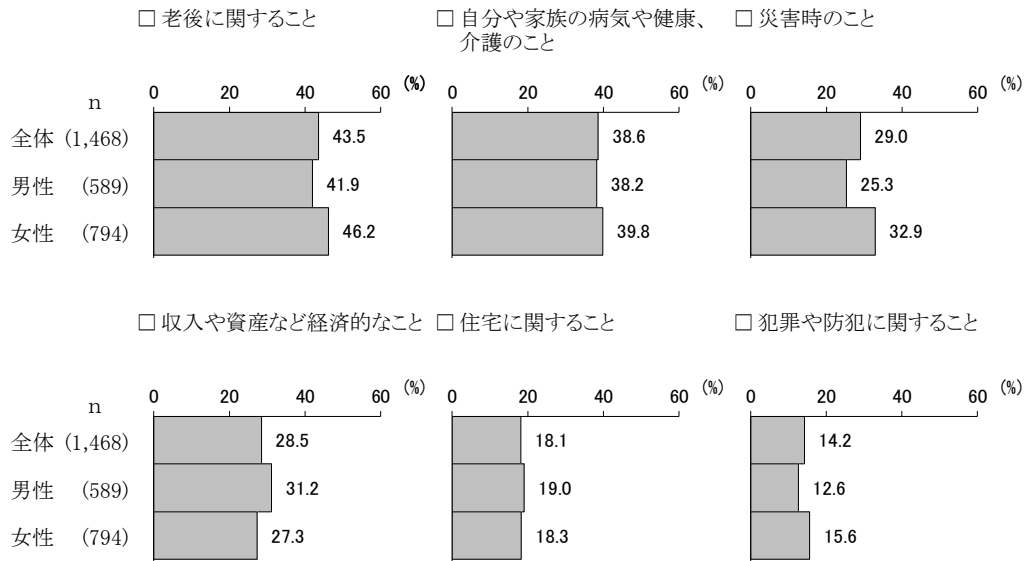
問9 日頃、生活や身近な環境で困っていることや不安なことはありますか。(○はいくつでも)

図表 1-1 困っていること・不安なこと（複数回答）



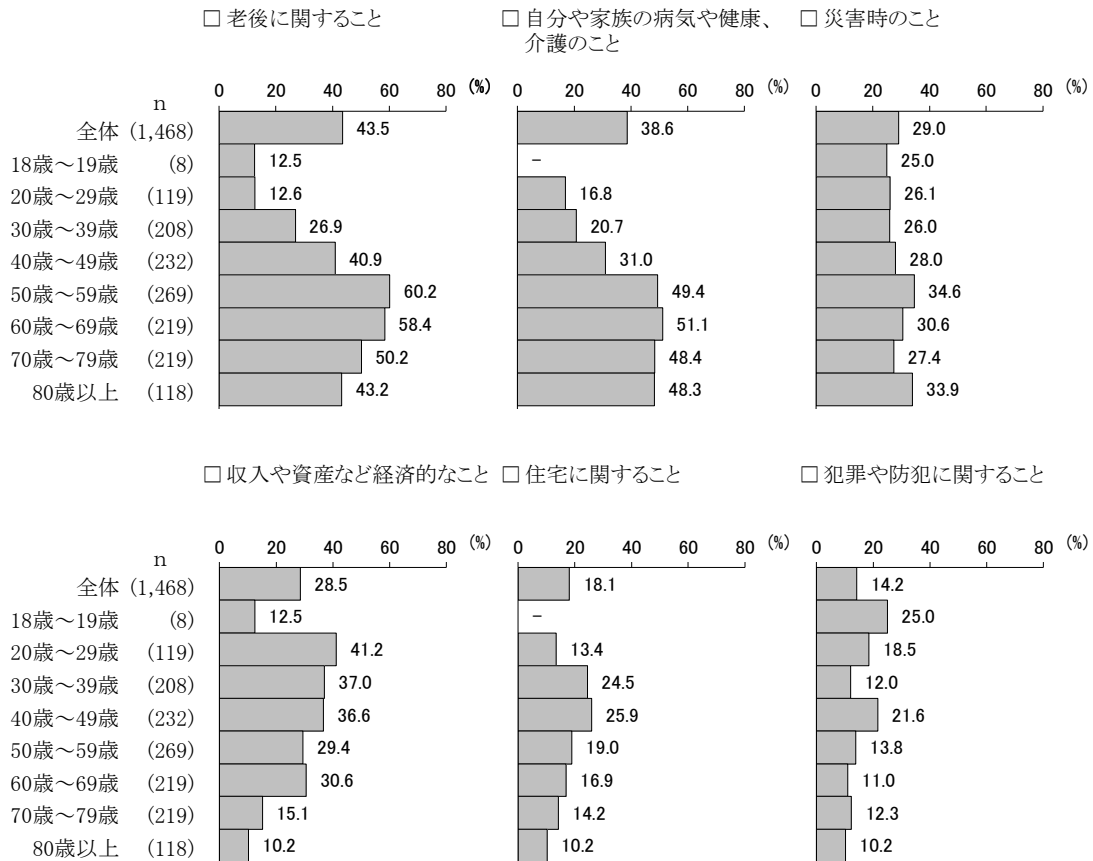
困っていること・不安なことは、「老後に関すること」（43.5%）が4割台前半で最も高い。次いで、「自分や家族の病気や健康、介護のこと」（38.6%）が3割台後半、「災害時のこと」（29.0%）が約3割、「収入や資産など経済的なこと」（28.5%）が2割台後半と続いている。（図表 1-73）

図表1－74 困っていること・不安なこと（性別）上位6項目



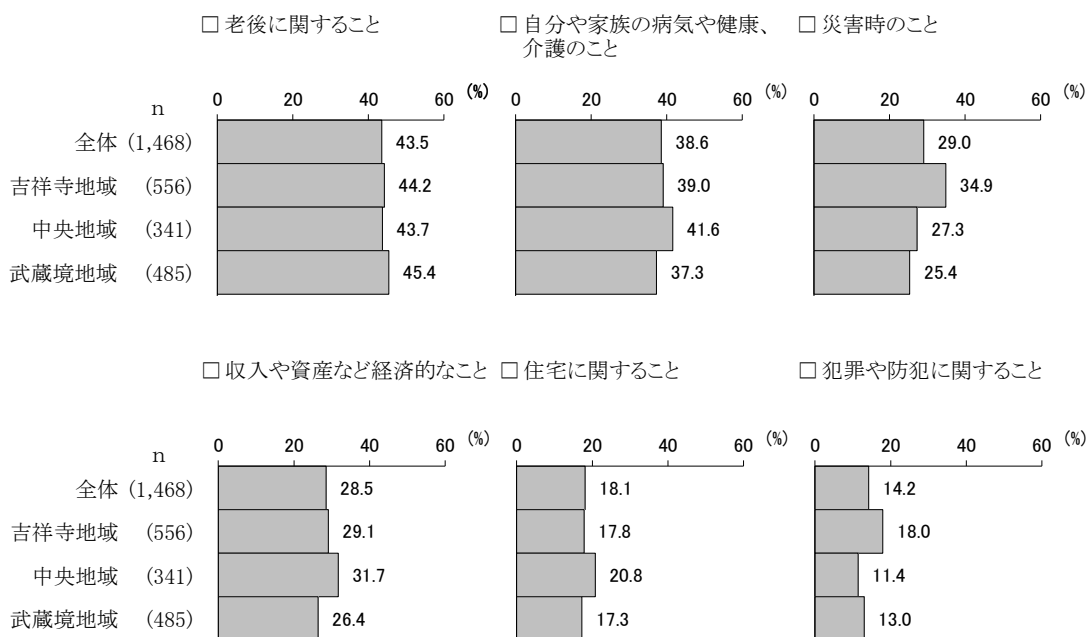
上位6項目について、性別で見ると、「災害時のこと」は7.6ポイント、「老後に関すること」は4.3ポイント、それぞれ女性の方が男性より高くなっている。「収入や資産など経済的なこと」は、男性の方が女性より3.9ポイント高くなっている。（図表1－74）

図表1－75 困っていること・不安なこと（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「老後に関すること」は、50歳～59歳までは年代が上がるにつれて高くなっており、50歳～59歳で6割と最も高くなっている。また、「自分や家族の病気や健康、介護のこと」は、60歳～69歳で5割前半と最も高く、50歳以上はいずれも4割台後半以上と高くなっている。「収入や資産など経済的なこと」は、20歳～29歳で4割台前半と最も高く、50～59歳を除いて年代が下がるにつれて高くなる傾向にある。（図表1－75）

図表1－76 困っていること・不安なこと（居住地域別）上位6項目



居住地域別で見ると、「自分や家族の病気や健康、介護のこと」は、中央地域で4割台前半と他の地域に比べてやや高くなっている。「災害時のこと」は、吉祥寺地域で3割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表1－76）

図表1－77 困っていること・不安なこと（職業別）上位5項目

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体			老後に関すること 43.5	自分や家族の病気や健康、介護のこと 38.6	災害時のこと 29.0	収入や資産など経済的なこと 28.5	住宅に関すること 18.1
職業別	自営業・自由業		自分や家族の病気や健康、介護のこと 43.3	老後に関すること 40.9	収入や資産など経済的なこと 29.9	災害時のこと 24.4	事業や家業の経営のこと 20.5
	正社員、正職員		老後に関すること 38.7	収入や資産など経済的なこと 35.8	自分や家族の病気や健康、介護のこと 30.6	災害時のこと 29.8	住宅に関すること 20.6
	契約社員、派遣社員		老後に関すること 63.8	自分や家族の病気や健康、介護のこと 50.7	収入や資産など経済的なこと 42.0	災害時のこと 37.7	住宅に関すること 31.9
	アルバイト、パート		老後に関すること 57.5	自分や家族の病気や健康、介護のこと 46.3	収入や資産など経済的なこと 39.6	災害時のこと 32.1	住宅に関すること 23.1
	家事専業		自分や家族の病気や健康、介護のこと 44.5	老後に関すること 42.9	災害時のこと 28.8	収入や資産など経済的なこと 14.7	住宅に関すること 子どもの保育や教育のこと 14.1
	学生		進学、就職のこと 45.2	犯罪や防犯に関すること 29.0	災害時のこと 22.6	収入や資産など経済的なこと 19.4	居場所や生きがいのこと 12.9
	無職		老後に関すること 51.5	自分や家族の病気や健康、介護のこと 47.8	災害時のこと 30.6	収入や資産など経済的なこと 18.3	住宅に関すること 14.6
	その他		老後に関すること 44.1	自分や家族の病気や健康、介護のこと 29.4	災害時のこと 収入や資産など経済的なこと 23.5	－ －	住宅に関すること 犯罪や防犯に関すること 居場所や生きがいのこと 17.6

職業別で見ると、自営業・自由業、家事専業、学生以外では「老後に関すること」が第1位となっている。家事専業、自営業・自由業では「自分や家族の病気や健康、介護のこと」が第1位となっており、学生では「進学、就職のこと」が第1位となっている。（図表1－77）

図表1－78 困っていること・不安なこと（家族構成別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		老後に関すること 43.5	自分や家族の病気や健康、介護のこと 38.6	災害時のこと 29.0	収入や資産など経済的なこと 28.5	住宅に関すること 18.1
家族構成別	ひとり暮らし	老後に関すること 45.6	自分や家族の病気や健康、介護のこと 31.2	－ －	収入や資産など経済的なこと 28.5	住宅に関すること 20.5
	自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー	老後に関すること 46.1	自分や家族の病気や健康、介護のこと 41.4	災害時のこと 29.6	収入や資産など経済的なこと 29.0	住宅に関すること 13.7
	自分と子（2世代世帯）	老後に関すること 41.6	自分や家族の病気や健康、介護のこと 35.9	子どもの保育や教育のこと 29.2	災害時のこと 28.5	収入や資産など経済的なこと 26.5
	自分と親（2世代世帯）	自分や家族の病気や健康、介護のこと 53.6	老後に関すること 48.2	収入や資産など経済的なこと 38.4	災害時のこと 29.5	住宅に関すること 20.5
	自分と子と孫（3世代世帯）	老後に関すること 自分や家族の病気や健康、介護のこと 45.5	－ －	災害時のこと 36.4	収入や資産など経済的なこと 18.2	犯罪や防犯に関すること 13.6
	親と自分と子（3世代世帯）	自分や家族の病気や健康、介護のこと 53.8	老後に関すること 46.2	収入や資産など経済的なこと 38.5	災害時のこと 23.1	犯罪や防犯に関すること 15.4
	祖父母と親と自分（3世代世帯）	収入や資産など経済的なこと 60.0	自分や家族の病気や健康、介護のこと 46.7	災害時のこと 33.3	老後に関すること 進学、就職のこと 26.7	－ －
	その他	老後に関すること 自分や家族の病気や健康、介護のこと 40.0	－ －	災害時のこと 35.0	収入や資産など経済的なこと 30.0	住宅に関すること 25.0

家族構成別で見ると、自分と親（2世代世帯）、親と自分と子（3世代世帯）、祖父母と親と自分（3世代世帯）を除く家族構成で「老後に関すること」が第1位となっている。親と自分と子（3世代世帯）、自分と親（2世代世帯）では「自分や家族の病気や健康、介護のこと」が第1位、祖父母と親と自分（3世代世帯）では「収入や資産など経済的なこと」が第1位、自分と子と孫（3世代世帯）、その他では「自分や家族の病気や健康、介護のこと」も同率第1位となっている。（図表1－78）

図表1－79 困っていること・不安なこと（世帯収入別）

（％）

		調査数（n）	老後に関する こと	自分や家族の病 気や健康、 介護のこと	災害時のこと	収入や資産など 経済的なこと	住宅に関する こと	犯罪や防犯に関 すること	居場所や生きが いのこと	子どもの保育や 教育のこと	家族や親族との 関係のこと
全体		1,468	43.5	38.6	29.0	28.5	18.1	14.2	13.8	12.1	9.3
世帯収入別	収入なし	36	44.4	41.7	30.6	38.9	13.9	22.2	25.0	8.3	13.9
	100万円未満	32	56.3	43.8	31.3	21.9	15.6	25.0	15.6	6.3	6.3
	100～300万円未満	211	54.0	47.4	27.5	33.2	17.5	13.3	13.7	3.3	6.2
	300～500万円未満	257	52.1	39.3	28.0	34.6	20.6	12.1	14.8	5.8	7.4
	500～700万円未満	182	40.7	37.9	33.0	33.0	15.4	11.0	12.1	15.4	11.5
	700～1,000万円未満	188	47.9	45.2	32.4	30.3	22.3	13.3	14.9	18.1	11.7
	1,000～1,500万円未満	220	36.4	30.0	28.6	22.7	23.6	13.2	13.2	22.3	10.9
	1,500万円以上	151	35.1	25.8	27.8	13.9	8.6	15.9	11.9	15.2	7.3
		調査数（n）	近隣や地域との 関係のこと	交通環境に関 すること	結婚、妊娠、 出産のこと	進学、就職の こと	事業や家業の 経営のこと	その他	困っていること や不安なこと はない	無回答	
全体		1,468	6.5	5.9	5.7	5.6	3.5	3.3	14.4	2.9	
世帯収入別	収入なし	36	－	5.6	2.8	11.1	5.6	5.6	13.9	2.8	
	100万円未満	32	9.4	6.3	3.1	－	－	3.1	18.8	－	
	100～300万円未満	211	3.3	2.8	4.3	2.4	3.3	2.4	10.4	4.3	
	300～500万円未満	257	8.6	6.6	6.2	4.3	4.7	1.9	16.3	2.3	
	500～700万円未満	182	7.1	7.1	7.1	5.5	2.7	3.8	13.7	1.6	
	700～1,000万円未満	188	8.0	6.4	9.6	8.0	4.8	2.7	9.0	－	
	1,000～1,500万円未満	220	5.5	5.0	5.5	7.7	3.2	6.4	16.8	0.9	
	1,500万円以上	151	7.9	7.9	4.0	3.3	3.3	5.3	19.2	3.3	

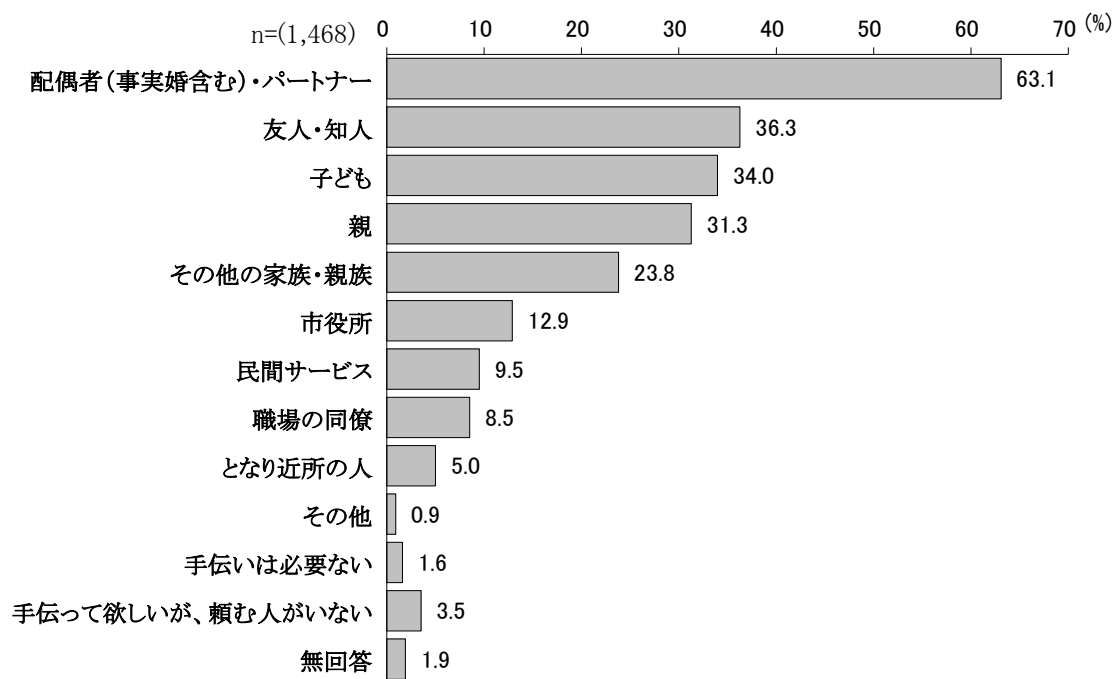
世帯収入別で見ると、100万円未満では「老後に関すること」が5割台後半、「犯罪や防犯に関すること」が2割台半ばと他に比べて高くなっている。一方、「困っていることや不安なことはない」は、1,500万円以上では約2割、100万円未満で1割台後半と他と比べて高くなっている。（図表1－79）

1-14 手伝ってもらう相手

◎ 「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が6割台前半で最も高い。

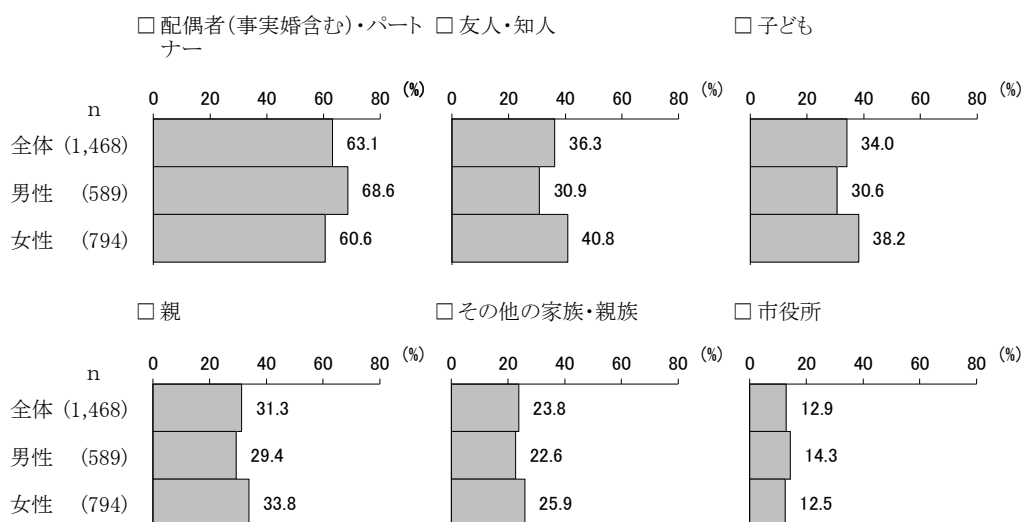
問10 あなたは、困りごとがあるときに、だれに手伝ってもらいますか。（○はいくつでも）

図表1-80 手伝ってもらう相手（複数回答）



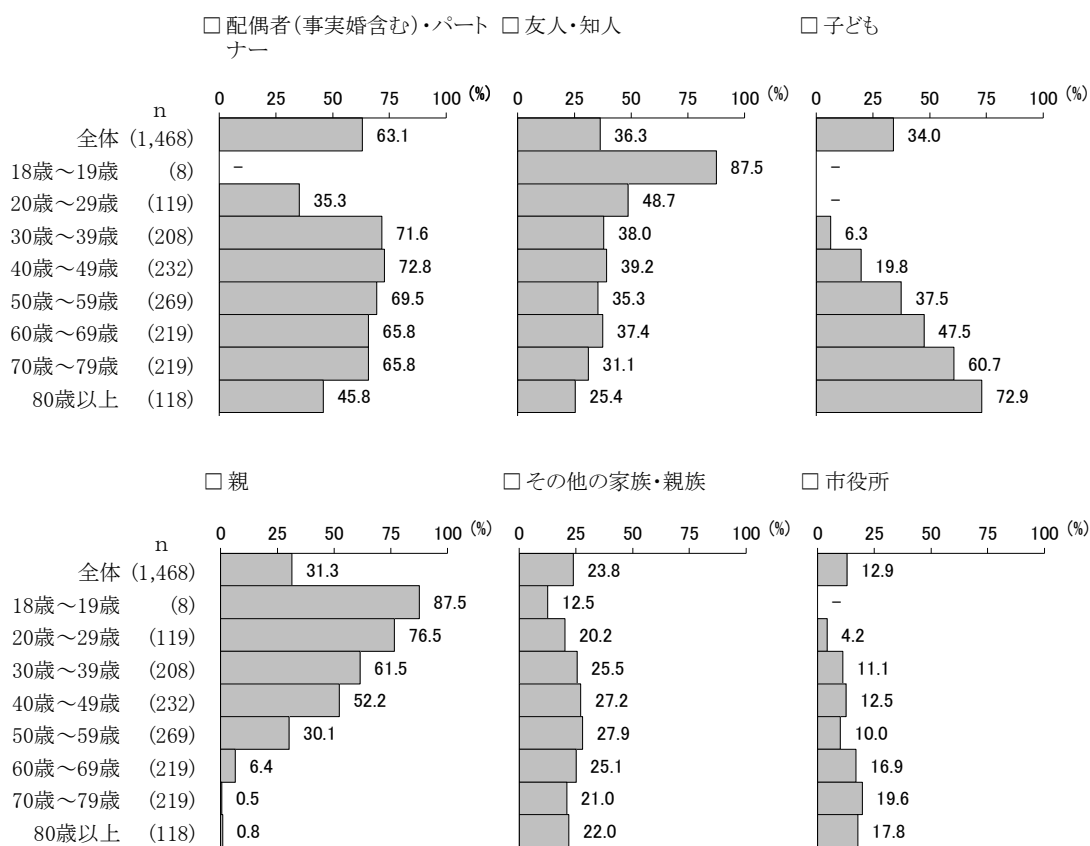
困りごとがあるときに、手伝ってもらう相手は、「配偶者（事実婚含む）・パートナー」（63.1%）が6割台前半で最も高く、次いで「友人・知人」（36.3%）が3割台後半、「子ども」（34.0%）が3割台半ば、「親」（31.3%）が3割台前半と続く。（図表1-80）

図表1－81 手伝ってもらう相手（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「配偶者（事実婚含む）・パートナー」は、男性の方が女性より8.0ポイント高くなっている。「友人・知人」は、女性の方が男性より9.9ポイント、「子ども」も女性の方が男性より7.6ポイント高くなっている。（図表1－81）

図表1－82 手伝ってもらう相手（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「友人・知人」、「親」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、「親」は20歳～29歳で7割台後半と最も高くなっている。一方、「子ども」は、年代が上がるにつれて高くなっており、80歳以上で7割台前半と最も高くなっている。（図表1－82）

図表1－83 手伝ってもらう相手（婚姻状況別・家族構成別）上位5項目

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体			配偶者(事実婚含む)・パートナー 63.1	友人・知人 36.3	子ども 34.0	親 31.3	その他の家族・親族 23.8
婚姻状況別	現在、結婚している		配偶者(事実婚含む)・パートナー 90.0	子ども 43.2	友人・知人 31.2	親 28.2	その他の家族・親族 20.4
	過去に結婚していた(離別、死別など)		子ども 49.0	友人・知人 41.2	その他の家族・親族 31.4	市役所 18.3	親 14.4
	一度も結婚したことはない		親 53.2	友人・知人 51.2	その他の家族・親族 33.3	職場の同僚 17.8	配偶者(事実婚含む)・パートナー 12.1
家族構成別	ひとり暮らし		友人・知人 48.3	親 30.8	その他の家族・親族 29.7	子ども 17.5	職場の同僚 14.1
	自分と配偶者(事実婚含む)・パートナー		配偶者(事実婚含む)・パートナー 92.0	子ども 38.1	友人・知人 29.0	親 19.9	その他の家族・親族 19.7
	自分と子(2世代世帯)		配偶者(事実婚含む)・パートナー 82.4	子ども 46.5	親 35.9	友人・知人 34.1	その他の家族・親族 22.5
	自分と親(2世代世帯)		親 71.4	友人・知人 52.7	その他の家族・親族 25.0	配偶者(事実婚含む)・パートナー 17.9	民間サービス 17.0
	自分と子と孫(3世代世帯)		子ども 81.8	配偶者(事実婚含む)・パートナー 50.0	その他の家族・親族 31.8	友人・知人 22.7	市役所 13.6
	親と自分と子(3世代世帯)		配偶者(事実婚含む)・パートナー 76.9	子ども 38.5	親 -	その他の家族・親族 23.1	友人・知人 15.4
	祖父母と親と自分(3世代世帯)		親 100.0	友人・知人 60.0	その他の家族・親族 -	配偶者(事実婚含む)・パートナー 6.7	子ども -
	その他		その他の家族・親族 85.0	友人・知人 55.0	市役所 15.0	民間サービス -	子ども 10.0

婚姻状況別で見ると、現在結婚しているでは「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が第1位となっており、過去に結婚していた（離別、死別など）では「子ども」が第1位、一度も結婚したことはないでは「親」が第1位となっている。

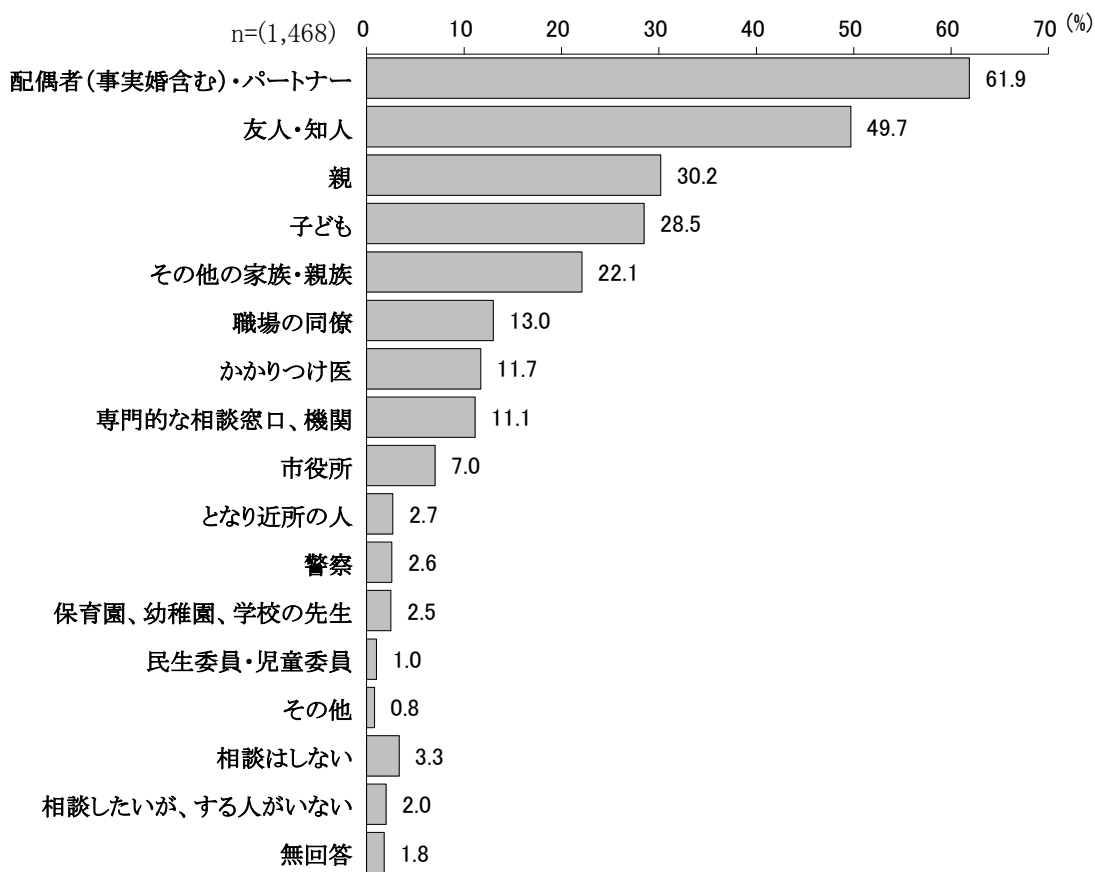
家族構成別で見ると、自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー、自分と子（2世代世帯）、親と自分と子（3世代世帯）では「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が第1位となっており、自分と親（2世代世帯）、祖父母と親と自分（3世代世帯）では「親」が第1位、自分と子と孫（3世代世帯）では「子ども」が第1位、ひとり暮らしでは「友人・知人」が第1位となっている。（図表1－83）

1-15 相談相手

◎ 「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が6割台前半で最も高い。

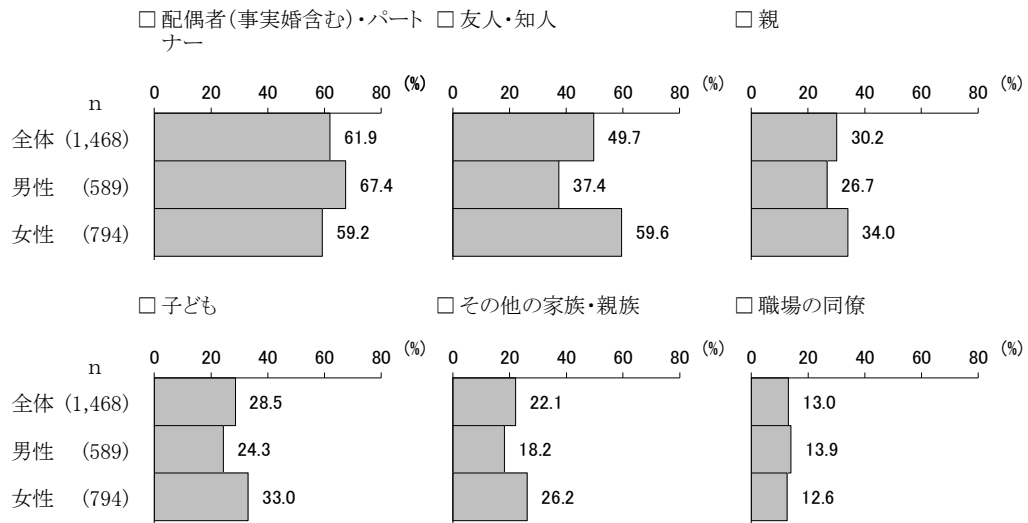
問11 あなたは、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。
(○はいくつでも)

図表1-84 相談相手(複数回答)



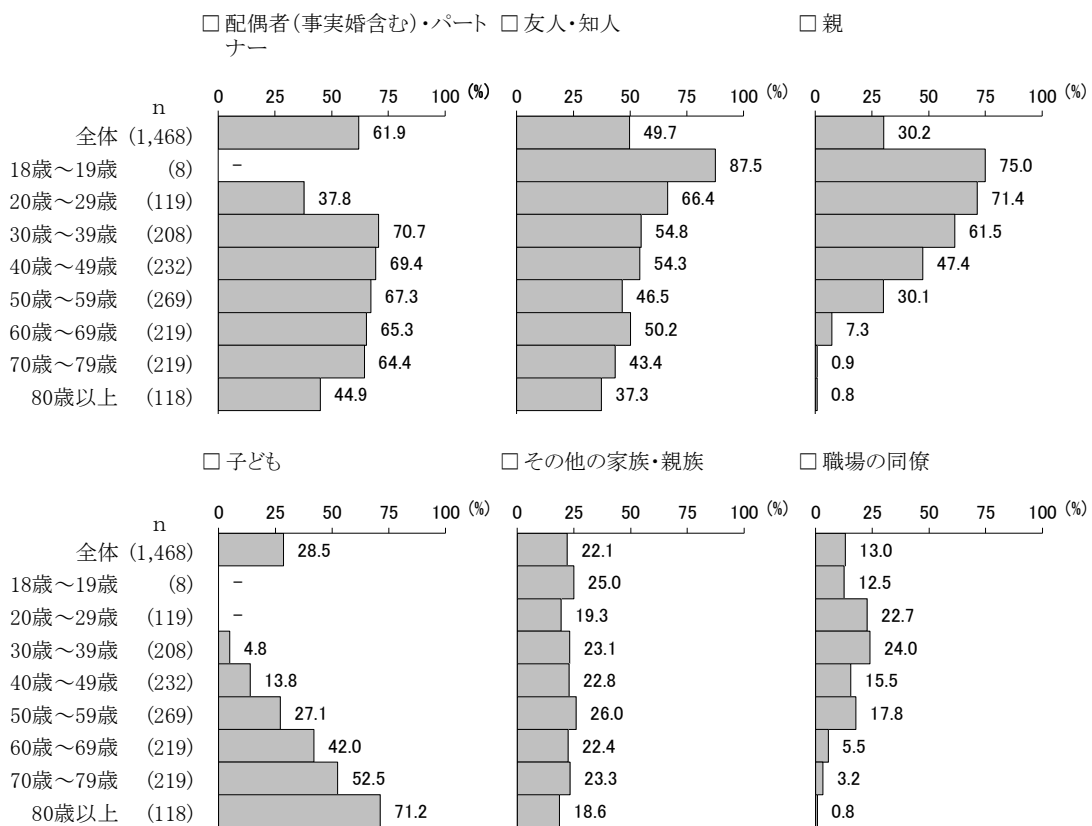
心配ごとや悩みごとができた場合の相談相手は、「配偶者(事実婚含む)・パートナー」(61.9%)が6割台前半で最も高い。次いで、「友人・知人」(49.7%)が約5割、「親」(30.2%)が3割、「子ども」(28.5%)が2割台後半となっている。(図表1-84)

図表1－85 相談相手（性別）上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、「配偶者（事実婚含む）・パートナー」では8.2ポイント、男性の方が女性より高くなっている。一方、「友人・知人」が22.2ポイント、「子ども」が8.7ポイント、「その他の家族・親族」が8.0ポイント、「親」が7.3ポイント、女性の方が男性より高くなっている。（図表1－85）

図表1－86 相談相手（年代別）上位6項目



年代別で見ると、「友人・知人」、「親」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、「親」は20歳～29歳で7割台前半と最も高くなっている。一方、「子ども」は、年代が上がるにつれて高くなっており、80歳以上で7割台前半と最も高くなっている。（図表1－86）

図表1－87 相談相手（婚姻状況別・家族構成別）上位5項目

(%)

属性		順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体			配偶者(事実婚含む)・パートナー 61.9	友人・知人 49.7	親 30.2	子ども 28.5	その他の家族・親族 22.1
婚姻状況別	現在、結婚している		配偶者(事実婚含む)・パートナー 87.9	友人・知人 45.6	子ども 36.2	親 29.2	その他の家族・親族 19.9
	過去に結婚していた(離別、死別など)		友人・知人 57.5	子ども 40.5	その他の家族・親族 29.4	かかりつけ医 17.6	専門的な相談窓口、機関 11.8
	一度も結婚したことはない		友人・知人 60.9	親 46.1	その他の家族・親族 29.0	職場の同僚 20.2	配偶者(事実婚含む)・パートナー 13.1
家族構成別	ひとり暮らし		友人・知人 59.3	親 その他の家族・親族 28.1	－ －	職場の同僚 17.5	子ども 16.0
	自分と配偶者(事実婚含む)・パートナー		配偶者(事実婚含む)・パートナー 89.9	友人・知人 43.3	子ども 35.9	親 19.5	その他の家族・親族 18.2
	自分と子(2世代世帯)		配偶者(事実婚含む)・パートナー 80.4	友人・知人 48.6	親 38.1	子ども 35.0	その他の家族・親族 22.9
	自分と親(2世代世帯)		友人・知人 親 58.9	－ －	配偶者(事実婚含む)・パートナー 19.6	その他の家族・親族 18.8	職場の同僚 17.0
	自分と子と孫(3世代世帯)		子ども 68.2	配偶者(事実婚含む)・パートナー 50.0	友人・知人 45.5	その他の家族・親族 かかりつけ医 18.2	－ －
	親と自分と子(3世代世帯)		配偶者(事実婚含む)・パートナー 76.9	友人・知人 42.3	親 34.6	子ども その他の家族・親族 23.1	－ －
	祖父母と親と自分(3世代世帯)		親 93.3	友人・知人 73.3	その他の家族・親族 60.0	配偶者(事実婚含む)・パートナー 職場の同僚 13.3	－ －
	その他		友人・知人 80.0	その他の家族・親族 60.0	専門的な相談窓口、機関 20.0	子ども かかりつけ医 市役所 10.0	－ －

婚姻状況別で見ると、現在結婚しているでは「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が第1位となっており、過去に結婚していた（離別、死別など）、一度も結婚したことはないでは「友人・知人」がともに第1位となっている。

家族構成別で見ると、自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー、自分と子（2世代世帯）、親と自分と子（3世代世帯）では「配偶者（事実婚含む）・パートナー」が第1位となっており、ひとり暮らし、その他では「友人・知人」が第1位、自分と親（2世代世帯）では「友人・知人」と「親」が同率第1位、自分と子と孫（3世代世帯）では「子ども」が第1位となっている。（図表1－87）

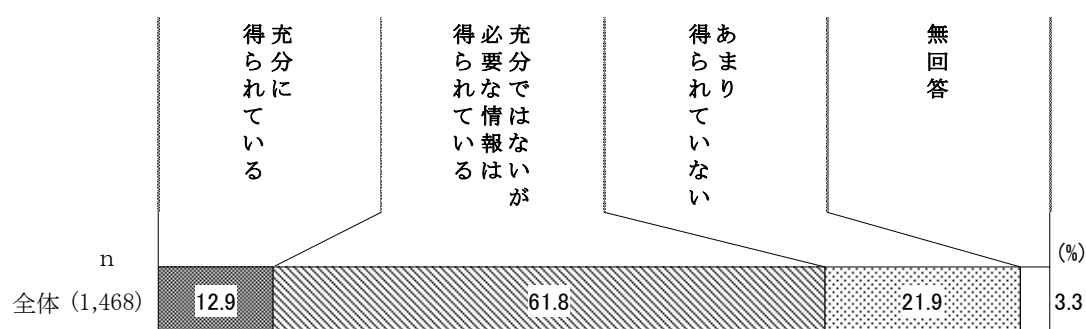
2 市政に関する情報提供などについて

2-1 市の情報の入手状況

◎ 「充分ではないが必要な情報は得られている」が6割台前半、「あまり得られていない」が2割台前半である。

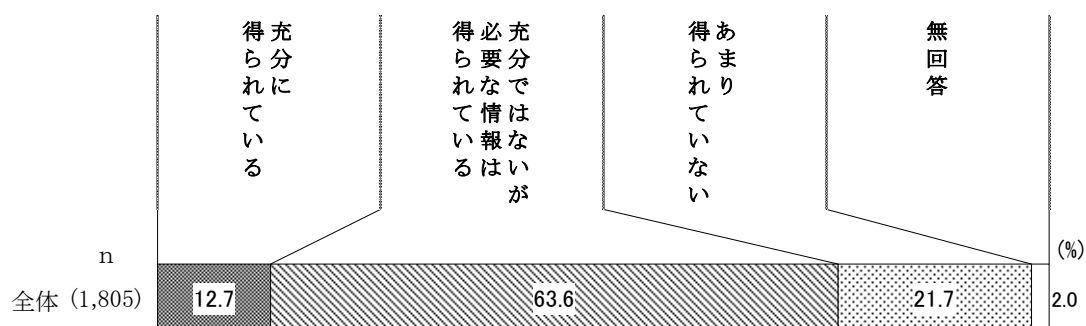
問12 あなたは現在、武蔵野市の情報を十分に得られていると思いますか。(○は1つ)

図表2-1 市の情報の入手状況



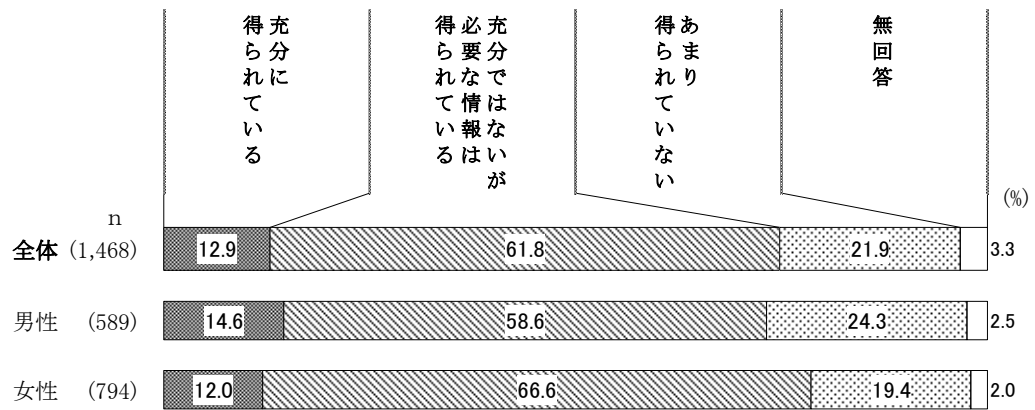
市の情報の入手状況は、「十分に得られている」(12.9%)と「充分ではないが必要な情報は得られている」(61.8%)を合わせると7割を超えている。「あまり得られていない」(21.9%)が2割台前半となっている。(図表2-1)

参考：令和2年度調査の結果



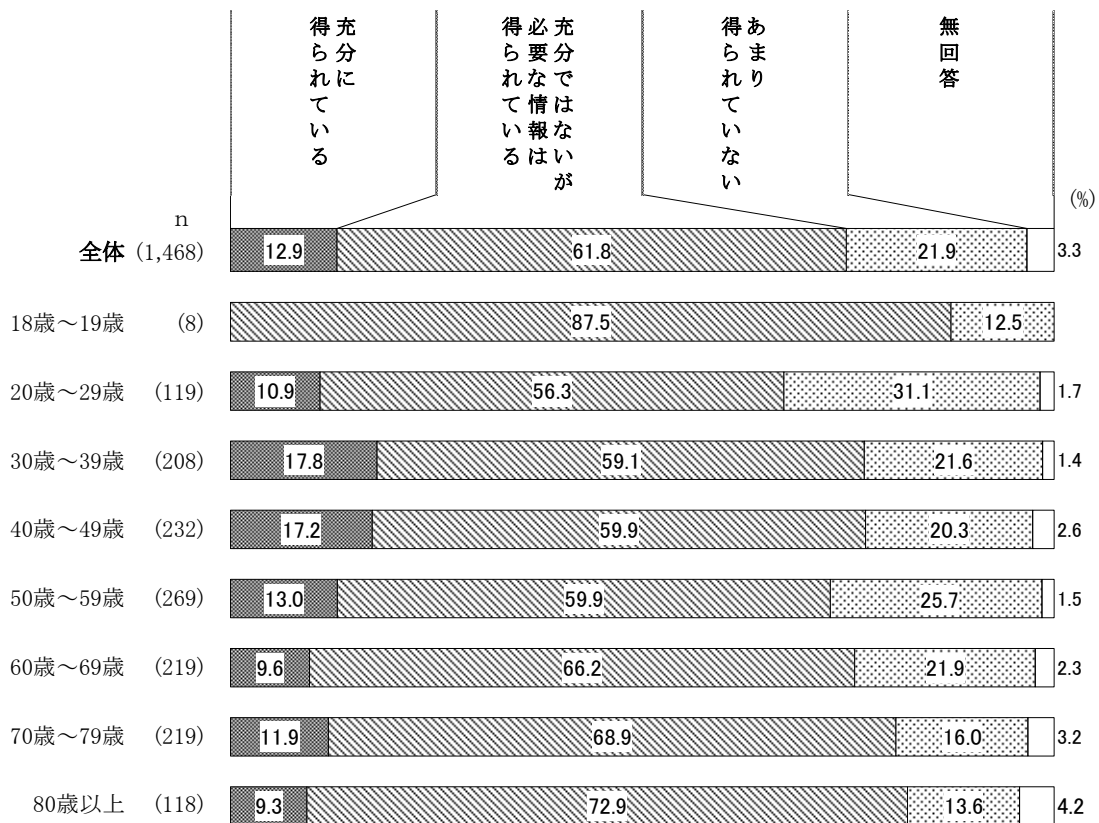
前回調査と比較すると、「充分ではないが必要な情報は得られている」が1.8ポイント減少している。

図表2－2 市の情報の入手状況（性別）



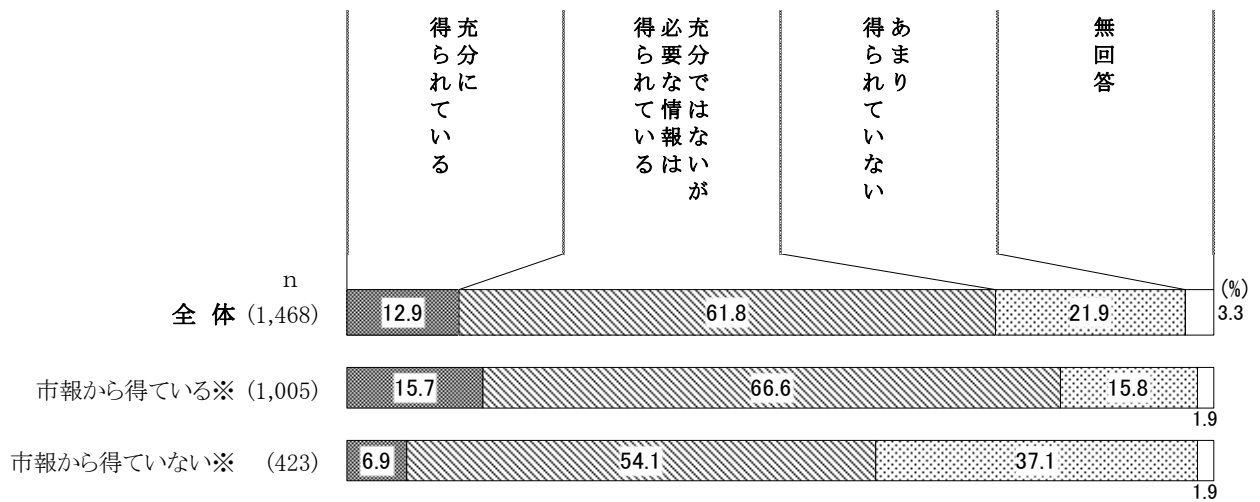
性別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、女性の方が男性より5.4ポイント高くなっている。一方、「あまり得られていない」は、男性の方が女性より4.9ポイント高くなっている。（図表2－2）

図表2－3 市の情報の入手状況（年代別）



年代別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、20歳～29歳を除いた年代で7割以上となっている。一方、「あまり得られていない」は、20歳～29歳で3割台前半となっている。（図表2－3）

図表2－4 市の情報の入手状況（市報からの市政情報入手別）



※「市報から得ている」は、《問14 広報媒体の認知状況》の『ア)市報』で「知っていて、利用している」と回答した人、「市報から得ていない」は、《問14 広報媒体の認知状況》の『ア)市報』で「知っているが、利用していない」もしくは「知らない」と回答した人を指している。

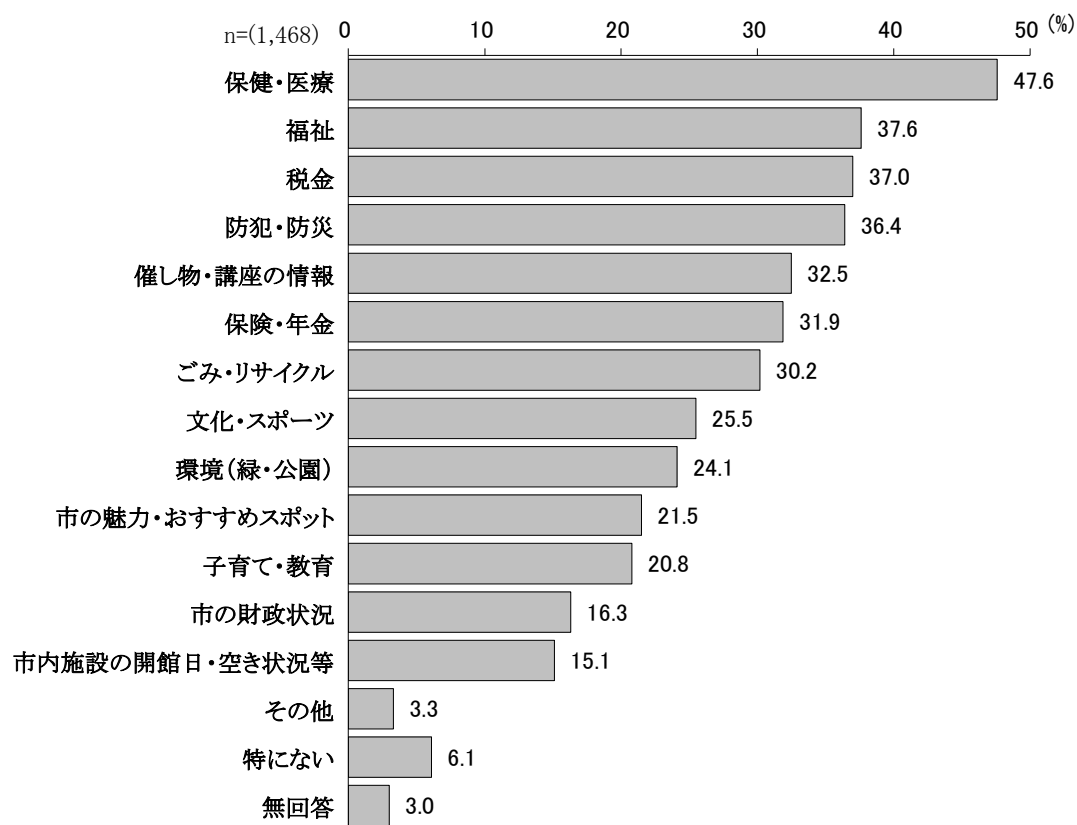
市報からの市政情報入手別で見ると、「十分に得られている」と「充分ではないが必要な情報は得られている」の合計は、市報から得ている人で8割台前半となっているのに対して、市報から得ていない人で6割台前半と差が出ている。また、「あまり得られていない」では、市報から得ていない人では3割台後半と高くなっている。（図表2－4）

2-2 知りたい行政情報

◎ 「保健・医療」が4割台後半で最も高い。

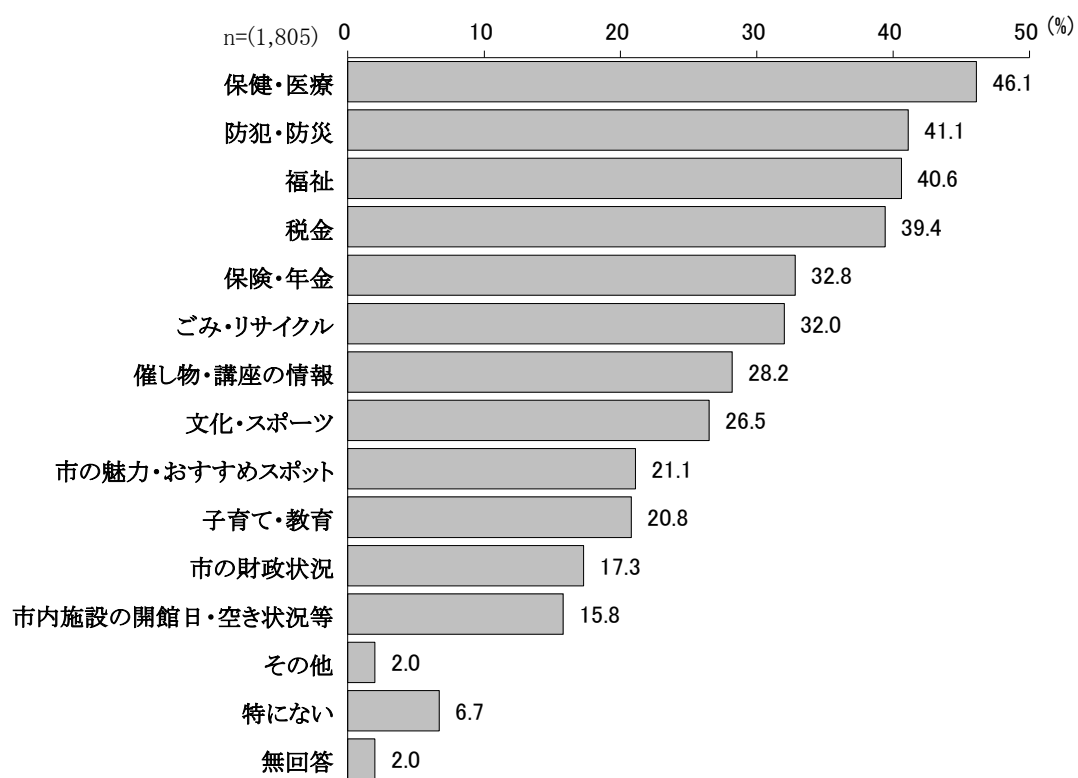
問13 あなたは、市政に関するどのような情報を知りたいと思いますか。(○はいくつでも)

図表2-5 知りたい行政情報（複数回答）



知りたい行政情報は、「保健・医療」（47.6%）が4割台後半で最も高い。次いで、「福祉」（37.6%）、「税金」（37.0%）、「防犯・防災」（36.4%）が3割台後半、「催し物・講座の情報」（32.5%）、「保険・年金」（31.9%）が3割台前半で続く。（図表2-5）

参考：令和2年度調査の結果



前回調査と比較すると、「保健・医療」は第1位で変わらず、前回第3位の「福祉」が第2位、前回第4位の「税金」が第3位となっている。割合を見ると、「防犯・防災」は前回調査と比べて4.7ポイント減少、「催し物・講座の情報」は4.3ポイント増加している。

図表2－6 知りたい行政情報（性別・介護が必要な同居家族の有無別）上位10項目

(%)

属性 順位	全体	男性	女性	介護が必要な同居家族が	
				いる	いない
1位	保健・医療 47.6	保健・医療 46.2	保健・医療 50.0	福祉 65.9	保健・医療 47.4
2位	福祉 37.6	税金 39.9	福祉 39.8	保健・医療 59.3	税金 38.0
3位	税金 37.0	福祉 35.8	防犯・防災 39.4	保険・年金 50.4	防犯・防災 37.5
4位	防犯・防災 36.4	防犯・防災 35.1	催し物・講座の情報 35.8	防犯・防災 43.0	福祉 34.6
5位	催し物・講座の情報 32.5	保険・年金 34.3	税金 35.4	税金 41.5	催し物・講座の情報 34.2
6位	保険・年金 31.9	催し物・講座の情報 29.0	ごみ・リサイクル 32.7	ごみ・リサイクル 28.1	ごみ・リサイクル 32.0
7位	ごみ・リサイクル 30.2	ごみ・リサイクル 28.9	保険・年金 31.5	催し物・講座の情報 24.4	保険・年金 31.1
8位	文化・スポーツ 25.5	文化・スポーツ 26.3	文化・スポーツ 25.7	環境(緑・公園) 22.2	文化・スポーツ 27.2
9位	環境(緑・公園) 24.1	環境(緑・公園) 24.4	環境(緑・公園) 24.6	文化・スポーツ 20.0	環境(緑・公園) 25.6
10位	市の魅力・おすすめ スポット 21.5	市の財政状況 20.2	市の魅力・おすすめ スポット 23.6	市の財政状況 14.1	子育て・教育 23.5

性別で見ると、「保健・医療」は男女ともに第1位となっている。男性の第2位は「税金」、第3位は「福祉」となっている。女性の第2位は「福祉」、第3位は「防犯・防災」となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「福祉」は31.3ポイント、「保険・年金」は19.3ポイント、「保健・医療」は11.9ポイント、介護が必要な同居家族がいる場合の方が高くなっている。一方、「催し物・講座の情報」は、介護が必要な同居家族がいない場合の方が9.8ポイント高くなっている。（図表2－6）

図表2－7 知りたい行政情報（年代別）上位10項目

(%)

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	税金 62.5	税金 52.1	子育て・教育 53.4	保健・医療 46.1	保健・医療 55.4	保健・医療 53.0	保健・医療 55.3	保健・医療 47.5
2位	市の財政状況 市内施設の開館日・空き状況等 50.0	保険・年金 43.7	税金 41.3	催し物・講座の情報 45.7	防犯・防災 44.6	福祉 47.9	福祉 47.0	福祉 38.1
3位	- -	市の魅力・おすすめスポット 36.1	保健・医療 38.9	防犯・防災 43.1	福祉 42.0	保険・年金 42.0	防犯・防災 35.2	防犯・防災 31.4
4位	保険・年金 市の魅力・おすすめスポット 25.0	保健・医療 催し物・講座の情報 34.5	催し物・講座の情報 37.5	子育て・教育 42.7	税金 36.8	税金 37.4	保険・年金 ごみ・リサイクル 32.0	ごみ・リサイクル 28.8
5位	- -	- -	防犯・防災 33.2	税金 39.7	ごみ・リサイクル 34.6	防犯・防災 36.5	- -	保険・年金 26.3
6位	保健・医療 防犯・防災 環境（緑・公園） 子育て・教育 12.5	防犯・防災 33.6	市の魅力・おすすめスポット 31.7	文化・スポーツ 37.9	保険・年金 33.5	ごみ・リサイクル 36.1	税金 催し物・講座の情報 29.7	税金 25.4
7位	- -	福祉 子育て・教育 31.1	環境（緑・公園） 30.8	福祉 36.2	催し物・講座の情報 文化・スポーツ 32.7	催し物・講座の情報 28.8	- -	催し物・講座の情報 13.6
8位	- -	- -	文化・スポーツ 28.8	ごみ・リサイクル 33.6	- -	環境（緑・公園） 24.2	環境（緑・公園） 17.8	文化・スポーツ 12.7
9位	- -	環境（緑・公園） 29.4	ごみ・リサイクル 25.5	市の魅力・おすすめスポット 32.3	環境（緑・公園） 24.9	文化・スポーツ 21.0	文化・スポーツ 16.4	市の財政状況 11.9
10位	- -	文化・スポーツ 25.2	保険・年金 21.6	保険・年金 31.9	市の魅力・おすすめスポット 20.4	市の財政状況 14.2	市の財政状況 14.6	環境（緑・公園） 市の魅力・おすすめスポット 11.0

年代別で見ると、18歳～19歳、20歳～29歳、30歳～39歳を除いた年代では「保健・医療」が第1位となっている。18歳～19歳、20歳～29歳では「税金」が第1位、30歳～39歳では「子育て・教育」が第1位となっている。（図表2－7）

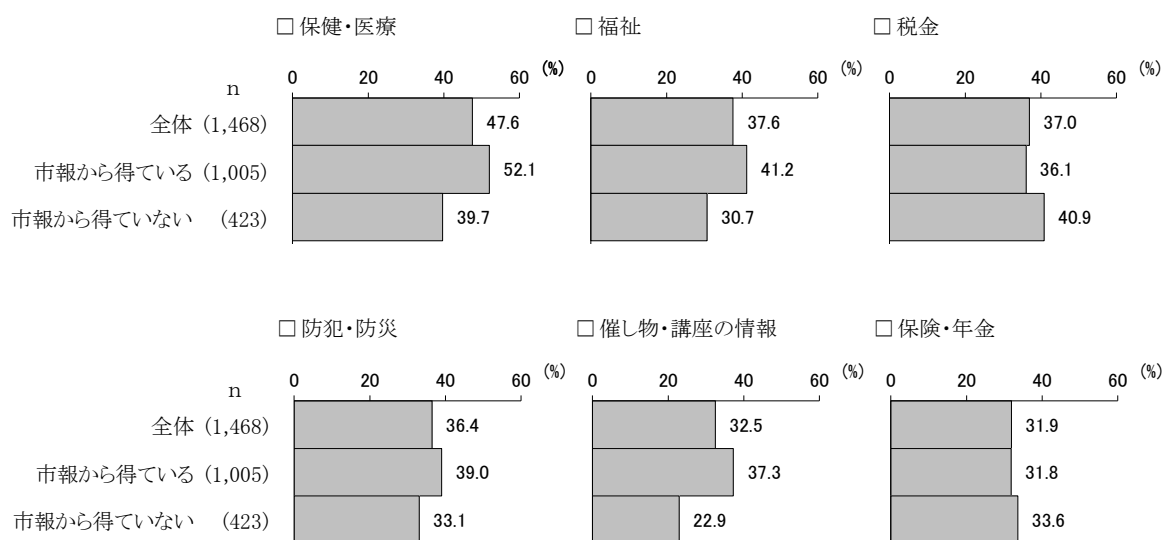
図表2－8 知りたい行政情報（子どもの就学状況別）上位10項目

(%)

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1 位	子育て・教育 85.8	子育て・教育 72.6	催し物・講座の 情報 子育て・教育 45.5	保健・医療 54.1	保健・医療 55.9	保健・医療 54.8	保険・年金 ごみ・リサイクル 57.1
2 位	催し物・講座の 情報 44.1	保健・医療 47.6	－ －	催し物・講座の 情報 43.2	防犯・防災 文化・スポーツ 42.4	福祉 50.4	－ －
3 位	保健・医療 41.7	催し物・講座の 情報 文化・スポーツ 44.0	防犯・防災 43.2	福祉 文化・スポーツ 40.5	－ －	防犯・防災 46.1	保健・医療 福祉 税金 42.9
4 位	環境(緑・公園) 34.6	－ －	保健・医療 38.6	－ －	福祉 催し物・講座の 情報 35.6	保険・年金 45.2	－ －
5 位	税金 33.9	税金 36.9	税金 36.4	ごみ・リサイクル 35.1	－ －	ごみ・リサイクル 42.6	－ －
6 位	市の魅力・ おすすめスポット 31.5	防犯・防災 34.5	文化・スポーツ 31.8	税金 防犯・防災 32.4	税金 33.9	税金 36.5	防犯・防災 催し物・講座の 情報 28.6
7 位	文化・スポーツ 30.7	福祉 33.3	福祉 29.5	－ －	保険・年金 30.5	環境(緑・公園) 21.7	－ －
8 位	福祉 防犯・防災 27.6	環境(緑・公園) 32.1	保険・年金 22.7	保険・年金 24.3	ごみ・リサイクル 27.1	催し物・講座 の情報 20.9	市の魅力・ おすすめスポット 14.3
9 位	－ －	保険・年金 ごみ・リサイクル 26.2	ごみ・リサイクル 環境(緑・公園) 市の魅力・ おすすめスポット 20.5	環境(緑・公園) 市の財政状況 市内施設の開館 日・空き状況等 21.6	市内施設の開館 日・空き状況等 20.3	文化・スポーツ 20.0	－ －
10 位	保険・年金 ごみ・リサイクル 20.5	－ －	－ －	－ －	環境(緑・公園) 18.6	市の財政状況 市内施設の開館 日・空き状況等 10.4	－ －

子どもの就学状況別で見ると、「子育て・教育」は、小学校入学前、小学生、中学生で第1位となっており、中学生では「催し物・講座の情報」も同率第1位となっている。「保健・医療」は、高校生、専門学校、短期大学、大学生等、社会人で第1位となっている。（図表2－8）

図表2－9 知りたい行政情報（市報からの市政情報入手別）上位6項目



上位6項目について、市報からの市政情報入手別で見ると、「税金」、「保険・年金」を除く項目すべてで市報から得ていない人よりも得ている人の方が高く、「催し物・講座の情報」は14.4ポイント、「保健・医療」は12.4ポイント、「福祉」は10.5ポイントと10ポイント以上の差となっている。（図表2－9）

図表2-10 知りたい行政情報（職業別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		保健・医療 47.6	福祉 37.6	税金 37.0	防犯・防災 36.4	催し物・講座の情報 32.5
職業別	自営業・自由業	保健・医療 47.2	税金 45.7	福祉 42.5	防犯・防災 36.2	保険・年金 35.4
	正社員、正職員	保健・医療 44.3	税金 41.1	防犯・防災 37.9	催し物・講座の情報 35.5	子育て・教育 31.9
	契約社員、派遣社員	保健・医療 56.5	税金 防犯・防災 49.3	- -	ごみ・リサイクル 40.6	福祉 保険・年金 39.1
	アルバイト、パート	保健・医療 56.7	催し物・講座の情報 45.5	福祉 42.5	ごみ・リサイクル 41.8	保険・年金 40.3
	家事専業	保健・医療 56.0	福祉 47.1	防犯・防災 43.5	税金 33.5	催し物・講座の情報 保険・年金 33.0
	学生	税金 保険・年金 48.4	- -	環境(緑・公園) 市の魅力・ おすすめスポット 市の財政状況 35.5	- -	- -
	無職	保健・医療 47.4	福祉 42.2	防犯・防災 31.7	保険・年金 28.7	税金 26.5
	その他	福祉 55.9	保健・医療 52.9	税金 ごみ・リサイクル 文化・スポーツ 環境(緑・公園) 41.2	- -	- -

職業別で見ると、学生、その他を除く職業では「保健・医療」が第1位、学生では「税金」と「保険・年金」が同率第1位、その他では「福祉」が第1位となっている。（図表2-10）

図表2－11 知りたい行政情報（家族構成別）上位5項目

(%)

属性 \ 順位		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全体		保健・医療 47.6	福祉 37.6	税金 37.0	防犯・防災 36.4	催し物・講座の情報 32.5
家族構成別	ひとり暮らし	保健・医療 41.4	防犯・防災 36.5	福祉 税金 32.7	－ －	ごみ・リサイクル 30.8
	自分と配偶者 (事実婚含む)・ パートナー	保健・医療 49.5	税金 39.1	福祉 38.9	防犯・防災 35.7	保険・年金 34.5
	自分と子 (2世代世帯)	保健・医療 49.2	子育て・教育 42.8	催し物・講座の情報 37.4	防犯・防災 37.0	福祉 36.7
	自分と親 (2世代世帯)	保健・医療 福祉 51.8	－ －	税金 50.9	保険・年金 48.2	防犯・防災 47.3
	自分と子と孫 (3世代世帯)	保健・医療 54.5	ごみ・リサイクル 45.5	防犯・防災 保険・年金 36.4	－ －	福祉 税金 27.3
	親と自分と子 (3世代世帯)	保健・医療 50.0	防犯・防災 46.2	福祉 子育て・教育 38.5	－ －	税金 催し物・講座の情報 保険・年金 環境(緑・公園) 30.8
	祖父母と親と自分 (3世代世帯)	税金 86.7	保健・医療 80.0	防犯・防災 保険・年金 73.3	－ －	福祉 66.7
	その他	ごみ・リサイクル 60.0	保健・医療 55.0	福祉 50.0	税金 40.0	防犯・防災 35.0

家族構成別で見ると、「保健・医療」は、ひとり暮らし、自分と配偶者（事実婚含む）・パートナー、自分と子（2世代世帯）、自分と親（2世代世帯）、自分と子と孫（3世代世帯）、親と自分と子（3世代世帯）で第1位となっており、自分と親（2世代世帯）では「福祉」も同率第1位となっている。祖父母と親と自分（3世代世帯）では「税金」が第1位、その他では「ごみ・リサイクル」が第1位となっている。（図表2－11）

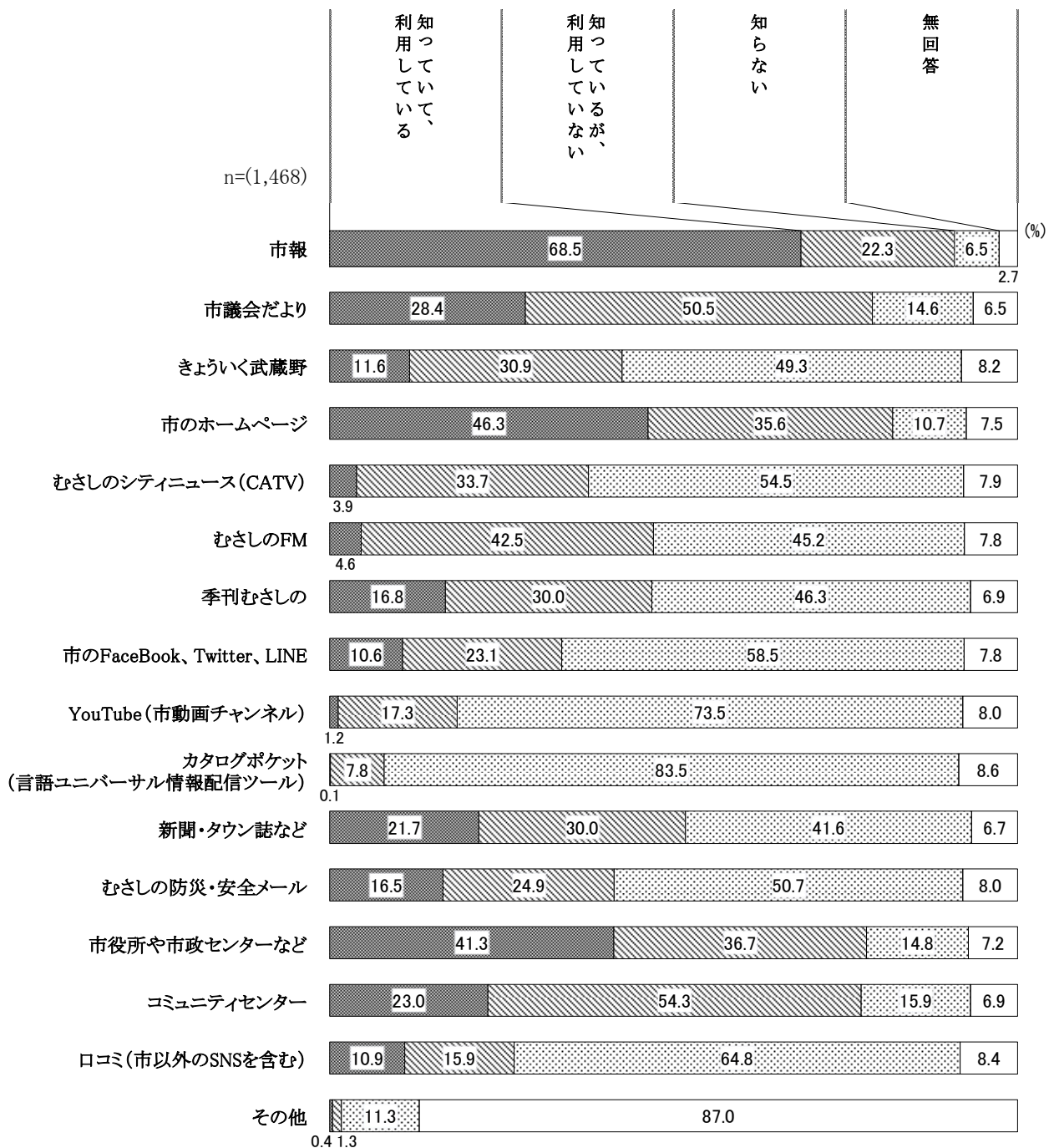
2-3 広報媒体の認知状況

◎ 「知っていて、利用している」は、「市報」が6割台後半で最も高い。

問14 市では、さまざまな手段(場所)で、武蔵野市の情報を発信しています。

あなたは、次の手段(場所)を知っていますか。また、利用していますか。(○はそれぞれ1つ)

図表2-12 広報媒体の認知状況



※「むさしのシティニュース(CATV)」は、前回は「ジェイコム東京むさしのシティニュース」であった。

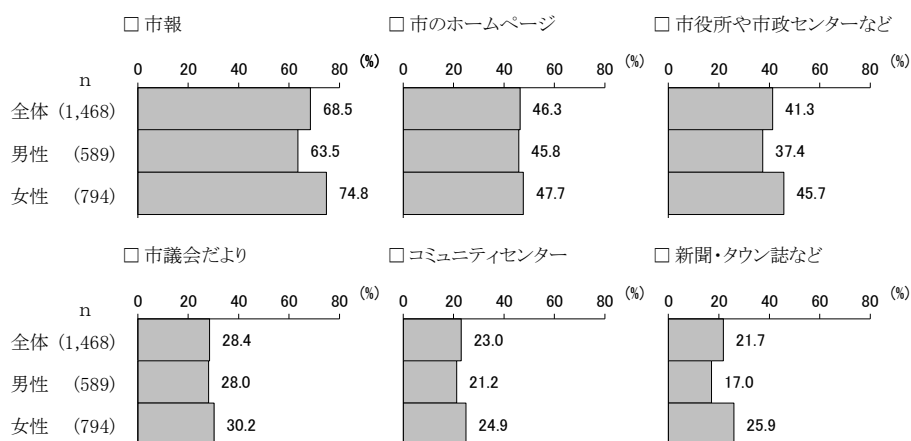
※「市のFaceBook, Twitter, LINE」は、前回は「市のフェイスブック・ツイッター」であった。

※「ロコミ(市以外のSNSを含む)」は、前回は「近所の人などからのロコミ」であった。

※今回から「市議会だより」、「きょういく武蔵野」、「むさしの防災・安全メール」を新規で追加した。

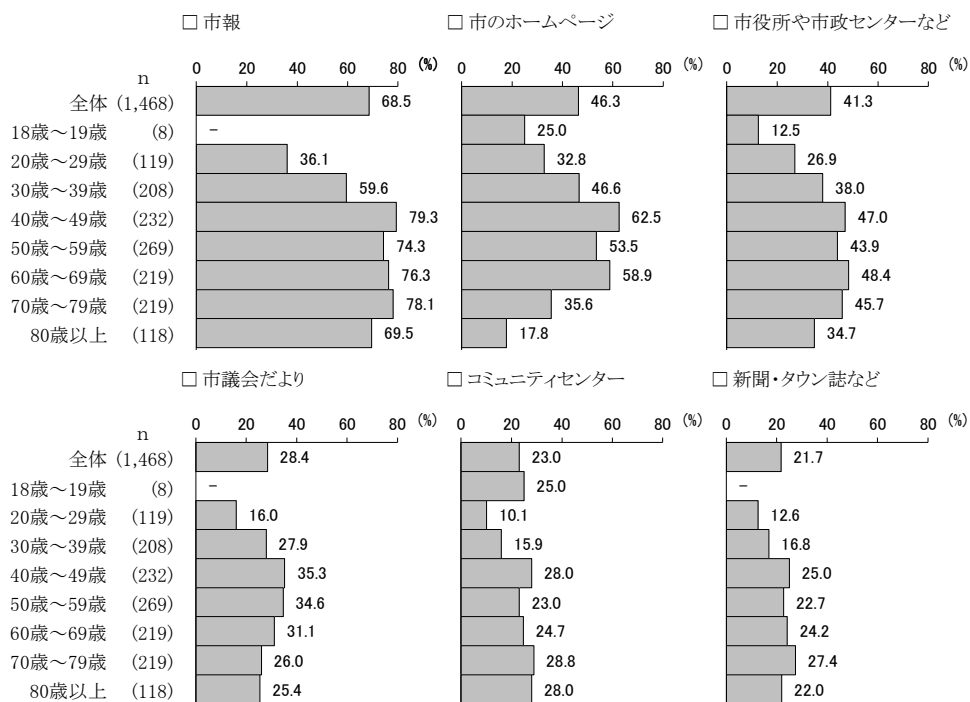
広報媒体の認知状況は、「知っていて、利用している」は〔市報〕（68.5%）が6割台後半で最も高い。次いで、〔市のホームページ〕（46.3%）が4割台後半、〔市役所や市政センターなど〕（41.3%）が4割台前半と続く。一方「知らない」は、〔カタログポケット（言語ユニバーサル情報配信ツール）〕（83.5%）、〔YouTube（市動画チャンネル）〕（73.5%）、〔ロコミ（市以外のSNSを含む）〕（64.8%）、〔市のFaceBook、Twitter、LINE〕（58.5%）、〔むさしのシティニュース（CATV）〕（54.5%）、〔むさしの防災・安全メール〕（50.7%）で過半数を超えて高い。（図表2-12）

図表2-13 広報媒体の認知状況（「知っていて、利用している」の割合、性別）上位6項目



「知っていて、利用している」の割合の上位6項目について、性別で見ると、「市報」は11.3ポイント、「新聞・タウン誌など」は8.9ポイント、「市役所や市政センターなど」は8.3ポイント、女性の方が男性より高くなっている。（図表2-13）

図表2-14 広報媒体の認知状況（「知っていて、利用している」の割合、年代別）上位6項目



年代別で見ると、「市報」は、40歳～79歳の各年代で7割台となっており、「市のホームページ」は、40歳～49歳で6割台前半と他の年代に比べて高くなっている。「新聞・タウン誌など」は、70歳～79歳で2割台後半と他の年代に比べて高くなっている。（図表2-14）

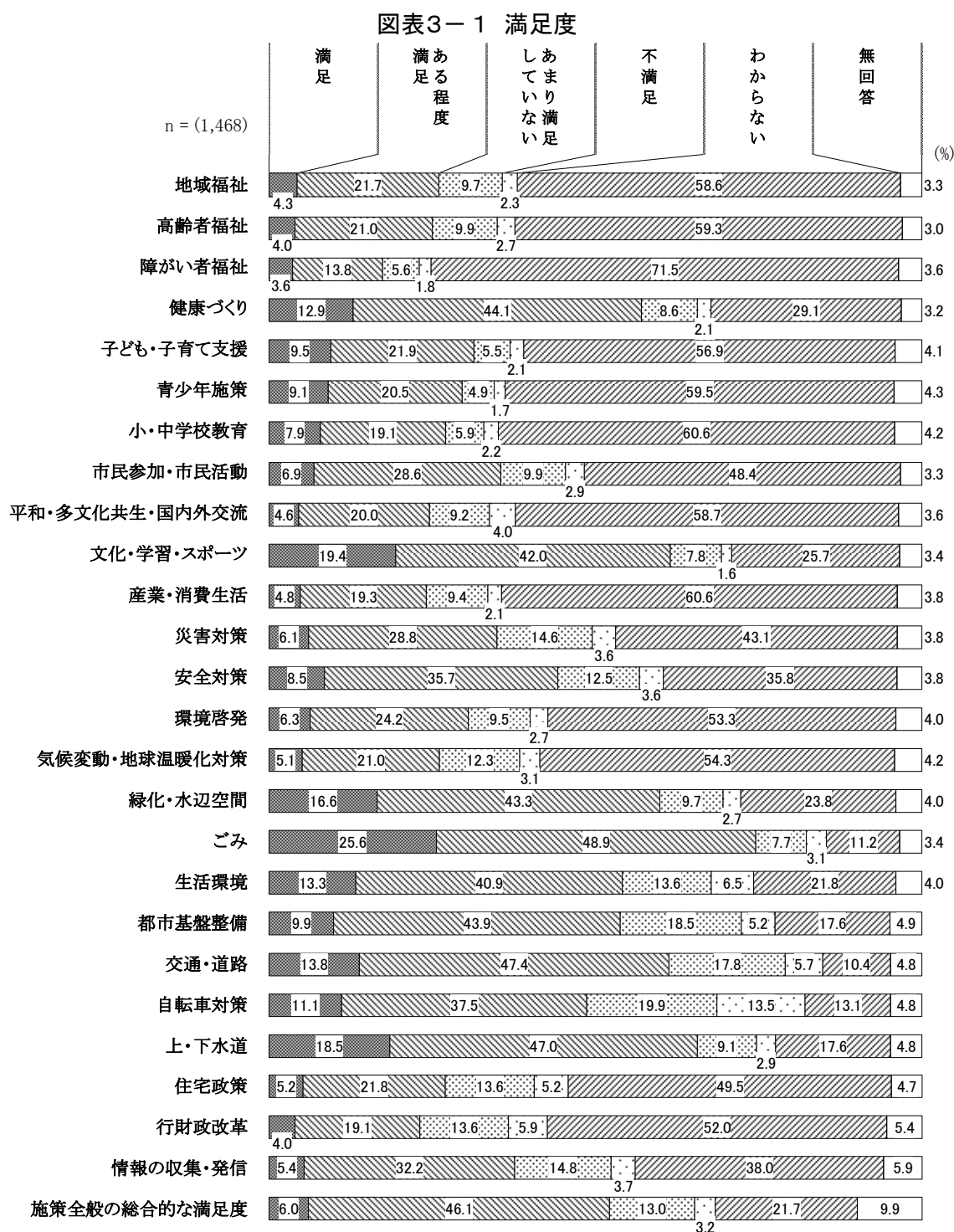
3 市の施策に対する満足度・重要度について

3-1 満足度

◎ 「施策全般の総合的な満足度」は「ある程度満足」が5割台前半である。

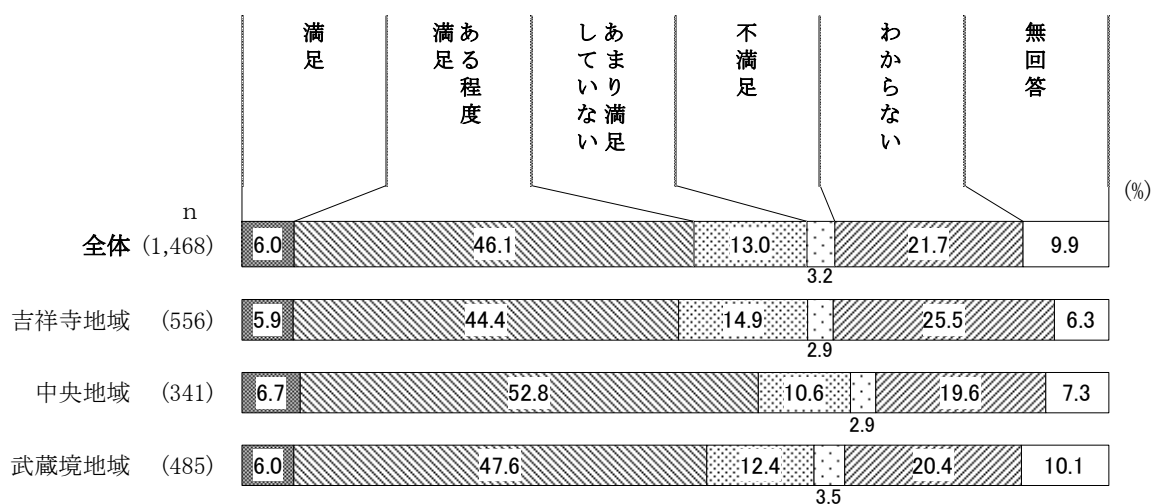
問15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、②今後の重要度については可能な限りご回答ください。

①現在の市の施策・事業の実施状況、または今後実施予定の施策・事業に対し、どの程度満足していますか。満足度を判断できない場合は「わからない」に○をしてください。(○は項目ごとにそれぞれ1つ)



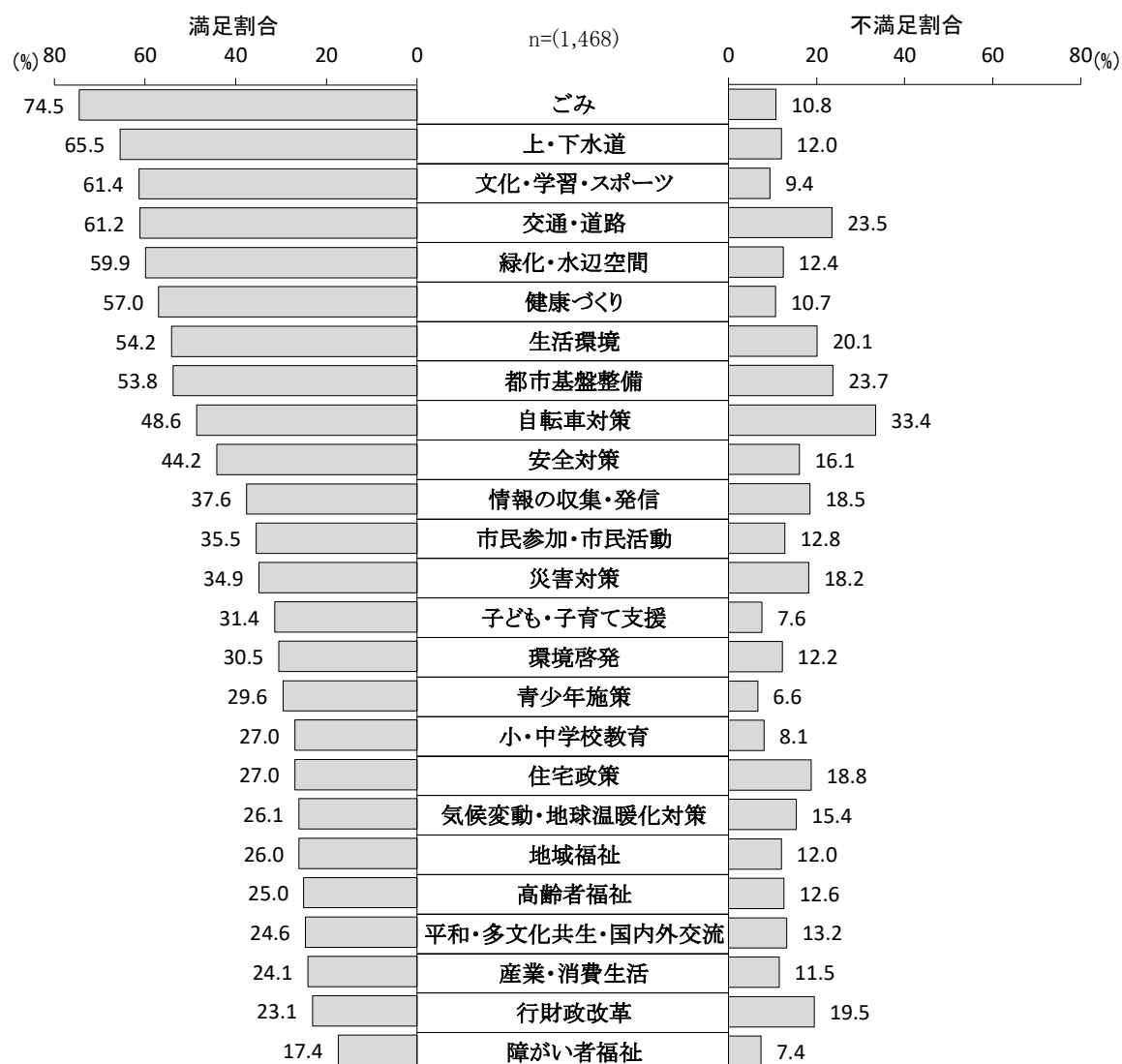
施策全般の総合的な満足度を見ると、「満足」（6.0％）と「ある程度満足」（46.1％）を合せた『満足』（52.1％）は、5割台前半である。一方、「あまり満足していない」（13.0％）と「不満足」（3.2％）を合わせた『不満足』（16.2％）は、1割台後半となっている。（図表3－1）

図表3－2 施策全般の総合的な満足度（居住地域別）



施策全般の総合的な満足度について、居住地域別で見ると、『満足』は中央地域で最も高くなっている。（図表3－2）

図表3－3 満足割合・不満割合（満足順）



『満足』

（「満足」＋「ある程度満足」）を合わせた『満足』の割合が高い順に見ると、〔ごみ〕（74.5%）が7割台半ば、〔上・下水道〕（65.5%）が6割台半ば、〔文化・学習・スポーツ〕（61.4%）、〔交通・道路〕（61.2%）が6割台前半、〔緑化・水辺空間〕（59.9%）、〔健康づくり〕（57.0%）が5割台後半で続いている。（図表3－3）

『不満』

（「不満」＋「あまり満足していない」）を合わせた『不満』の割合は、〔自転車対策〕（33.4%）が3割台前半で最も高い。次いで、〔都市基盤整備〕（23.7%）、〔交通・道路〕（23.5%）、〔生活環境〕（20.1%）が2割台前半、〔行財政改革〕（19.5%）、〔住宅政策〕（18.8%）、〔情報の収集・発信〕（18.5%）、〔災害対策〕（18.2%）が1割台後半で続いている。（図表3－3）

図表3－4 満足割合（満足度順、前回比較）

（満足度順）

（％）

順位	項目	満足度	前回	前回順位
1	ごみ	74.5	69.6	2
2	上・下水道	65.5	73.0	1
3	文化・学習・スポーツ	61.4	59.6	6
4	交通・道路	61.2	67.3	3
5	緑化・水辺空間	59.9	66.3	4
6	健康づくり	57.0	56.4	7
7	生活環境	54.2	53.6	8
8	都市基盤整備※	53.8	60.3	5
9	自転車対策	48.6	49.8	9
10	安全対策	44.2	44.0	10
11	情報の収集・発信	37.6	37.0	12
12	市民参加・市民活動	35.5	28.5	17
13	災害対策	34.9	37.7	11
14	子ども・子育て支援※	31.4	28.7	16
15	環境啓発※	30.5	－	－
16	青少年施策	29.6	29.4	13
17	小・中学校教育	27.0	25.4	21
17	住宅政策	27.0	29.0	15
19	気候変動・地球温暖化対策※	26.1	29.1	14
20	地域福祉	26.0	28.0	18
21	高齢者福祉	25.0	27.9	19
22	平和・多文化共生・国内外交流	24.6	22.0	23
23	産業・消費生活	24.1	22.5	22
24	行財政改革	23.1	25.7	20
25	障がい者福祉	17.4	20.0	24

※「都市基盤整備」は、前回調査では「まちづくり・都市整備」であった。

※「子ども・子育て支援」は、前回調査では「子育て支援」であった。

※「環境啓発」は、今回調査にて追加した。

※「気候変動・地球温暖化対策」は、前回調査では「エネルギー・資源」であった。

図表3－5 満足度(項目別件数表および満足度)(件数)

番号	項目	4	3	2	1		わからない	無回答	満足度
		満足	満足 ある 程度	あまり して いない	不満足	合計			
1	地域福祉	63	319	143	34	559	860	49	2.735
2	高齢者福祉	59	309	146	40	554	870	44	2.699
3	障がい者福祉	53	203	82	27	365	1050	53	2.773
4	健康づくり	189	648	126	31	994	427	47	3.001
5	子ども・子育て支援	139	321	81	31	572	836	60	2.993
6	青少年施策	133	301	72	25	531	874	63	3.021
7	小・中学校教育	116	281	87	33	517	889	62	2.928
8	市民参加・市民活動	101	420	145	43	709	711	48	2.817
9	平和・多文化共生・国内外交流	67	293	135	58	553	862	53	2.667
10	文化・学習・スポーツ	285	616	115	24	1040	378	50	3.117
11	産業・消費生活	70	283	138	31	522	890	56	2.751
12	災害対策	89	423	214	53	779	633	56	2.703
13	安全対策	125	524	184	53	886	526	56	2.814
14	環境啓発	93	355	139	40	627	782	59	2.799
15	気候変動・地球温暖化対策	75	309	180	46	610	797	61	2.677
16	緑化・水辺空間	243	636	142	40	1061	349	58	3.020
17	ごみ	376	718	113	46	1253	165	50	3.136
18	生活環境	195	600	199	96	1090	320	58	2.820
19	都市基盤整備	145	644	272	77	1138	258	72	2.753
20	交通・道路	203	696	262	83	1244	153	71	2.819
21	自転車対策	163	551	292	198	1204	193	71	2.564
22	上・下水道	272	690	134	43	1139	258	71	3.046
23	住宅政策	76	320	200	76	672	727	69	2.589
24	行財政改革	58	281	199	86	624	764	80	2.498
25	情報の収集・発信	79	472	217	55	823	558	87	2.699
26	施策全般の総合的な満足度	88	677	191	47	1003	319	146	2.804

【満足度】

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」、無回答を除いた回答の平均値を【満足度】とした。(図表3－5)

例：「地域福祉」について見ると、満足度は2.735となる。

【満足度(加重平均)】

(4点×63件＋3点×319件＋2点×143件＋1点×34件)÷559(合計件数)＝2.735

図表3－6 満足度（点数順）

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	ごみ	3.136	14	障がい者福祉	2.773
2	文化・学習・スポーツ	3.117	15	都市基盤整備	2.753
3	上・下水道	3.046	16	産業・消費生活	2.751
4	青少年施策	3.021	17	地域福祉	2.735
5	緑化・水辺空間	3.020	18	災害対策	2.703
6	健康づくり	3.001	19	情報の収集・発信	2.699
7	子ども・子育て支援	2.993	19	高齢者福祉	2.699
8	小・中学校教育	2.928	21	気候変動・地球温暖化対策	2.677
9	生活環境	2.820	21	平和・多文化共生・国内外交流	2.667
10	交通・道路	2.819	23	住宅政策	2.589
11	市民参加・市民活動	2.817	24	自転車対策	2.564
12	安全対策	2.814	25	行財政改革	2.498
13	環境啓発	2.799			

最も【満足度】が高いのは〔ごみ〕（3.136）である。次いで、〔文化・学習・スポーツ〕（3.117）、〔上・下水道〕（3.046）、〔青少年施策〕（3.021）、〔緑化・水辺空間〕（3.020）、〔健康づくり〕（3.001）の順となっている。

一方、最も【満足度】が低いのは〔行財政改革〕（2.498）である。次いで、〔自転車対策〕（2.564）、〔住宅政策〕（2.589）、〔平和・多文化共生・国内外交流〕（2.667）、〔気候変動・地球温暖化対策〕（2.677）の順となっている。（図表3－6）

図表3－7 満足度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	ごみ 3.136	ごみ 3.107	文化・学習・スポーツ 3.178	ごみ 3.080	文化・学習・スポーツ 3.198	ごみ 3.170	ごみ 3.130	文化・学習・スポーツ 3.134
2位	文化・学習・スポーツ 3.117	上・下水道 3.044	ごみ 3.156	文化・学習・スポーツ 3.079	ごみ 3.187	文化・学習・スポーツ 3.109	文化・学習・スポーツ 3.023	ごみ 3.130
3位	上・下水道 3.046	文化・学習・スポーツ 3.041	青少年施策 3.118	青少年施策 子ども・子育て支援 3.000	青少年施策 3.124	上・下水道 3.087	青少年施策 3.000	緑化・水辺空間 3.048
4位	青少年施策 3.021	緑化・水辺空間 2.973	子ども・子育て支援 3.062	－ －	健康づくり 3.107	緑化・水辺空間 3.037	上・下水道 2.981	上・下水道 3.044
5位	緑化・水辺空間 3.020	健康づくり 2.926	緑化・水辺空間 3.061	上・下水道 2.982	上・下水道 3.105	健康づくり 2.988	健康づくり 2.930	青少年施策 3.026
6位	健康づくり 3.001	青少年施策 2.908	健康づくり 3.058	緑化・水辺空間 2.978	緑化・水辺空間 3.090	青少年施策 2.978	緑化・水辺空間 2.881	子ども・子育て支援 3.004
7位	子ども・子育て支援 2.993	子ども・子育て支援 2.898	上・下水道 3.043	健康づくり 2.956	子ども・子育て支援 3.077	子ども・子育て支援 2.927	小・中学校教育 2.872	健康づくり 2.999
8位	小・中学校教育 2.928	小・中学校教育 2.825	小・中学校教育 3.015	小・中学校教育 2.915	小・中学校教育 2.984	都市基盤整備 2.899	子ども・子育て支援 2.829	小・中学校教育 2.933
9位	生活環境 2.820	生活環境 2.798	産業・消費生活 2.896	市民参加・市民活動 2.884	生活環境 2.938	小・中学校教育 2.888	交通・道路 2.814	環境啓発 2.843
10位	交通・道路 2.819	安全対策 2.760	市民参加・市民活動 環境啓発 2.895	安全対策 2.772	安全対策 2.930	交通・道路 2.887	市民参加・市民活動 2.810	生活環境 2.832

性別で見ると、男性の第1位は〔ごみ〕、第2位は〔上・下水道〕、第3位は〔文化・学習・スポーツ〕となっている。女性の第1位は〔文化・学習・スポーツ〕、第2位は〔ごみ〕、第3位は〔青少年施策〕となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域、武蔵境地域の第1位は〔ごみ〕、第2位は〔文化・学習・スポーツ〕となっている。中央地域の第1位は〔文化・学習・スポーツ〕、第2位は〔ごみ〕となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、介護が必要な同居家族がいる場合の第1位は〔ごみ〕、第2位は〔文化・学習・スポーツ〕、第3位は〔青少年施策〕となっている。介護が必要な同居家族がいない場合の第1位は〔文化・学習・スポーツ〕、第2位は〔ごみ〕、第3位は〔緑化・水辺空間〕となっている。（図表3－7）

図表3－8 満足度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	ごみ 3.667	緑化・水辺空間 3.213	文化・学習・スポーツ 3.230	文化・学習・スポーツ 3.210	上・下水道 3.080	ごみ 3.063	ごみ 3.327	ごみ 3.318
2位	文化・学習・スポーツ 生活環境 3.600	文化・学習・スポーツ 3.195	緑化・水辺空間 3.164	青少年施策 3.148	文化・学習・スポーツ 3.069	文化・学習・スポーツ 3.027	上・下水道 3.115	健康づくり 3.057
3位	－ －	青少年施策 3.179	青少年施策 3.102	子ども・子育て支援 3.130	ごみ 3.068	健康づくり 2.912	健康づくり 3.078	上・下水道 3.042
4位	交通・道路 3.500	都市基盤整備 3.159	ごみ 3.080	ごみ 3.100	子ども・子育て支援 3.031	緑化・水辺空間 2.911	文化・学習・スポーツ 3.057	文化・学習・スポーツ 3.037
5位	緑化・水辺空間 3.429	小・中学校教育 3.135	上・下水道 3.063	緑化・水辺空間 3.071	青少年施策 3.008	上・下水道 2.880	緑化・水辺空間 2.988	交通・道路 2.959
6位	上・下水道 3.400	上・下水道 3.120	環境啓発 3.036	健康づくり 3.052	緑化・水辺空間 2.964	小・中学校教育 2.849	青少年施策 2.948	市民参加・市民活動 2.952
7位	産業・消費生活 3.333	環境啓発 3.095	健康づくり 3.033	上・下水道 3.031	健康づくり 2.938	青少年施策 2.795	生活環境 2.915	緑化・水辺空間 2.932
8位	都市基盤整備 3.286	交通・道路 3.042	子ども・子育て支援 3.009	小・中学校教育 2.976	小・中学校教育 2.908	生活環境 2.765	子ども・子育て支援 2.907	小・中学校教育 2.917
9位	青少年施策 3.250	高齢者福祉 3.040	地域福祉 2.981	環境啓発 2.848	安全対策 2.877	子ども・子育て支援 2.764	小・中学校教育 2.873	青少年施策 2.882
10位	小・中学校教育 3.200	気候変動・地球温暖化対策 3.026	都市基盤整備 2.965	地域福祉 2.835	環境啓発 2.843	産業・消費生活 2.744	市民参加・市民活動 2.818	平和・多文化共生・国内外交流 2.833

年代別で見ると、第1位は18歳～19歳、60歳～69歳、70歳～79歳、80歳以上では「ごみ」、30歳～39歳、40歳～49歳では「文化・学習・スポーツ」、20歳～29歳では「緑化・水辺空間」、50歳～59歳では「上・下水道」となっている。（図表3－8）

図表3－9 満足度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1位	ごみ 3.055	文化・学習・ スポーツ 3.130	子ども・子育て 支援 3.250	文化・学習・ スポーツ 3.188	ごみ 3.206	上・下水道 3.565	ごみ 3.265	ごみ 3.000
2位	文化・学習・ スポーツ 子ども・子育て 支援 3.000	緑化・水辺空間 3.082	文化・学習・ スポーツ 3.239	ごみ 3.158	文化・学習・ スポーツ 3.151	青少年施策 3.412	上・下水道 3.080	文化・学習・ スポーツ 2.917
3位	－ －	ごみ 3.057	ごみ 3.185	青少年施策 3.123	青少年施策 3.130	緑化・水辺空間 3.400	文化・学習・ スポーツ 3.073	高齢者福祉 2.833
4位	上・下水道 2.990	上・下水道 3.031	産業・消費生活 3.174	緑化・水辺空間 子ども・子育て 支援 3.071	健康づくり 3.129	文化・学習・ スポーツ 小・中学校教育 生活環境 3.333	健康づくり 3.065	緑化・水辺空間 健康づくり 2.826
5位	青少年施策 2.979	子ども・子育て 支援 2.988	青少年施策 3.100	－ －	上・下水道 3.086	－ －	緑化・水辺空間 2.990	－ －
6位	健康づくり 2.914	青少年施策 2.963	緑化・水辺空間 3.077	小・中学校教育 3.061	市民参加・市 民活動 3.000	－ －	小・中学校教育 2.979	地域福祉 2.778
7位	緑化・水辺空間 2.875	健康づくり 2.945	平和・多文化 共生・国内外 交流 3.034	健康づくり 3.040	子ども・子育て 支援 2.987	都市基盤整備 3.296	青少年施策 2.965	生活環境 2.773
8位	小・中学校教育 2.857	環境啓発 2.893	市民参加・市 民活動 2.970	上・下水道 3.019	緑化・水辺空間 2.966	交通・道路 3.280	子ども・子育て 支援 2.946	上・下水道 2.720
9位	生活環境 2.788	小・中学校教育 2.886	健康づくり 2.900	環境啓発 2.922	小・中学校教育 2.921	障がい者福祉 3.250	障がい者福祉 2.844	情報の収集・ 発信 2.706
10位	市民参加・市 民活動 2.774	都市基盤整備 2.840	上・下水道 2.889	安全対策 2.915	交通・道路 2.876	ごみ 3.231	生活環境 2.826	安全対策 2.700

職業別で見ると、第1位は自営業・自由業、家事専業、無職、その他では〔ごみ〕、正社員、正職員、アルバイト、パートでは〔文化・学習・スポーツ〕、契約社員、派遣社員では〔子ども・子育て支援〕、学生では〔上・下水道〕となっている。（図表3－9）

図表3-10 満足度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	文化・学習・ スポーツ 3.277	文化・学習・ スポーツ 3.247	文化・学習・ スポーツ 3.225	ごみ 3.171	ごみ 文化・学習・ スポーツ 3.222	ごみ 3.189	小・中学校教 育 産業・消費生 活 3.500
2位	上・下水道 3.146	青少年施策 3.192	青少年施策 3.179	文化・学習・ スポーツ 3.133	- -	文化・学習・ スポーツ 2.975	- -
3位	ごみ 緑化・水辺空 間 3.138	緑化・水辺空 間 3.183	子ども・子育 て支援 3.167	上・下水道 緑化・水辺空 間 3.097	上・下水道 3.146	小・中学校教 育 2.974	子ども・子育 て支援 住宅政策 3.250
4位	- -	ごみ 3.149	ごみ 3.146	- -	安全対策 2.973	子ども・子育 て支援 2.933	- -
5位	青少年施策 3.109	上・下水道 3.087	緑化・水辺空 間 3.118	健康づくり 3.069	青少年施策 2.971	市民参加・市 民活動 2.929	上・下水道 3.167
6位	健康づくり 3.101	健康づくり 3.033	健康づくり 3.083	小・中学校教 育 3.034	健康づくり 2.933	健康づくり 2.926	緑化・水辺空 間 3.143
7位	地域福祉 3.100	子ども・子育 て支援 3.027	上・下水道 3.081	青少年施策 3.032	子ども・子育 て支援 2.919	交通・道路 2.893	文化・学習・ スポーツ 3.000
8位	環境啓発 3.072	安全対策 2.932	小・中学校教 育 2.975	子ども・子育 て支援 障がい者福祉 3.000	市民参加・市 民活動 2.912	上・下水道 2.864	ごみ 2.857
9位	子ども・子育 て支援 3.059	環境啓発 2.915	安全対策 2.939	- -	環境啓発 2.897	青少年施策 2.842	安全対策 2.833
10位	障がい者福祉 3.000	高齢者福祉 2.875	生活環境 2.921	交通・道路 2.906	平和・多文化 共生・国内外 交流 2.846	緑化・水辺空 間 2.818	平和・多文化 共生・国内外 交流 2.800

子どもの就学状況別で見ると、中学生以下を持つ方は〔文化・学習・スポーツ〕、社会人では〔ごみ〕が第1位となっている。専門学校、短期大学、大学生等は〔ごみ〕と〔文化・学習・スポーツ〕、その他は〔小・中学校教育〕と〔産業・消費生活〕がそれぞれ同率第1位となっている。（図表3-10）

図表3－11 満足度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万 円未満	300～500万 円未満	500～700万 円未満	700～1,000 万円未満	1,000～1,500 万円未満	1,500万円 以上
1位	上・下水道 3.320	ごみ 3.040	ごみ 3.243	ごみ 3.122	ごみ 3.171	文化・学習・ スポーツ 3.113	文化・学習・ スポーツ 3.260	ごみ 3.144
2位	文化・学習・ スポーツ 3.125	交通・道路 3.000	健康づくり 3.068	文化・学習・ スポーツ 3.110	文化・学習・ スポーツ 3.102	ごみ 3.080	ごみ 3.151	上・下水道 3.122
3位	ごみ 3.100	上・下水道 2.920	文化・学習・ スポーツ 3.049	小・中学校教 育 3.075	子ども・子育 て支援 3.090	上・下水道 3.069	緑化・水辺空 間 3.144	文化・学習・ スポーツ 3.070
4位	障がい者福祉 3.083	環境啓発 2.909	上・下水道 3.025	青少年施策 3.027	緑化・水辺空 間 3.086	青少年施策 3.036	青少年施策 3.078	青少年施策 3.026
5位	青少年施策 健康づくり 子ども・子育 て支援 生活環境 3.000	文化・学習・ スポーツ 2.842	子ども・子育 て支援 3.000	健康づくり 3.022	上・下水道 3.056	健康づくり 3.017	子ども・子育 て支援 3.058	緑化・水辺空 間 3.008
6位	－ －	緑化・水辺空 間 2.824	緑化・水辺空 間 2.981	緑化・水辺空 間 3.016	青少年施策 2.966	子ども・子育 て支援 2.969	健康づくり 3.025	健康づくり 2.970
7位	－ －	産業・消費生 活 2.786	青少年施策 2.917	上・下水道 3.000	健康づくり 2.962	緑化・水辺空 間 2.965	小・中学校教 育 3.024	子ども・子育 て支援 2.854
8位	－ －	健康づくり 生活環境 2.778	交通・道路 2.884	子ども・子育 て支援 2.960	小・中学校教 育 2.927	小・中学校教 育 2.881	上・下水道 3.011	生活環境 2.839
9位	緑化・水辺空 間 2.958	－ －	小・中学校教 育 2.820	産業・消費生 活 2.885	環境啓発 2.922	地域福祉 2.868	環境啓発 2.947	小・中学校教 育 2.814
10位	交通・道路 2.885	市民参加・市 民活動 2.750	情報の収集・ 発信 2.818	市民参加・市 民活動 2.864	生活環境 2.857	安全対策 2.843	安全対策 2.925	安全対策 2.804

世帯収入別で見ると、収入なし、700～1,000万円未満、1,000～1,500万円未満を除く世帯で〔ごみ〕が第1位となっている。収入なしの世帯では〔上・下水道〕、700～1,000万円未満、1,000～1,500万円未満では〔文化・学習・スポーツ〕がそれぞれ第1位となっている。（図表3－11）

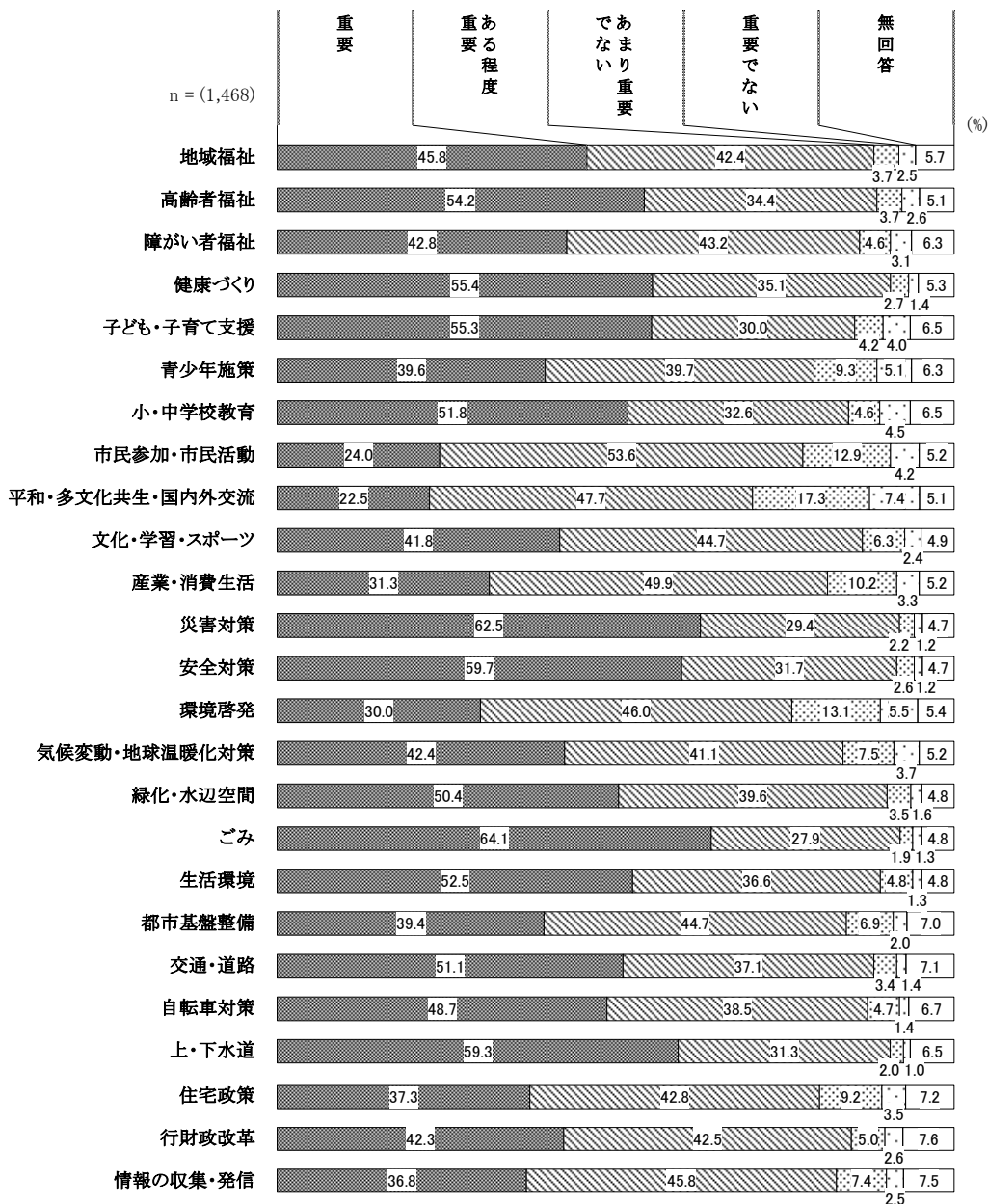
3-2 重要度

◎ 「重要」が〔ごみ〕で6割台半ば、〔災害対策〕で6割台前半、「あまり重要でない」が〔平和・多文化共生・国内外交流〕で1割台後半である。

問15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、②今後の重要度については可能な限りご回答ください。

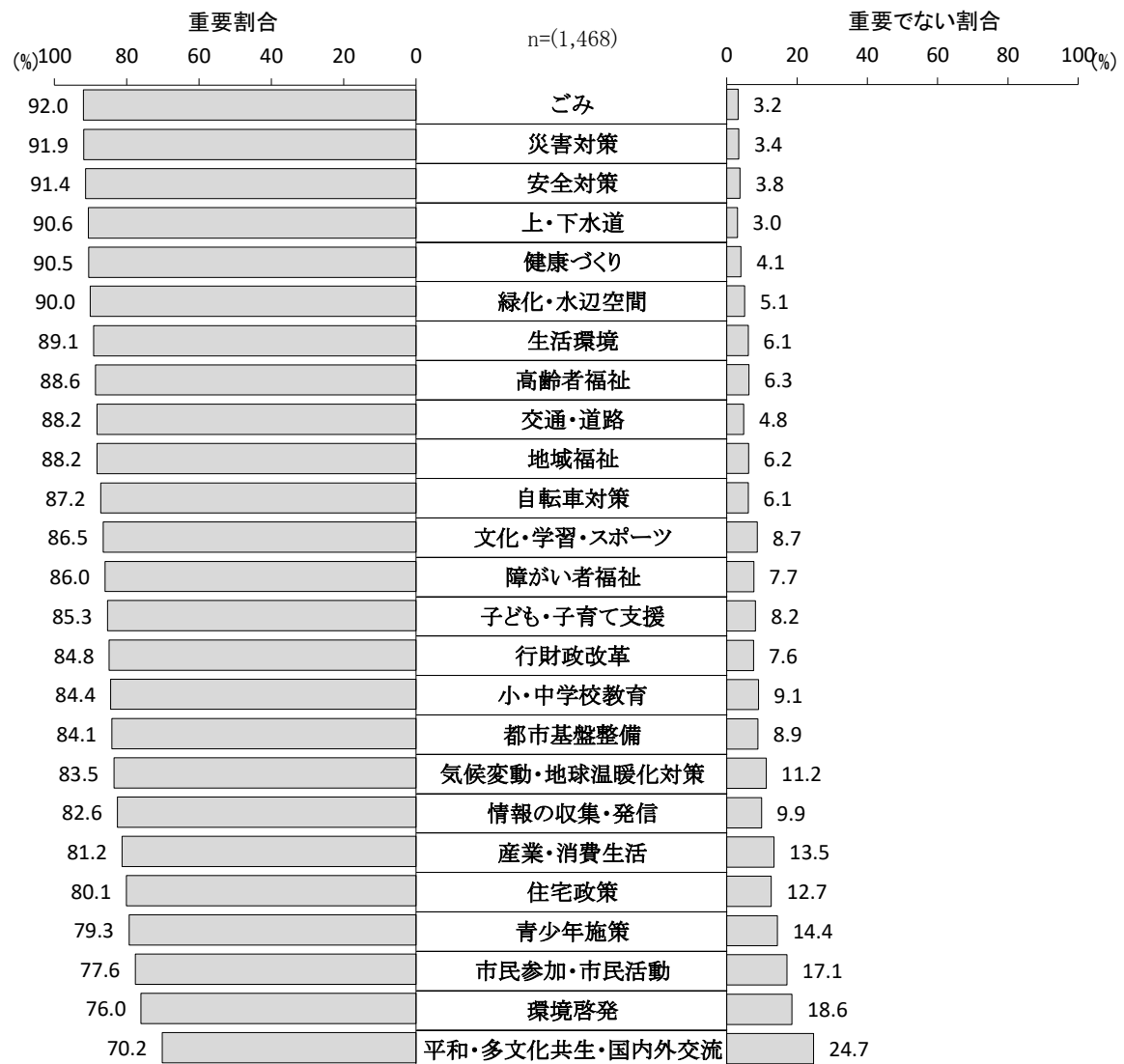
②これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。(○は項目ごとにそれぞれ1つ)

図表3-12 重要度



市の施策に対する重要度について、「重要」の割合が最も多いのは〔ごみ〕（64.1%）で6割台半ば、次いで、〔災害対策〕（62.5%）で6割台前半、〔安全対策〕（59.7%）、〔上・下水道〕（59.3%）が約6割となっている。一方、「あまり重要でない」は〔平和・多文化共生・国内外交流〕（17.3%）で1割台後半となっている。（図表3-12）

図表3-13 重要割合・重要でない割合（重要順）



『重要』

（「重要」＋「ある程度重要」）を合わせた『重要』の割合の高い順に見ると、〔ごみ〕（92.0%）、〔災害対策〕（91.9%）、〔安全対策〕（91.4%）、〔上・下水道〕（90.6%）と続き、25項目のうち、6項目が9割台、15項目が8割台と高い割合になっている。（図表3-13）

『重要でない』

一方、（「重要でない」＋「あまり重要でない」）を合わせた『重要でない』の割合は、〔平和・多文化共生・国内外交流〕（24.7%）が最も高く、〔環境啓発〕（18.6%）、〔市民参加・市民活動〕（17.1%）と続いている。（図表3-13）

図表3-14 重要割合（重要度順、前回比較）

（重要度順）

（％）

順位		重要度	前回	前回順位
1	ごみ	92.0	90.6	5
2	災害対策	91.9	90.9	3
3	安全対策	91.4	89.6	9
4	上・下水道	90.6	93.3	1
5	健康づくり	90.5	91.4	2
6	緑化・水辺空間	90.0	88.3	11
7	生活環境	89.1	89.5	10
8	高齢者福祉	88.6	90.8	4
9	交通・道路	88.2	90.6	5
10	地域福祉	88.2	90.6	5
11	自転車対策	87.2	90.1	8
12	文化・学習・スポーツ	86.5	87.2	14
13	障がい者福祉	86.0	86.5	15
14	子ども・子育て支援※	85.3	86.4	16
15	行財政改革	84.8	87.9	12
16	小・中学校教育	84.4	85.5	19
17	都市基盤整備※	84.1	87.3	13
18	気候変動・地球温暖化対策※	83.5	86.0	17
19	情報の収集・発信	82.6	85.9	18
20	産業・消費生活	81.2	78.6	22
21	住宅政策	80.1	82.1	20
22	青少年施策	79.3	81.5	21
23	市民参加・市民活動	77.6	73.5	23
24	環境啓発※	76.0	－	－
25	平和・多文化共生・国内外交流	70.2	70.7	24

※「都市基盤整備」は、前回調査では「まちづくり・都市整備」であった。

※「子ども・子育て支援」は、前回調査では「子育て支援」であった。

※「環境啓発」は、今回調査にて追加した。

※「気候変動・地球温暖化対策」は、前回調査では「エネルギー・資源」であった。

図表3－15 重要度（項目別件数表および重要度）（件数）

番号	項目	4	3	2	1	合計	無回答	重要度
		重要	重要 ある程度	あまり 重要でない	重要でない			
1	地域福祉	672	622	54	37	1385	83	3.393
2	高齢者福祉	795	505	55	38	1393	75	3.477
3	障がい者福祉	628	634	68	46	1376	92	3.340
4	健康づくり	814	516	40	20	1390	78	3.528
5	子ども・子育て支援	812	440	61	59	1372	96	3.461
6	青少年施策	581	583	136	75	1375	93	3.215
7	小・中学校教育	760	479	68	66	1373	95	3.408
8	市民参加・市民活動	353	787	189	62	1391	77	3.029
9	平和・多文化共生・国内外交流	330	700	254	109	1393	75	2.898
10	文化・学習・スポーツ	613	656	92	35	1396	72	3.323
11	産業・消費生活	460	732	150	49	1391	77	3.152
12	災害対策	918	432	32	17	1399	69	3.609
13	安全対策	877	466	38	18	1399	69	3.574
14	環境啓発	440	675	192	81	1388	80	3.062
15	気候変動・地球温暖化対策	623	604	110	55	1392	76	3.290
16	緑化・水辺空間	740	582	51	24	1397	71	3.459
17	ごみ	941	410	28	19	1398	70	3.626
18	生活環境	770	538	70	19	1397	71	3.474
19	都市基盤整備	578	656	101	30	1365	103	3.305
20	交通・道路	750	544	50	20	1364	104	3.484
21	自転車対策	715	565	69	20	1369	99	3.443
22	上・下水道	870	459	29	14	1372	96	3.593
23	住宅政策	547	629	135	51	1362	106	3.228
24	行財政改革	621	624	73	38	1356	112	3.348
25	情報の収集・発信	540	672	109	37	1358	110	3.263

【重要度】

「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、（無回答を除いた）回答の平均値を【重要度】とした。（図表3－15）

※計算方法は114ページの「満足度」の計算方法参照。

図表3-16 重要度（点数順）

順位	項目	重要度	順位	項目	重要度
1	ごみ	3.626	14	行財政改革	3.348
2	災害対策	3.609	15	障がい者福祉	3.340
3	上・下水道	3.593	16	文化・学習・スポーツ	3.323
4	安全対策	3.574	17	都市基盤整備	3.305
5	健康づくり	3.528	18	気候変動・地球温暖化対策	3.290
6	交通・道路	3.484	19	情報の収集・発信	3.263
7	高齢者福祉	3.477	20	住宅政策	3.228
8	生活環境	3.474	21	青少年施策	3.215
9	子ども・子育て支援	3.461	22	産業・消費生活	3.152
10	緑化・水辺空間	3.459	23	環境啓発	3.062
11	自転車対策	3.443	24	市民参加・市民活動	3.029
12	小・中学校教育	3.408	25	平和・多文化共生・国内外交流	2.898
13	地域福祉	3.393			

最も【重要度】が高いのは「ごみ」（3.626）である。以下、「災害対策」（3.609）、「上・下水道」（3.593）、「安全対策」（3.574）、「健康づくり」（3.528）の順となっている。

一方、最も【重要度】が低いのは「平和・多文化共生・国内外交流」（2.898）である。次いで、「市民参加・市民活動」（3.029）、「環境啓発」（3.062）の順となっている。（図表3-16）

図表3-17 重要度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	ごみ 3.626	ごみ 3.596	ごみ 3.660	ごみ 3.634	ごみ 3.597	ごみ 3.667	ごみ 3.729	ごみ 3.617
2位	災害対策 3.609	上・下水道 3.583	災害対策 3.657	災害対策 3.614	災害対策 3.593	災害対策 3.638	災害対策 3.727	災害対策 3.603
3位	上・下水道 3.593	災害対策 3.553	安全対策 3.606	安全対策 3.591	上・下水道 3.571	上・下水道 3.610	高齢者福祉 3.722	上・下水道 3.586
4位	安全対策 3.574	安全対策 3.536	上・下水道 3.596	上・下水道 3.587	安全対策 3.569	安全対策 3.587	安全対策 3.680	安全対策 3.569
5位	健康づくり 3.528	健康づくり 3.463	健康づくり 3.575	健康づくり 3.520	交通・道路 3.502	健康づくり 3.570	健康づくり 3.667	健康づくり 3.514
6位	交通・道路 3.484	交通・道路 3.458	高齢者福祉 3.519	生活環境 3.512	自転車対策 3.494	交通・道路 3.508	上・下水道 3.583	子ども・子育て支援 3.500
7位	高齢者福祉 3.477	生活環境 3.454	生活環境 3.505	子ども・子育て支援 3.499	健康づくり 3.479	高齢者福祉 3.498	障がい者福祉 3.549	生活環境 3.487
8位	生活環境 3.474	緑化・水辺空間 3.433	交通・道路 3.501	高齢者福祉 3.490	生活環境 3.466	緑化・水辺空間 3.489	地域福祉 3.516	交通・道路 3.486
9位	子ども・子育て支援 3.461	高齢者福祉 3.430	子ども・子育て支援 3.497	緑化・水辺空間 3.466	高齢者福祉 3.454	子ども・子育て支援 3.469	生活環境 3.504	緑化・水辺空間 3.468
10位	緑化・水辺空間 3.459	自転車対策 3.425	緑化・水辺空間 3.482	交通・道路 3.460	子ども・子育て支援 3.428	生活環境 3.467	自転車対策 3.488	小・中学校教育 3.449

性別で見ると、男女ともに第1位は「ごみ」となっている。男性の第2位は「上・下水道」、第3位は「災害対策」となっている。女性の第2位は「災害対策」、第3位は「安全対策」となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も第1位は「ごみ」、第2位は「災害対策」となっている。中央地域、武蔵境地域の第3位は「上・下水道」、吉祥寺地域の第3位は「安全対策」となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、ともに第1位は「ごみ」、第2位は「災害対策」となっている。いる場合の第3位は「高齢者福祉」、いない場合の第3位は「上・下水道」となっている。（図表3-17）

図表3-18 重要度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	青少年施策 3.750	災害対策 3.689	災害対策 3.638	ごみ 3.597	災害対策 3.619	高齢者福祉 3.703	ごみ 3.701	ごみ 3.703
2位	交通・道路 生活環境 子ども・子育て支援 小・中学校教育 都市基盤整備 3.625	子ども・子育て支援 3.672	安全対策 3.599	災害対策 3.580	ごみ 3.612	ごみ 3.676	上・下水道 3.667	高齢者福祉 3.691
3位	- -	交通・道路 3.622	上・下水道 3.568	安全対策 3.571	上・下水道 3.591	健康づくり 3.623	高齢者福祉 3.654	上・下水道 3.657
4位	- -	ごみ 3.613	ごみ 3.546	上・下水道 3.548	安全対策 3.563	上・下水道 3.608	安全対策 3.586	災害対策 3.608
5位	- -	安全対策 3.597	子ども・子育て支援 3.541	健康づくり 3.533	高齢者福祉 3.515	災害対策 3.605	災害対策 3.585	健康づくり 3.602
6位	- -	生活環境 3.563	生活環境 3.527	小・中学校教育 3.526	健康づくり 3.489	安全対策 3.563	健康づくり 3.578	安全対策 3.586
7位	ごみ 災害対策 上・下水道 安全対策 文化・学習・スポーツ 3.500	緑化・水辺空間 3.529	小・中学校教育 3.502	交通・道路 3.491	生活環境 3.485	地域福祉 3.533	交通・道路 3.532	地域福祉 3.538
8位	- -	上・下水道 文化・学習・スポーツ 3.521	緑化・水辺空間 3.493	子ども・子育て支援 3.474	交通・道路 3.481	障がい者福祉 3.498	子ども・子育て支援 3.510	障がい者福祉 3.495
9位	- -	- -	交通・道路 3.471	緑化・水辺空間 3.468	緑化・水辺空間 3.459	生活環境 3.454	地域福祉 3.455	生活環境 3.465
10位	- -	健康づくり 3.513	自転車対策 3.415	生活環境 3.450	地域福祉 3.443	緑化・水辺空間 3.433	生活環境 自転車対策 3.453	交通・道路 3.449

年代別で見ると、20歳～29歳、30歳～39歳、50歳～59歳では〔災害対策〕が第1位、40歳～49歳、70歳～79歳、80歳以上では〔ごみ〕が第1位、18歳～19歳では〔青少年施策〕が第1位、60歳～69歳では〔高齢者福祉〕が第1位となっている。第2位は、20歳～29歳で〔子ども・子育て支援〕、30歳～39歳では〔安全対策〕、40歳～49歳では〔災害対策〕、50歳～59歳、60歳～69歳では〔ごみ〕、70歳～79歳では〔上・下水道〕、80歳以上では〔高齢者福祉〕となっている。（図表3-18）

図表3-19 重要度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1位	災害対策 3.621	災害対策 3.623	災害対策 3.735	ごみ 3.662	ごみ 3.734	災害対策 3.774	高齢者福祉 3.645	ごみ 3.735
2位	上・下水道 3.620	ごみ 3.620	健康づくり 3.612	健康づくり 3.638	上・下水道 3.659	子ども・子育て 支援 3.733	ごみ 3.615	災害対策 安全対策 3.676
3位	ごみ 3.565	安全対策 3.576	安全対策 3.588	安全対策 3.629	安全対策 3.630	上・下水道 交通・道路 3.677	上・下水道 3.589	- -
4位	安全対策 3.556	上・下水道 3.571	高齢者福祉 3.537	災害対策 3.609	災害対策 3.627	- -	健康づくり 3.556	上・下水道 3.667
5位	健康づくり 3.553	子ども・子育て 支援 3.522	ごみ 3.485	上・下水道 高齢者福祉 3.588	高齢者福祉 3.581	ごみ 生活環境 文化・学習・ スポーツ 3.645	災害対策 3.527	生活環境 3.588
6位	高齢者福祉 3.520	緑化・水辺空間 3.519	上・下水道 3.463	- -	健康づくり 3.578	- -	安全対策 3.508	健康づくり 3.559
7位	自転車対策 3.496	生活環境 3.516	地域福祉 3.448	地域福祉 3.585	自転車対策 3.538	- -	地域福祉 3.464	高齢者福祉 子ども・子育て 支援 3.500
8位	生活環境 3.468	交通・道路 3.512	障がい者福祉 3.418	自転車対策 3.542	交通・道路 3.522	安全対策 3.613	障がい者福祉 3.429	- -
9位	子ども・子育て 支援 3.467	小・中学校教育 3.462	生活環境 3.397	生活環境 3.519	子ども・子育て 支援 3.508	小・中学校教育 3.600	交通・道路 3.427	気候変動・地球 温暖化対策 3.471
10位	緑化・水辺空間 3.452	健康づくり 3.453	交通・道路 3.388	緑化・水辺空間 3.504	小・中学校教育 3.503	青少年施策 3.567	生活環境 3.381	障がい者福祉 3.441

職業別で見ると、アルバイト、パート、家事専業、その他では「ごみ」が第1位、無職では「高齢者福祉」が第1位、それ以外では「災害対策」が第1位となっている。（図表3-19）

図表3-20 重要度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1 位	小・中学校教 育 3. 802	小・中学校教 育 3. 798	小・中学校教 育 3. 795	高齢者福祉 3. 657	ごみ 3. 696	ごみ 3. 655	災害対策 健康づくり 高齢者福祉 3. 714
2 位	子ども・子育 て支援 3. 782	子ども・子育 て支援 3. 738	災害対策 3. 750	災害対策 3. 622	災害対策 3. 679	高齢者福祉 3. 619	- -
3 位	災害対策 青少年施策 3. 611	災害対策 3. 690	安全対策 3. 705	地域福祉 3. 600	健康づくり 3. 673	上・下水道 3. 604	- -
4 位	- -	安全対策 3. 655	子ども・子育 て支援 3. 682	安全対策 3. 595	安全対策 3. 661	災害対策 3. 602	上・下水道 障がい者福祉 3. 667
5 位	安全対策 3. 591	緑化・水辺空 間 3. 643	ごみ 3. 636	健康づくり 子ども・子育 て支援 3. 583	上・下水道 3. 643	健康づくり 3. 558	- -
6 位	上・下水道 3. 552	上・下水道 3. 639	上・下水道 3. 614	- -	高齢者福祉 3. 600	安全対策 3. 537	地域福祉 3. 571
7 位	緑化・水辺空 間 3. 551	ごみ 3. 631	健康づくり 行財政改革 3. 591	ごみ 3. 568	地域福祉 3. 564	自転車対策 3. 472	ごみ 安全対策 3. 429
8 位	交通・道路 3. 548	青少年施策 3. 607	- -	上・下水道 小・中学校教 育 3. 528	緑化・水辺空 間 3. 554	交通・道路 3. 453	- -
9 位	ごみ 3. 540	文化・学習・ スポーツ 3. 571	自転車対策 文化・学習・ スポーツ 都市基盤整備 3. 568	- -	自転車対策 3. 536	障がい者福祉 3. 451	行財政改革 3. 400
10 位	自転車対策 3. 496	生活環境 3. 566	- -	緑化・水辺空 間 3. 514	小・中学校教 育 3. 527	地域福祉 3. 431	子ども・子育 て支援 小・中学校教 育 情報の収集・ 発信 3. 333

子どもの就学状況別で見ると、中学生以下を持つ方は〔小・中学校教育〕が第1位、専門学校、短期大学、大学生等、社会人を持つ方は〔ごみ〕が第1位、高校生、その他を持つ方は〔高齢者福祉〕が第1位、その他を持つ方は〔災害対策〕と〔健康づくり〕も同率第1位となっている。第2位は小学生以下を持つ方は〔子ども・子育て支援〕、中学生、高校生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方は〔災害対策〕、社会人を持つ方は〔高齢者福祉〕となっている。（図表3-20）

図表3-21 重要度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上
1位	災害対策 3.676	ごみ 3.484	ごみ 3.643	災害対策 3.636	上・下水道 3.641	災害対策 安全対策 3.643	災害対策 3.689	ごみ 3.667
2位	ごみ 3.647	地域福祉 3.483	上・下水道 3.592	ごみ 3.597	ごみ 3.635	-	ごみ 3.644	災害対策 3.640
3位	地域福祉 3.618	上・下水道 3.448	高齢者福祉 3.552	上・下水道 3.579	災害対策 3.590	ごみ 3.628	安全対策 3.621	安全対策 3.591
4位	上・下水道 健康づくり 3.559	安全対策 3.433	安全対策 3.528	健康づくり 3.568	安全対策 3.587	上・下水道 3.547	上・下水道 3.616	上・下水道 3.582
5位	-	高齢者福祉 3.414	健康づくり 3.513	安全対策 3.552	健康づくり 3.573	交通・道路 3.497	子ども・子育て支援 3.594	生活環境 3.560
6位	高齢者福祉 3.529	交通・道路 3.379	災害対策 3.497	子ども・子育て支援 3.529	子ども・子育て支援 3.520	子ども・子育て支援 3.486	小・中学校教育 3.581	子ども・子育て支援 3.557
7位	安全対策 生活環境 3.471	健康づくり 3.345	地域福祉 3.403	高齢者福祉 3.517	交通・道路 3.516	緑化・水辺空間 3.481	生活環境 3.580	緑化・水辺空間 3.547
8位	-	生活環境 緑化・水辺空間 3.323	交通・道路 3.396	自転車対策 3.467	緑化・水辺空間 3.486	生活環境 3.454	交通・道路 3.576	健康づくり 小・中学校教育 3.530
9位	文化・学習・スポーツ 3.441	-	障がい者福祉 3.387	生活環境 3.460	生活環境 3.461	小・中学校教育 3.436	健康づくり 3.544	-
10位	住宅政策 3.412	自転車対策 3.310	生活環境 3.378	小・中学校教育 3.458	高齢者福祉 3.449	健康づくり 高齢者福祉 3.434	緑化・水辺空間 3.507	交通・道路 3.514

世帯収入別で見ると、収入なし、300～500万円未満、700～1,000万円未満、1,000～1,500万円未満では〔災害対策〕が第1位、700～1,000万円未満では〔安全対策〕も同率第1位となっている。100万円未満、100～300万円未満、1,500万円以上では〔ごみ〕が第1位、500～700万円未満では〔上・下水道〕が第1位となっている。第2位は収入なし、300～500万円未満、500～700万円未満、1,000～1,500万円未満で〔ごみ〕、100万円未満で〔地域福祉〕、100～300万円未満で〔上・下水道〕、1,500万円以上で〔災害対策〕となっている。（図表3-21）

3-3 ニーズ得点

◎ ニーズ得点の考え方

ここでは、問15に挙げられている各種施策について、前出の【満足度】、【重要度】をもとに、市民のニーズを明らかにしている。このニーズを求める際の考え方が【ニーズ得点】である。

ニーズ得点は、【重要度】と【満足度】を図表3-22 のとおり得点化し、その差を求め、値が大きいほどニーズが高いと考える。つまりニーズが高い項目とは、「重要だと考えるが満足していない項目」となる。

具体的な計算式は以下のとおり。

○ニーズ得点…各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）

例：「自転車対策」について見ると、ニーズ得点は8.387となる。

【満足度（加重平均）】

$(4 \text{ 点} \times 163 \text{ 件} + 3 \text{ 点} \times 551 \text{ 件} + 2 \text{ 点} \times 292 \text{ 件} + 1 \text{ 点} \times 198 \text{ 件}) \div 1,204 \text{ (合計件数)} = 2.564$

【重要度（加重平均）】

$(4 \text{ 点} \times 715 \text{ 件} + 3 \text{ 点} \times 565 \text{ 件} + 2 \text{ 点} \times 69 \text{ 件} + 1 \text{ 点} \times 20 \text{ 件}) \div 1,369 \text{ (合計件数)} = 3.443$

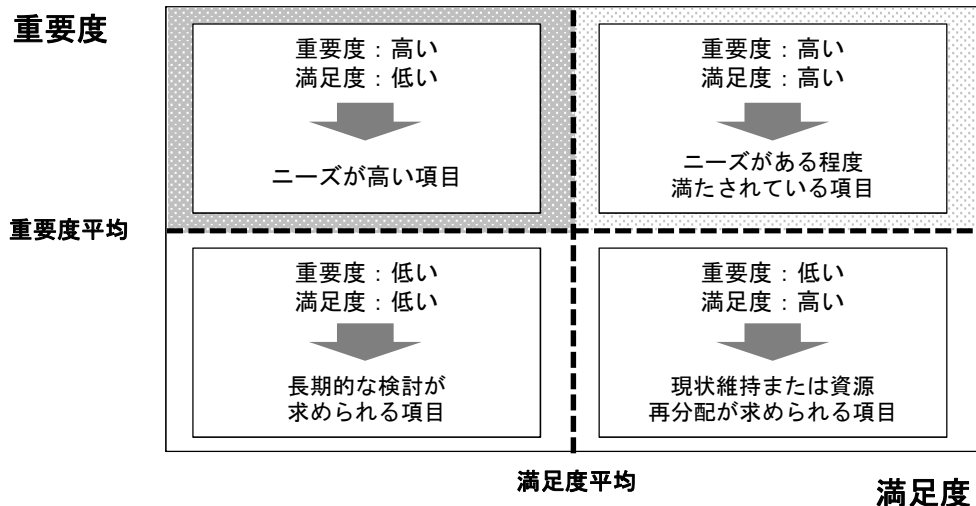
ニーズ得点 $= 3.443 \times (5 - 2.564) = 8.387$

図表3-22 【満足度】および【重要度】の得点化

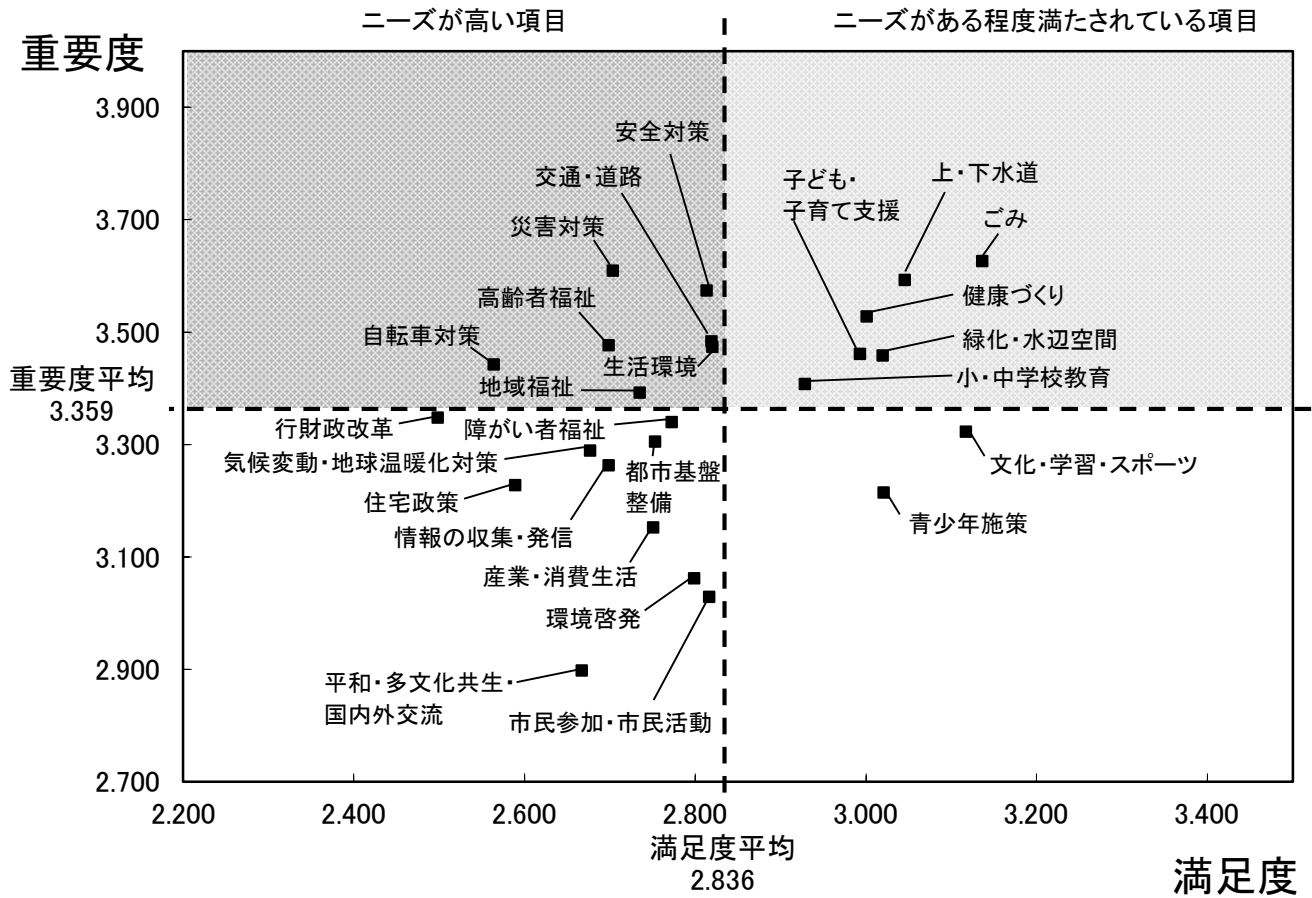
点数	4	3	2	1					4	3	2	1			
回答選択肢	満足	満足 ある程度	あまり満足 していない	不満足	合計	わからない	無回答	満足度 (加重平均)	重要	重要 ある程度	重要でない	重要でない	合計	無回答	重要度 (加重平均)
件数	163	551	292	198	1,204	193	71	2.564	715	565	69	20	1,369	99	3.443

また、上記の【ニーズ得点】に加え、数値化した【重要度】と【満足度】により散布図を作成することで、ニーズの高い項目を確認できる。

下図のように、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとった散布図を「重要度平均」および「満足度平均」で4つに分割すると、図の左下に位置するほど重要度が低く満足度も低い項目であることを、逆に、図の右上に位置するものほど重要度が高く満足度も高い項目であることを示している。また、左上に位置するものは、重要度が高く満足度の低い項目、すなわちニーズが高い項目となる。以下では、「ニーズがある程度満たされている項目」および「ニーズが高い項目」に焦点を当てて、各種施策を見ていくこととする。



図表3-23 散布図（満足度・重要度）



上の散布図において、左上（重要度が高く、満足度が低い：ニーズが高い項目）に位置するのは、『自転車対策』、『災害対策』、『高齢者福祉』、『地域福祉』、『安全対策』、『交通・道路』、『生活環境』である。一方、『ごみ』、『上・下水道』、『健康づくり』、『緑化・水辺空間』、『子ども・子育て支援』、『小・中学校教育』は右上（重要度が高く、満足度も高い）に位置し、ニーズがある程度満たされている項目であることがわかる。（図表3-23）

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」と無回答を除いた回答の平均値を【満足度（加重平均）】、「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、無回答を除いた回答の平均値を【重要度（加重平均）】として、各項目の【重要度（加重平均）】×（5－【満足度（加重平均）】）の計算結果を【ニーズ得点】として求めた。【ニーズ得点】は、「自転車対策」（8.387）が最も高く、「行財政改革」（8.377）が次いで高くなっている。以下、「災害対策」（8.290）、「高齢者福祉」（8.001）、「安全対策」（7.813）と続いている。（図表3－24）

図表3－24 項目別ニーズ得点

（点数順）

順位		得点 ニーズ	前回	前回 順位
1	自転車対策	8.387	8.438	1
2	行財政改革	8.377	8.076	3
3	災害対策	8.290	8.132	2
4	高齢者福祉	8.001	7.879	4
5	安全対策	7.813	7.776	6
6	住宅政策	7.783	7.563	8
7	地域福祉	7.685	7.658	7
8	気候変動・地球温暖化対策	7.643	7.340	13
9	交通・道路	7.599	7.341	12
10	生活環境	7.573	7.845	5
11	情報の収集・発信	7.508	7.558	9
12	障がい者福祉	7.438	7.435	10
13	都市基盤整備	7.426	7.356	11
14	産業・消費生活	7.089	7.116	16
15	小・中学校教育	7.061	7.257	14
16	健康づくり	7.052	6.991	18
17	上・下水道	7.021	6.657	19
18	子ども・子育て支援	6.946	7.193	15
19	緑化・水辺空間	6.849	6.586	20
20	平和・多文化共生・国内外交流	6.761	6.501	23
21	ごみ	6.759	7.107	17
22	環境啓発	6.739	－	－
23	市民参加・市民活動	6.612	6.532	21
24	青少年施策	6.362	6.450	24
25	文化・学習・スポーツ	6.257	6.520	22

※「子ども・子育て支援」は、前は「子育て支援」であった。

※「環境啓発」は今回調査にて追加した。

※「気候変動・地球温暖化対策」は、前は「エネルギー・資源」であった。

※「都市基盤整備」は、前は「まちづくり・都市整備」であった。

図表3-25 ニーズ得点（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	自転車対策 8.387	自転車対策 8.487	自転車対策 8.313	行財政改革 8.722	自転車対策 8.669	災害対策 8.316	災害対策 8.814	自転車対策 8.353
2位	行財政改革 8.377	行財政改革 8.362	行財政改革 8.297	災害対策 8.533	災害対策 7.761	行財政改革 8.276	行財政改革 8.726	行財政改革 8.277
3位	災害対策 8.290	災害対策 8.268	災害対策 8.290	自転車対策 8.493	行財政改革 7.710	高齢者福祉 8.245	自転車対策 8.720	災害対策 8.222
4位	高齢者福祉 8.001	高齢者福祉 8.071	高齢者福祉 7.949	高齢者福祉 8.100	都市基盤整備 7.521	自転車対策 8.052	高齢者福祉 8.404	高齢者福祉 8.005
5位	安全対策 7.813	安全対策 7.921	住宅政策 7.895	安全対策 8.001	交通・道路 7.505	地域福祉 7.970	地域福祉 8.252	住宅政策 7.785
6位	住宅政策 7.783	情報の収集・発信 7.892	安全対策 7.731	気候変動・地球温暖化対策 7.948	高齢者福祉 7.461	住宅政策 7.961	気候変動・地球温暖化対策 8.220	安全対策 7.766
7位	地域福祉 7.685	交通・道路 7.822	地域福祉 7.710	住宅政策 7.945	安全対策 7.388	安全対策 7.891	安全対策 8.096	地域福祉 交通・道路 7.606
8位	気候変動・地球温暖化対策 7.643	住宅政策 7.667	気候変動・地球温暖化対策 7.652	生活環境 7.906	住宅政策 7.307	障がい者福祉 7.604	生活環境 8.038	-
9位	交通・道路 7.599	地域福祉 7.615	生活環境 7.592	交通・道路 7.802	情報の収集・発信 7.262	気候変動・地球温暖化対策 7.597	住宅政策 7.979	生活環境 7.560
10位	生活環境 7.573	生活環境 7.606	障がい者福祉 7.548	障がい者福祉 7.755	地域福祉 7.159	情報の収集・発信 7.532	障がい者福祉 7.953	情報の収集・発信 7.515

性別で見ると、男女ともに第1位は「自転車対策」、第2位は「行財政改革」、第3位は「災害対策」となっている。

居住地域別で見ると、吉祥寺地域では第1位が「行財政改革」、第2位が「災害対策」、第3位が「自転車対策」となっている。中央地域では第1位が「自転車対策」、第2位が「災害対策」、第3位が「行財政改革」となっている。武蔵境地域では第1位が「災害対策」、第2位が「行財政改革」、第3位が「高齢者福祉」となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、いる場合では第1位が「災害対策」、第2位が「行財政改革」、第3位が「自転車対策」となっている。いない場合では第1位が「自転車対策」、第2位が「行財政改革」、第3位が「災害対策」となっている。（図表3-25）

図表3-26 ニーズ得点（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	安全対策 8.166	災害対策 8.234	自転車対策 8.479	災害対策 8.427	高齢者福祉 8.316	行財政改革 9.227	行財政改革 8.621	自転車対策 8.982
2位	災害対策 7.875	自転車対策 7.866	住宅政策 7.938	自転車対策 8.191	行財政改革 8.297	高齢者福祉 9.006	高齢者福祉 8.390	災害対策 8.721
3位	気候変動・地球温暖化対策 7.874	子ども・子育て支援 7.572	災害対策 7.847	行財政改革 8.177	自転車対策 8.260	災害対策 8.663	自転車対策 8.349	高齢者福祉 8.316
4位	自転車対策 7.425	生活環境 7.554	行財政改革 7.776	交通・道路 7.980	災害対策 8.088	自転車対策 8.659	地域福祉 8.085	地域福祉 8.279
5位	子ども・子育て支援 7.250	安全対策 7.431	安全対策 7.727	安全対策 7.938	地域福祉 8.046	住宅政策 8.597	災害対策 8.045	行財政改革 8.231
6位	行財政改革 7.188	ごみ 7.266	小・中学校教育 7.470	高齢者福祉 7.905	生活環境 7.744	気候変動・地球温暖化対策 8.384	交通・道路 7.912	気候変動・地球温暖化対策 8.211
7位	地域福祉 健康づくり 6.750	情報の収集・発信 7.196	生活環境 7.357	生活環境 7.828	住宅政策 7.691	障がい者福祉 8.374	気候変動・地球温暖化対策 7.904	住宅政策 8.038
8位	- -	行財政改革 7.131	交通・道路 7.327	気候変動・地球温暖化対策 7.749	交通・道路 7.651	地域福祉 8.292	安全対策 7.839	障がい者福祉 7.990
9位	青少年施策 6.563	交通・道路 7.092	子ども・子育て支援 7.050	都市基盤整備 7.719	安全対策 7.564	情報の収集・発信 8.124	障がい者福祉 7.837	安全対策 7.814
10位	小・中学校教育 6.525	健康づくり 7.026	情報の収集・発信 7.044	情報の収集・発信 7.614	都市基盤整備 7.480	安全対策 8.117	都市基盤整備 7.785	都市基盤整備 7.749

年代別で見ると、18歳～19歳では〔安全対策〕が第1位、20歳～29歳、40歳～49歳では〔災害対策〕が第1位、30歳～39歳、80歳以上では〔自転車対策〕が第1位、50歳～59歳では〔高齢者福祉〕が第1位、60歳～69歳、70歳～79歳では〔行財政改革〕が第1位となっている。第2位は18歳～19歳、80歳以上では〔災害対策〕、20歳～29歳、40歳～49歳では〔自転車対策〕、30歳～39歳では〔住宅政策〕、50歳～59歳では〔行財政改革〕、60歳～69歳、70歳～79歳では〔高齢者福祉〕となっている。（図表3-26）

図表3-27 ニーズ得点（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1 位	自転車対策 8.939	自転車対策 8.211	高齢者福祉 9.136	自転車対策 8.735	自転車対策 8.562	災害対策 8.741	自転車対策 8.383	障がい者福祉 9.748
2 位	行財政改革 8.807	行財政改革 8.191	災害対策 8.803	地域福祉 8.643	行財政改革 8.432	行財政改革 8.161	行財政改革 8.299	行財政改革 9.628
3 位	災害対策 8.788	災害対策 8.159	安全対策 8.400	高齢者福祉 8.626	高齢者福祉 8.326	情報の収集・ 発信 7.888	高齢者福祉 8.106	住宅政策 9.363
4 位	住宅政策 8.661	生活環境 7.739	自転車対策 8.248	行財政改革 8.348	災害対策 8.161	子ども・子育て 支援 7.839	地域福祉 8.047	子ども・子育て 支援 8.883
5 位	高齢者福祉 8.490	安全対策 7.738	住宅政策 7.968	災害対策 8.322	気候変動・地球 温暖化対策 7.927	産業・消費生活 7.460	災害対策 8.006	災害対策 8.822
6 位	気候変動・地球 温暖化対策 8.384	住宅政策 7.688	地域福祉 7.965	住宅政策 8.199	地域福祉 7.858	安全対策 7.450	気候変動・地球 温暖化対策 7.735	気候変動・地球 温暖化対策 8.483
7 位	障がい者福祉 8.218	交通・道路 7.618	障がい者福祉 7.861	障がい者福祉 7.996	障がい者福祉 7.762	市民参加・市民 活動 6.999	安全対策 7.718	安全対策 8.455
8 位	情報の収集・ 発信 8.122	情報の収集・ 発信 7.580	行財政改革 7.621	交通・道路 7.824	安全対策 7.714	自転車対策 6.968	住宅政策 7.657	上・下水道 8.361
9 位	都市基盤整備 8.078	高齢者福祉 7.551	健康づくり 7.585	生活環境 7.791	都市基盤整備 7.531	地域福祉 6.934	情報の収集・ 発信 7.549	都市基盤整備 8.143
10 位	安全対策 8.047	小・中学校教 育 7.319	生活環境 7.528	都市基盤整備 7.623	交通・道路 7.481	平和・多文化 共生・国内外 交流 6.842	交通・道路 7.498	自転車対策 8.074

職業別で見ると、契約社員、派遣社員では〔高齢者福祉〕が第1位、学生では〔災害対策〕が第1位、その他では〔障がい者福祉〕が第1位、それ以外の職業では〔自転車対策〕が第1位となっている。第2位は契約社員、派遣社員では〔災害対策〕、アルバイト、パートでは〔地域福祉〕、それ以外の職業では〔行財政改革〕となっている。（図表3-27）

図表3-28 ニーズ得点（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	災害対策 8.099	自転車対策 8.493	行財政改革 9.232	地域福祉 8.640	地域福祉 8.842	災害対策 9.081	地域福祉 11.427
2位	自転車対策 8.069	交通・道路 8.249	災害対策 8.303	高齢者福祉 8.620	高齢者福祉 8.640	行財政改革 8.861	障がい者福祉 10.268
3位	行財政改革 7.930	小・中学校教育 8.219	都市基盤整備 8.167	安全対策 8.089	行財政改革 8.540	高齢者福祉 8.573	高齢者福祉 9.656
4位	小・中学校教育 7.790	行財政改革 8.177	住宅政策 8.154	気候変動・地球温暖化対策 7.895	都市基盤整備 8.391	自転車対策 8.545	行財政改革 9.350
5位	交通・道路 7.628	災害対策 8.103	自転車対策 8.092	災害対策 7.787	自転車対策 8.295	住宅政策 8.254	災害対策 9.285
6位	安全対策 7.437	気候変動・地球温暖化対策 8.082	情報の収集・発信 7.966	行財政改革 7.660	災害対策 8.278	地域福祉 7.963	気候変動・地球温暖化対策 8.764
7位	子ども・子育て支援 7.341	都市基盤整備 7.800	地域福祉 7.868	自転車対策 7.637	障がい者福祉 8.228	気候変動・地球温暖化対策 7.904	健康づくり 8.490
8位	都市基盤整備 7.171	住宅政策 7.737	高齢者福祉 7.741	生活環境 7.372	小・中学校教育 7.816	安全対策 7.746	情報の収集・発信 8.333
9位	生活環境 7.147	生活環境 7.735	交通・道路 7.724	子ども・子育て支援 7.166	緑化・水辺空間 7.673	上・下水道 7.698	都市基盤整備 8.142
10位	情報の収集・発信 7.042	安全対策 7.559	小・中学校教育 7.685	情報の収集・発信 7.155	産業・消費生活 7.615	障がい者福祉 7.682	安全対策 7.431

子どもの就学状況別で見ると、小学校入学前、社会人を持つ方では〔災害対策〕、小学生を持つ方では〔自転車対策〕、中学生を持つ方では〔行財政改革〕、高校生、専門学校、短期大学、大学生等、その他を持つ方では〔地域福祉〕が第1位となっている。第2位は、小学校入学前を持つ方では〔自転車対策〕、小学生を持つ方では〔交通・道路〕、中学生を持つ方では〔災害対策〕、高校生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方では〔高齢者福祉〕、社会人を持つ方では〔行財政改革〕その他を持つ方では〔障がい者福祉〕となっている。（図表3-28）

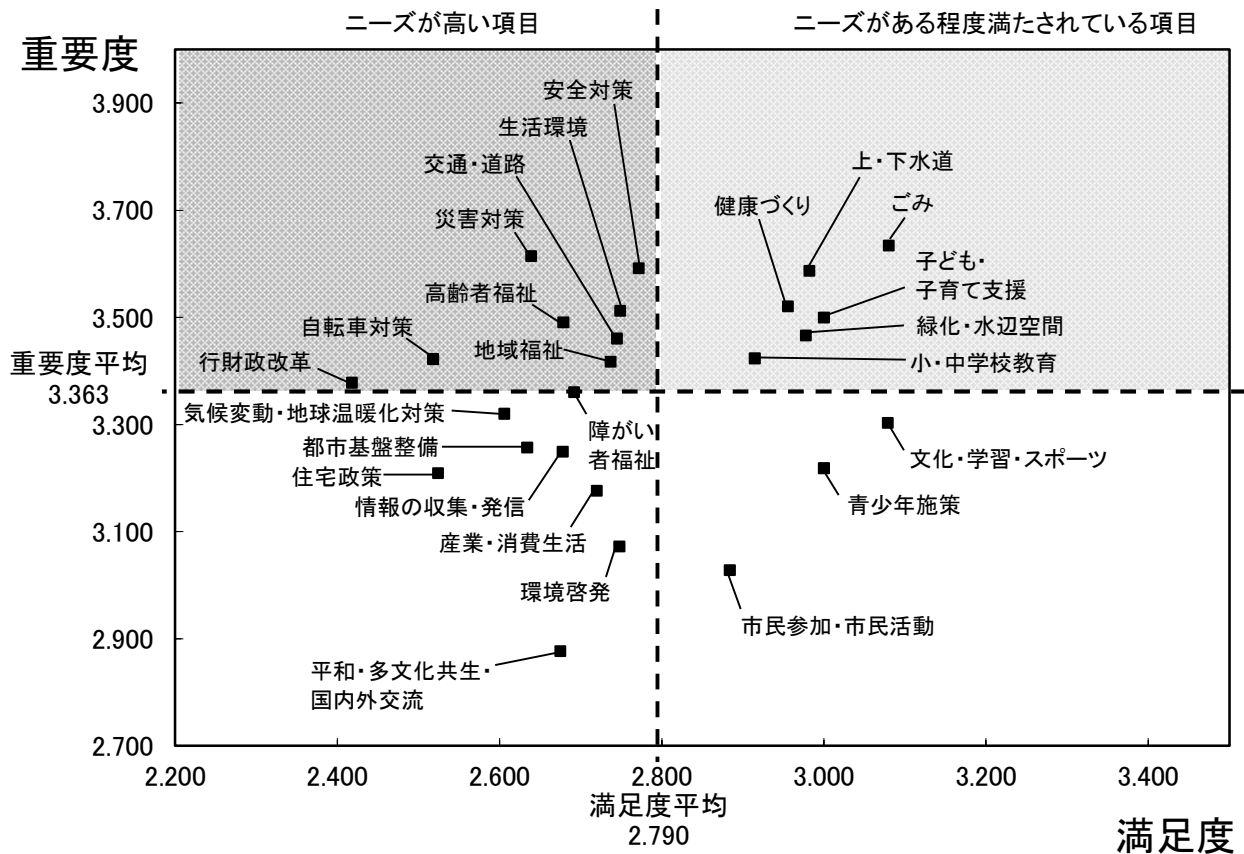
図表3-29 ニーズ得点（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上
1位	災害対策 9.083	高齢者福祉 9.716	自転車対策 8.400	行財政改革 8.525	自転車対策 8.346	行財政改革 8.522	行財政改革 8.532	災害対策 8.711
2位	行財政改革 8.983	地域福祉 8.809	高齢者福祉 8.052	自転車対策 8.421	行財政改革 8.166	災害対策 8.353	自転車対策 8.457	行財政改革 8.705
3位	情報の収集・発信 8.612	障がい者福祉 8.295	住宅政策 7.978	災害対策 8.301	交通・道路 8.027	自転車対策 8.276	災害対策 8.226	高齢者福祉 8.384
4位	地域福祉 8.441	安全対策 8.280	気候変動・地球温暖化対策 7.957	高齢者福祉 8.138	安全対策 8.010	安全対策 7.858	住宅政策 8.089	自転車対策 8.283
5位	自転車対策 8.376	災害対策 8.016	災害対策 7.949	地域福祉 8.074	高齢者福祉 7.978	気候変動・地球温暖化対策 7.847	交通・道路 7.731	都市基盤整備 8.274
6位	安全対策 7.810	住宅政策 7.941	安全対策 7.857	住宅政策 7.882	災害対策 7.977	情報の収集・発信 7.795	生活環境・都市基盤整備 7.665	気候変動・地球温暖化対策 8.195
7位	高齢者福祉 7.647	自転車対策 7.812	地域福祉 7.793	安全対策 7.814	住宅政策 7.886	高齢者福祉 7.668	－ －	地域福祉 8.079
8位	住宅政策・気候変動・地球温暖化対策・産業・消費生活 7.394	健康づくり 7.433	行財政改革 7.599	障がい者福祉 7.804	情報の収集・発信 7.664	交通・道路 7.581	情報の収集・発信 7.522	安全対策 7.886
9位	－ －	生活環境 7.384	障がい者福祉 7.495	気候変動・地球温暖化対策 7.664	都市基盤整備 7.525	生活環境 7.495	安全対策 7.514	交通・道路 7.829
10位	－ －	子ども・子育て支援 7.332	生活環境 7.381	生活環境 7.532	生活環境 7.417	住宅政策 7.488	高齢者福祉 7.360	小・中学校教育 7.717

世帯収入別で見ると、収入なし、1,500万円以上では〔災害対策〕、100万円未満では〔高齢者福祉〕、100～300万円未満、500～700万円未満では〔自転車対策〕、300～500万円未満、700～1,000万円未満、1,000～1,500万円未満では〔行財政改革〕が第1位となっている。第2位は、収入なし、500～700万円未満、1,500万円以上では〔行財政改革〕、100万円未満では〔地域福祉〕、100～300万円未満では〔高齢者福祉〕、300～500万円未満、1,000～1,500万円未満では〔自転車対策〕、700～1,000万円未満では〔災害対策〕となっている。（図表3-29）

3-4 満足度と重要度の分析（居住地域別）

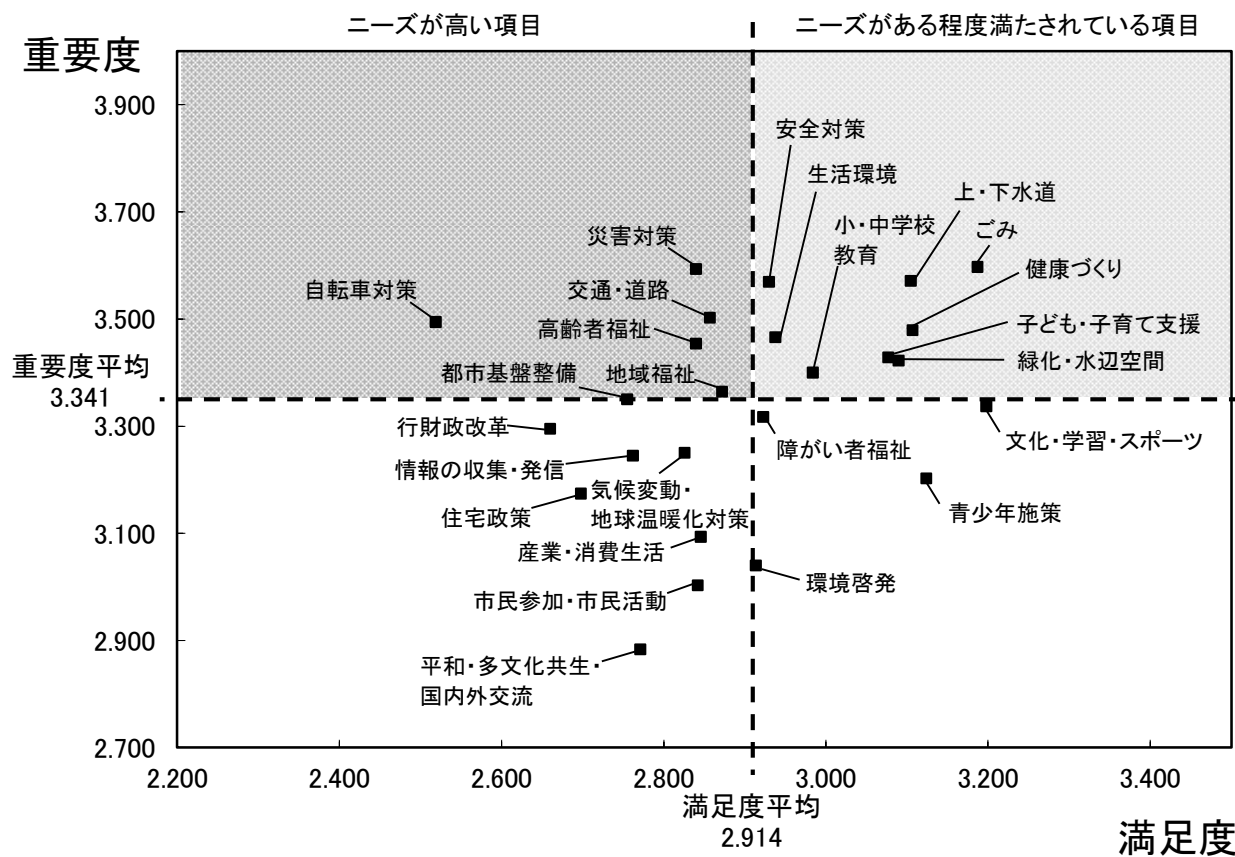
図表3-30 散布図（満足度・重要度）吉祥寺地域



吉祥寺地域では、〔行財政改革〕、〔自転車対策〕、〔災害対策〕、〔高齢者福祉〕、〔安全対策〕、〔生活環境〕、〔交通・道路〕、〔地域福祉〕が、ニーズの高い項目となっている。

一方、〔ごみ〕、〔上・下水道〕、〔子ども・子育て支援〕、〔緑化・水辺空間〕、〔健康づくり〕、〔小・中学校教育〕は、ニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表3-30）

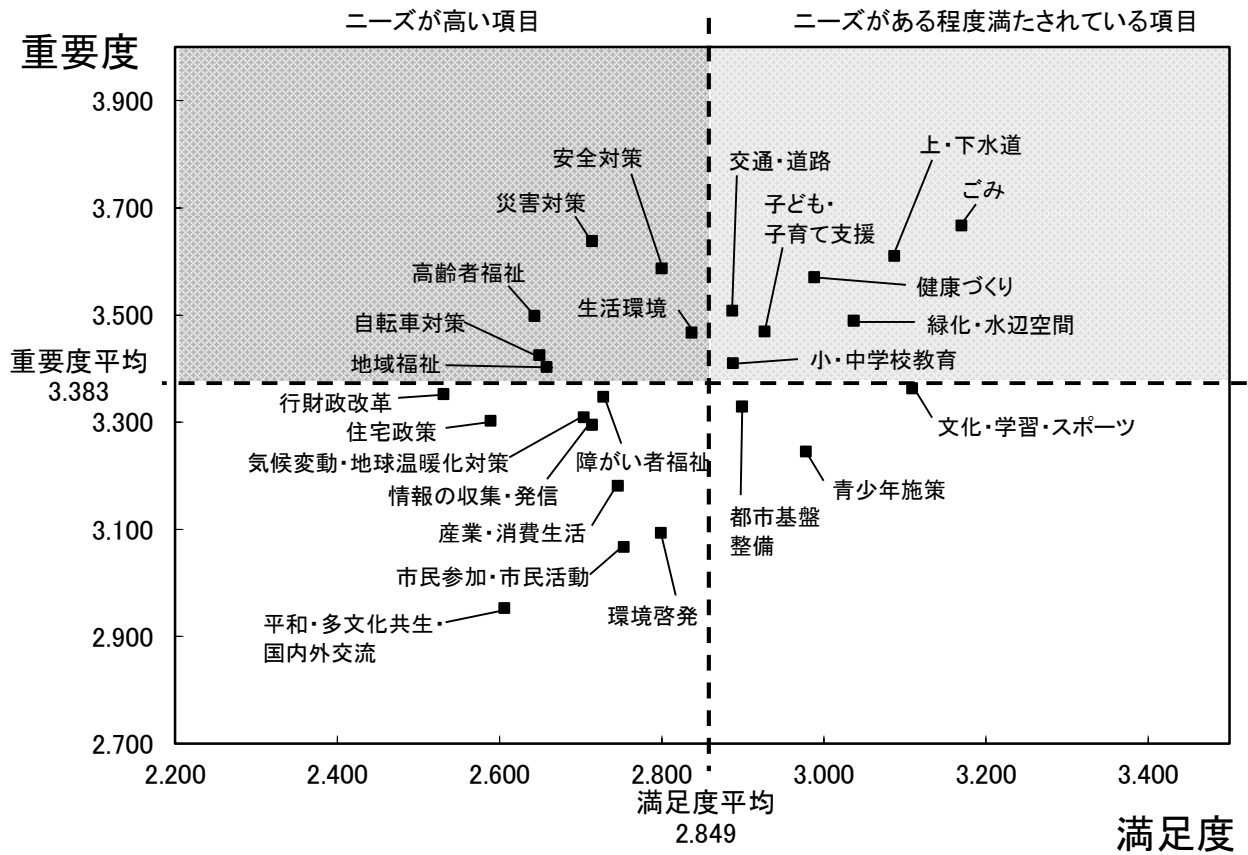
図表3-31 散布図（満足度・重要度）中央地域



中央地域では、〔自転車対策〕、〔災害対策〕、〔都市基盤整備〕、〔交通・道路〕、〔高齢者福祉〕、〔地域福祉〕が、ニーズの高い項目となっている。

一方、〔ごみ〕、〔上・下水道〕、〔健康づくり〕、〔緑化・水辺空間〕、〔子ども・子育て支援〕、〔安全対策〕、〔生活環境〕、〔小・中学校教育〕は、ニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表3-31）

図表3-32 散布図（満足度・重要度）武蔵境地域



武蔵境地域では、〔災害対策〕、〔高齢者福祉〕、〔安全対策〕、〔自転車対策〕、〔地域福祉〕、〔生活環境〕が、ニーズの高い項目となっている。

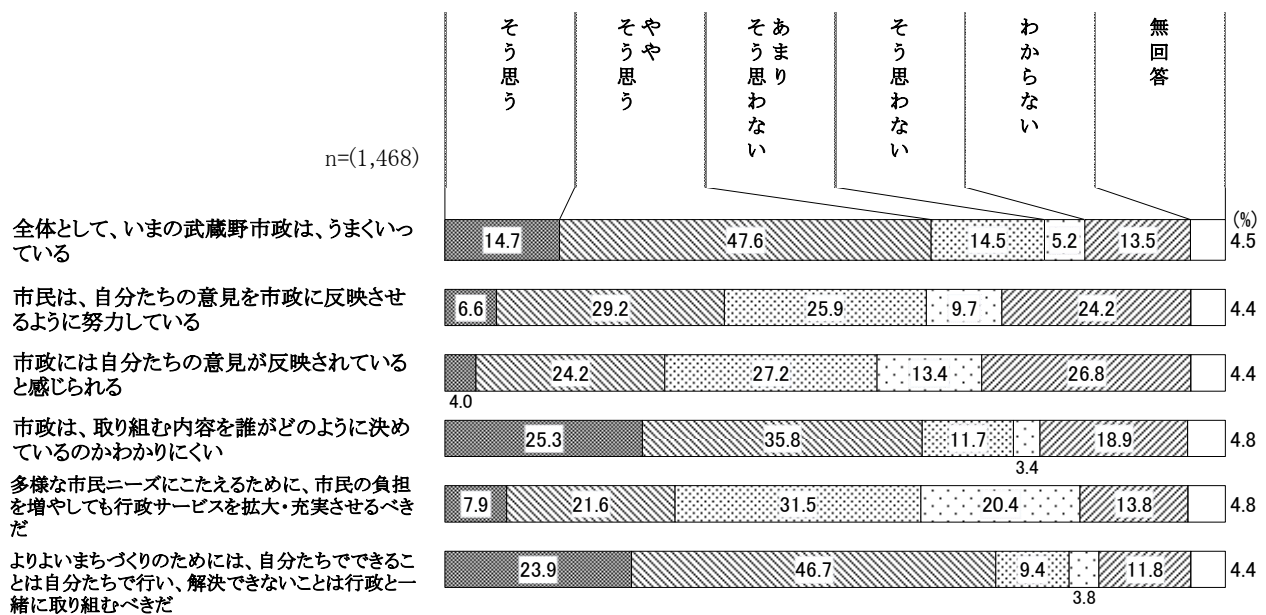
一方、〔ごみ〕、〔上・下水道〕、〔健康づくり〕、〔緑化・水辺空間〕、〔交通・道路〕、〔子ども・子育て支援〕、〔小・中学校教育〕は、ニーズがある程度満たされていると見ることができる。（図表3-32）

3-5 市政の現状や問題点

◎ 「全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている」では、『そう思う』は6割台前半、「よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒に取り組むべきだ」では7割である。

問16 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

図表3-33 市政の現状や問題点



市政に対する現状や問題点は、「全体として、いまの武蔵野市政は、うまくいっている」は、「そう思う」(14.7%)と「ややそう思う」(47.6%)を合わせた『そう思う』(62.3%)が6割台前半となっている。

「市民は、自分たちの意見を市政に反映させるように努力している」は、「あまりそう思わない」(25.9%)と「そう思わない」(9.7%)を合わせた『そう思わない』(35.6%)が『そう思う』(35.8%)と拮抗している。

「市政には自分たちの意見が反映されていると感じられる」は、『そう思わない』(40.6%)が『そう思う』(28.2%)を12.4ポイント上回っている。

「市政は、取り組む内容を誰がどのように決めているのかわかりにくい」は、『そう思う』(61.1%)が6割台前半となっている。

「多様な市民ニーズにこたえるために、市民の負担を増やしても行政サービスを拡大・充実させるべきだ」は、『そう思わない』(51.9%)が過半数を超えている。

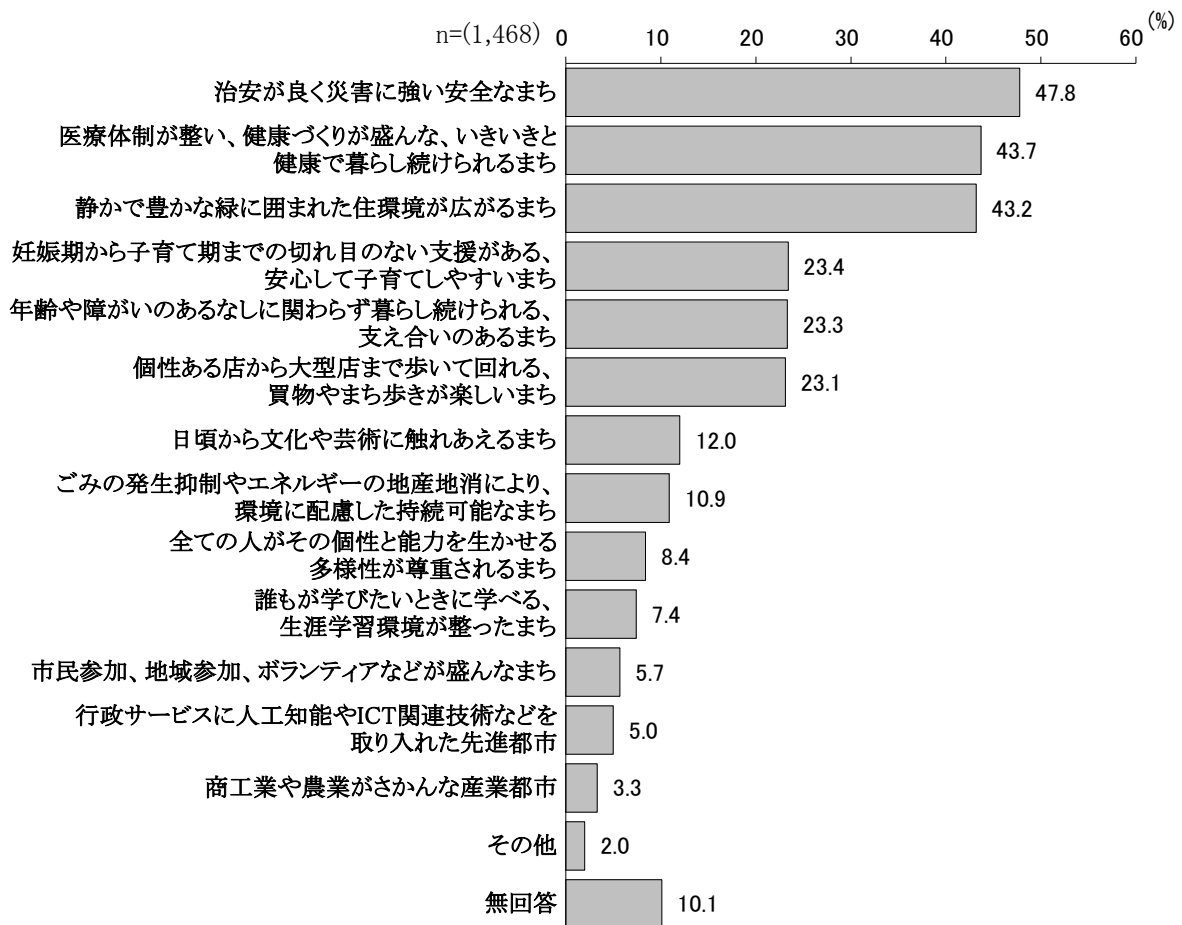
「よりよいまちづくりのためには、自分たちでできることは自分たちで行い、解決できないことは行政と一緒にとりくむべきだ」は、「そう思う」(23.9%)と「ややそう思う」(46.7%)を合わせた『そう思う』(70.6%)が7割を超えている。(図表3-33)

3－6 武蔵野市の将来像

◎ 「治安が良く災害に強い安全なまち」が4割台後半、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らしつづけられるまち」、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」が4割台前半である。

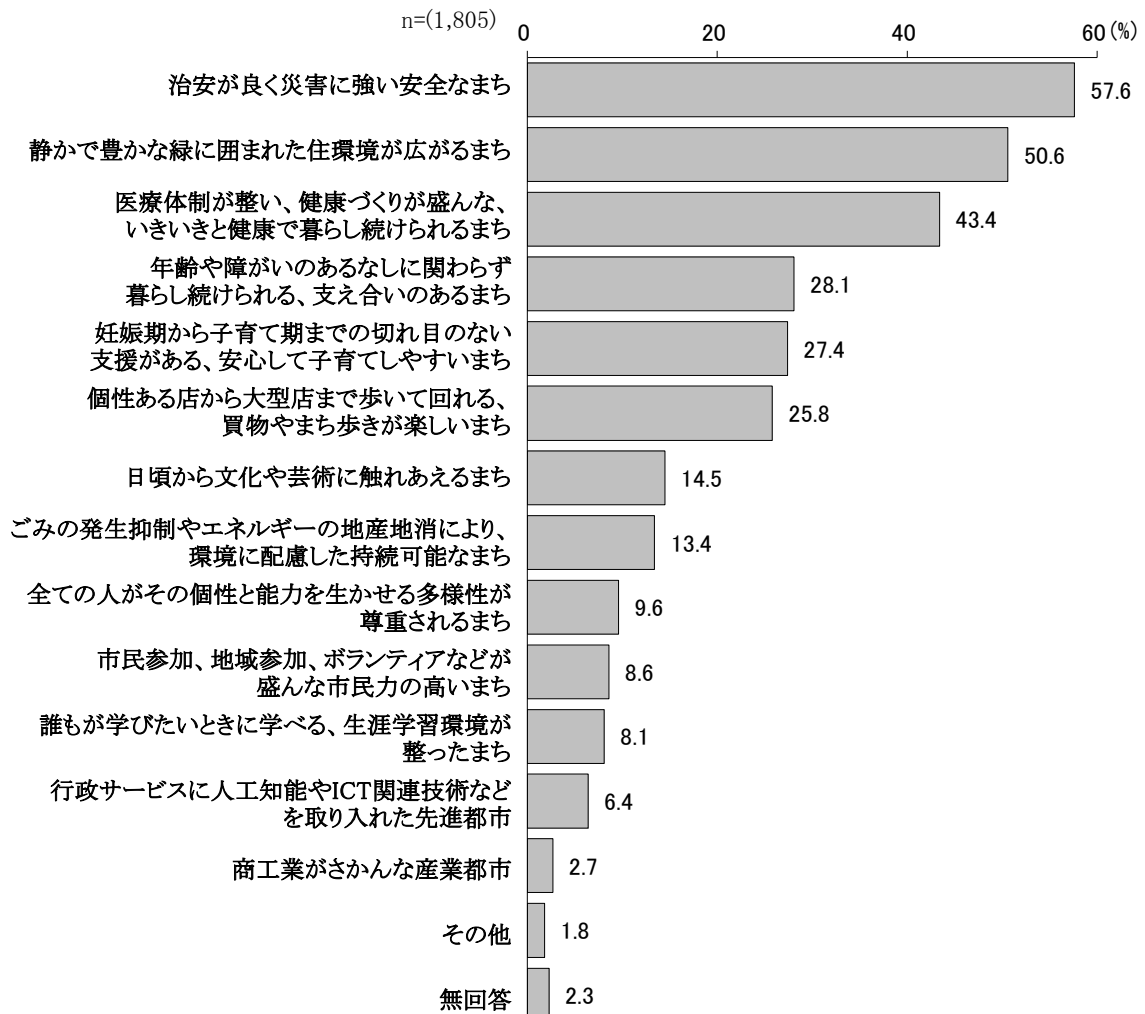
問17 武蔵野市は、これからどのようになれば、より魅力的で活力あふれる都市(まち)になると思いますか。(〇は3つまで)

図表3－34 武蔵野市の将来像



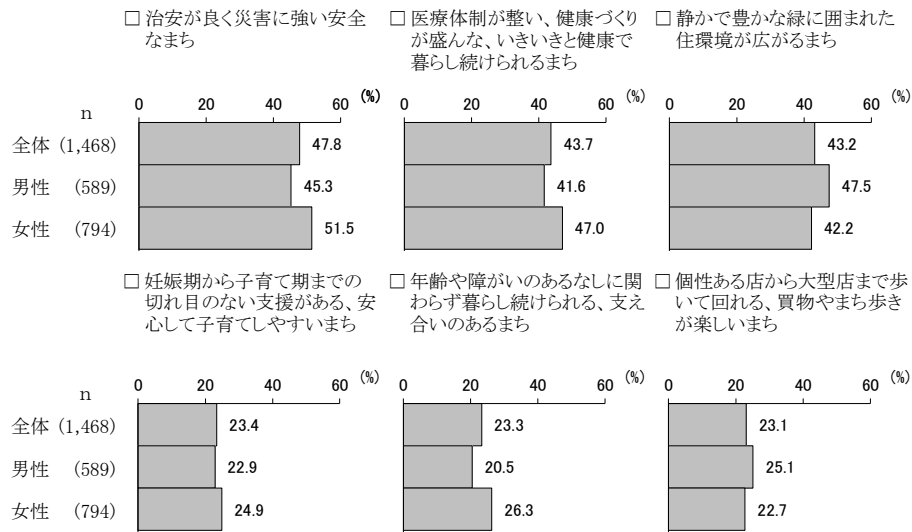
武蔵野市の将来像は、「治安が良く災害に強い安全なまち」（47.8%）が4割台後半で最も高い。次いで、「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らしつづけられるまち」（43.7%）「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」（43.2%）が4割台前半、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」（23.4%）、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」（23.3%）、「個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち」（23.1%）が2割台前半となっている。（図表3－34）

参考：令和2年度調査の結果



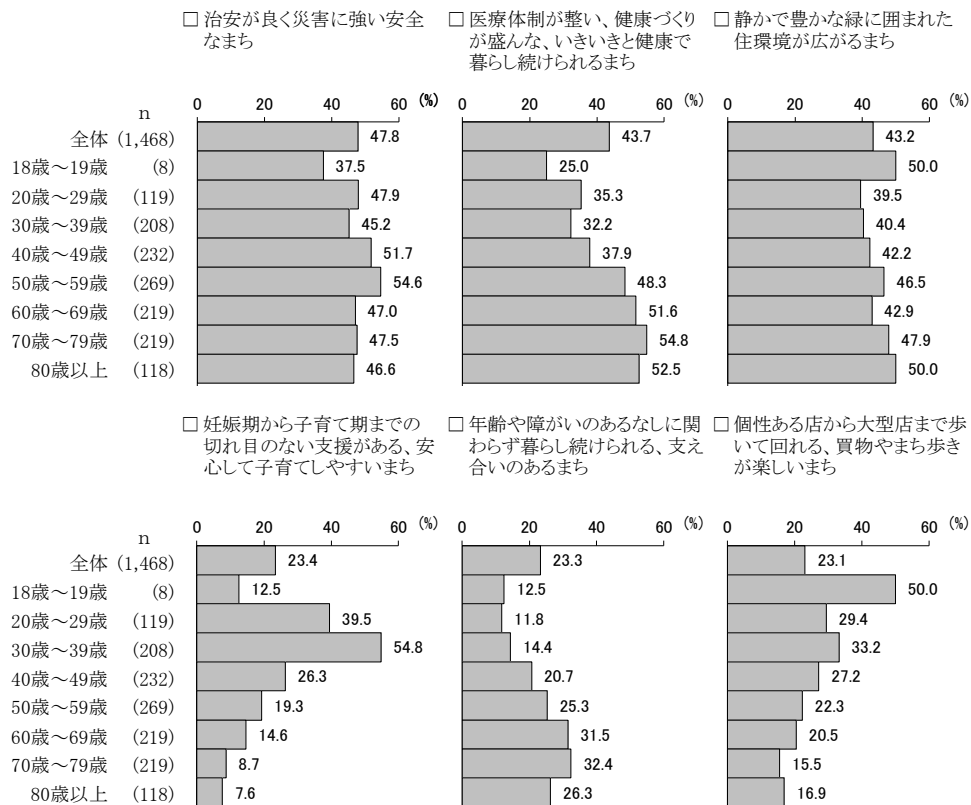
前回調査と比較すると、「治安が良く災害に強い安全なまち」は、9.8ポイント減少したが、前回調査と同様の第1位となっている。「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」は0.3ポイント増加し第2位となっている。また、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」は、7.4ポイント減少している。

図表3－35 武蔵野市の将来像（性別）上位6項目



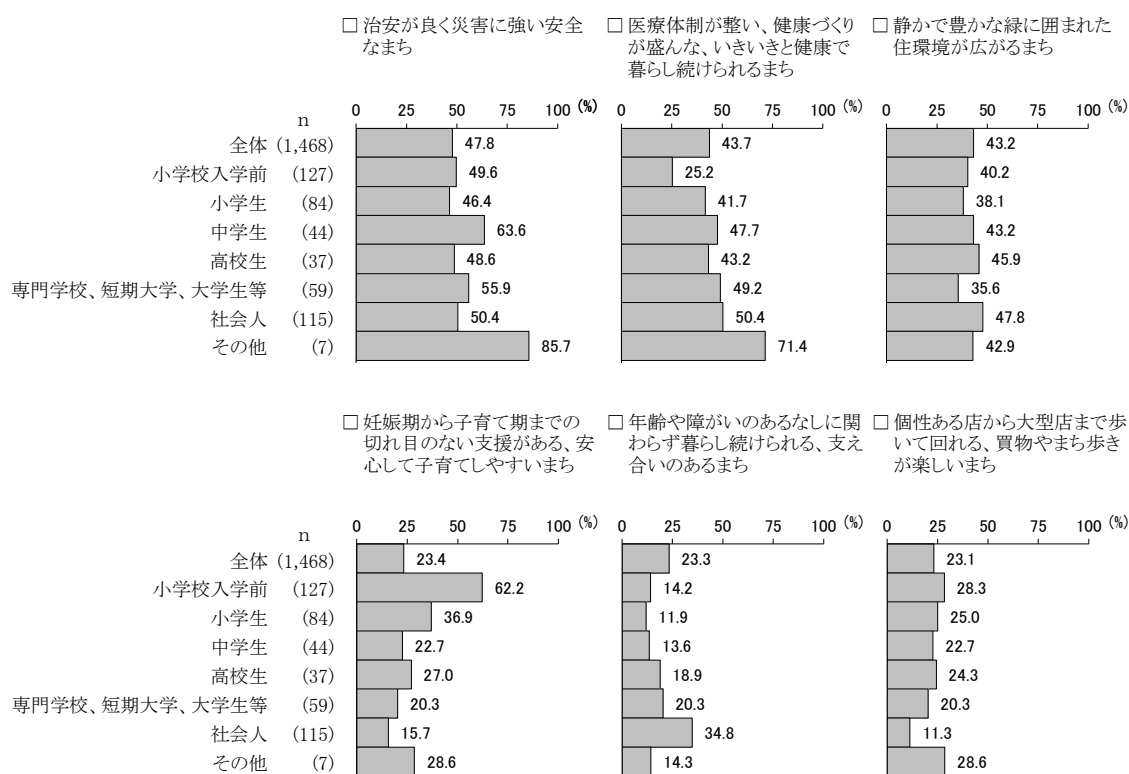
上位6項目について、性別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」では、女性の方が男性より6.2ポイント高くなっている。逆に、「静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち」では、男性の方が女性より5.3ポイント高い。（図表3－35）

図表3－36 武蔵野市の将来像（年代別）上位6項目



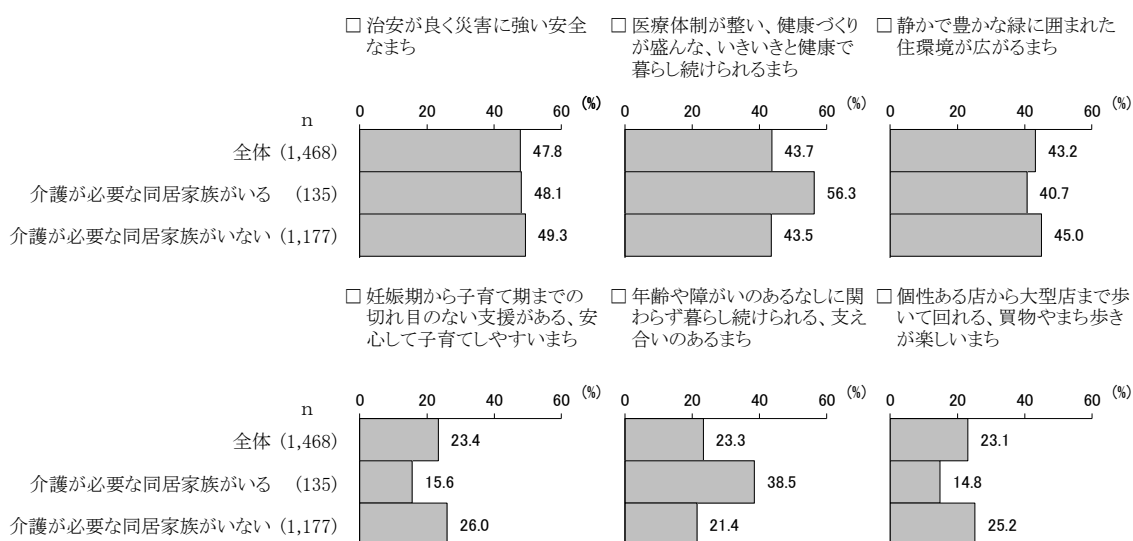
年代別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」は、50～59歳で5割台半ば、40歳～49歳で5割台前半と高くなっている。「医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち」、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は、年代が上がるほど増加する傾向にあり、70歳～79歳で最も高くなっている。（図表3－36）

図表3－37 武蔵野市の将来像（子どもの就学状況別）上位6項目



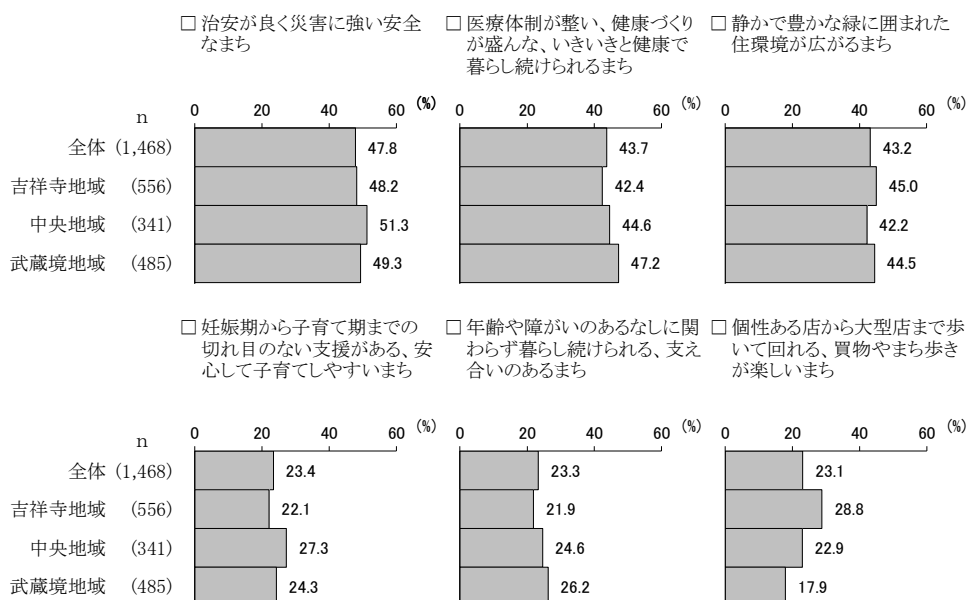
子どもの就学状況別で見ると、「治安が良く災害に強い安全なまち」は、中学生を持つ方で6割台前半と高くなっている。「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は、小学校入学前を持つ方で6割台前半と最も高くなっている。（図表3－37）

図表3－38 武蔵野市の将来像（介護が必要な同居家族の有無別）上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち」は、介護が必要な同居家族がいる場合の方が、介護が必要な同居家族がいない場合に比べて17.1ポイント高くなっている。一方、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」、「個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち」は、ともに介護が必要な同居家族がいない場合の方が、介護が必要な同居家族がいる場合に比べて10.4ポイント高くなっている。（図表3－38）

図表3－39 武蔵野市の将来像（居住地域別）上位6項目



居住地域別で見ると、「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち」は、中央地域で他の地域に比べて高くなっている。「個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち」は、吉祥寺地域で他の地域に比べて高くなっている。（図表3－39）

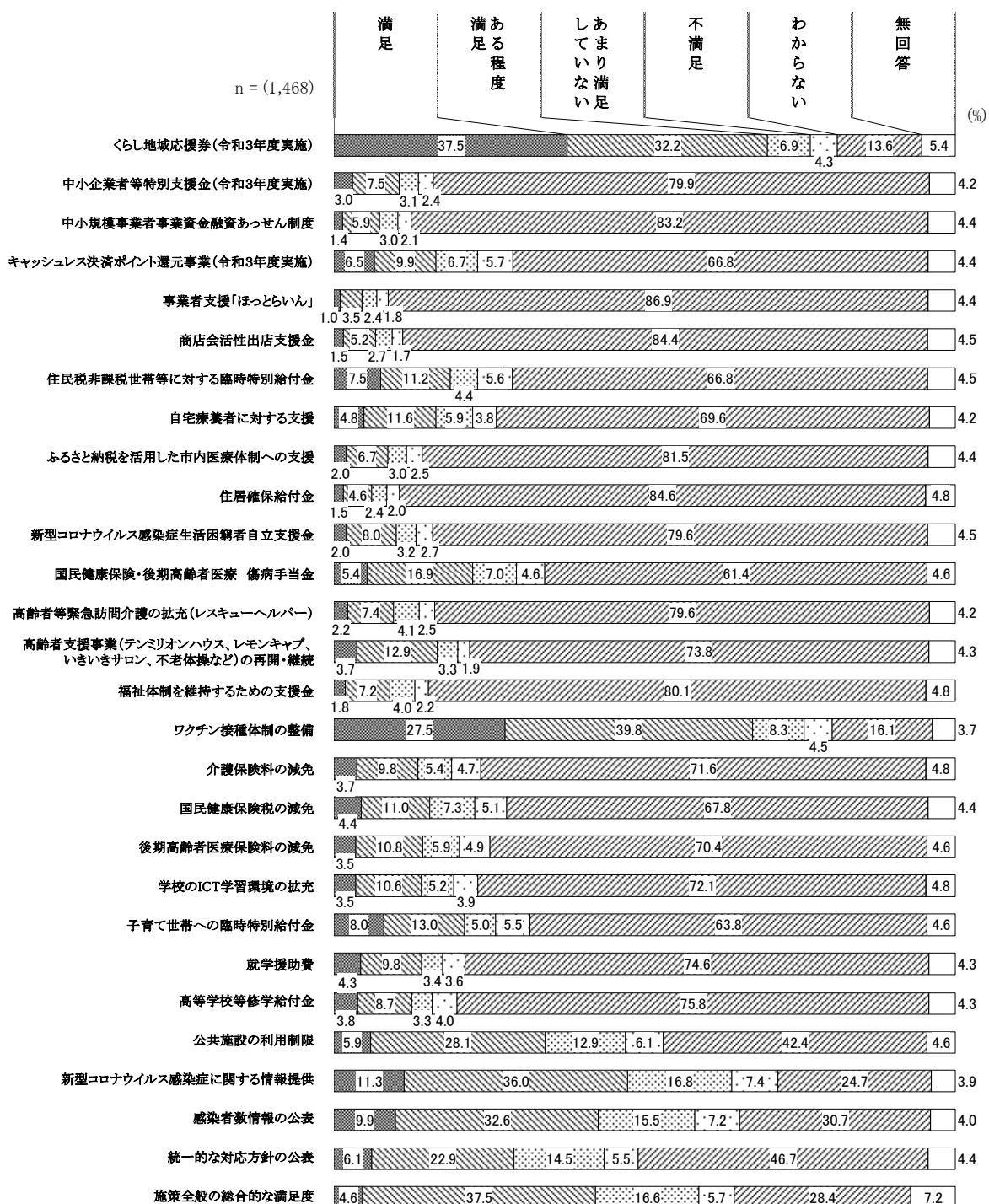
4 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度などについて

4-1 満足度

◎ 「施策全般の総合的な満足度」は「満足」（4.6%）と「ある程度満足」（37.5%）を合わせた『満足』が4割台前半である。

問18 以下に挙げた項目について、現在の満足度をお答えください。満足度を判断できない場合は「わからない」に○をしてください。（○はそれぞれ1つ）

図表4-1 新型コロナウイルス感染症に関する施策の満足度



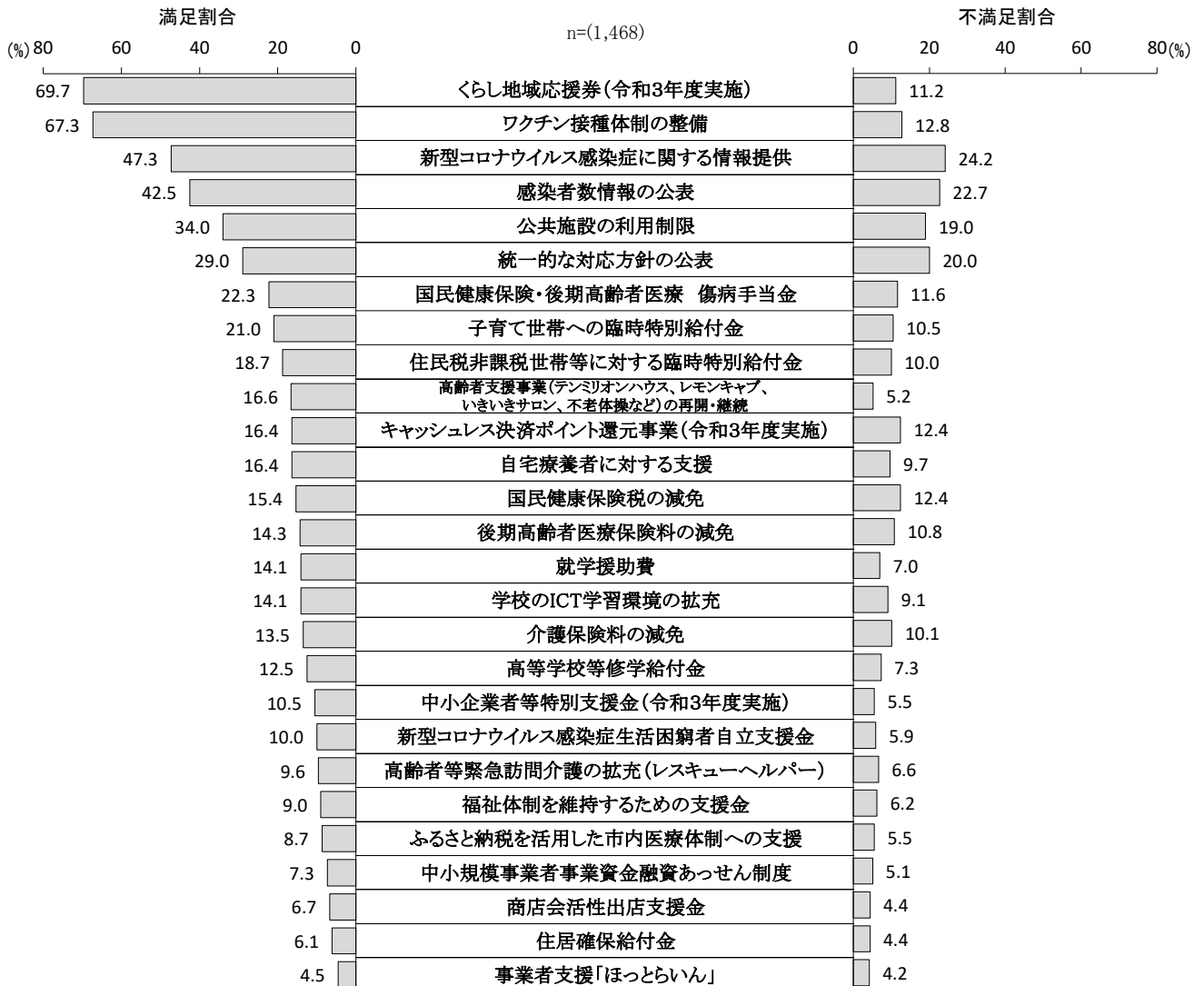
施策全般の総合的な満足度を見ると、「満足」（4.6％）と「ある程度満足」（37.5％）を合わせた『満足』（42.1％）は、4割台前半である。一方、「あまり満足していない」（16.6％）と「不満足」（5.7％）を合わせた『不満足』（22.3％）は、2割台前半となっている。（図表４－１）

図表４－２ 新型コロナウイルス感染症に関する施策 満足度順

(%)

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	くらし地域応援券 (令和3年度実施)	69.7	15	就学援助費	14.1
2	ワクチン接種体制の整備	67.3	15	学校のICT学習環境の拡充	14.1
3	新型コロナウイルス感染症に関する 情報提供	47.3	17	介護保険料の減免	13.5
4	感染者数情報の公表	42.5	18	高等学校等修学給付金	12.5
5	公共施設の利用制限	34.0	19	中小企業者等特別支援金 (令和3年度実施)	10.5
6	統一的な対応方針の公表	29.0	20	新型コロナウイルス感染症 生活困窮者自立支援金	10.0
7	国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金	22.3	21	高齢者等緊急訪問介護の拡充 (レスキューヘルパー)	9.6
8	子育て世帯への臨時特別給付金	21.0	22	福祉体制を維持するための支援金	9.0
9	住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金	18.7	23	ふるさと納税を活用した市内医療体制 への支援	8.7
10	高齢者支援事業(テンミليونハウス、レモンキャ ブ、いきいきサロン、不老体操など)の再開・継続	16.6	24	中小規模事業者事業資金融資 あっせん制度	7.3
11	キャッシュレス決済ポイント還元事業 (令和3年度実施)	16.4	25	商店会活性化出店支援金	6.7
11	自宅療養者に対する支援	16.4	26	住居確保給付金	6.1
13	国民健康保険税の減免	15.4	27	事業者支援「ほっとらいん」	4.5
14	後期高齢者医療保険料の減免	14.3			

図表4－3 満足割合・不満割合（満足度順）



『満足』

（「満足」＋「ある程度満足」）を合わせた『満足』の割合が高い順に見ると、〔くらし地域応援券(令和3年度実施)〕(69.7%)が約7割、次いで、〔ワクチン接種体制の整備〕(67.3%)が6割台後半、〔新型コロナウイルス感染症に関する情報提供〕(47.3%)が4割台後半、〔感染者数情報の公表〕(42.5%)が4割台前半で続いている。（図表4－3）

『不満』

（「不満」＋「あまり満足していない」）を合わせた『不満』の割合は、〔新型コロナウイルス感染症に関する情報提供〕(24.2%)が2割台半ば、〔感染者数情報の公表〕(22.7%)が2割台前半で高くなっている。次いで、〔統一的な対応方針の公表〕(20.0%)が2割で続いている。（図表4－3）

図表4－4 満足度(項目別件数表および満足度)(件数)

番号	項目	4	3	2	1		わからない	無回答	満足度
		満足	満足 ある 程度	あまり 満足 していない	不満 足	合計			
1	くらし地域応援券(令和3年度実施)	551	473	102	63	1,189	200	79	3.272
2	中小企業者等特別支援金(令和3年度実施)	44	110	45	35	234	1173	61	2.697
3	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度	20	87	44	31	182	1222	64	2.527
4	キャッシュレス決済ポイント還元事業 (令和3年度実施)	96	145	99	84	424	980	64	2.597
5	事業者支援「ほっとらいん」	14	51	35	27	127	1276	65	2.409
6	商店会活性出店支援金	22	77	39	25	163	1239	66	2.589
7	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	110	165	65	82	422	980	66	2.718
8	自宅療養者に対する支援	71	171	87	56	385	1021	62	2.668
9	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援	30	98	44	36	208	1196	64	2.587
10	住居確保給付金	22	68	35	30	155	1242	71	2.529
11	新型コロナウイルス感染症生活困窮者 自立支援金	29	117	47	40	233	1169	66	2.579
12	国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金	79	248	103	68	498	902	68	2.679
13	高齢者等緊急訪問介護の拡充 (レスキューヘルパー)	33	108	60	37	238	1168	62	2.576
14	高齢者支援事業(テンミリオンハウス、 レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など) の再開・継続	55	190	49	28	322	1083	63	2.845
15	福祉体制を維持するための支援金	26	105	59	32	222	1176	70	2.563
16	ワクチン接種体制の整備	404	584	122	66	1,176	237	55	3.128
17	介護保険料の減免	54	144	79	69	346	1051	71	2.529
18	国民健康保険税の減免	64	161	107	75	407	996	65	2.526
19	後期高齢者医療保険料の減免	51	159	86	72	368	1033	67	2.514

番号	項目	4	3	2	1		わからない	無回答	満足度
		満足	満足 ある程度	あまり満足 していない	不満足	合計			
20	学校の ICT 学習環境の拡充	52	155	76	57	340	1058	70	2.594
21	子育て世帯への臨時特別給付金	118	191	74	81	464	937	67	2.746
22	就学援助費	63	144	50	53	310	1095	63	2.700
23	高等学校等修学給付金	56	128	49	59	292	1113	63	2.620
24	公共施設の利用制限	86	413	189	90	778	622	68	2.636
25	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供	166	528	246	108	1,048	363	57	2.718
26	感染者数情報の公表	146	479	227	106	958	451	59	2.694
27	統一的な対応方針の公表	89	336	213	81	719	685	64	2.602

【満足度】

「満足」から「不満足」までの４段階の回答を４～１の点数に直し、「わからない」、無回答を除いた回答の平均値を【満足度】とした。（図表４－４）

例：「くらし地域応援券（令和３年度実施）」について見ると、満足度は3.272となる。

【満足度（加重平均）】

$(4 \text{ 点} \times 551 \text{ 件} + 3 \text{ 点} \times 473 \text{ 件} + 2 \text{ 点} \times 102 \text{ 件} + 1 \text{ 点} \times 63 \text{ 件}) \div 1189 \text{ (合計件数)} = 3.272$

図表4－5 満足度（点数順）

順位	項目	満足度	順位	項目	満足度
1	くらし地域応援券(令和3年度実施)	3. 272	15	キャッシュレス決済ポイント還元事業(令和3年度実施)	2. 597
2	ワクチン接種体制の整備	3. 128	16	学校の ICT 学習環境の拡充	2. 594
3	高齢者支援事業(テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など)の再開・継続	2. 845	17	商店会活性出店支援金	2. 589
4	子育て世帯への臨時特別給付金	2. 746	18	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援	2. 587
5	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	2. 718	19	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	2. 579
5	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供	2. 718	20	高齢者等緊急訪問介護の拡充(レスキューヘルパー)	2. 576
7	就学援助費	2. 700	21	福祉体制を維持するための支援金	2. 563
8	中小企業者等特別支援金(令和3年度実施)	2. 697	22	住居確保給付金	2. 529
9	感染者数情報の公表	2. 694	22	介護保険料の減免	2. 529
10	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金	2. 679	24	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度	2. 527
11	自宅療養者に対する支援	2. 668	25	国民健康保険税の減免	2. 526
12	公共施設の利用制限	2. 636	26	後期高齢者医療保険料の減免	2. 514
13	高等学校等修学給付金	2. 620	27	事業者支援「ほっとらいん」	2. 409
14	統一的な対応方針の公表	2. 602			

最も【満足度】が高いのは「くらし地域応援券(令和3年度実施)」(3. 272)である。次いで、「ワクチン接種体制の整備」(3. 128)、「高齢者支援事業(テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など)の再開・継続」(2. 845)の順である。

一方、最も【満足度】が低いのは「事業者支援「ほっとらいん」」(2. 409)となっている。次いで、「後期高齢者医療保険料の減免」(2. 514)、「国民健康保険税の減免」(2. 526)の順となっている。(図表4－5)

図表4－6 満足度（性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別順位）

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3. 272	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3. 172	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3. 363	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3. 260	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3. 384	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3. 250	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 3. 167	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3. 320
2位	ワクチン接種体制の整備 3. 128	ワクチン接種体制の整備 3. 033	ワクチン接種体制の整備 3. 201	ワクチン接種体制の整備 3. 146	ワクチン接種体制の整備 3. 166	ワクチン接種体制の整備 3. 086	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 3. 098	ワクチン接種体制の整備 3. 138
3位	高齢者支援事業（デンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2. 845	高齢者支援事業（デンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2. 750	高齢者支援事業（デンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2. 939	高齢者支援事業（デンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2. 821	自宅療養者に対する支援 2. 960	高齢者支援事業（デンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2. 896	ワクチン接種体制の整備 3. 050	高齢者支援事業（デンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2. 810
4位	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 746	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2. 652	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2. 853	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2. 779	高齢者支援事業（デンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2. 868	就学援助費 2. 811	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3. 009	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2. 736
5位	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2. 718	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2. 624	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 843	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2. 739	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2. 789	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 807	高齢者支援事業（デンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2. 950	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 734
6位	－ －	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2. 612	就学援助費 2. 842	感染者数情報の公表 2. 705	住居確保給付金 2. 778	高等学校等修学給付金 2. 752	商店会活性化出店支援金 2. 929	感染者数情報の公表 2. 717
7位	就学援助費 2. 700	感染者数情報の公表 2. 595	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2. 806	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2. 690	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 774	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2. 744	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度 2. 867	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2. 704
8位	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2. 697	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 591	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2. 796	就学援助費 2. 670	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2. 754	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2. 713	住居確保給付金 2. 864	自宅療養者に対する支援 2. 702
9位	感染者数情報の公表 2. 694	商店会活性化出店支援金 2. 579	自宅療養者に対する支援 2. 793	高等学校等修学給付金 2. 663	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2. 750	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2. 699	就学援助費 2. 818	就学援助費 2. 676
10位	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2. 679	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2. 571	感染者数情報の公表 2. 773	子育て世帯への臨時特別給付金 2. 656	キャッシュレス決済ポイント還元事業（令和3年度実施） 2. 745	－ －	子育て世帯への臨時特別給付金 高等学校等修学給付金 2. 800	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2. 660

性別で見ると、男女ともに第1位は「くらし地域応援券（令和3年度実施）」、第2位は「ワクチン接種体制の整備」、第3位は「高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続」となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も第1位は「くらし地域応援券（令和3年度実施）」、第2位は「ワクチン接種体制の整備」である。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、介護が必要な同居家族がいる場合は、第1位は「中小企業者等特別支援金（令和3年度実施）」、第2位は「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金」となっている。介護が必要な同居家族がいない場合は、第1位は「くらし地域応援券（令和3年度実施）」、第2位は「ワクチン接種体制の整備」となっている。（図表4－6）

図表4－7 満足度（年代別順位）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	子育て世帯への臨時特別給付金 4.000	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.556	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.523	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.403	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.253	ワクチン接種体制の整備 3.093	ワクチン接種体制の整備 3.162	ワクチン接種体制の整備 3.140
2位	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.333	ワクチン接種体制の整備 3.307	ワクチン接種体制の整備 3.094	ワクチン接種体制の整備 3.123	ワクチン接種体制の整備 3.086	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.088	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.123	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.058
3位	ワクチン接種体制の整備 学校のICT学習環境の拡充 ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 住居確保給付金 国民健康保険税の減免 3.000	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 3.273	キャッシュレス決済ポイント還元事業（令和3年度実施） 2.959	高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.970	高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.840	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2.786	高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.986	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2.947
4位	－ －	高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 3.188	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2.914	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2.891	就学援助費 2.780	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2.724	就学援助費 2.941	就学援助費 2.885
5位	－ －	事業者支援「ほっとらいん」 3.182	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2.863	福祉体制を維持するための支援金 2.879	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2.753	子育て世帯への臨時特別給付金 2.698	高等学校等修学給付金 2.794	公共施設の利用制限 2.879
6位	－ －	商店会活性出店支援金 3.091	子育て世帯への臨時特別給付金 2.860	介護保険料の減免 2.844	感染者数情報の公表 2.724	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2.665	子育て世帯への臨時特別給付金 2.786	高等学校等修学給付金 2.852
7位	－ －	キャッシュレス決済ポイント還元事業（令和3年度実施） 3.054	自宅療養者に対する支援 2.836	自宅療養者に対する支援 2.827	統一的な対応方針の公表 2.698	高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.661	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2.767	高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.826
8位	感染者数情報の公表 2.800	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度 3.000	商店会活性出店支援金 2.815	住居確保給付金 2.793	公共施設の利用制限 2.683	高等学校等修学給付金 2.633	公共施設の利用制限 2.744	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2.822
9位	自宅療養者に対する支援 統一的な対応方針の公表 2.750	自宅療養者に対する支援 2.966	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2.800	キャッシュレス決済ポイント還元事業（令和3年度実施） 2.790	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2.682	中小規模事業者事業資金融資あっせん制度 2.622	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2.739	商店会活性出店支援金 2.733
10位	－ －	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.944	感染者数情報の公表 2.781	感染者数情報の公表 国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2.783	自宅療養者に対する支援 2.680	商店会活性出店支援金 2.594	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 2.703	子育て世帯への臨時特別給付金 2.731

年代別で見ると、第1位は18歳～19歳で〔子育て世帯への臨時特別給付金〕、20歳～29歳から50歳～59歳で〔くらし地域応援券（令和3年度実施）〕、60歳～69歳から80歳以上で〔ワクチン接種体制の整備〕となっている。第2位は18歳～19歳、60歳～69歳から80歳以上で〔くらし地域応援券（令和3年度実施）〕、20歳～29歳から50歳～59歳で〔ワクチン接種体制の整備〕となっている。第3位は20歳～29歳、80歳以上で〔中小企業者等特別支援金（令和3年度実施）〕、30歳～39歳で〔キャッシュレス決済ポイント還元事業（令和3年度実施）〕、40歳～49歳、50歳～59歳、70歳～79歳で〔高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続〕、60歳～69歳で〔住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金〕となっている。（図表4－7）

図表4－8 満足度（職業別順位）

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1位	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.047	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.409	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.305	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.358	ワクチン接種体 制の整備 3.276	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.545	ワクチン接種体 制の整備 3.145	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.360
2位	ワクチン接種体 制の整備 3.009	ワクチン接種体 制の整備 3.094	ワクチン接種体 制の整備 2.948	ワクチン接種体 制の整備 3.168	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.215	ワクチン接種体 制の整備 3.520	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.117	ワクチン接種体 制の整備 3.115
3位	住民税非課税世 帯等に対する臨 時特別給付金 2.837	高齢者支援事業 （テンミリオ ンハウス、レモ ンキャブ、いき いきサロン、不 老体操など）の 再開・継続 2.828	子育て世帯への 臨時特別給付金 2.824	自宅療養者に対 する支援 2.846	就学援助費 3.000	住民税非課税世 帯等に対する臨 時特別給付金 ……… 統一的な対応方 針の公表 ……… 商店会活性出店 支援金 ……… ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 ……… 事業者支援「ほ っとらいん」 3.000	高齢者支援事業 （テンミリオ ンハウス、レモ ンキャブ、いき いきサロン、不 老体操など）の 再開・継続 2.952	高齢者支援事業 （テンミリオ ンハウス、レモ ンキャブ、いき いきサロン、不 老体操など）の 再開・継続 3.000
4位	高齢者支援事業 （テンミリオ ンハウス、レモ ンキャブ、いき いきサロン、不 老体操など）の 再開・継続 2.704	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 2.800	就学援助費 2.778	子育て世帯への 臨時特別給付金 2.811	高齢者支援事業 （テンミリオ ンハウス、レモ ンキャブ、いき いきサロン、不 老体操など）の 再開・継続 2.922	－ －	子育て世帯への 臨時特別給付金 2.906	新型コロナウイルス 感染症に関 する情報提供 2.864
5位	中小企業者等特 別支援金（令和 3年度実施） 2.636	新型コロナウイルス 感染症に関 する情報提供 ……… 中小企業者等特 別支援金（令和 3年度実施） 2.797	高齢者支援事業 （テンミリオ ンハウス、レモ ンキャブ、いき いきサロン、不 老体操など）の 再開・継続 2.769	新型コロナウイルス 感染症に関 する情報提供 2.804	新型コロナウイルス 感染症生活 困窮者自立支援 金 2.848	－ －	住民税非課税世 帯等に対する臨 時特別給付金 2.865	商店会活性出店 支援金 ……… ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 2.800
6位	感染者数情報の 公表 2.623	－ －	高等学校等修学 給付金 ……… キャッシュレス 決済ポイント還 元事業（令和3 年度実施） 2.700	中小企業者等特 別支援金（令和 3年度実施） 2.778	ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 2.833	－ －	就学援助費 2.833	－
7位	就学援助費 2.613	感染者数情報の 公表 2.795	－ －	住民税非課税世 帯等に対する臨 時特別給付金 2.766	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 2.821	－ －	中小企業者等特 別支援金（令和 3年度実施） 2.806	住民税非課税世 帯等に対する臨 時特別給付金 2.778
8位	新型コロナウイルス 感染症に関 する情報提供 2.611	自宅療養者に対 する支援 2.773	住民税非課税世 帯等に対する臨 時特別給付金 2.667	高齢者支援事業 （テンミリオ ンハウス、レモ ンキャブ、いき いきサロン、不 老体操など）の 再開・継続 2.741	後期高齢者医療 保険料の減免 2.818	感染者数情報の 公表 ……… 自宅療養者に対 する支援 2.909	高等学校等修学 給付金 2.796	感染者数情報の 公表 2.773
9位	子育て世帯への 臨時特別給付金 2.591	キャッシュレス 決済ポイント還 元事業（令和3 年度実施） 2.755	中小企業者等特 別支援金（令和 3年度実施） 2.625	感染者数情報の 公表 2.701	高齢者等緊急訪 問介護の拡充 （レスキューハ ルパー） 2.811	－ －	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 2.750	高等学校等修学 給付金 ……… 事業者支援「ほ っとらいん」 2.667
10位	公共施設の利用 制限 2.578	福祉体制を維持 するための支援 金 2.743	感染者数情報の 公表 2.510	公共施設の利用 制限 2.675	高等学校等修学 給付金 2.791	キャッシュレス 決済ポイント還 元事業（令和3 年度実施） 2.889	商店会活性出店 支援金 2.679	－

職業別で見ると、家事専業、無職以外の職業で「くらし地域応援券（令和３年度実施）」が第１位となっている。家事専業、無職では「ワクチン接種体制の整備」が第１位となっている。（図表４－８）

図表4－9 満足度（子どもの就学状況別順位）

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1 位	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.552	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.247	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.439	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.455	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.255	ワクチン接種体 制の整備 3.103	高等学校等修学 給付金 学校の ICT 学習 環境の拡充 4.000
2 位	ワクチン接種体 制の整備 3.284	住居確保給付金 3.111	ワクチン接種体 制の整備 3.195	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 3.167	ワクチン接種体 制の整備 3.080	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.081	－ －
3 位	中小企業者等特 別支援金（令和 3年度実施） 3.111	ワクチン接種体 制の整備 3.082	公共施設の利用 制限 2.897	ワクチン接種体 制の整備 3.086	子育て世帯への 臨時特別給付金 3.000	高齢者支援事業 （デンミリオン ハウス、レモン キャブ、いきい きサロン、不老 体操など）の再 開・継続 2.925	ワクチン接種体 制の整備 3.571
4 位	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 3.105	高齢者支援事業 （デンミリオン ハウス、レモン キャブ、いきい きサロン、不老 体操など）の再 開・継続 3.071	自宅療養者に対 する支援 2.833	高齢者支援事業 （デンミリオン ハウス、レモン キャブ、いきい きサロン、不老 体操など）の再 開・継続 ふるさと納税を 活用した市内医 療体制への支援 新型コロナウイルス 感染症生活 困窮者自立支援 金 福祉体制を維持 するための支援 金 3.000	就学援助費 2.933	就学援助費 2.875	住民税非課税世 帯等に対する臨 時特別給付金 就学援助費 3.500
5 位	キャッシュレス 決済ポイント還 元事業（令和3 年度実施） 3.088	福祉体制を維持 するための支援 金 3.000	新型コロナウイルス 感染症に関 する情報提供 統一的な対応方 針の公表 2.800	－ －	高等学校等修学 給付金 2.833	高等学校等修学 給付金 2.833	－ －
6 位	高齢者支援事業 （デンミリオン ハウス、レモン キャブ、いきい きサロン、不老 体操など）の再 開・継続 3.087	住民税非課税世 帯等に対する臨 時特別給付金 2.900	－ －	－ －	新型コロナウイ ルス感染症に関 する情報提供 2.822	公共施設の利用 制限 2.730	くらし地域応援 券（令和3年度 実施） 3.429

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
7 位	商店会活性出店 支援金 3.000	高齢者等緊急訪 問介護の拡充 (レスキューヘ ルパー) 2.889	感染者数情報の 公表 2.765	－ －	高齢者支援事業 (デンミリオン ハウス、レモン キャブ、いきい きサロン、不老 体操など)の再 開・継続 2.778	中小企業者等特 別支援金(令和 3年度実施) 2.667	子育て世帯への 臨時特別給付金 中小企業者等特 別支援金(令和 3年度実施) 国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 自宅療養者に対 する支援 商店会活性出店 支援金 福祉体制を維持 するための支援 金 住居確保給付金 介護保険料の減 免 中小規模事業者 事業資金融資あ っせん制度 国民健康保険税 の減免 後期高齢者医療 保険料の減免 事業者支援「ほ っとらいん」 3.000
8 位	自宅療養者に対 する支援 2.957	介護保険料の減 免 2.867	中小規模事業者 事業資金融資あ っせん制度 2.667	国民健康保険税 の減免 後期高齢者医療 保険料の減免 2.800	感染者数情報の 公表 2.771	子育て世帯への 臨時特別給付金 2.655	－ －
9 位	事業者支援「ほ っとらいん」 2.938	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 2.810	住民税非課税世 帯等に対する臨 時特別給付金 2.538	－ －	住居確保給付金 2.750	新型コロナウイルス 感染症に関 する情報提供 2.653	－ －
10 位	中小規模事業者 事業資金融資あ っせん制度 2.913	後期高齢者医療 保険料の減免 2.786	国民健康保険・ 後期高齢者医療 傷病手当金 2.533	学校の ICT 学習 環境の拡充 2.786	中小企業者等特 別支援金(令和 3年度実施) 2.667	感染者数情報の 公表 2.628	－ －

子どもの就学状況別で見ると、社会人、その他以外では〔くらし地域応援券(令和3年度実施)〕が第1位となっており、社会人を持つ方では〔ワクチン接種体制の整備〕が第1位となっている。小学校入学前、中学生、専門学校、短期大学、大学生等を持つ方では〔ワクチン接種体制の整備〕が第2位となっている。(図表4-9)

図表4－10 満足度（世帯収入別順位）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上
1位	ワクチン接種体制の整備 3.400	ワクチン接種体制の整備 3.200	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.192	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.233	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.377	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.365	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.382	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.197
2位	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 3.316	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.167	ワクチン接種体制の整備 3.053	ワクチン接種体制の整備 3.086	ワクチン接種体制の整備 3.207	ワクチン接種体制の整備 3.168	ワクチン接種体制の整備 3.097	ワクチン接種体制の整備 3.167
3位	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 3.308	就学援助費 3.143	高齢者支援事業（テンミillionハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 3.016	高等学校等修学給付金 2.966	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 3.087	高齢者支援事業（テンミillionハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.898	自宅療養者に対する支援 3.066	感染者数情報の公表 2.788
4位	くらし地域応援券（令和3年度実施） 3.250	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 3.000	子育て世帯への臨時特別給付金 2.955	就学援助費 2.909	子育て世帯への臨時特別給付金 3.000	子育て世帯への臨時特別給付金 2.821	国民健康保険・後期高齢者医療傷病手当金 2.868	高齢者支援事業（テンミillionハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.769
5位	高齢者支援事業（テンミillionハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 高等学校等修学給付金 3.000	子育て世帯への臨時特別給付金 2.857	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金 2.818	－ －	－ －	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2.745	感染者数情報の公表 2.843	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2.741
6位	－ －	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2.850	就学援助費 2.775	商店会活性化出店支援金 2.893	自宅療養者に対する支援 2.953	統一的な対応方針の公表 2.729	高齢者支援事業（テンミillionハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.838	統一的な対応方針の公表 2.607
7位	感染者数情報の公表 2.889	後期高齢者医療保険料の減免 2.778	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2.767	中小企業者等特別支援金（令和3年度実施） 2.875	福祉体制を維持するための支援金 2.947	就学援助費 2.727	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 2.810	高齢者等緊急訪問介護の拡充（レスキューヘルパー） 住居確保給付金 2.600
8位	就学援助費 2.857	公共施設の利用制限 2.769	公共施設の利用制限 2.739	キャッシュレス決済ポイント還元事業（令和3年度実施） 2.836	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 2.920	公共施設の利用制限 2.721	ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援 2.800	－ －
9位	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2.818	介護保険料の減免 2.750	後期高齢者医療保険料の減免 2.736	子育て世帯への臨時特別給付金 2.822	高齢者支援事業（テンミillionハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.897	感染者数情報の公表 2.705	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2.786	高等学校等修学給付金 2.586
10位	学校のICT学習環境の拡充 2.800	高等学校等修学給付金 2.714	新型コロナウイルス感染症に関する情報提供 2.716	高齢者支援事業（テンミillionハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続 2.746	高齢者等緊急訪問介護の拡充（レスキューヘルパー） 2.875	福祉体制を維持するための支援金 2.677	統一的な対応方針の公表 2.780	福祉体制を維持するための支援金 2.579

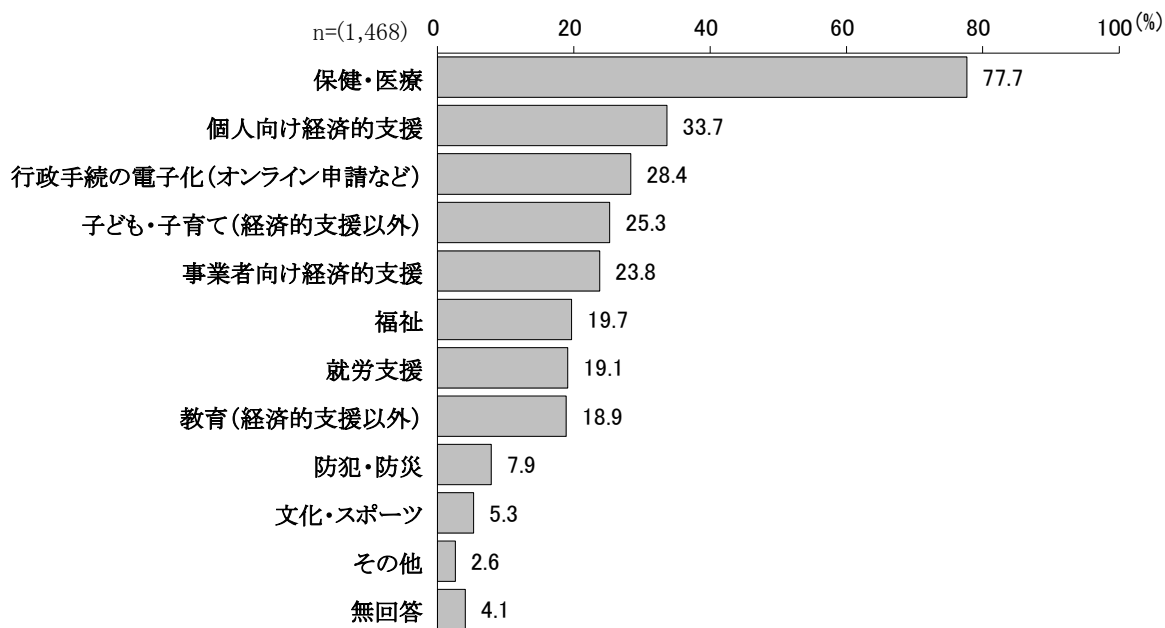
世帯収入別で見ると、収入なし、100万円未満以外の世帯では〔くらし地域応援券（令和3年度実施）〕が第1位、収入なし、100万円未満では〔ワクチン接種体制の整備〕が第1位となっている。（図表4-10）

4－2 重要度

◎ 「保健・医療」（77.7%）が7割台後半と最も高い。

問19 あなたは、新型コロナウイルス感染症に関してどのような施策が重要だと思いますか。
（〇はいくつでも）

図表4－11 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（複数回答）



新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策は、「保健・医療」（77.7%）が最も高く7割台後半となっている。次いで、「個人向け経済的支援」（33.7%）が3割台前半、「行政手続の電子化（オンライン申請など）」（28.4%）が2割台後半、「子ども・子育て（経済的支援以外）」（25.3%）が2割台半ば、「事業者向け経済的支援」（23.8%）が2割台前半と続く。
（図表4－11）

図表4-12 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策
(性別・居住地域別・介護が必要な同居家族の有無別)

(%)

属性 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域	介護が必要な同居家族が	
							いる	いない
1位	保健・医療 77.7	保健・医療 74.9	保健・医療 83.4	保健・医療 79.5	保健・医療 80.1	保健・医療 80.6	保健・医療 80.7	保健・医療 79.4
2位	個人向け 経済的支援 33.7	個人向け 経済的支援 33.3	個人向け 経済的支援 35.4	個人向け 経済的支援 32.6	個人向け 経済的支援 36.4	個人向け 経済的支援 36.3	個人向け 経済的支援 40.0	個人向け 経済的支援 34.0
3位	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 28.4	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 28.9	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 30.0	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 32.4	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 28.7	子ども・子育て （経済的支 援以外） 27.8	福祉 34.8	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 30.8
4位	子ども・子育て （経済的支 援以外） 25.3	子ども・子育て （経済的支 援以外） 25.5	事業者向け 経済的支援 26.8	事業者向け 経済的支援 24.3	子ども・子育て （経済的支 援以外） 27.6	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 27.4	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 28.9	子ども・子育て （経済的支 援以外） 26.9
5位	事業者向け 経済的支援 23.8	事業者向け 経済的支援 21.6	子ども・子育て （経済的支 援以外） 26.6	子ども・子育て （経済的支 援以外） 23.4	事業者向け 経済的支援 22.0	事業者向け 経済的支援 27.2	子ども・子育て （経済的支 援以外） 23.0	事業者向け 経済的支援 25.3
6位	福祉 19.7	教育 （経済的支 援以外） 19.2	就労支援 22.8	教育 （経済的支 援以外） 21.0	教育 （経済的支 援以外） 19.9	就労支援 22.1	事業者向け 経済的支援 21.5	教育 （経済的支 援以外） 20.6
7位	就労支援 19.1	福祉 18.2	福祉 21.4	福祉 20.1	福祉 19.6	福祉 20.8	就労支援 19.3	就労支援 19.5
8位	教育 （経済的支 援以外） 18.9	就労支援 15.1	教育 （経済的支 援以外） 19.9	就労支援 18.5	就労支援 19.4	教育 （経済的支 援以外） 17.1	教育 （経済的支 援以外） 17.0	福祉 18.4
9位	防犯・防災 7.9	防犯・防災 9.0	防犯・防災 7.1	防犯・防災 9.7	防犯・防災 7.3	防犯・防災 7.2	防犯・防災 8.9	防犯・防災 7.7
10位	文化・ スポーツ 5.3	文化・ スポーツ 6.3	文化・ スポーツ 4.7	文化・ スポーツ 6.3	文化・ スポーツ 5.6	文化・ スポーツ 4.5	文化・ スポーツ 3.0	文化・ スポーツ 5.5

性別で見ると、男女ともに第1位は「保健・医療」、第2位は「個人向け経済的支援」、第3位は「行政手続の電子化（オンライン申請など）」となっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域も第1位は「保健・医療」、第2位は「個人向け経済的支援」となっている。第3位は吉祥寺地域、中央地域が「行政手続の電子化（オンライン申請など）」、武蔵境地域が「子ども・子育て（経済的支援以外）」となっている。

介護が必要な同居家族の有無別で見ると、第1位はともに「保健・医療」、第2位は「個人向け経済的支援」となっている。介護が必要な同居家族がいる場合の第3位は「福祉」、いない場合の第3位は「行政手続の電子化（オンライン申請など）」となっている。（図表4-12）

図表4-13 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（年代別順位）

（％）

属性 順位	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上
1位	保健・医療 50.0	保健・医療 63.0	保健・医療 76.9	保健・医療 72.0	保健・医療 80.7	保健・医療 87.2	保健・医療 89.0	保健・医療 85.6
2位	子ども・子育て（経済的支援以外） 就労支援 教育（経済的支援以外） 37.5	個人向け経済的支援 41.2	行政手続の電子化（オンライン申請など） 子ども・子育て（経済的支援以外） 40.4	個人向け経済的支援 37.9	個人向け経済的支援 37.2	個人向け経済的支援 34.2	個人向け経済的支援 30.1	個人向け経済的支援 29.7
3位	－ －	行政手続の電子化（オンライン申請など） 31.1	－ －	子ども・子育て（経済的支援以外） 35.3	行政手続の電子化（オンライン申請など） 36.8	事業者向け経済的支援 28.3	福祉 25.6	福祉 就労支援 23.7
4位	－ －	子ども・子育て（経済的支援以外） 28.6	個人向け経済的支援 32.2	行政手続の電子化（オンライン申請など） 34.1	事業者向け経済的支援 27.1	行政手続の電子化（オンライン申請など） 25.6	行政手続の電子化（オンライン申請など） 21.0	－ －
5位	個人向け経済的支援 事業者向け経済的支援 福祉 25.0	事業者向け経済的支援 24.4	事業者向け経済的支援 24.5	教育（経済的支援以外） 29.3	子ども・子育て（経済的支援以外） 19.7	福祉 22.8	就労支援 20.5	事業者向け経済的支援 21.2
6位	－ －	教育（経済的支援以外） 20.2	教育（経済的支援以外） 22.1	事業者向け経済的支援 27.2	就労支援 17.8	就労支援 21.9	子ども・子育て（経済的支援以外） 20.1	教育（経済的支援以外） 14.4
7位	－ －	福祉 就労支援 19.3	就労支援 17.3	福祉 19.0	教育（経済的支援以外） 17.5	子ども・子育て（経済的支援以外） 21.5	事業者向け経済的支援 18.3	子ども・子育て（経済的支援以外） 13.6
8位	行政手続の電子化（オンライン申請など） 防犯・防災 12.5	－ －	福祉 16.3	就労支援 18.5	福祉 16.7	教育（経済的支援以外） 15.1	教育（経済的支援以外） 16.0	防犯・防災 8.5
9位	－ －	文化・スポーツ 8.4	文化・スポーツ 6.7	防犯・防災 6.9	防犯・防災 6.7	防犯・防災 10.5	防犯・防災 10.5	行政手続の電子化（オンライン申請など） 6.8
10位	－ －	防犯・防災 6.7	防犯・防災 5.8	文化・スポーツ 6.5	文化・スポーツ 4.1	文化・スポーツ 3.2	文化・スポーツ 5.5	文化・スポーツ 5.1

年代別で見ると、すべての年代で第1位は「保健・医療」となっている。第2位は18歳～19歳、30歳～39歳を除くすべての年代で「個人向け経済的支援」、30歳～39歳では「行政手続の電子化（オンライン申請など）」、「子ども・子育て（経済的支援以外）」が同率となっている。（図表4-13）

図表4-14 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（職業別順位）

(%)

属性 順位	自営業・ 自由業	正社員、 正職員	契約社員、 派遣社員	アルバイト、 パート	家事専業	学生	無職	その他
1位	保健・医療 71.7	保健・医療 76.0	保健・医療 84.1	保健・医療 82.8	保健・医療 90.1	保健・医療 個人向け 経済的支援 51.6	保健・医療 85.8	保健・医療 73.5
2位	個人向け 経済的支援 37.8	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 37.7	個人向け 経済的支援 49.3	個人向け 経済的支援 38.8	個人向け 経済的支援 31.9	-	個人向け 経済的支援 28.4	個人向け 経済的支援 事業者向け 経済的支援 44.1
3位	事業者向け 経済的支援 37.0	個人向け 経済的支援 34.0	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 33.3	就労支援 30.6	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 26.7	教育 （経済的支援 以外） 38.7	就労支援 24.3	-
4位	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 子ども・子育 て（経済的支 援以外） 27.6	子ども・子育 て（経済的支 援以外） 30.4	事業者向け 経済的支援 31.9	子ども・子育 て（経済的支 援以外） 28.4	事業者向け 経済的支援 26.2	子ども・子育 て（経済的支 援以外） 事業者向け 経済的支援 35.5	福祉 21.6	福祉 35.3
5位	-	事業者向け 経済的支援 21.9	子ども・子育 て（経済的支 援以外） 就労支援 27.5	事業者向け 経済的支援 27.6	子ども・子育 て（経済的支 援以外） 教育 （経済的支援 以外） 22.5	-	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 17.9	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 32.4
6位	福祉 教育 （経済的支援 以外） 19.7	教育 （経済的支援 以外） 19.6	-	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 26.1	-	福祉 就労支援 29.0	事業者向け 経済的支援 17.2	子ども・子育 て（経済的支 援以外） 就労支援 26.5
7位	-	福祉 16.2	福祉 24.6	福祉 23.9	福祉 就労支援 21.5	-	子ども・子育 て（経済的支 援以外） 16.8	-
8位	就労支援 16.5	就労支援 12.8	教育 （経済的支援 以外） 18.8	教育 （経済的支援 以外） 23.1	-	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 22.6	教育 （経済的支援 以外） 13.4	教育 （経済的支援 以外） 23.5
9位	防犯・防災 5.5	防犯・防災 7.2	防犯・防災 7.2	防犯・防災 文化・ スポーツ 6.0	防犯・防災 11.5	文化・ スポーツ 12.9	防犯・防災 9.3	防犯・防災 11.8
10位	文化・ スポーツ 4.7	文化・ スポーツ 5.3	文化・ スポーツ 5.8	-	文化・ スポーツ 4.7	防犯・防災 3.2	文化・ スポーツ 5.6	文化・ スポーツ 5.9

職業別で見ると、全ての職業で「保健・医療」が第1位となっており、学生では「個人向け経済的支援」も同率第1位となっている。第2位は正社員、正職員と学生を除くすべての職業で「個人向け経済的支援」、正社員、正職員では「行政手続の電子化（オンライン申請など）」が第2位となっている。また、その他では「事業者向け経済的支援」も同率第2位となっている。（図表5-14）

図表4－15 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（子どもの就学状況別順位）
(%)

属性 順位	小学校入学前	小学生	中学生	高校生	専門学校、 短期大学、 大学生等	社会人	その他
1位	保健・医療 74.0	保健・医療 64.3	保健・医療 77.3	保健・医療 83.8	保健・医療 91.5	保健・医療 87.8	保健・医療 85.7
2位	子ども・子育て （経済的支援 以外） 65.4	子ども・子育て （経済的支援 以外） 50.0	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 36.4	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 37.8	個人向け 経済的支援 42.4	個人向け 経済的支援 31.3	個人向け 経済的支援 42.9
3位	教育 （経済的支援 以外） 40.9	教育 （経済的支援 以外） 40.5	教育 （経済的支援 以外） 31.8	事業者向け 経済的支援 35.1	事業者向け 経済的支援 27.1	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 30.4	福祉 28.6
4位	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 37.0	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 35.7	子ども・子育て （経済的支援 以外） 25.0	個人向け 経済的支援 32.4	行政手続の電 子化（オンラ イン申請な ど） 23.7	福祉 27.0	子ども・子育て （経済的支援 以外） 事業者向け 経済的支援 教育 （経済的支援 以外） 14.3
5位	個人向け 経済的支援 27.6	個人向け 経済的支援 事業者向け 経済的支援 27.4	個人向け 経済的支援 20.5	子ども・子育て （経済的支援 以外） 就労支援 教育 （経済的支援 以外） 21.6	子ども・子育て （経済的支援 以外） 22.0	就労支援 20.9	－
6位	事業者向け 経済的支援 21.3	－	福祉 就労支援 13.6	－	福祉 20.3	事業者向け 経済的支援 18.3	－
7位	福祉 18.9	就労支援 14.3	－	－	就労支援 教育 （経済的支援 以外） 15.3	教育 （経済的支援 以外） 13.9	－
8位	就労支援 13.4	福祉 文化・ スポーツ 8.3	事業者向け 経済的支援 11.4	福祉 10.8	－	子ども・子育て （経済的支援 以外） 13.0	－
9位	文化・ スポーツ 7.9	－	防犯・防災 文化・ スポーツ 2.3	防犯・防災 5.4	防犯・防災 5.1	防犯・防災 8.7	－
10位	防犯・防災 7.1	防犯・防災 7.1	－	文化・ スポーツ 2.7	文化・ スポーツ 3.4	文化・ スポーツ 1.7	－

子どもの就学状況別で見ると、すべての就学状況で「保健・医療」が第1位となっており、小学校入学前、小学生を持つ方では「子ども・子育て（経済的支援以外）」、中学生、高校生を持つ方では「行政手続の電子化（オンライン申請など）」、専門学校、短期大学、大学生等、社会人、その他では「個人向け経済的支援」が第2位となっている。（図表5－15）

図表4-16 新型コロナウイルス感染症に関して重要だと思う施策（世帯収入別順位）

（％）

属性 順位	収入なし	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上
1位	保健・医療 72.2	保健・医療 90.6	保健・医療 86.7	保健・医療 82.9	保健・医療 79.7	保健・医療 78.7	保健・医療 74.1	保健・医療 75.5
2位	個人向け経済的支援 38.9	個人向け経済的支援 56.3	個人向け経済的支援 37.4	個人向け経済的支援 40.5	個人向け経済的支援 32.4	個人向け経済的支援 35.1	行政手続の電子化（オンライン申請など） 38.6	行政手続の電子化（オンライン申請など） 45.0
3位	行政手続の電子化（オンライン申請など） 33.3	福祉 28.1	福祉 24.6	事業者向け経済的支援 32.3	－ －	子ども・子育て（経済的支援以外） 29.8	子ども・子育て（経済的支援以外） 33.6	個人向け経済的支援 子ども・子育て（経済的支援以外） 31.1
4位	就労支援 27.8	就労支援 25.0	－ －	行政手続の電子化（オンライン申請など） 子ども・子育て（経済的支援以外） 24.5	子ども・子育て（経済的支援以外） 26.9	行政手続の電子化（オンライン申請など） 29.3	個人向け経済的支援 27.7	－ －
5位	事業者向け経済的支援 22.2	行政手続の電子化（オンライン申請など） 事業者向け経済的支援 21.9	事業者向け経済的支援 20.9	－ －	事業者向け経済的支援 24.2	事業者向け経済的支援 25.0	教育（経済的支援以外） 26.4	事業者向け経済的支援 25.2
6位	子ども・子育て（経済的支援以外） 福祉 16.7	－ －	子ども・子育て（経済的支援以外） 18.5	就労支援 22.6	就労支援 22.0	福祉 20.7	事業者向け経済的支援 20.9	教育（経済的支援以外） 23.8
7位	－ －	子ども・子育て（経済的支援以外） 18.8	教育（経済的支援以外） 14.2	福祉 22.2	－ －	教育（経済的支援以外） 19.1	福祉 15.0	就労支援 16.6
8位	教育（経済的支援以外） 文化・スポーツ 11.1	教育（経済的支援以外） 15.6	行政手続の電子化（オンライン申請など） 13.3	教育（経済的支援以外） 14.8	福祉 15.9	就労支援 18.6	就労支援 12.3	福祉 15.9
9位	－ －	文化・スポーツ 12.5	防犯・防災 9.0	防犯・防災 9.3	防犯・防災 7.1	防犯・防災 8.0	防犯・防災 6.4	防犯・防災 7.9
10位	防犯・防災 2.8	防犯・防災 9.4	文化・スポーツ 6.6	文化・スポーツ 3.1	文化・スポーツ 6.0	文化・スポーツ 4.3	文化・スポーツ 5.0	文化・スポーツ 7.3

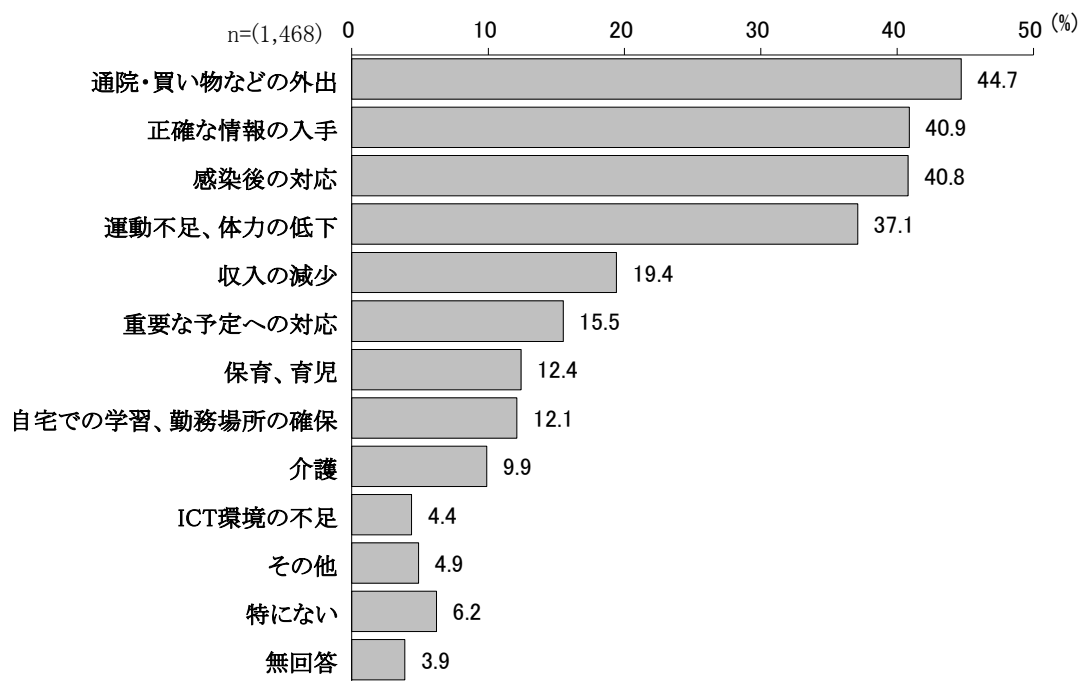
世帯収入別で見ると、すべての世帯で「保健・医療」が第1位となっている。1,000～1,500万円未満、1,500万円以上を除く世帯では「個人向け経済的支援」が第2位、500～700万円未満では「行政手続の電子化（オンライン申請など）」も同率第2位、1,000～1,500万円未満、1,500万円以上では「行政手続の電子化（オンライン申請など）」が第2位となっている。（図表4-16）

4－3 不安に感じたことや困ったことの内容

◎ 「通院・買い物などの外出」が4割台半ばで高い。

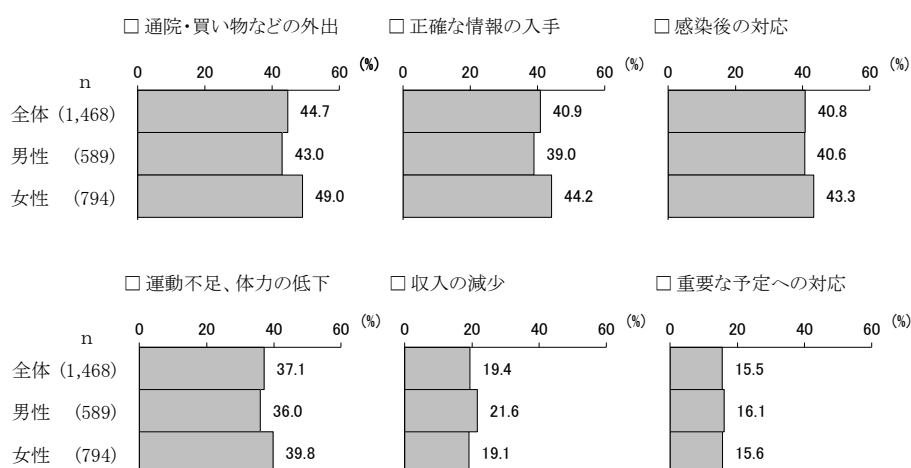
問20 あなたが、新型コロナウイルス感染症の状況下で不安に感じたことや、困ったことはどのようなことでしたか。(〇はいくつでも)

図表4－17 不安に感じたことや困ったことの内容(複数回答)



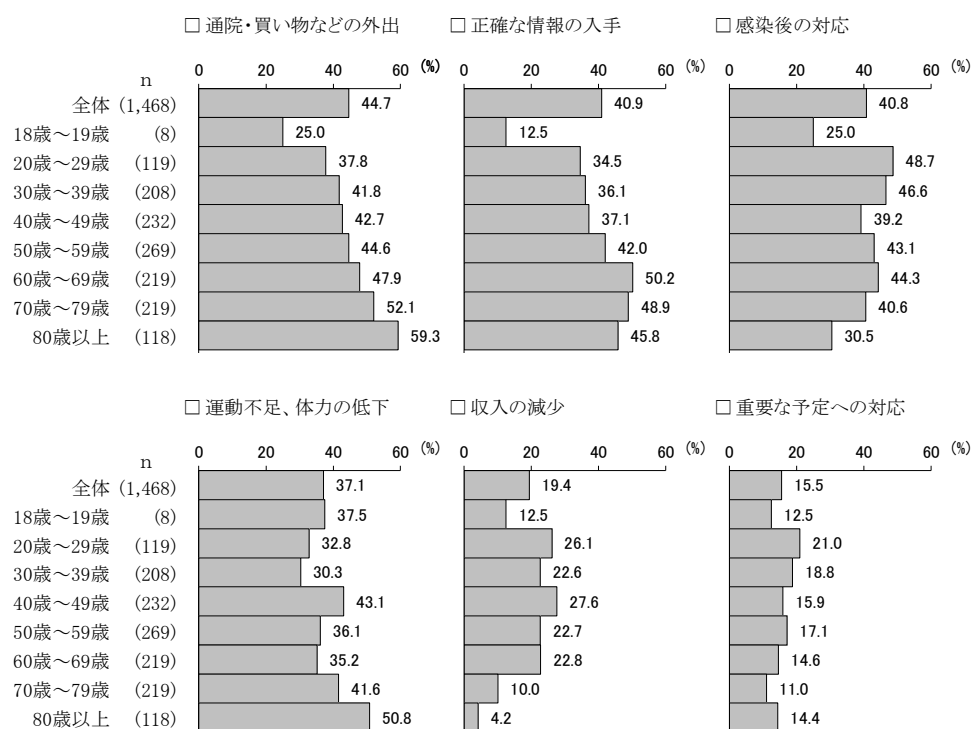
新型コロナウイルス感染症の状況下で不安に感じたことや困ったことの内容は、「通院・買い物などの外出」(44.7%)が4割台半ばで最も高い。次いで、「正確な情報の入手」(40.9%)、「感染後の対応」(40.8%)がともに4割、「運動不足、体力の低下」(37.1%)で3割台後半、「収入の減少」(19.4%)が約2割と続く。(図表4－17)

図表4－18 不安に感じたことや困ったことの内容(性別) 上位6項目



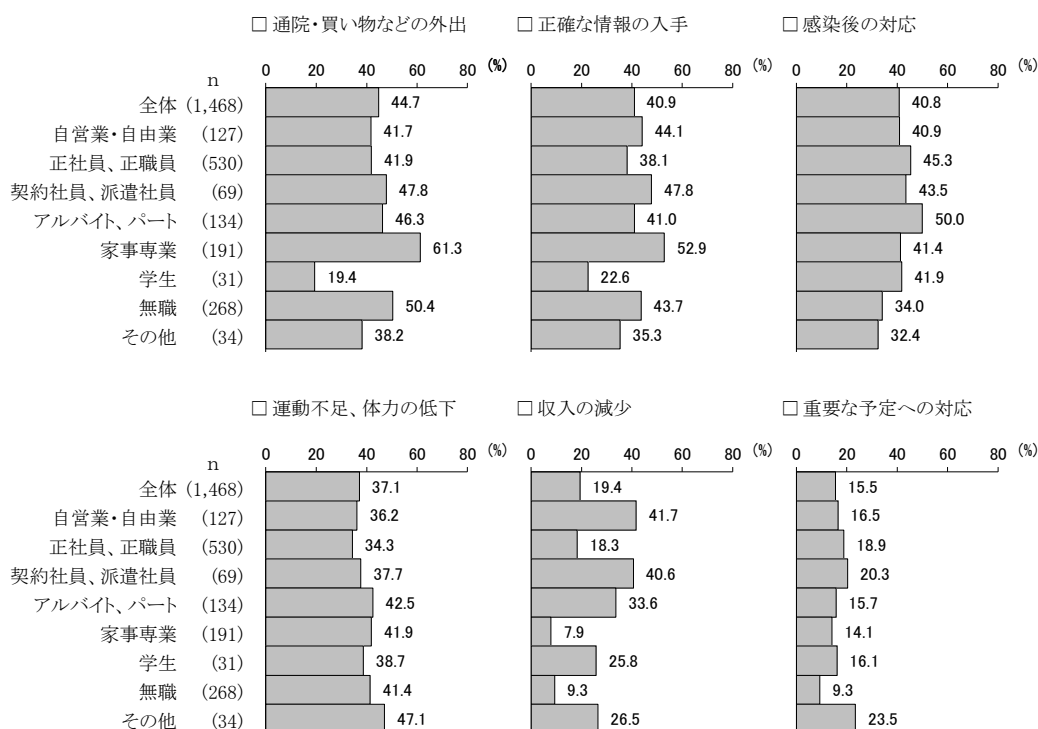
上位6項目について、性別で見ると、「通院・買い物などの外出」は、女性の方が男性より6.0ポイント、「正確な情報の入手」も女性の方が男性より5.2ポイント高くなっている。(図表4－18)

図表4－19 不安や困ったこと(年代別) 上位6項目



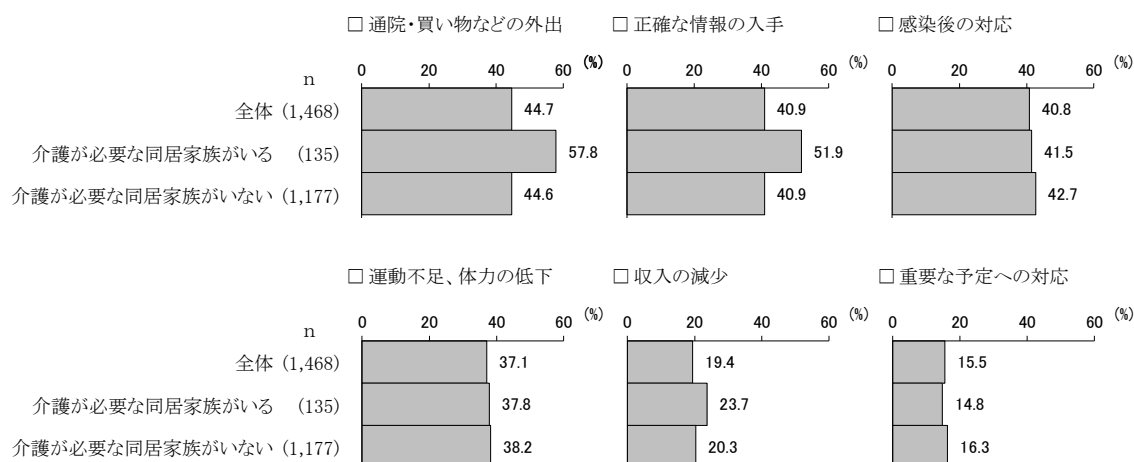
年代別で見ると、「通院・買い物などの外出」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、80歳以上で約6割と最も高い。「正確な情報の入手」は、60歳～69歳で5割と最も高くなっている。「感染後の対応」は、20歳～29歳、30歳～39歳で4割台後半と高くなっている。「運動不足、体力の低下」は、80歳以上で5割と最も高く、40歳～49歳、70歳～79歳でも4割台前半となっている。(図表4－19)

図表4-20 不安に感じたことや困ったことの内容(職業別) 上位6項目



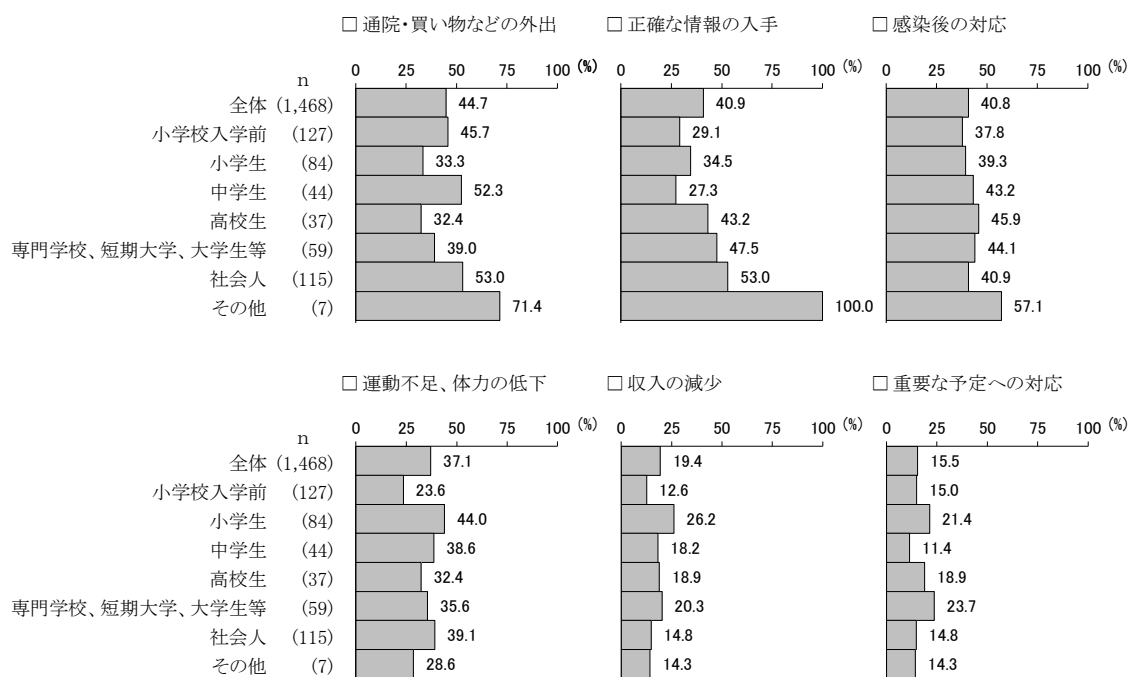
職業別で見ると、「通院・買い物などの外出」は、家事専業で6割台前半と最も高くなっている。「感染後の対応」はアルバイト、パートで5割と最も高くなっている。(図表4-20)

図表4-21 不安に感じたことや困ったことの内容(介護が必要な同居家族の有無別) 上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「通院・買い物などの外出」は、介護が必要な同居家族がいる場合の方が13.2ポイント高く、「正確な情報の入手」でも11.0ポイント高くなっている。(図表4-21)

図表4－22 不安に感じたことや困ったことの内容(子どもの就学状況別) 上位6項目



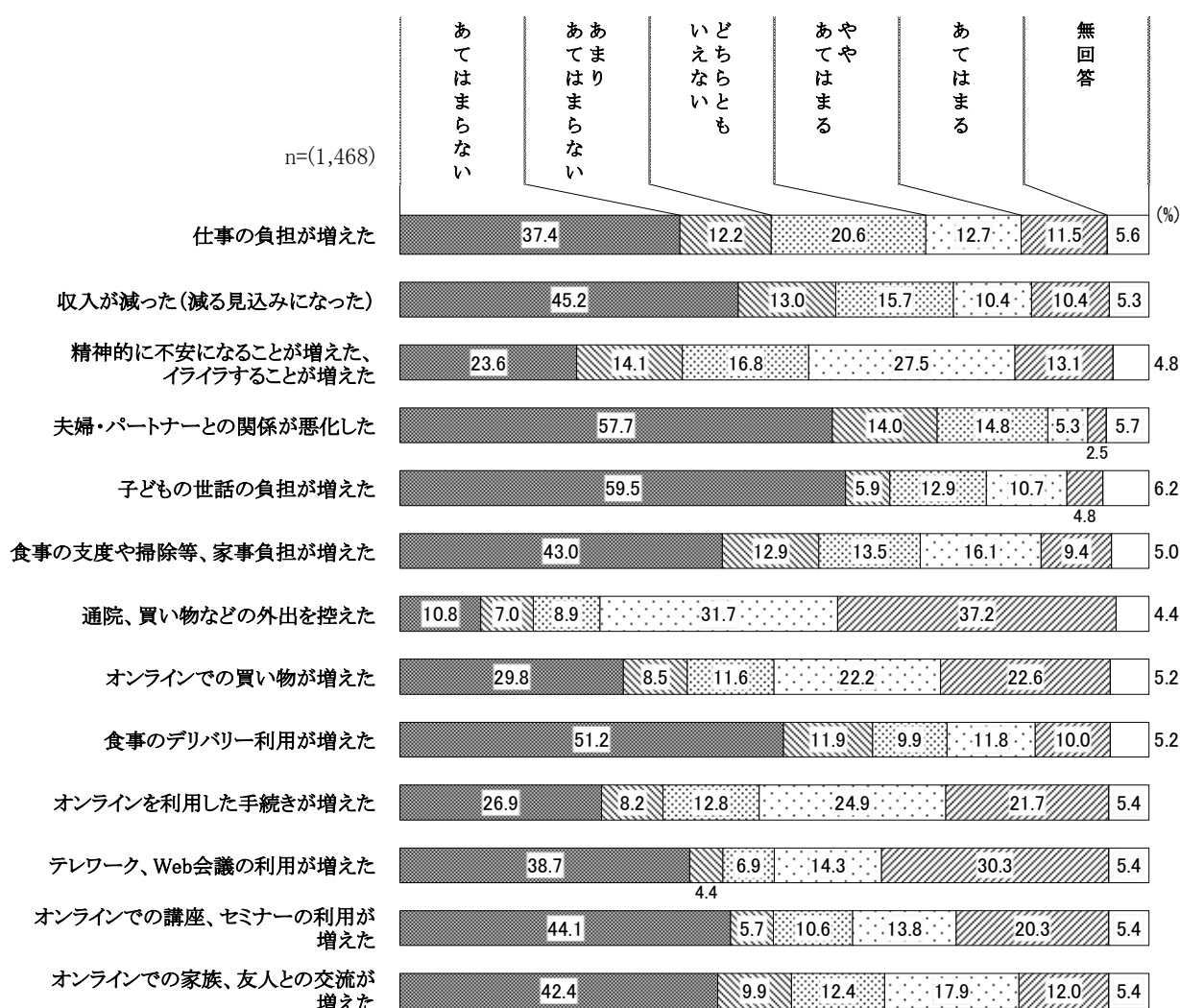
子どもの就学状況別で見ると、「通院・買い物などの外出」は社会人、中学生を持つ方で5割前半と高く、社会人では「正確な情報の入手」も5割前半と高くなっている。「運動不足、体力の低下」は小学生を持つ方で4割台半ばと最も高くなっている。（図表4－22）

4-4 生活や行動の変化

◎「あてはまる」が「通院、買い物などの外出を控えた」で3割台後半、「テレワーク、Web会議の利用が増えた」で3割となっている。

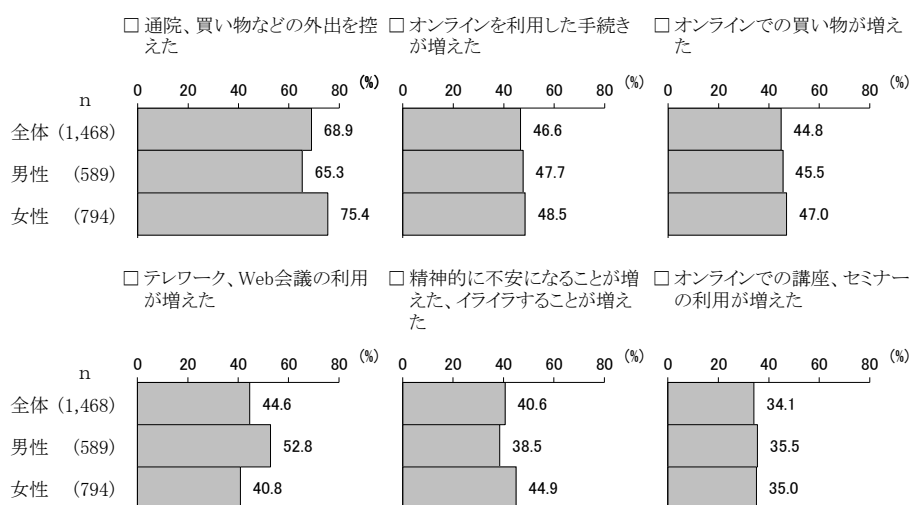
問21 あなたは、新型コロナウイルス感染拡大により、生活や行動に次のような変化がありましたか。
(○はそれぞれ1つ)

図表4-23 生活や行動の変化



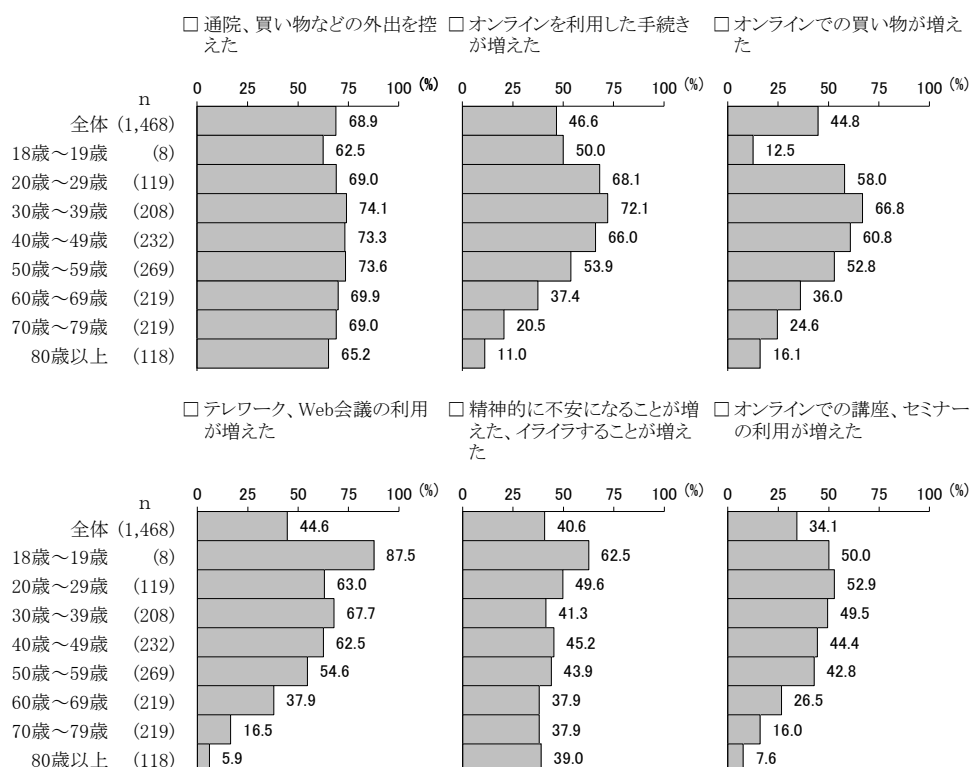
生活や行動の変化で「あてはまる」が多い項目は、「通院、買い物などの外出を控えた」(37.2%)が3割台後半で最も高く、次いで、「テレワーク、Web会議の利用が増えた」(30.3%)が3割、「オンラインでの買い物が増えた」(22.6%)、「オンラインを利用した手続きが増えた」(21.7%)が2割台前半となっている。(図表4-23)

図表4-24 生活や行動の変化(『あてはまる』の割合、性別) 上位6項目



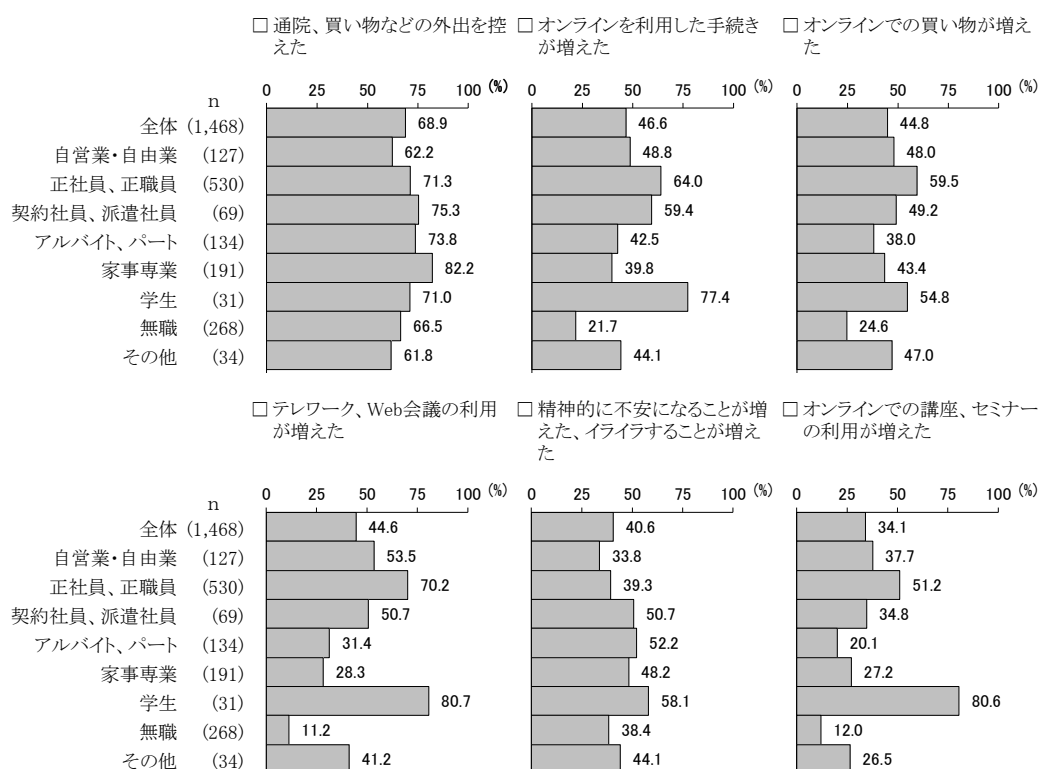
『あてはまる』（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）の上位6項目について、性別で見ると、「通院、買い物などの外出を控えた」は、女性の方が男性より10.1ポイント高く、「精神的に不安になることが増えた、イライラすることが増えた」も女性の方が男性より6.4ポイント高くなっている。「テレワーク、Web会議の利用が増えた」は男性の方が女性より12.0ポイント高くなっている。（図表4-24）

図表4-25 生活や行動の変化(『あてはまる』の割合、年代別) 上位6項目



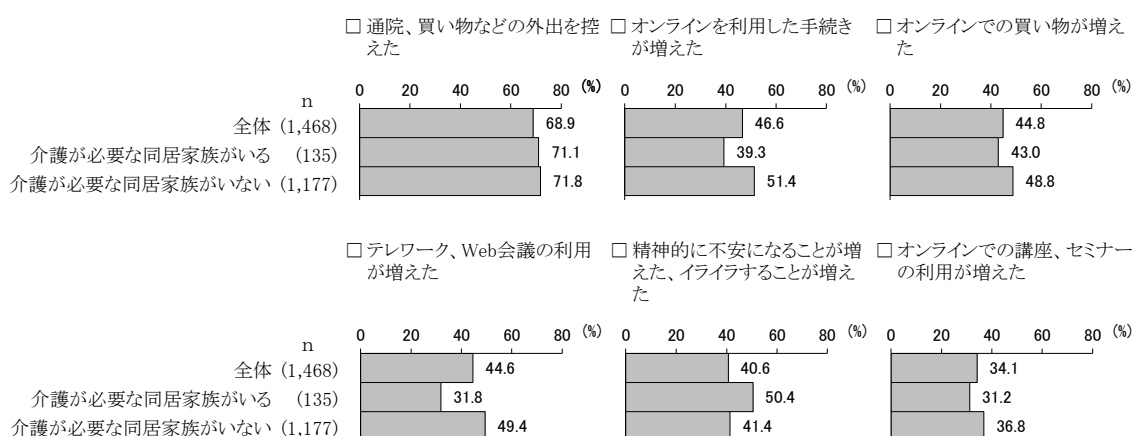
年代別で見ると、オンラインに関する変化はいずれも年代が下がるにつれて高くなる傾向となっており、「オンラインを利用した手続きが増えた」、「オンラインでの買い物が増えた」、「テレワーク、Web会議の利用が増えた」では30歳～39歳が高くなっている。また、「オンラインでの講座、セミナーの利用が増えた」は、20歳～29歳で5割台前半と最も高くなっている。（図表4-25）

図表4-26 生活や行動の変化(『あてはまる』の割合、職業別) 上位6項目



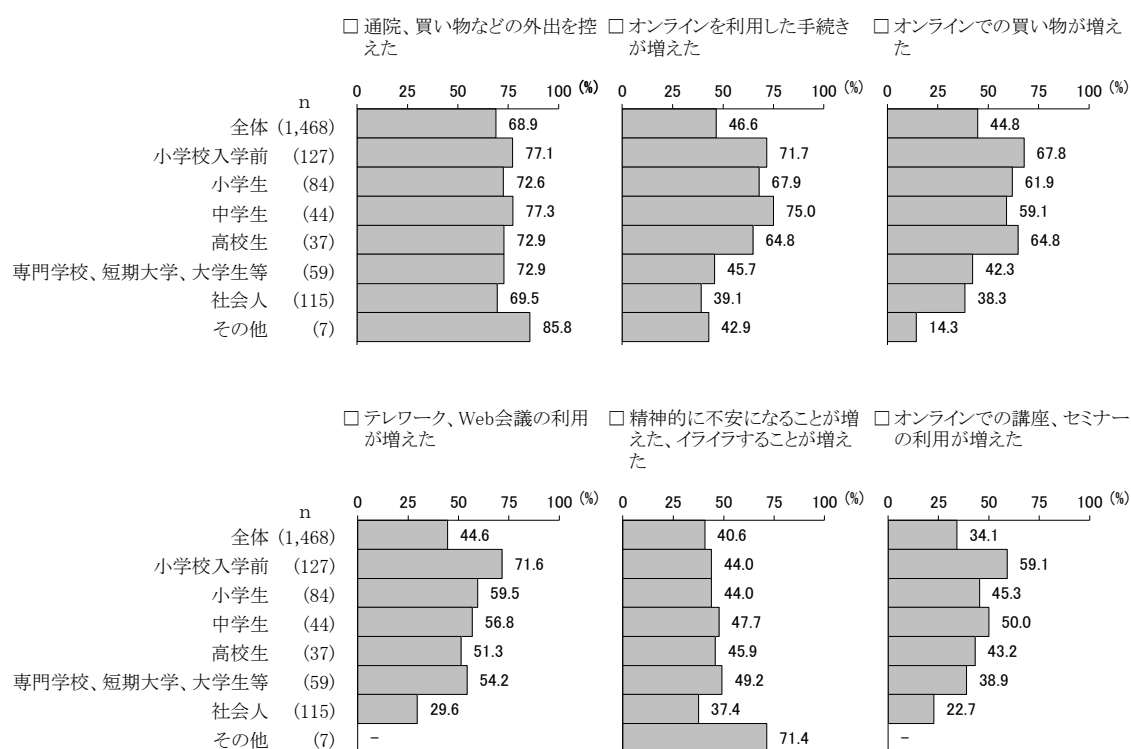
職業別で見ると、「通院、買い物などの外出を控えた」は、家事専業で8割台前半と最も高くなっている。学生では「テレワーク、Web会議の利用が増えた」、「オンラインでの講座、セミナーの利用が増えた」が8割、「オンラインを利用した手続きが増えた」が7割台後半と高くなっている。(図表4-26)

図表4-27 生活や行動の変化(『あてはまる』の割合、介護が必要な同居家族の有無別) 上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「精神的に不安になることが増えた、イライラすることが増えた」は、介護が必要な同居家族がいる場合の方が9.0ポイント高くなっている。一方、介護が必要な同居家族がいない場合の方が「テレワーク、Web会議の利用が増えた」は17.6ポイント、「オンラインを利用した手続きが増えた」は12.1ポイント高くなっている。(図表4-27)

図表4－28 生活や行動の変化(『あてはまる』の割合、子どもの就学状況別) 上位6項目



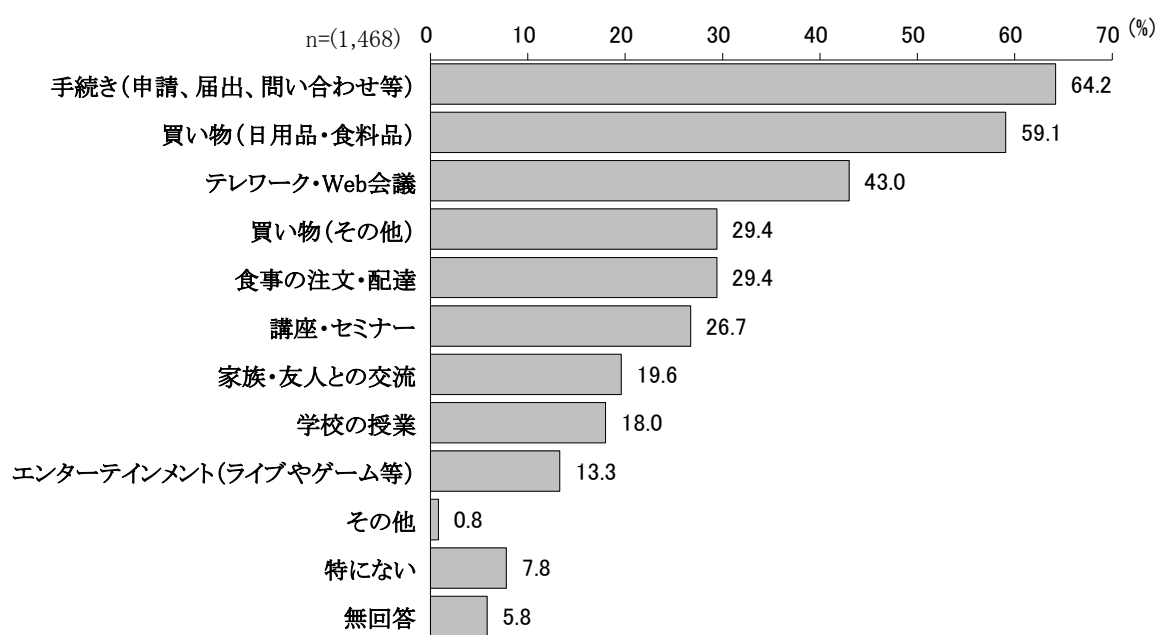
子どもの就学状況別で見ると、「通院、買い物などの外出を控えた」は、中学生、小学校入学前を持つ方で7割台後半と高く、すべての就学状況で6割後半以上となっている。「オンラインを利用した手続きが増えた」は、中学生を持つ方で7割台半ばと最も高くなっている。「オンラインでの買い物が増えた」は、小学校入学前から高校生を持つ方で6割後半から約6割と高くなっている。「テレワーク、Web会議の利用が増えた」は小学校入学前を持つ方で7割台前半と最も高くなっている。(図表4－28)

4－5 今後も利用が促進されるべきオンライン活動

◎ 「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」が6割台半ば、「買い物（日用品・食料品）」が約6割で過半数を超えている。

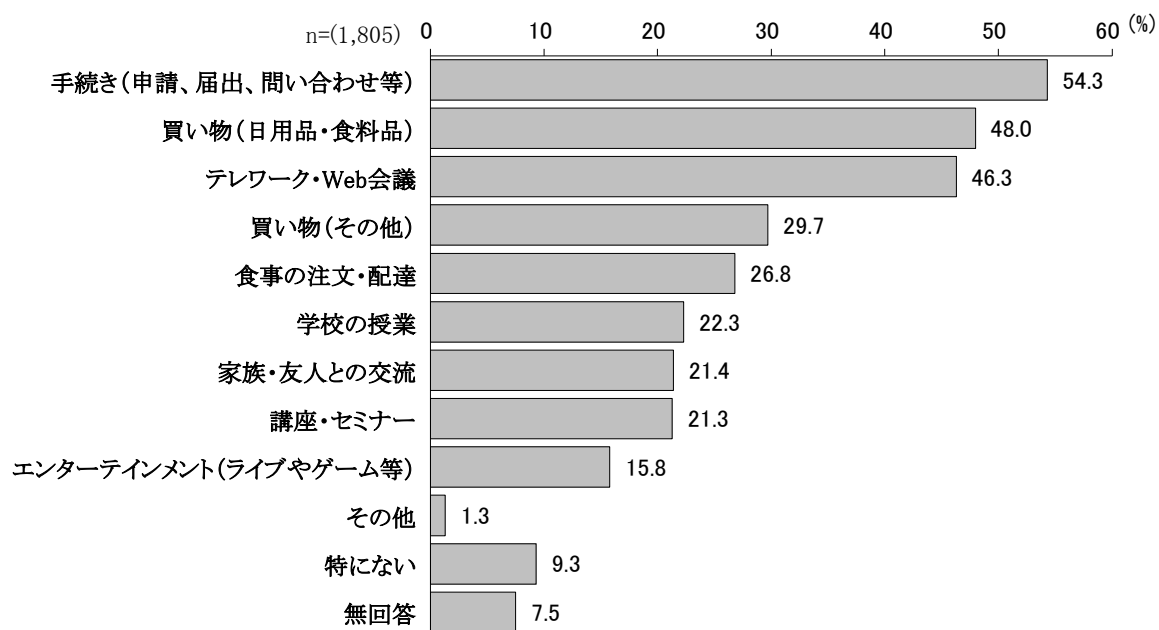
問22 オンラインによる様々な活動のうち、今後（新型コロナウイルス感染症を想定した日常においても）利用が促進されるべきと思うものに○をしてください。（○はいくつでも）

図表4－29 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（複数回答）



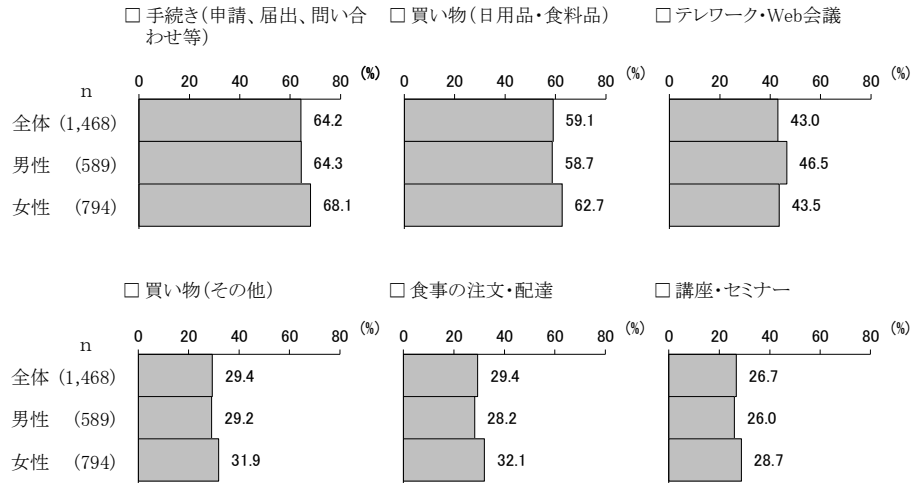
今後も利用が促進されるべきオンライン活動は、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」（64.2%）が6割台半ば、「買い物（日用品・食料品）」（59.1%）が約6割と過半数を超えている。次いで、「テレワーク・Web会議」（43.0%）が4割台前半、「買い物（その他）」と「食事の注文・配達」（ともに29.4%）が約3割である。（図表4－29）

参考：令和2年度調査の結果



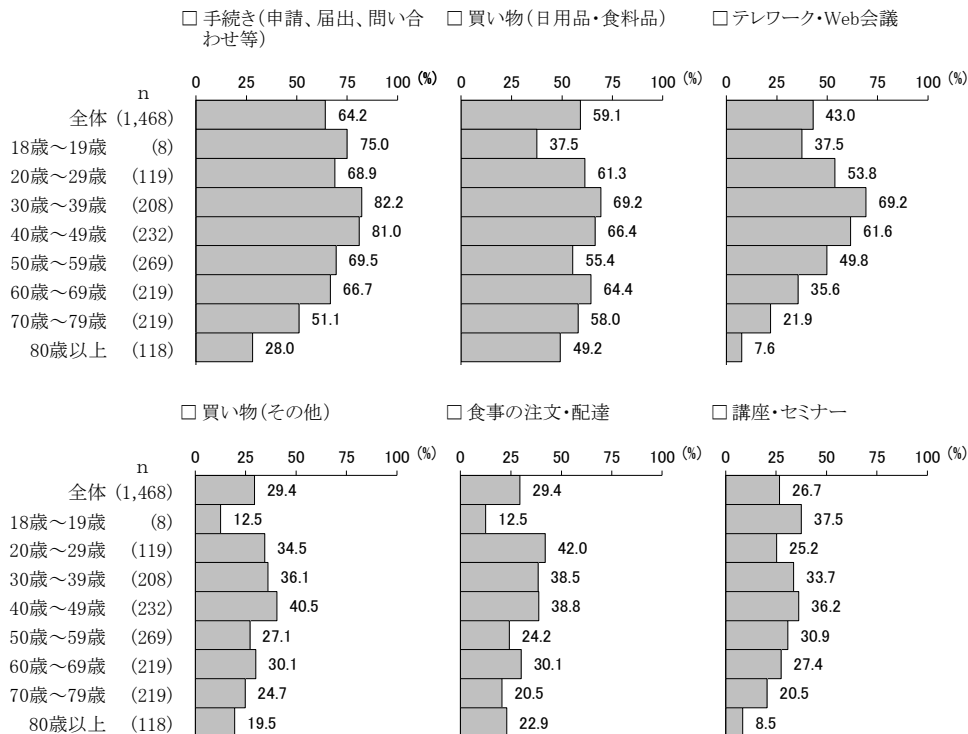
前回調査と比較すると、「買い物（日用品・食料品）」は11.1ポイント、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」は9.9ポイント、「講座・セミナー」は5.4ポイント増加している。

図表4－30 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（性別） 上位6項目



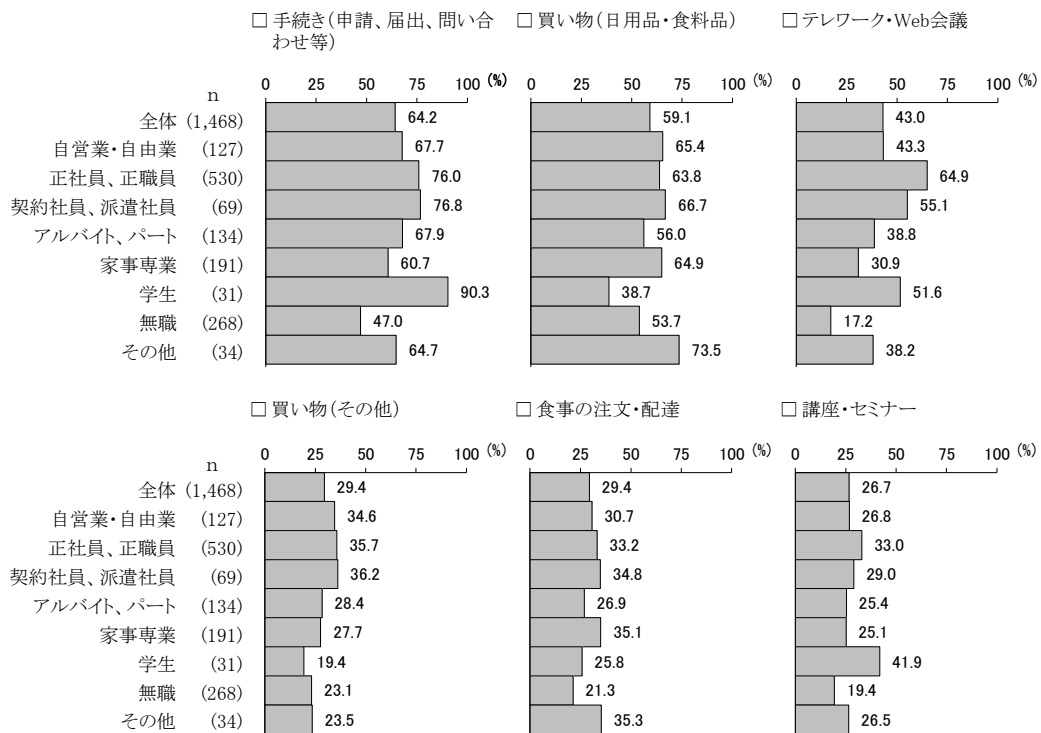
上位6項目について、性別で見ると、「テレワーク・Web会議」は、男性の方が女性より3.0ポイント高く、「買い物（日用品・食料品）」は、女性の方が男性より4.0ポイント高く、「食事の注文・配達」でも女性の方が男性より3.9ポイント高くなっている。（図表4－30）

図表4－31 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（年代） 上位6項目



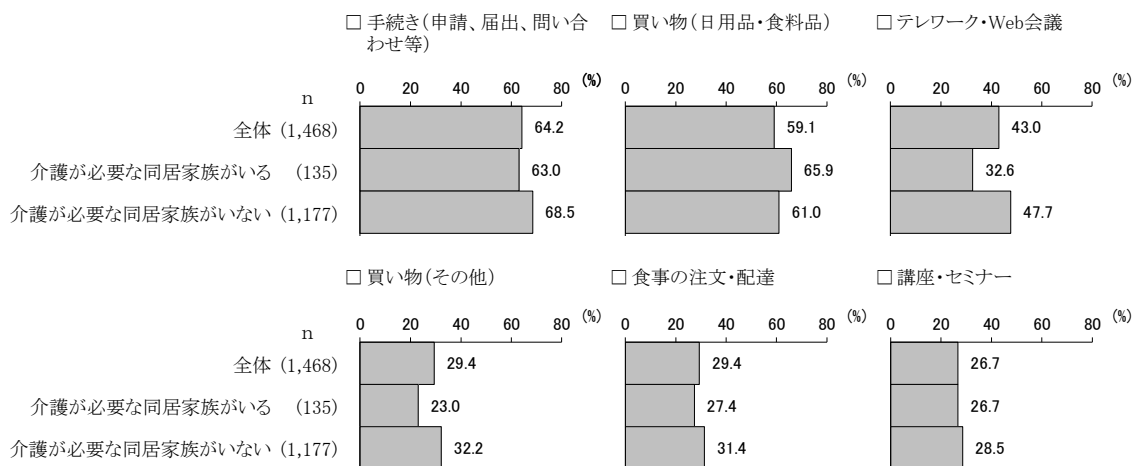
年代別で見ると、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」は、30歳～39歳、40歳～49歳では8割台前半と高くなっている。「買い物（日用品・食料品）」、「テレワーク・Web会議」は、30歳～39歳で約7割と最も高くなっている。「食事の注文・配達」は、20歳～29歳で4割台前半と最も高くなっている。（図表4－31）

図表4-32 今後も利用が促進されるべきオンライン活動(職業別) 上位6項目



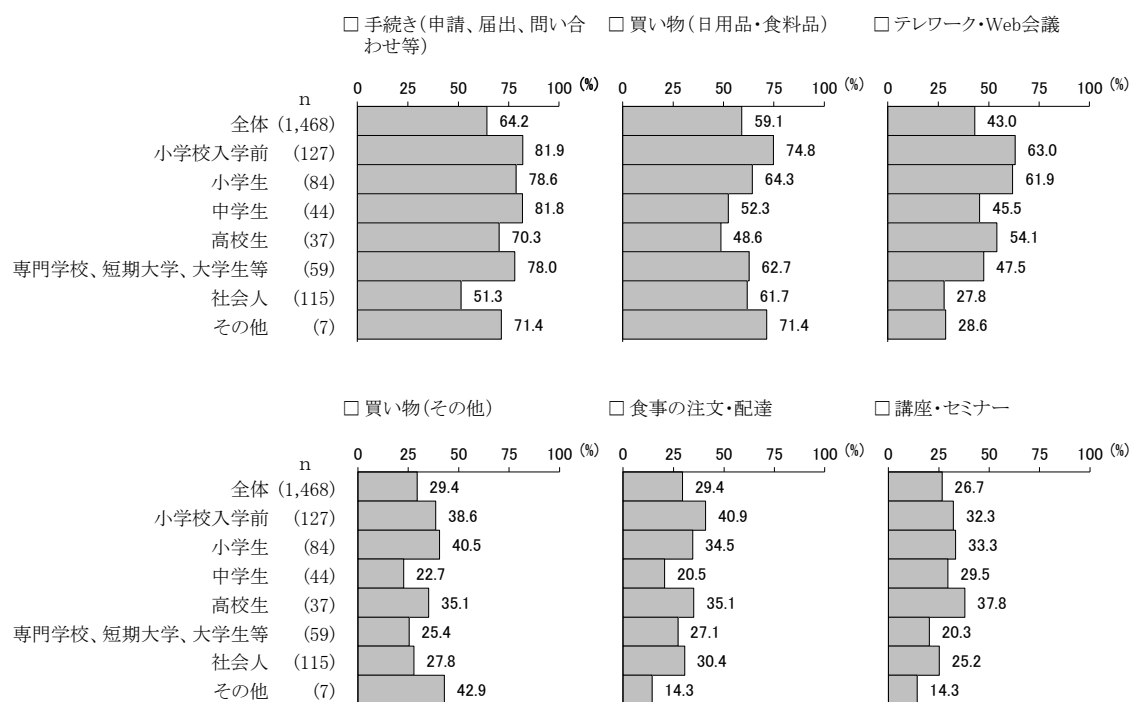
職業別で見ると、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」は、学生で9割と最も高く、「講座・セミナー」でも4割前半と最も高くなっている。「テレワーク、Web会議」は、正社員、正職員で6割台半ばと最も高くなっている。（図表4-32）

図表4-33 今後も利用が促進されるべきオンライン活動
(介護が必要な同居家族の有無別) 上位6項目



介護が必要な同居家族の有無別で見ると、「買い物（日用品・食料品）」は、介護が必要な同居家族がいる場合の方が4.9ポイント高くなっている。一方、介護が必要な同居家族がいない場合の方が「テレワーク・Web会議」は15.1ポイント、「買い物（その他）」は9.2ポイント高くなっている。（図表4-33）

図表4－34 今後も利用が促進されるべきオンライン活動（子どもの就学状況別） 上位6項目



子どもの就学状況別で見ると、「手続き（申請、届出、問い合わせ等）」は小学校入学前、中学生を持つ方で8割台前半と高くなっている。「買い物（日用品・食料品）」、「テレワーク・Web会議」、「食事の注文・配達」は、いずれも小学校入学前を持つ方が最も高くなっている。（図表4－34）

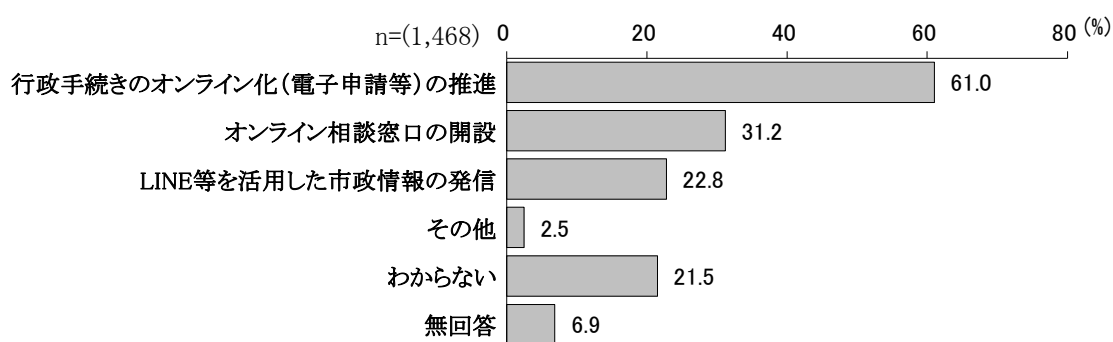
4-6 行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取り組み

◎ 「行政手続きのオンライン化（電子申請等）の推進」が6割台前半で最も高い。

問23 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、行政サービスの一層のデジタル化*が求められている中で、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思えますか。（〇はいくつでも）

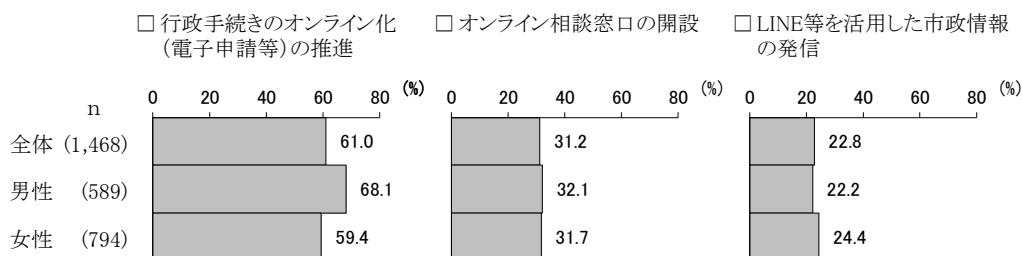
*：行政サービスのデジタル化とは、ICT（情報通信技術）を活用することで、時間・場所・方法等の制約を緩和し、紙や対面での手続きの電子化や、子育て、介護、引越し、相続等のライフイベントに関する行政手続きのオンライン化など、様々な手続きを効率化し利便性を高める取り組みです。

図表4-35 行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取り組み（複数回答）



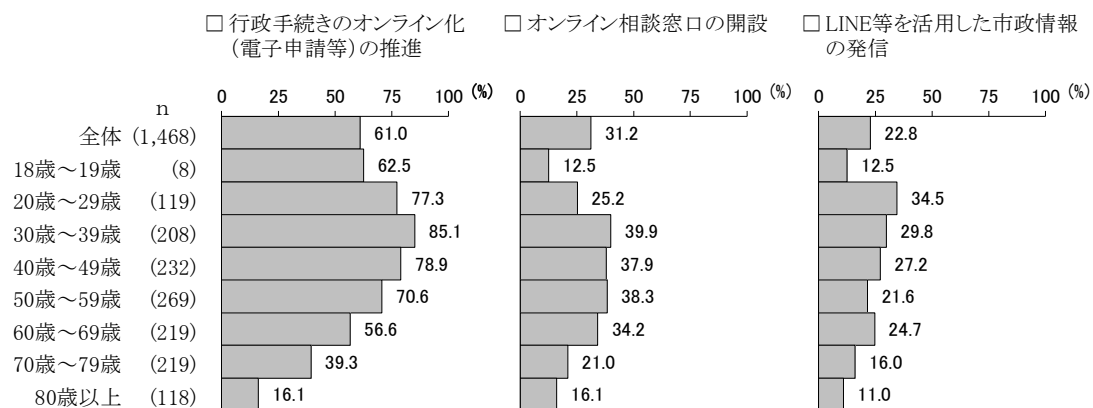
行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取り組みは、「行政手続きのオンライン化（電子申請等）の推進」（61.0%）が6割台前半で最も高くなっている。次いで、「オンライン相談窓口の開設」（31.2%）が3割台前半、「LINE等を活用した市政情報の発信」（22.8%）が2割台前半で続く。一方、「わからない」（21.5%）が2割台前半となっている。（図表4-35）

図表4-36 行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取り組み（性別）



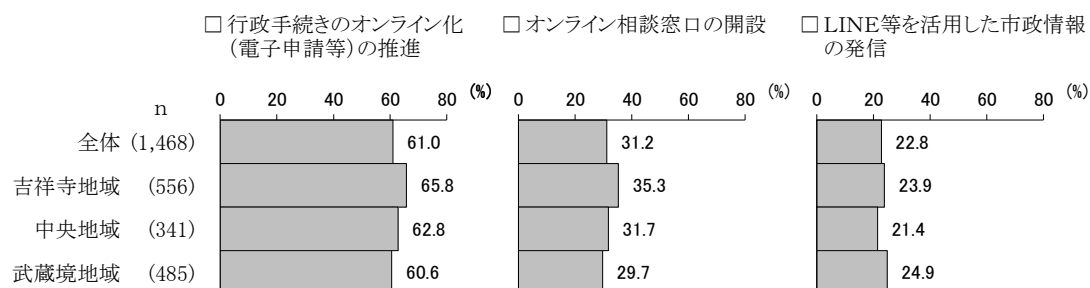
性別で見ると、「行政手続きのオンライン化（電子申請等）の推進」は、男女ともに過半数を超えており、男性の方が女性より8.7ポイント高くなっている。「オンライン相談窓口の開設」は、男女ともに3割台前半、「LINE等を活用した市政情報の発信」は、男女ともに2割台前半となっており、女性の方が男性より2.2ポイント高くなっている。（図表4-36）

図表4－37 行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取り組み（年代別）



年代別で見ると、「行政手続きのオンライン化（電子申請等）の推進」、「オンライン相談窓口の開設」は、年代が下がるにつれて高くなる傾向にあり、30歳～39歳で最も高くなっている。また、それ以外の年代では、おおむね年代が上がるほど低くなっている。「LINE等を活用した市政情報の発信」は、20歳～29歳で3割台半ば、30歳～39歳で約3割と高くなっている。（図表4－37）

図表4－38 行政サービスのデジタル化に向けて今後市が優先すべき取り組み（居住地域別）



居住地域別で見ると、すべての地域で「行政手続きのオンライン化（電子申請等）の推進」が6割台と高くなっている。「オンライン相談窓口の開設」は、吉祥寺地域で3割台半ばと最も高くなっている。（図表4－38）

4-7 優先してデジタル化に取り組むべき理由

【問23で「行政手続きのオンライン化（電子申請等）の推進」、「LINE等を活用した市政情報の発信」、「オンライン相談窓口の開設」、「その他」を選んだ方にお尋ねします。】

問23-1 あなたが問23で回答したように思う理由があればご記入ください。

優先してデジタル化に取り組むべき理由として、合計498件の回答が寄せられた。一人の回答が複数の内容にわたる場合には、本文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、調査票（アンケート用紙）の問23の1～4ごとに分類・整理したため、合計件数は延べ件数となる。

なお、下記の項目に該当しない回答が10件あった。

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載する。なお、固有名詞や長文等は一部省略等している場合がある。

行政手続きのオンライン化（電子申請等）の推進（373件）

内容	性別	年齢	地域
高齢者などITが使えない人には、より丁寧な対応を希望します。	女性	50歳～59歳	中央地域
仕事の合間でも簡単に手続きができ、効率的であるからです。	男性	20歳～29歳	武蔵境地域
市役所や警察署での手続きは、かなり待ち時間が長く細かい手続きに時間を要することが多いです。また、平日しか営業していないことも多く、人によっては予定が合わず必要な手続きが物理的に出来ない人も多いと思います。それらの問題を解消するにあたり、行政手続きのオンライン化は有用であると考えます。	女性	20歳～29歳	吉祥寺地域
気軽に情報にアクセスでき、申請等で感じる負担が減れば利用が増え、より良い行政サービスになると思います。一方で、何でも電子対応することは、高齢者のサポートなど課題もあると思います。	男性	30歳～39歳	吉祥寺地域
コロナウイルスに関わらず、オンライン手続きをもっと可能にすれば、市役所から住まいが遠い人や子連れにも喜ばれると思ったからです。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域

LINE等を活用した市政情報の発信（47件）

内容	性別	年齢	地域
24時間簡単に対応出来るようなLINEが一番簡便かと思います。	男性	40歳～49歳	吉祥寺地域
普段LINEの質問形式で一番市の情報を得ていますが、申請などで案内される市のホームページの視認性が悪く、内容を理解する前に目が滑ります。デザインを整理して字数も減らすほうが良いと思います。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
LINEは気軽に使えるツールなので、市民が情報を得やすいと思うからです。	女性	20歳～29歳	武蔵境地域

オンライン相談窓口の開設(49件)

内容	性別	年齢	地域
行政のデジタル化と言っても、お年寄りなど不慣れな方は窓口を優先し、オンラインとの両立で混雑を分散してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
スマホやパソコンの活用に慣れていない高齢者なので、相談できる窓口があると安心できます。	女性	80 歳以上	中央地域
相談窓口等を利用する際、つながらない事も多くどこに聞けば良いか分からない事も多いです。皆がアクセスしやすい窓口があれば良いと思います。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域

その他(19件)

内容	性別	年齢	地域
セキュリティ対策が不安なままでは、オンライン化されても利用したいとは思いません。	男性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
オンラインが苦手なので、常に多様性を考えてほしいです。目が見えない人、耳がきこえない人、ＩＣＴが苦手な人、色々な人を忘れないでくださいね。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
イベントのような人が多い場所で、武蔵野市についてのたくさんの情報が知れるようなアプリを広告などで宣伝することで、多くの人が武蔵野市について様々な情報を知ることができ、更に武蔵野市の魅力を伝えることにつながると考えます。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域

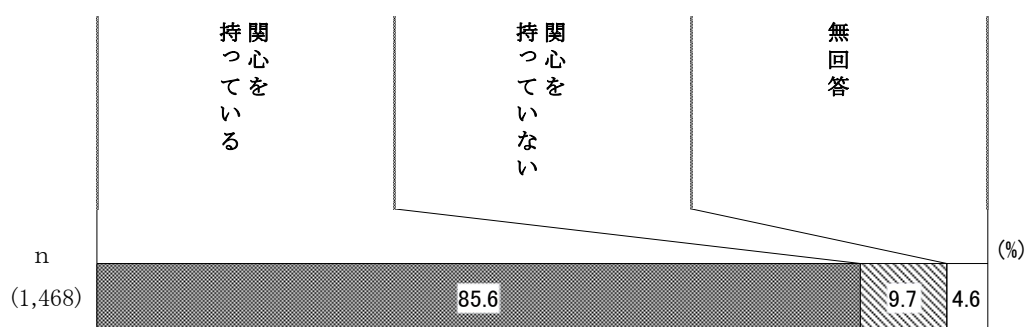
5 平和・多文化共生について

5－1 「平和」についての関心の有無

◎ 「関心を持っている」が8割台半ばで高い。

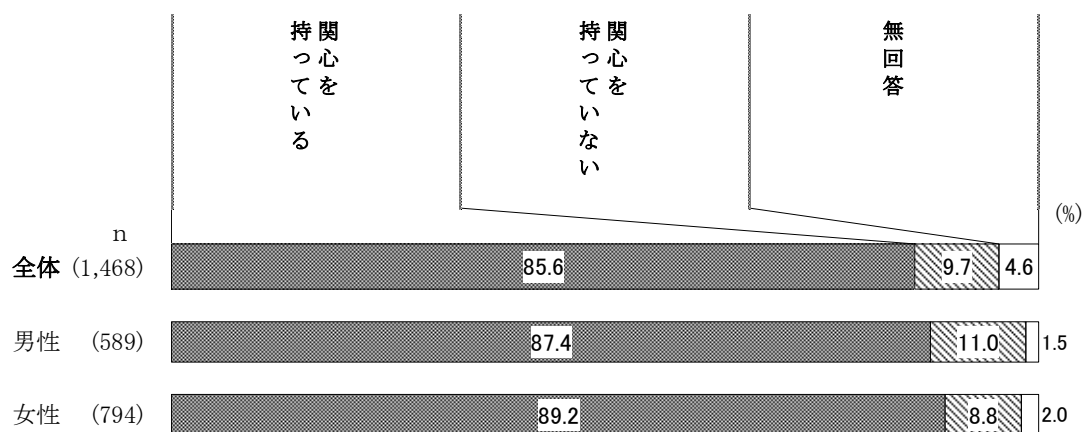
問24 あなたは普段から、「平和」について関心を持っていますか。(○は1つ)

図表5－1 「平和」についての関心の有無



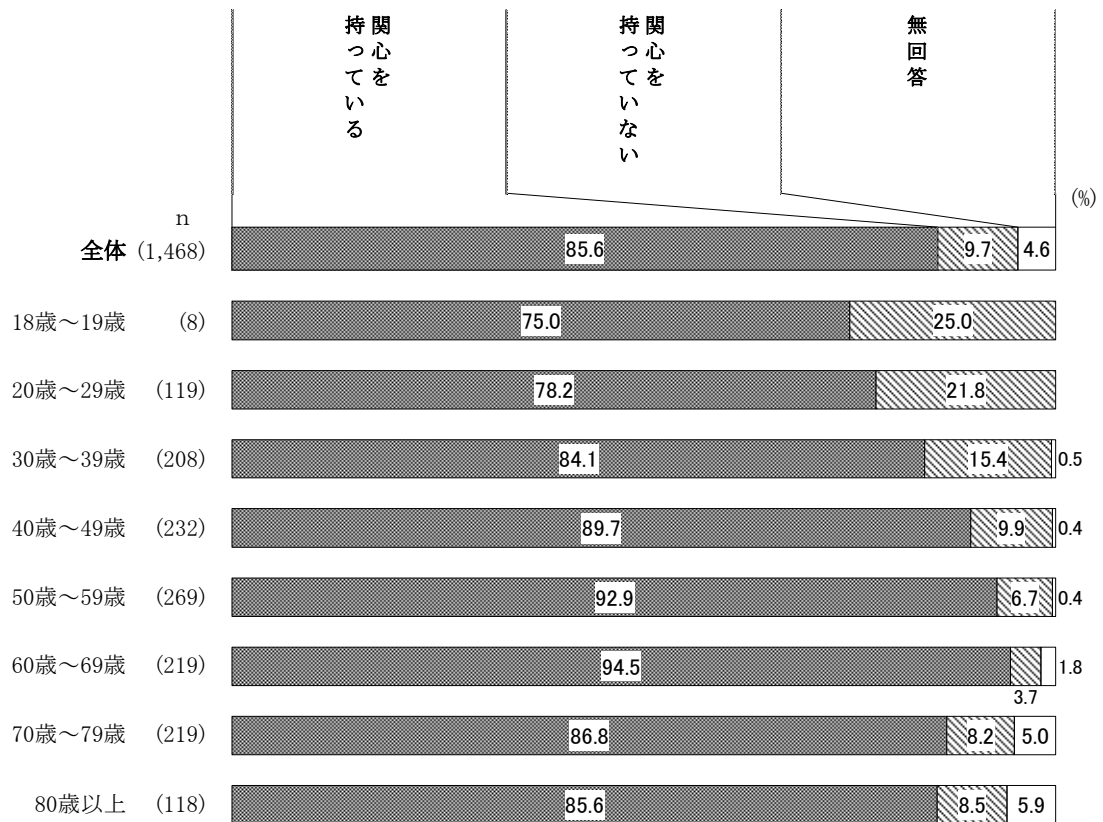
「平和」についての関心の有無は、「関心を持っている」(85.6%)が8割台半ばと最も高くなっている一方、「関心を持っていない」(9.7%)は約1割である。(図表5－1)

図表5－2 「平和」についての関心の有無(性別)



性別で見ると、「関心を持っている」は、男女ともに8割台後半と高くなっている。(図表5－2)

図表5－3 「平和」についての関心の有無(年代別)



年代別で見ると、「興味を持っている」は、60～69歳で9割台半ば、50～59歳で9割台前半と高く、70歳以降は年代が下がるほど低くなる傾向となっている。一方、「興味を持っていない」は、20～29歳で2割台前半と高くなっている。(図表5－3)

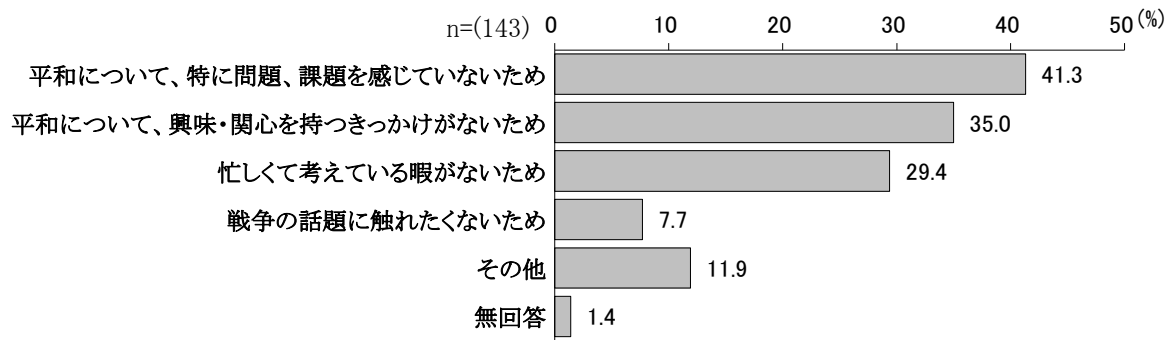
5－2 関心を持っていない理由

◎ 「平和について、特に問題、課題を感じていないため」が4割台前半で高い。

【問24で「関心を持っていない」を選んだ方にお尋ねします。】

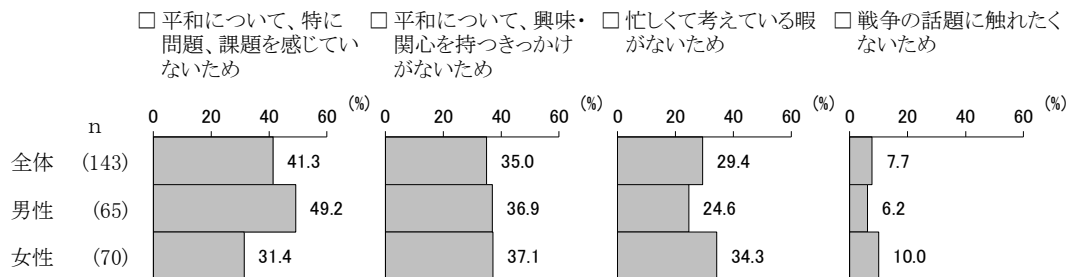
問24－1 あなたが問24で回答したように思う理由に○をしてください。(○はいくつでも)

図表5－4 関心を持っていない理由



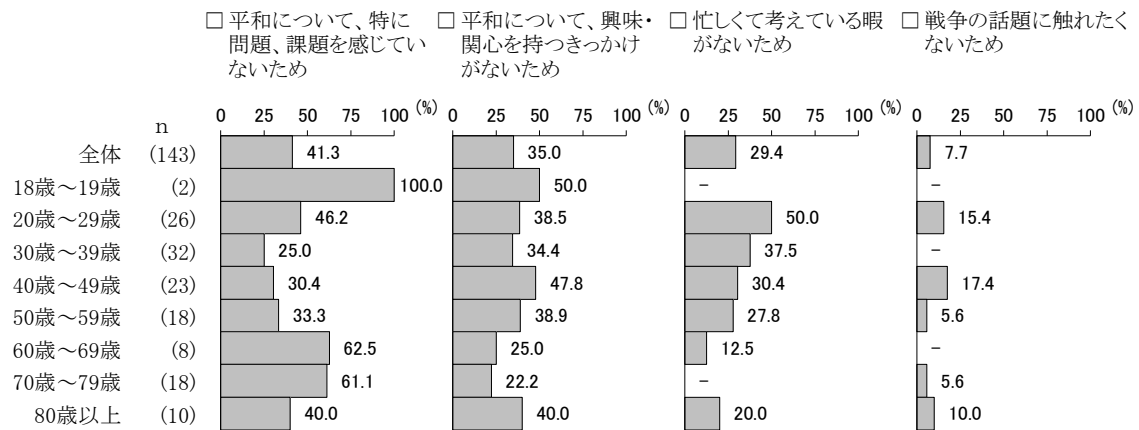
関心を持っていない理由は、「平和について、特に問題、課題を感じていないため」(41.3%)が4割台前半で最も高く、次いで「平和について、興味・関心を持つきっかけがないため」(35.0%)が3割台半ば、「忙しくて考えている暇がないため」(29.4%)が約3割で続く。(図表5－4)

図表5－5 関心を持っていない理由(性別)



性別で見ると、「平和について、特に問題、課題を感じていないため」は、男性の方が女性より17.8ポイント高くなっている。一方、「忙しくて考えている暇がないため」は、女性の方が男性より9.7ポイント高くなっている。(図表5－5)

図表5－6 関心を持っていない理由（年代別）



年代別で見ると、「平和について、特に問題、課題を感じていないため」は、70歳～79歳で6割台前半と高くなっている。「平和について、興味・関心を持つきっかけがないため」は、40歳～49歳で4割台後半と高くなっている。「忙しくて考えている暇がないため」は、20歳～29歳で5割と最も高くなっている。（図表5－6）

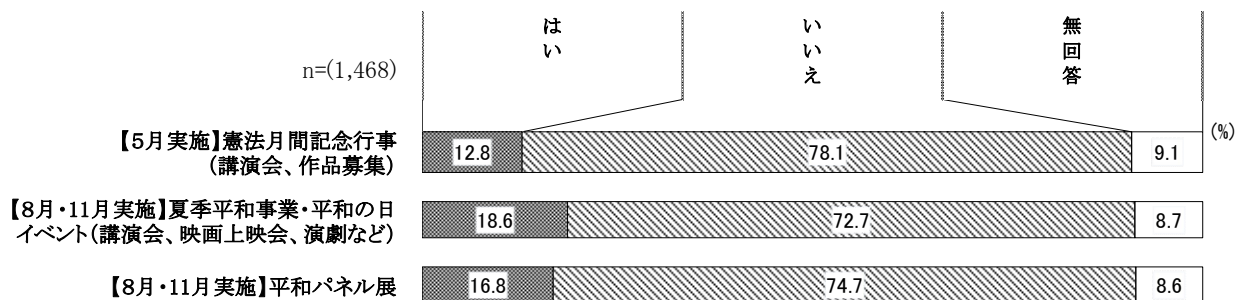
5－3 市の平和事業の認知状況

◎ 「はい（知っている）」は、〔夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）〕（18.6％）、〔平和パネル展〕（16.8％）で1割台後半である。

問25 市が平和事業（憲法月間記念行事、夏季平和事業、平和の日イベント、平和パネル展など）を行っています。

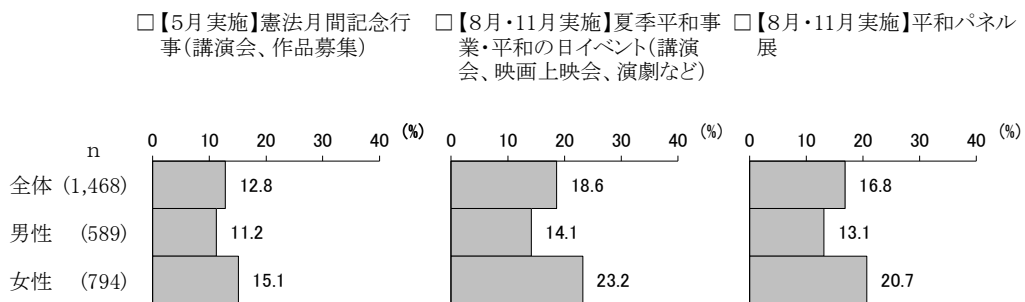
①あなたは、これらの事業を知っていますか。（○は項目ごとに、それぞれ1つ）

図表5－7 市の平和事業の認知状況



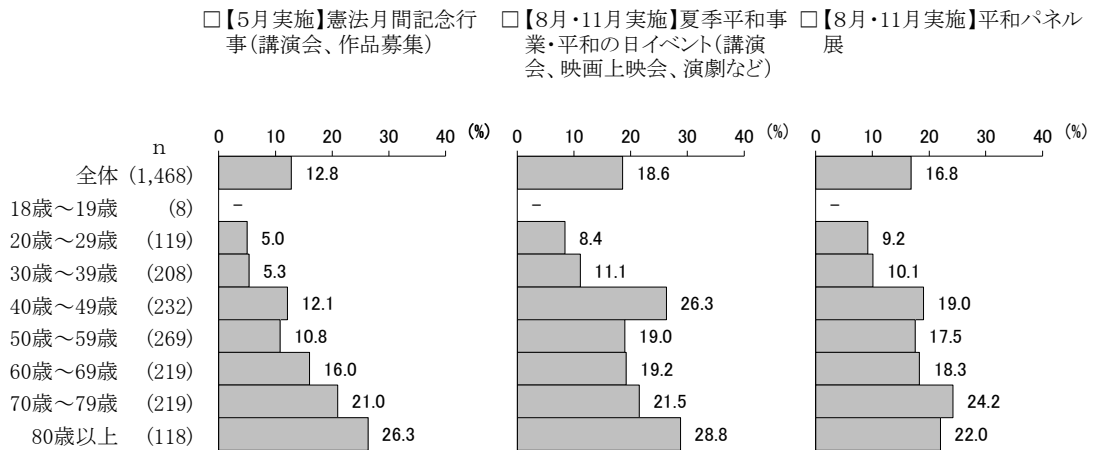
市の平和事業の認知状況をみると、いずれの事業も「いいえ」が7割を超えているのに対し、「はい（知っている）」は、〔夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）〕（18.6％）、〔平和パネル展〕（16.8％）が1割台後半と高く、次いで、〔憲法月間記念行事（講演会、作品募集）〕（12.8％）が1割台前半である。（図表5－7）

図表5－8 市の平和事業の認知状況（「はい」の割合、性別）



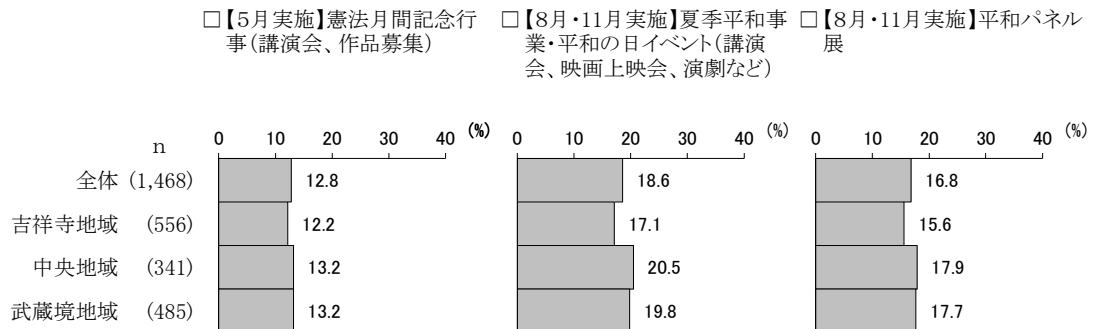
市の平和事業について、「はい（知っている）」割合を、性別で見ると、女性の方が男性より高い傾向となっており、〔夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）〕は、女性の方が男性より9.1ポイント、〔平和パネル展〕も女性の方が男性より7.6ポイント高くなっている。（図表5－8）

図表5－9 市の平和事業の認知状況(「はい」の割合、年代別)



年代別で見ると、いずれもおおむね年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、〔憲法月間記念行事(講演会、作品募集)〕、〔夏季平和事業・平和の日イベント(講演会、映画上映会、演劇など)〕は80歳以上で2割台後半と最も高くなっている。〔平和パネル展〕は、70歳～79歳で2割台半ば、80歳以上で2割台前半と高くなっている。(図表5－9)

図表5－10 市の平和事業の認知状況(「はい」の割合、居住地域別)



居住地域別で見ると、いずれも中央地区が最も高くなっているが、地域による大きな違いは見られない。(図表5－10)

5－4 市の平和事業の参加状況

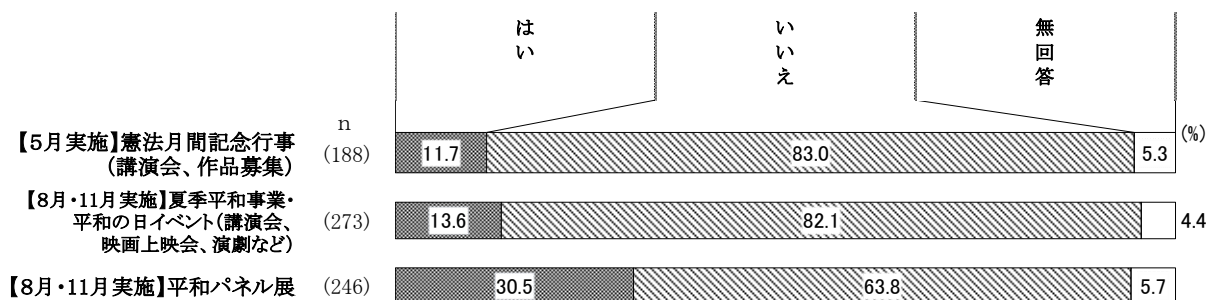
◎ 「はい（参加したことがある）」は、「平和パネル展」（30.5%）が3割と高い。

問25 市が平和事業（憲法月間記念行事、夏季平和事業、平和の日イベント、平和パネル展など）を行っています。

②(①で)「知っている」に○をつけた事業の中で、参加したことがある事業はありますか。

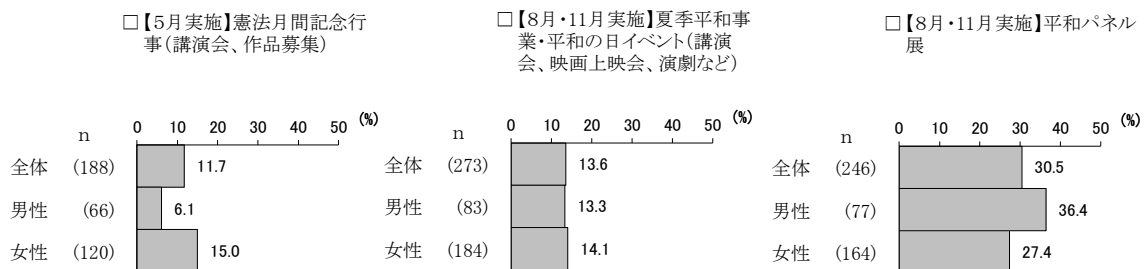
（○は項目ごとに、それぞれ1つ）

図表5－11 市の平和事業の参加状況



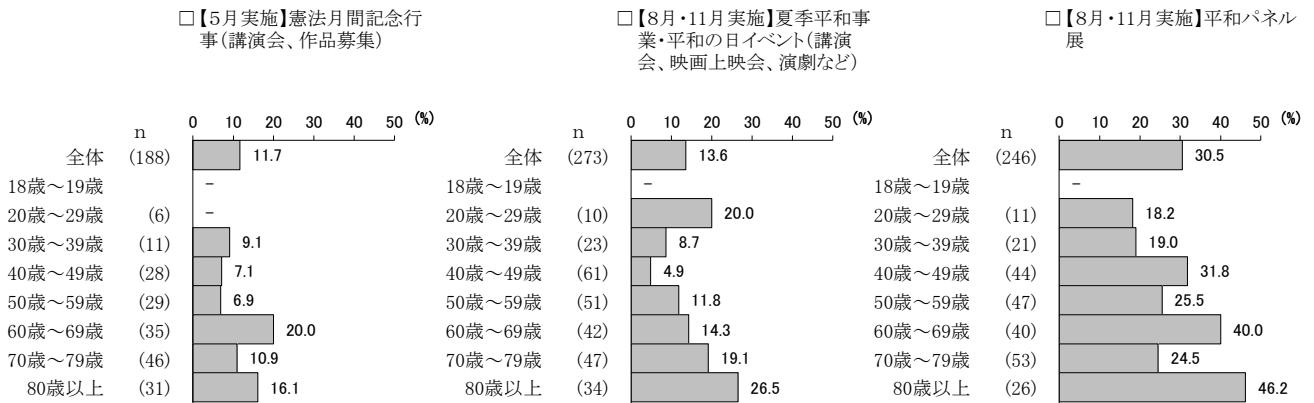
市の平和事業を「はい（知っている）」と回答した人の参加状況をみると、「平和パネル展」を除き「いいえ」が「憲法月間記念行事（講演会、作品募集）」（83.0%）と「夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）」（82.1%）で8割を超えているのに対し、「はい（参加したことがある）」は、「平和パネル展」（30.5%）が3割と最も高く、次いで「夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）」（13.6%）、「憲法月間記念行事（講演会、作品募集）」（11.7%）がともに1割台前半である。（図表5－11）

図表5－12 市の平和事業の参加状況（「はい」の割合、性別）



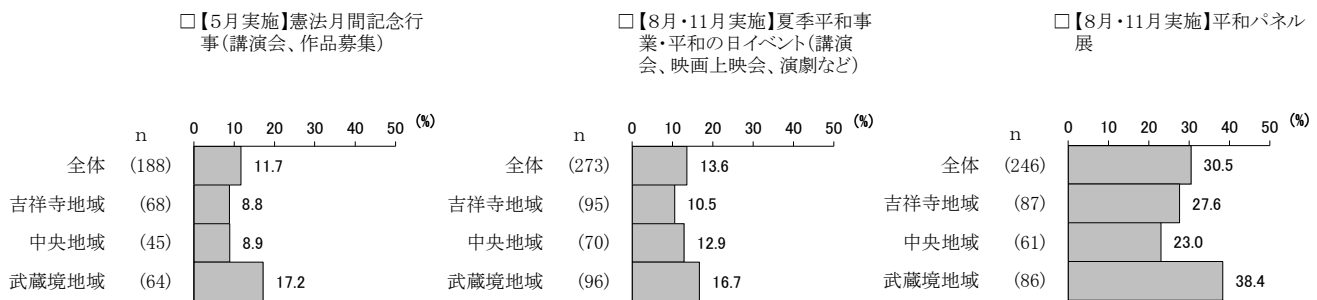
市の平和事業について、「はい（参加したことがある）」割合を、性別で見ると、「憲法月間記念行事（講演会、作品募集）」は、女性の方が男性より8.9ポイント高くなっている。一方、「平和パネル展」は男性の方が女性より9.0ポイント高くなっている。（図表5－12）

図表5－13 市の平和事業の参加状況(「はい」の割合、年代別)



年代別で見ると、〔憲法月間記念行事（講演会、作品募集）〕は、60歳～69歳で2割と最も高くなっている。80歳以上で〔平和パネル展〕が4割台後半、〔夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）〕が2割台後半と、ともに最も高くなっている。（図表5－13）

図表5－14 市の平和事業への参加経験(「はい」の割合、居住地域別)



居住地域別で見ると、いずれも武蔵境地域で最も高く、〔平和パネル展〕が3割台後半、〔憲法月間記念行事（講演会、作品募集）〕、〔夏季平和事業・平和の日イベント（講演会、映画上映会、演劇など）〕が1割台後半となっている。（図表5－14）

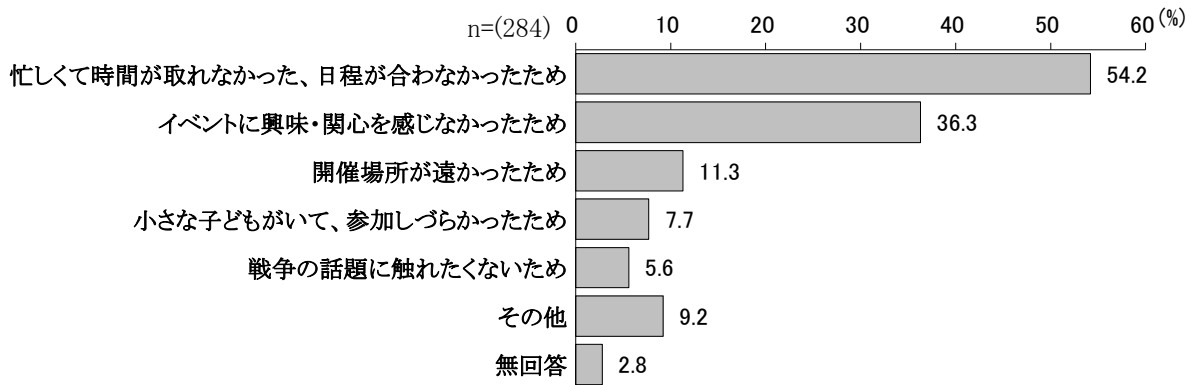
5-5 参加しなかった理由

◎ 「忙しくて時間が取れなかった、日程が合わなかったため」が5割台半ばで高い。

【問25-1は、問25でいずれかの事業を①知っている「はい」→ ②参加したことがある「いいえ」を選んだ方にお尋ねします。】

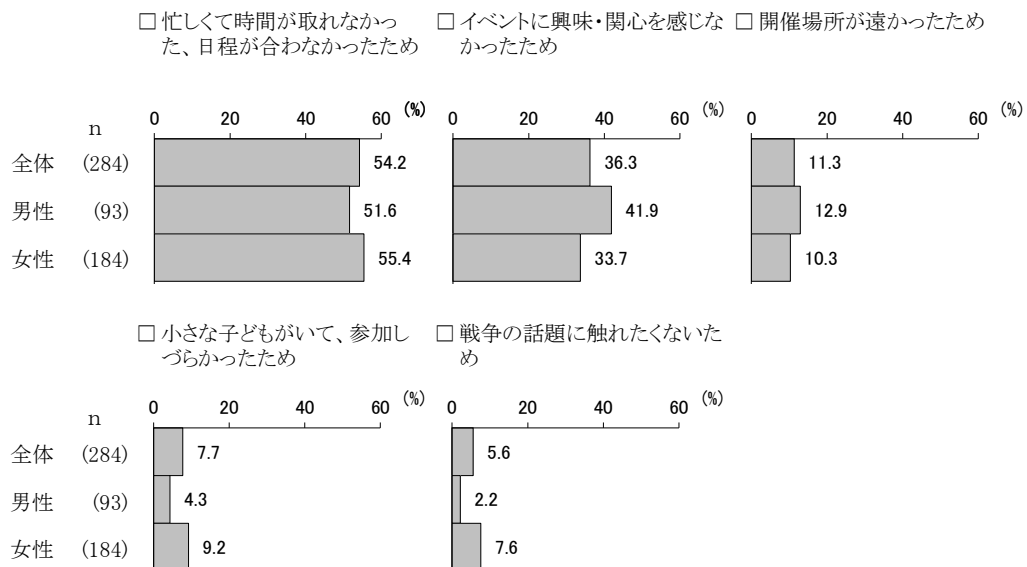
問25-1 あなたが平和事業に参加しなかった理由に○をしてください。(○はいくつでも)

図表5-15 参加しなかった理由



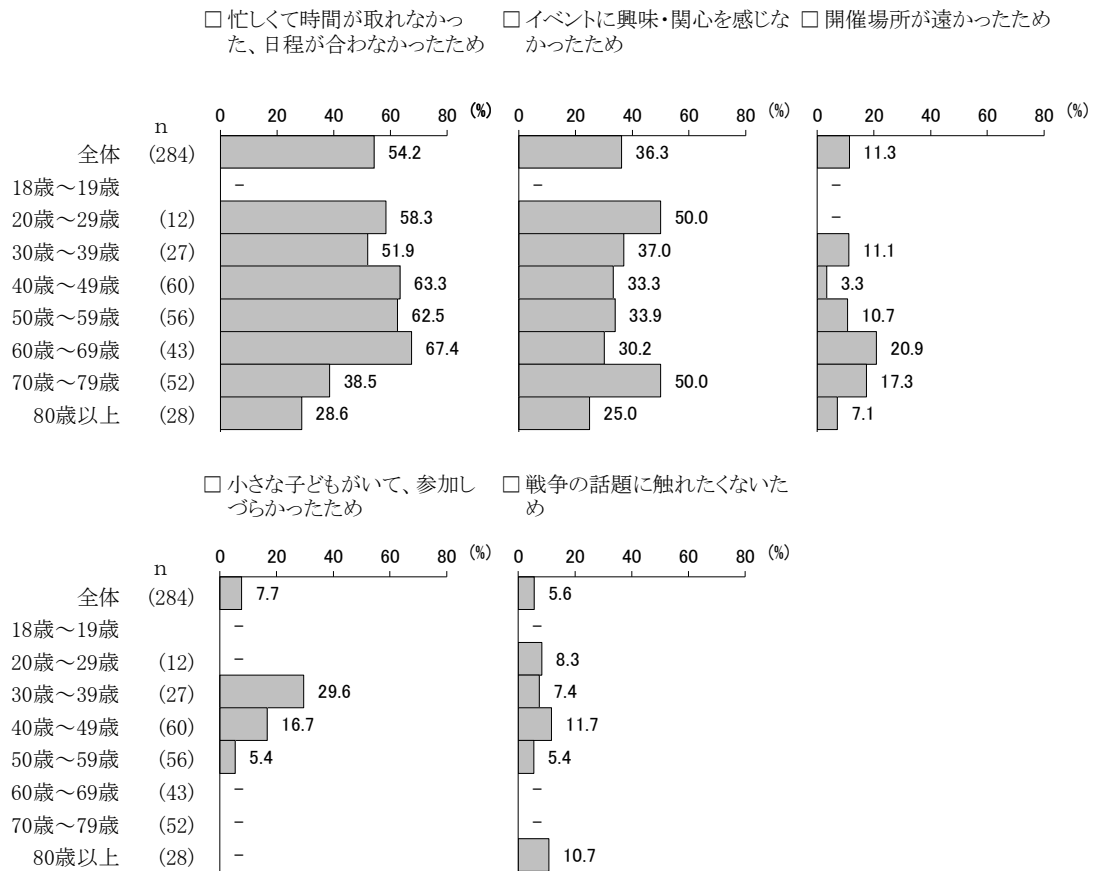
参加しなかった理由は、「忙しくて時間が取れなかった、日程が合わなかったため」(54.2%)が5割台半ばで過半数を超えている。次いで「イベントに興味・関心を感じなかったため」(36.3%)が3割台後半、「開催場所が遠かったため」(11.3%)が1割台前半で続く。(図表5-15)

図表5-16 参加しなかった理由(性別)



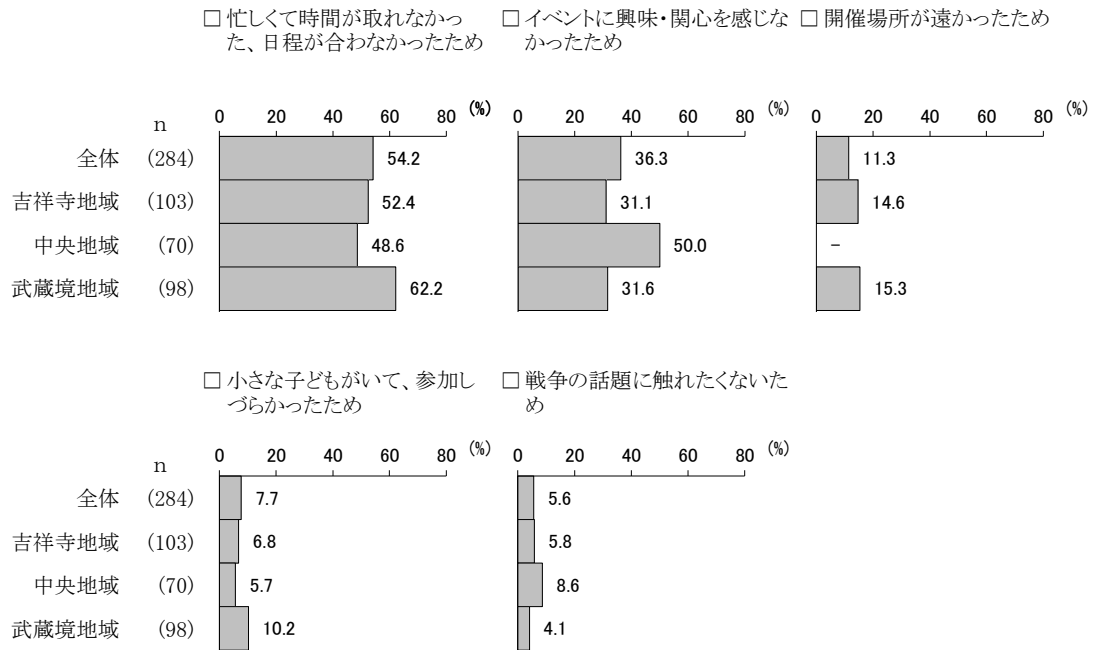
性別で見ると、「イベントに興味・関心を感じなかったため」は、男性の方が女性より8.2ポイント高くなっている。一方、「戦争の話題に触れたくないため」は、女性の方が男性より5.4ポイント高くなっている。(図表5-16)

図表5－17 参加しなかった理由（年代別）



年代別で見ると、「忙しくて時間が取れなかった、日程が合わなかったため」は、60歳～69歳で6割台後半と最も高くなっている。「イベントに興味・関心を感じなかったため」は、20歳～29歳、70歳～79歳で5割と最も高くなっている。「小さな子どもがいて、参加しづらかったため」は、30歳～39歳で約3割と最も高くなっている。（図表5－17）

図表5－18 参加しなかった理由（居住地域別）



居住地域別で見ると、「忙しくて時間が取れなかった、日程が合わなかったため」は、武蔵境地域で6割台前半と最も高くなっている。「イベントに興味・関心を感じなかったため」は、中央地域で5割と最も高くなっている。（図表5－18）

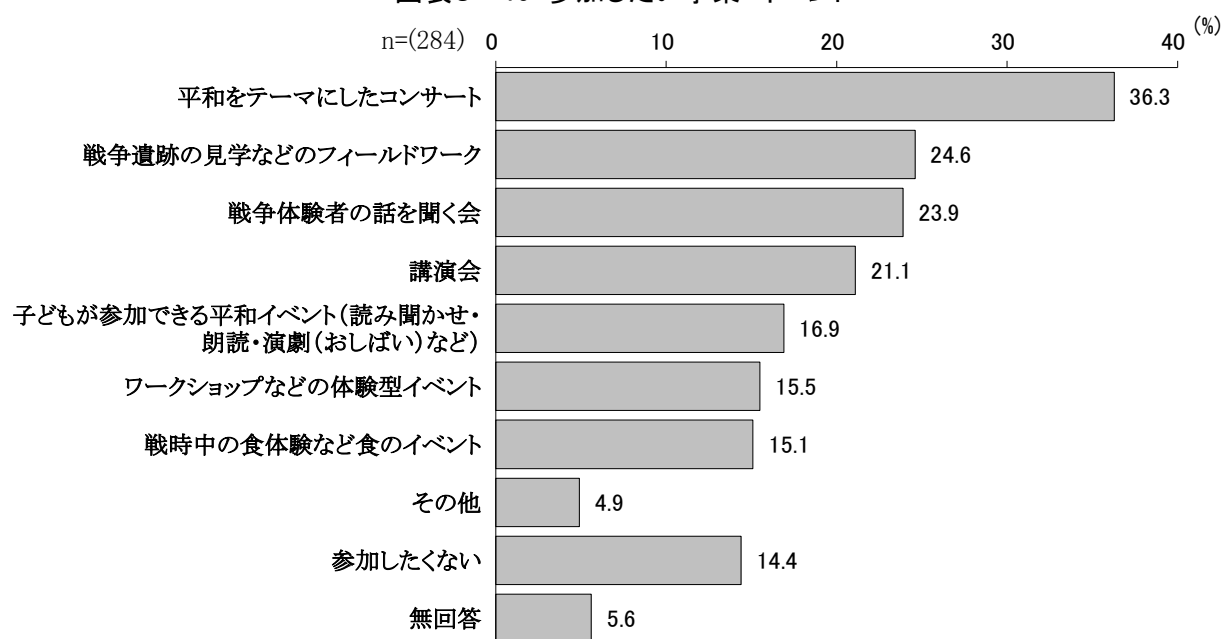
5－6 参加したい事業・イベント

◎ 「平和をテーマにしたコンサート」が3割台後半で高い。

【問25－2は、問25でいずれかの事業を①知っている「はい」→ ②参加したことがある「いいえ」を選んだ方にお尋ねします。】

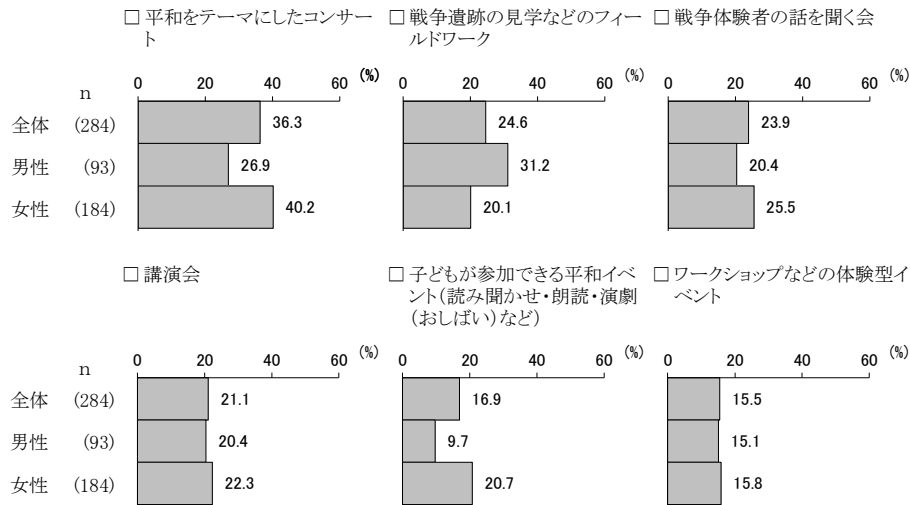
問25－2 どのような事業・イベントであれば参加したいですか。(〇はいくつでも)

図表5－19 参加したい事業・イベント



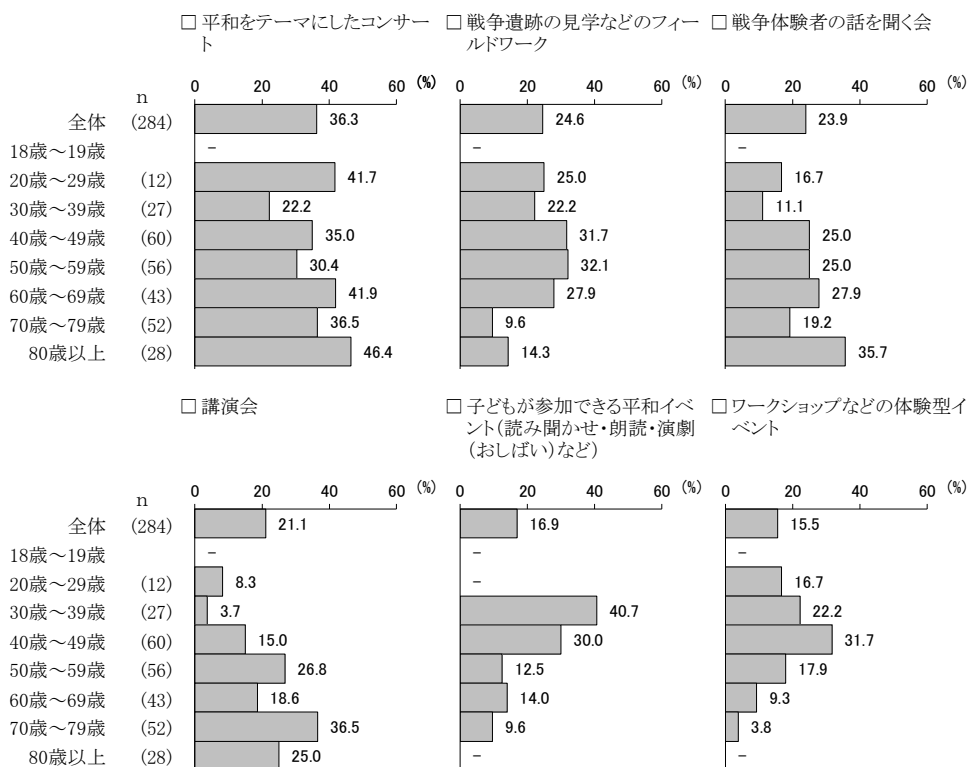
参加したい事業・イベントは、「平和をテーマにしたコンサート」(36.3%)が3割台後半で最も高くなっている。次いで「戦争遺跡の見学などのフィールドワーク」(24.6%)が2割台半ば、「戦争体験者の話を聞く会」(23.9%)、「講演会」(21.1%)が2割台前半で続く。(図表5－19)

図表5－20 参加したい事業・イベント(性別) 上位6項目



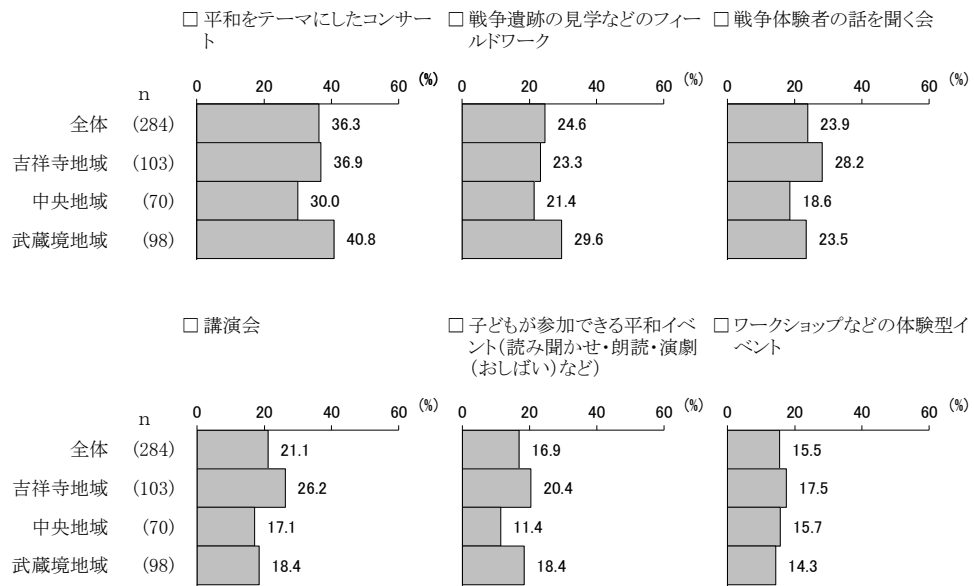
上位6項目について、性別で見ると、「平和をテーマにしたコンサート」は、女性の方が男性より13.3ポイント高く、「子どもが参加できる平和イベント(読み聞かせ・朗読・演劇(おしばい)など)」で11.0ポイント高くなっている。一方、「戦争遺跡の見学などのフィールドワーク」は、男性の方が女性より11.1ポイント高くなっている。(図表5－20)

図表5－21 参加したい事業・イベント(年代別) 上位6項目



年代別で見ると、「平和をテーマにしたコンサート」は、80歳以上で4割台後半と最も高く、「戦争体験者の話を聞く会」でも3割台半ばと最も高くなっている。「講演会」は、70歳～79歳で3割台後半と最も高くなっている。「子どもが参加できる平和イベント(読み聞かせ・朗読・演劇(おしばい)など)」は、30歳～39歳で4割と最も高くなっている。(図表5－21)

図表5－22 参加したい事業・イベント（居住地域別） 上位6項目



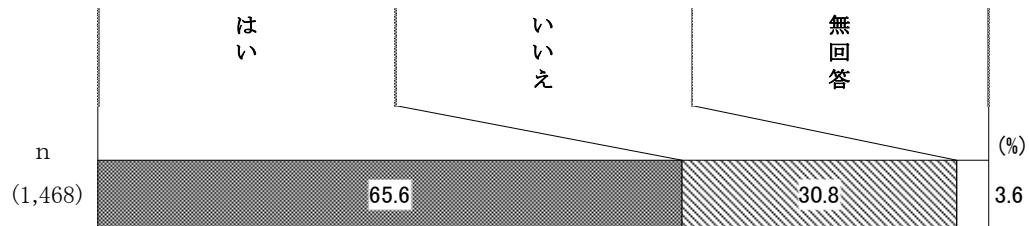
居住地域別で見ると、「平和をテーマにしたコンサート」は、武蔵境地域で4割と最も高く、「戦争遺跡の見学などのフィールドワーク」でも約3割と最も高くなっている。「戦争体験者の話を聞く会」、「講演会」は、吉祥寺地域でともに2割台後半と最も高くなっている。（図表5－22）

5－7 戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度

◎ 「はい（知っている）」が6割台半ばで高い。

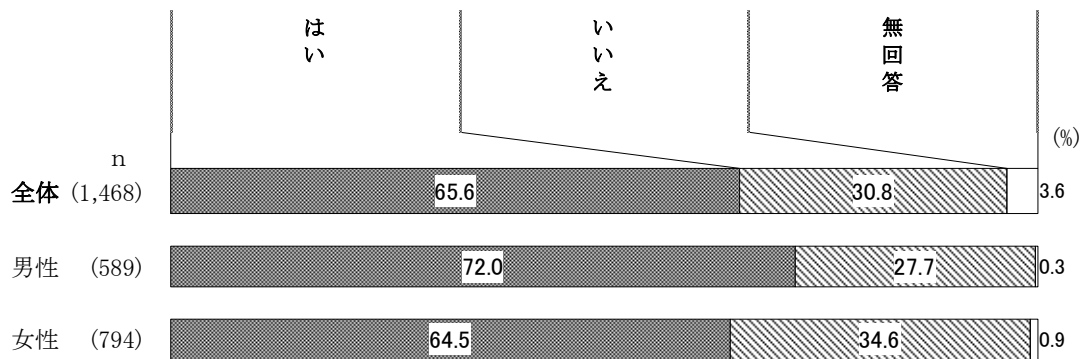
問26 あなたは、現在の都立中央公園がある場所に、戦時中、航空機のエンジン工場（中島飛行機武蔵製作所）があったことを知っていますか。（○は1つ）

図表5－23 戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度



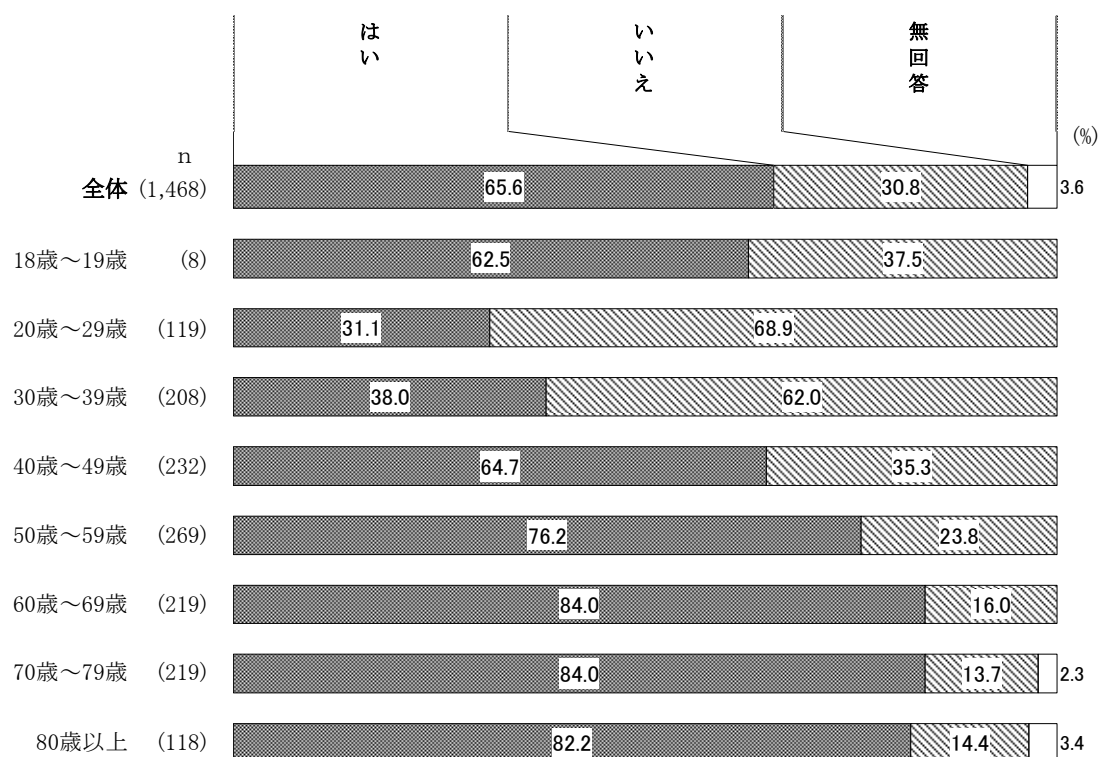
戦時中の中島飛行機武蔵製作所について、「はい（知っている）」（65.6%）と回答した人が6割台半ば、「いいえ」（30.8%）が3割である。（図表5－23）

図表5－24 戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度（性別）



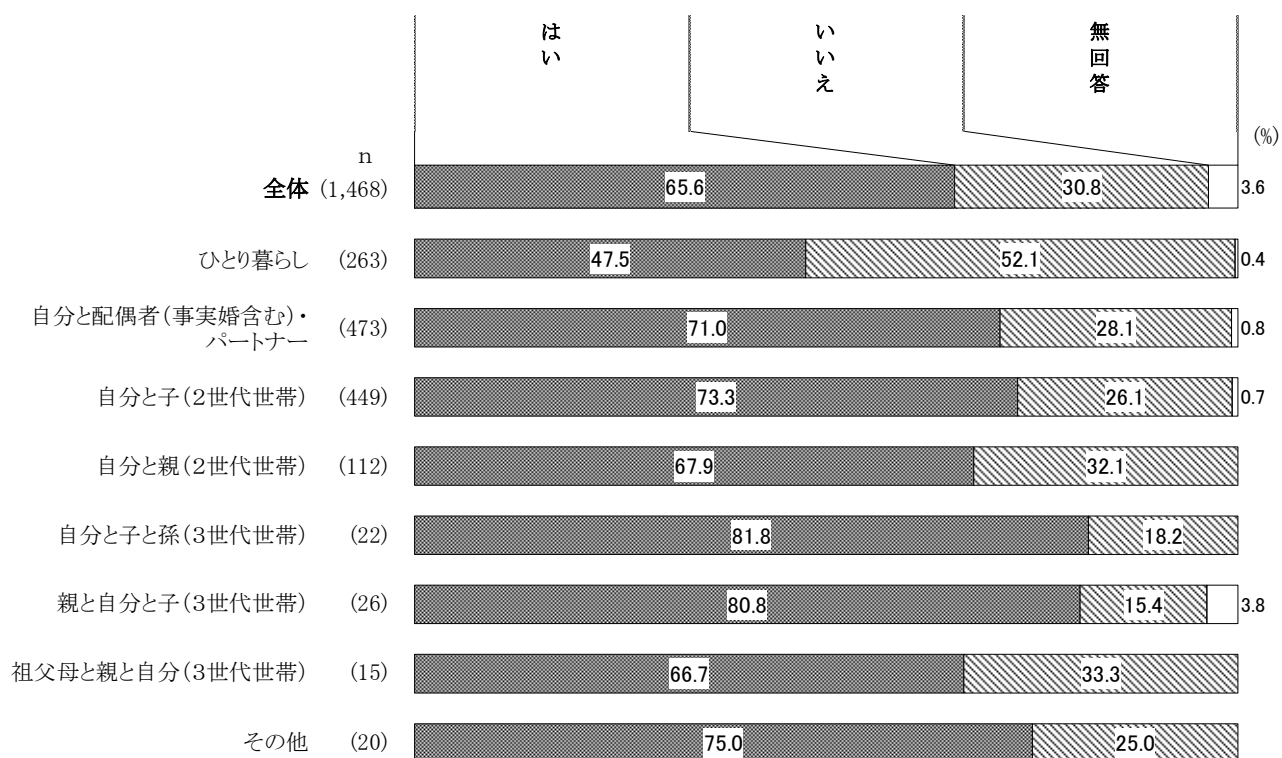
性別で見ると、「はい（知っている）」は、男性の方が女性より7.5ポイント高くなっている。（図表5－24）

図表5－25 戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度(年代別)



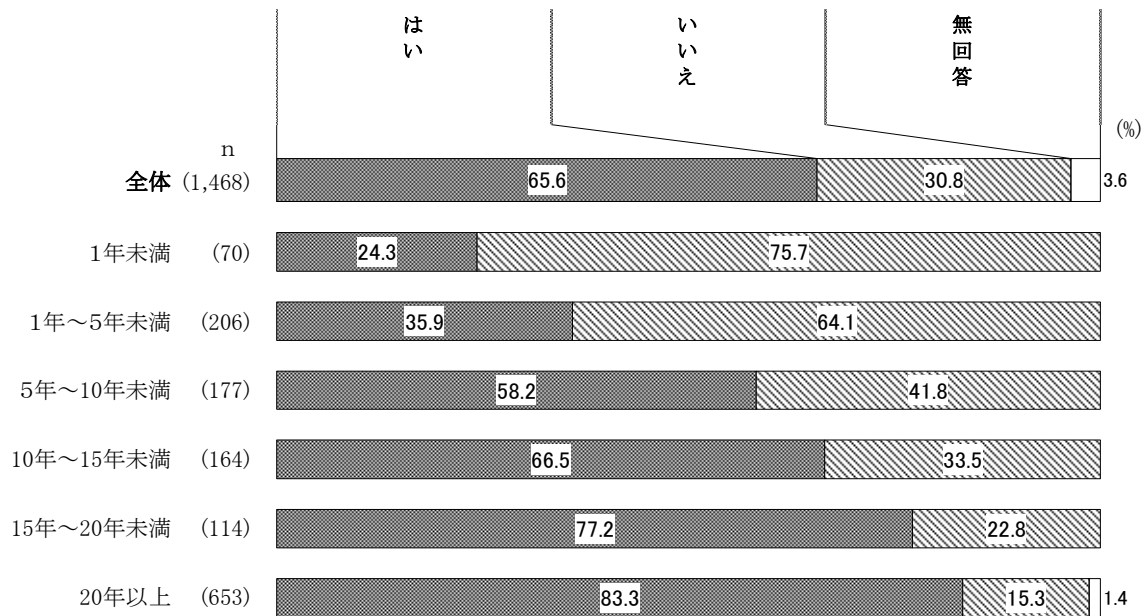
年代別で見ると、「はい（知っている）」は、おおむね年代が上がるほど増加する傾向となっており、60～69歳、70～79歳、80歳以上で8割を超えて高くなっている。一方で、「いいえ」は、20～29歳で6割台後半、30歳～39歳で6割台前半と高くなっている。（図表5－25）

図表5－26 戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度(家族構成別)



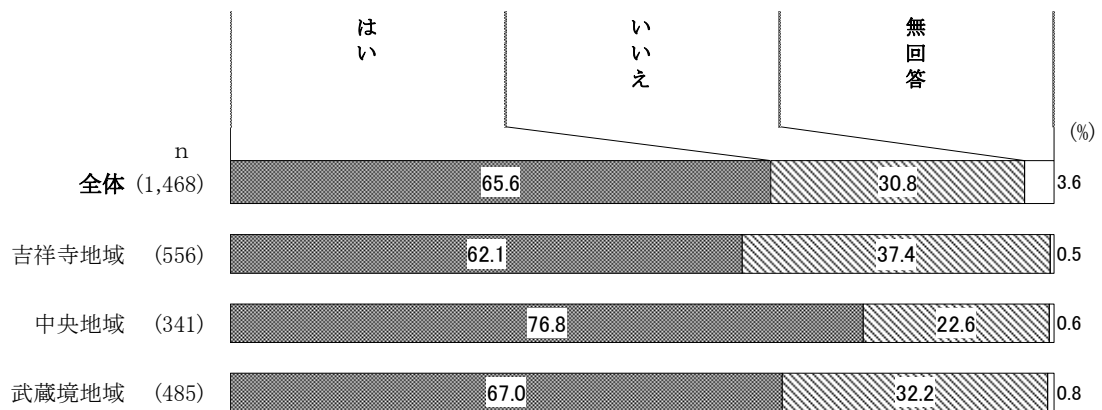
家族構成別で見ると、「はい(知っている)」は、自分と子と孫(3世代世帯)、親と自分と子(3世代世帯)で8割を超えて高くなっている。一方で、「いいえ」はひとり暮らしで5割台前半と過半数を超えている。(図表5－26)

図表5－27 戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度(居住年数別)



居住年数別で見ると、「はい（知っている）」は、年数が長くなるほど増加する傾向となっており、20年以上で8割台前半と最も高くなっている。一方で、「いいえ」は1年未満で7割台半ば、1年～5年未満で6割台半ばとそれぞれ過半数を超えている。（図表5－27）

図表5－28 戦時中の中島飛行機武蔵製作所の認知度(居住地域別)



居住地域別で見ると、「はい（知っている）」は、中央地域で7割台後半と最も高くなっており、すべての地域で6割を超えている。（図表5－28）

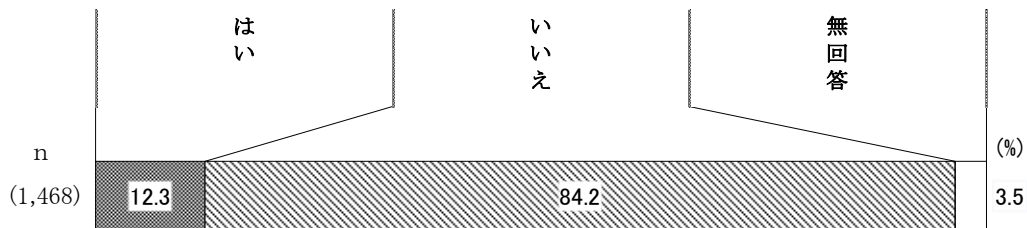
5－8 「武蔵野市平和の日」（11月24日）の認知度

◎ 「いいえ」が8割台半ばで高く、「はい（知っている）」が1割台前半である。

問27 市は11月24日＊を「武蔵野市平和の日」に制定していることを知っていますか。（○は1つ）

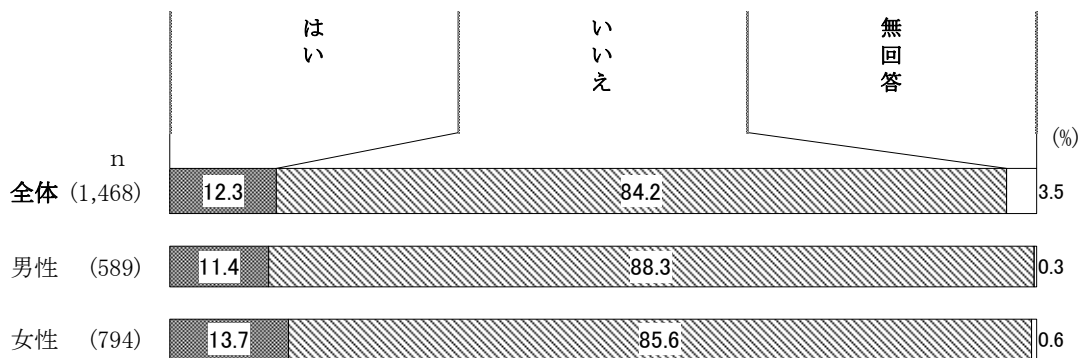
＊：11月24日：第二次世界大戦中、市内に米軍による最初に空襲があった日

図表5－29 「武蔵野市平和の日」(11月24日)の認知度



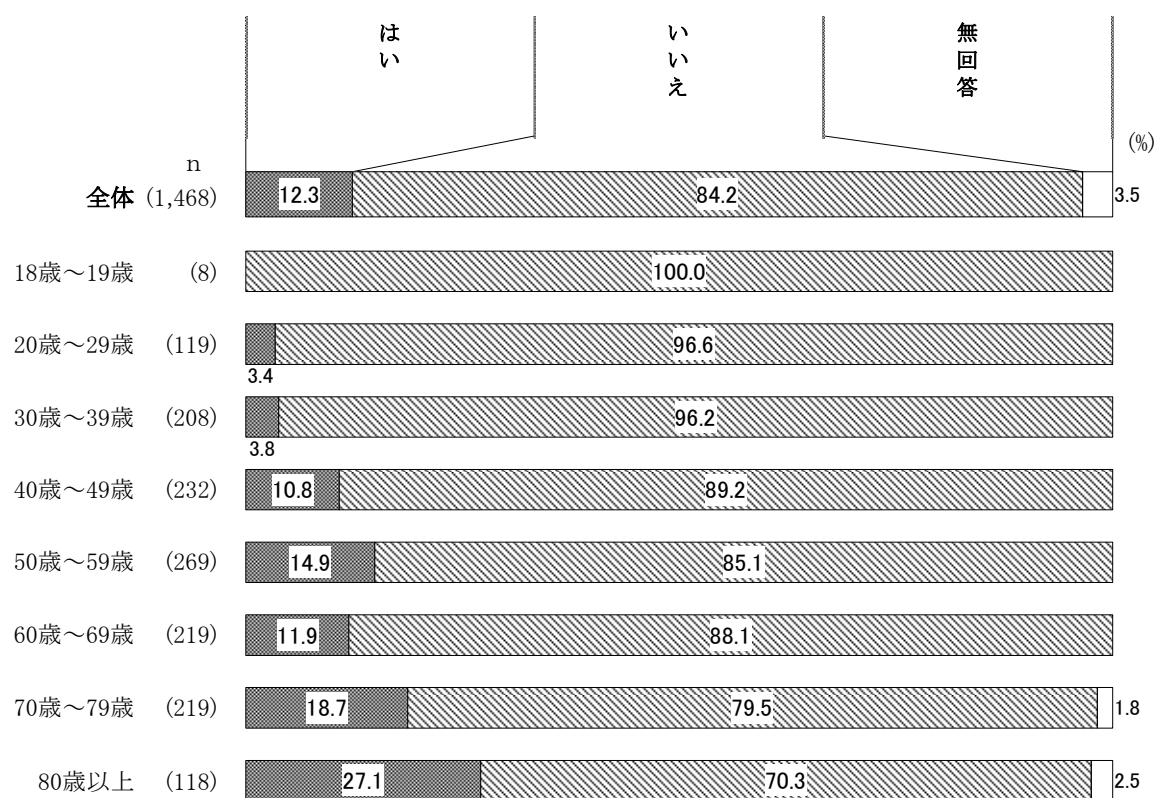
市が11月24日を「武蔵野市平和の日」に制定していることは、「いいえ」（84.2%）と回答した人が8割以上を占めているのに対し、「はい（知っている）」（12.3%）が1割台前半である。（図表5－29）

図表5－30 「武蔵野市平和の日」(11月24日)の認知度(性別)



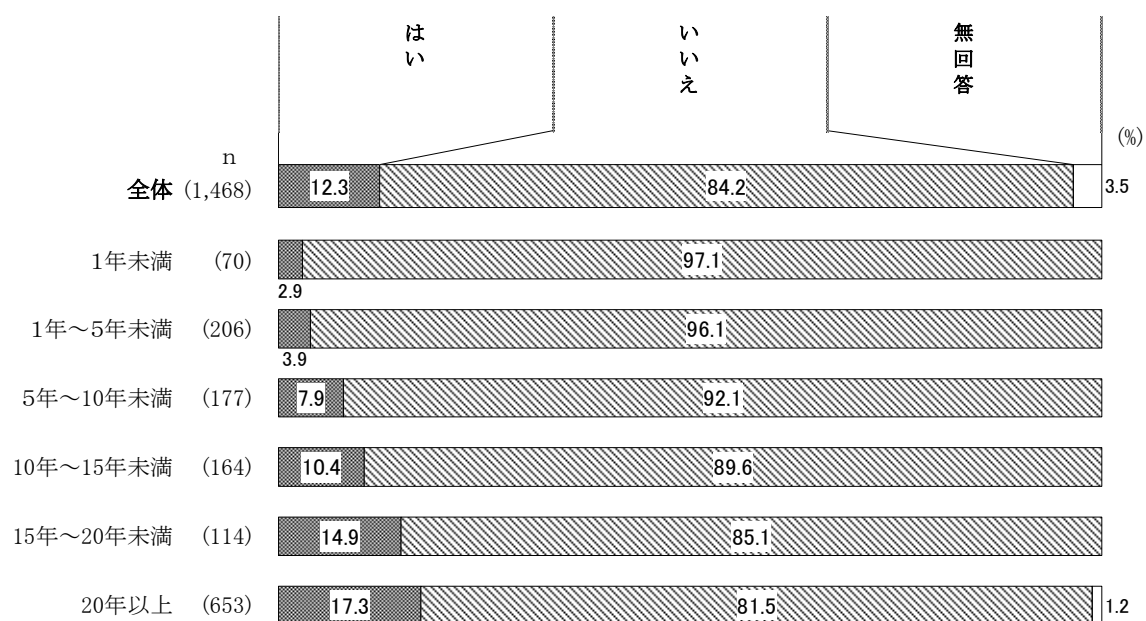
性別で見ると、「はい（知っている）」は、女性の方が男性より2.3ポイント高く、「いいえ」は男女ともに8割を超えている。（図表5－30）

図表5－31 「武蔵野市平和の日」(11月24日)の認知度(年代別)



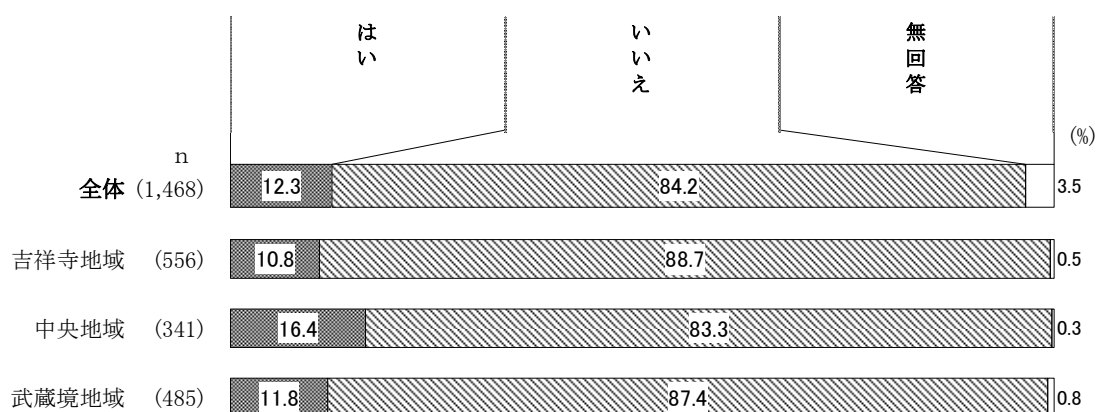
年代別で見ると、「はい（知っている）」は、おおむね年代が上がるほど増加する傾向となっており、80歳以上で2割台後半と最も高くなっている。一方で、「いいえ」は、20～29歳、30歳～39歳で9割を超えて高くなっており、すべての年代で7割を超えている。（図表5－31）

図表5－32 「武蔵野市平和の日」(11 月 24 日)の認知度(居住年数別)



居住年数別で見ると、「はい（知っている）」は、年数が長くなるほど増加する傾向となっており、20年以上で1割台後半と最も高くなっている。一方で、「いいえ」は1年未満、1年～5年未満で9割台後半と高くなっており、すべての年数で8割を超えている。（図表5－32）

図表5－33 「武蔵野市平和の日」(11 月 24 日)の認知度(居住地域別)



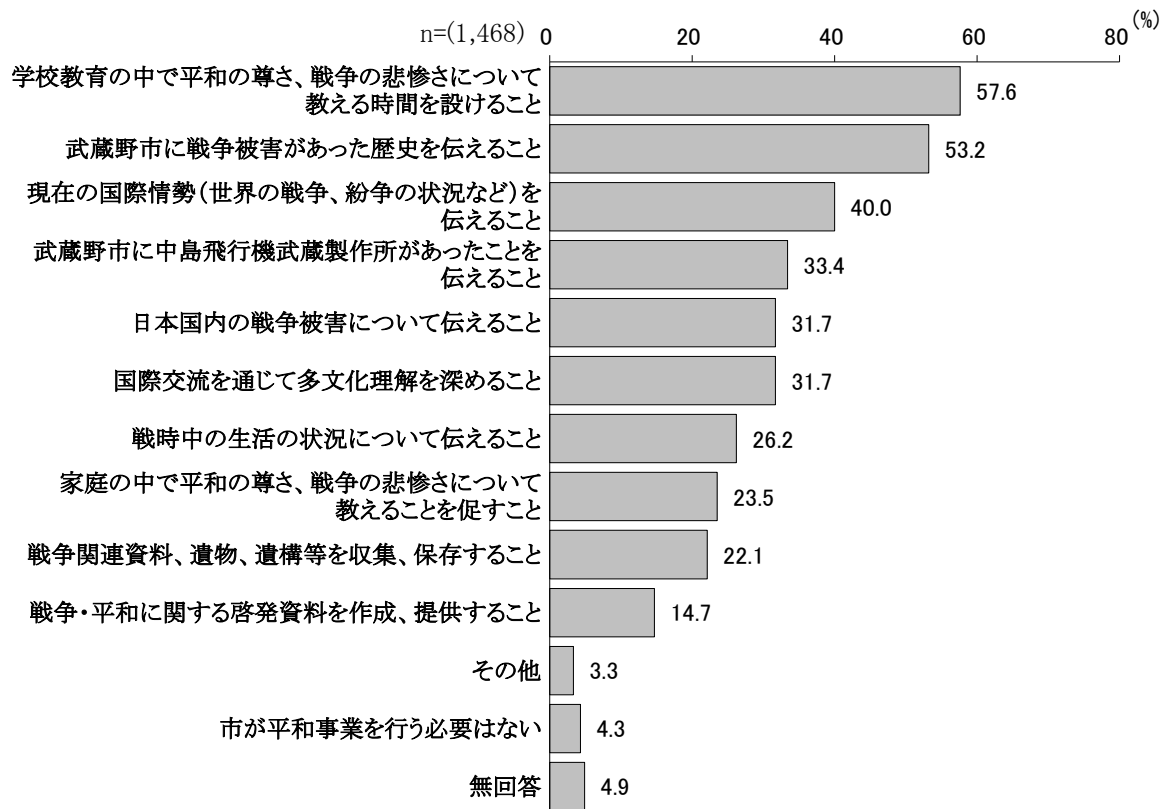
居住地域別で見ると、「はい（知っている）」は、中央地域で1割台後半と最も高くなっている。一方、「いいえ」は、すべての地域で8割を超えている。（図表5－33）

5－9 平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと

◎ 「学校教育の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて教える時間を設けること」が5割台後半で最も高い。

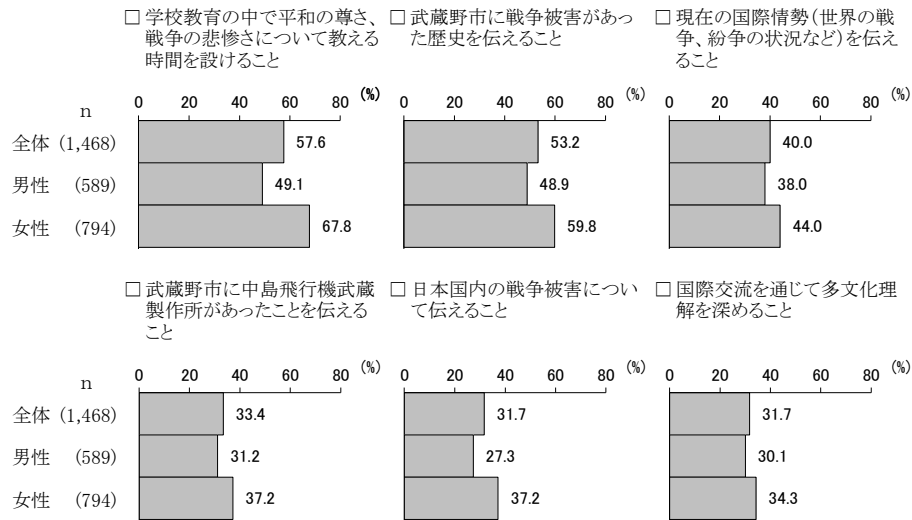
問28 平和施策を進めるうえで、市が取り組むべきことは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

図表5－34 平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと



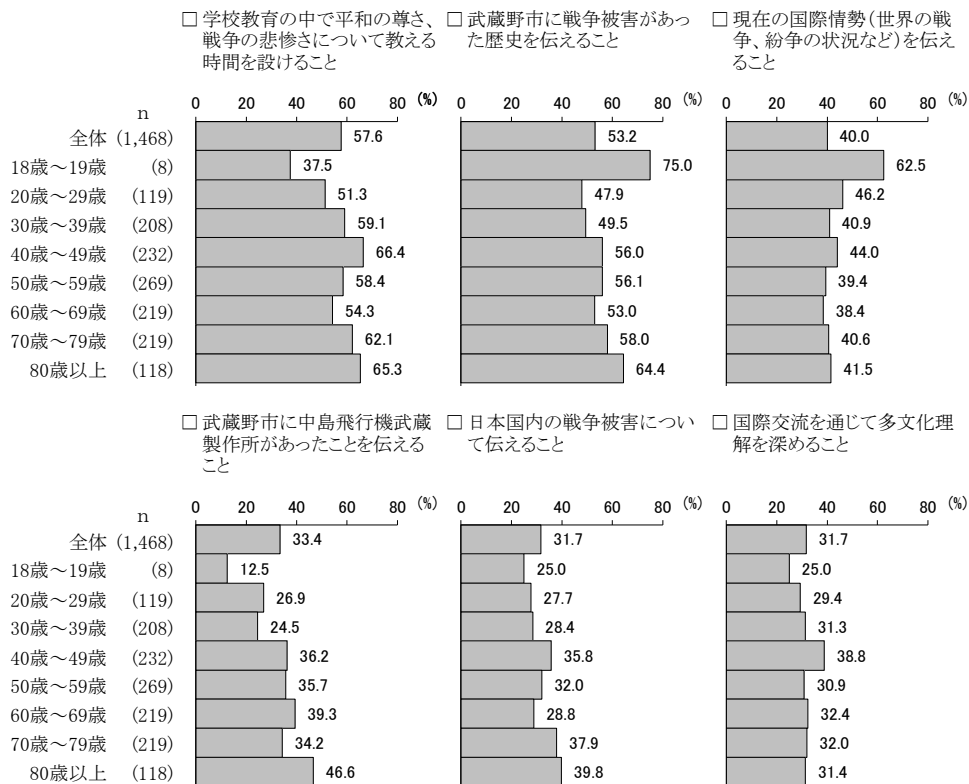
平和施策を進めるうえで市が取り組むべきことは、「学校教育の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて教える時間を設けること」(57.6%)が5割台後半、「武蔵野市に戦争被害があった歴史を伝えること」(53.2%)が5割台前半と過半数を超えている。次いで、「現在の国際情勢(世界の戦争、紛争の状況など)を伝えること」(40.0%)が4割、「武蔵野市に中島飛行機武蔵製作所があったことを伝えること」(33.4%)が3割台前半で続いている。(図表5－34)

図表5－35 平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと(性別) 上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、女性の方が男性よりも高い傾向となっており、「学校教育の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて教える時間を設けること」は、女性の方が男性より18.7ポイント、「武蔵野市に戦争被害があった歴史を伝えること」も女性の方が男性より10.9ポイント高くなっている。(図表5－35)

図表5－36 平和施策を進めるうえで市が取り組むべきこと(年代別) 上位6項目



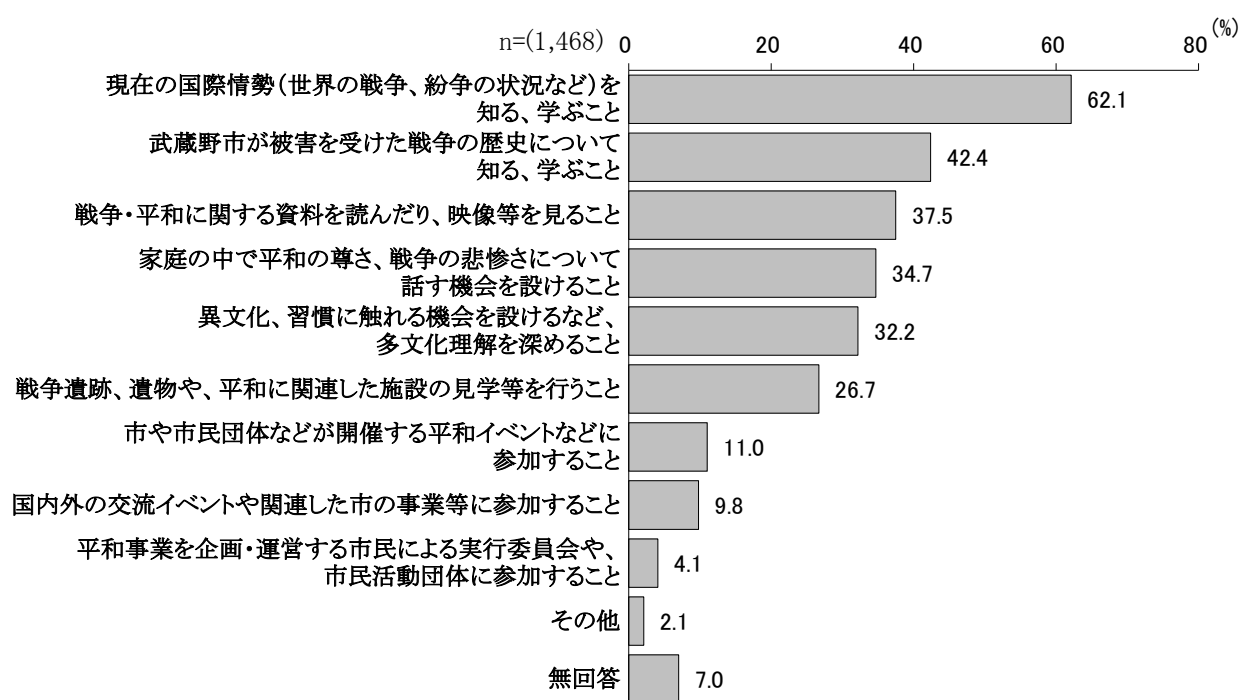
年代別で見ると、「学校教育の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて教える時間を設けること」は、40歳～49歳が6割台後半と最も高く、80歳以上で6割台半ばとなっている。「武蔵野市に戦争被害があった歴史を伝えること」は、80歳以上が6割台半ばと高くなっている。(図表5－36)

5－10 平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身が行き組めること

◎ 「現在の国際情勢（世界の戦争、紛争の状況など）を知る、学ぶこと」が6割台前半で高い。

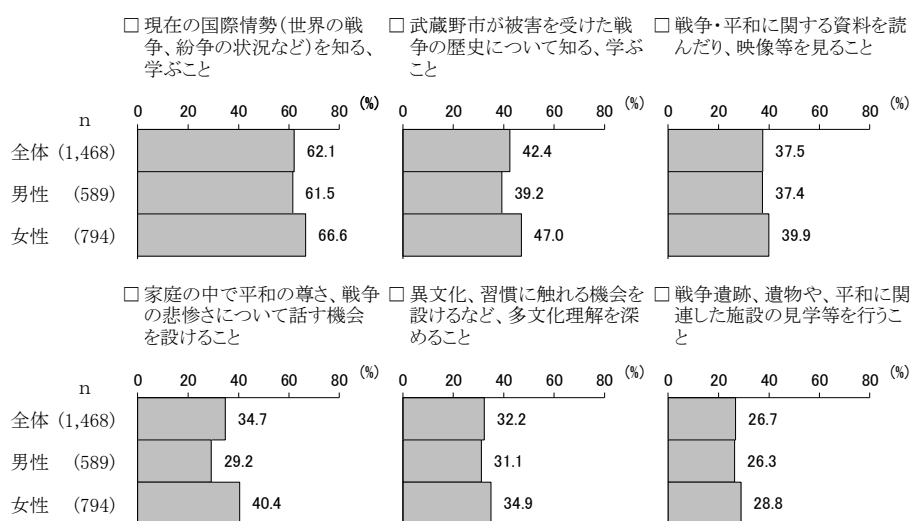
問29 平和の尊さ、戦争の悲惨さを次世代に継承するために、あなたが行き組めることはどのようなことだと思いますか。（○はいくつでも）

図表5－37 平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身が行き組めること



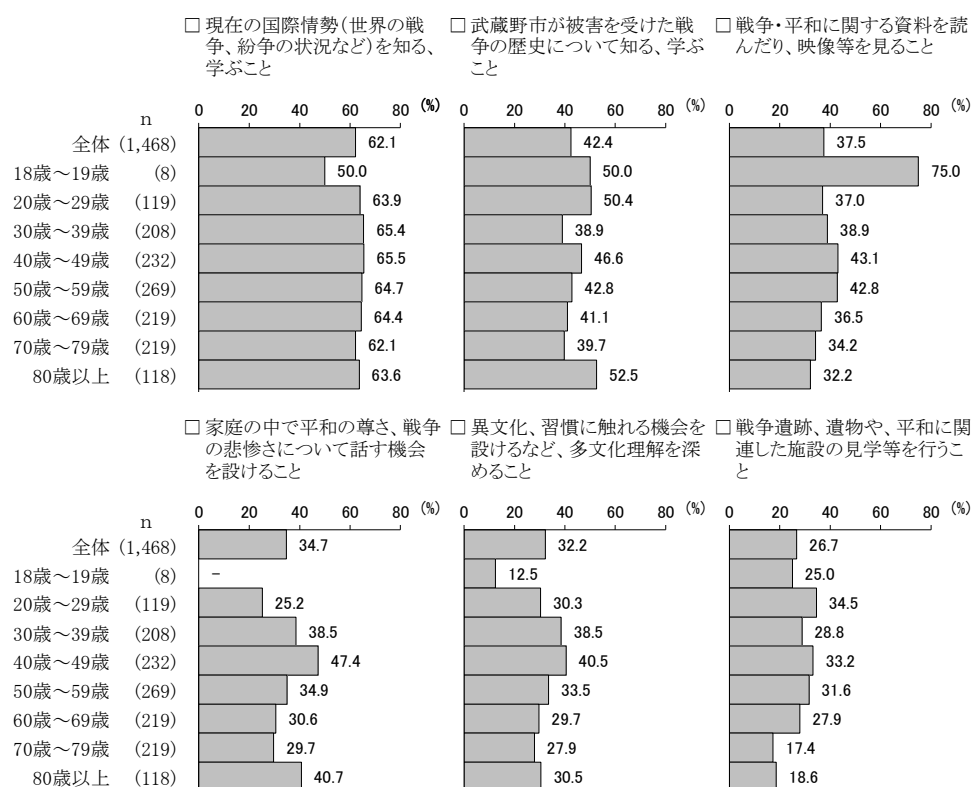
平和の尊さ、戦争の悲惨さを次世代に継承するために自身が行き組めることは、「現在の国際情勢（世界の戦争、紛争の状況など）を知る、学ぶこと」（62.1%）が最も高く6割を超えている。次いで、「武蔵野市が被害を受けた戦争の歴史について知る、学ぶこと」（42.4%）が4割台前半、「戦争・平和に関する資料を読んだり、映像等を見ること」（37.5%）が3割台後半、「家庭の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて話す機会を設けること」（34.7%）が3割台半ば、「異文化、習慣に触れる機会を設けるなど、多文化理解を深めること」（32.2%）が3割台前半と続く。（図表5－37）

図表5－38 平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身に取り組めること(性別) 上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、女性の方が男性よりも高い傾向となっており、「家庭の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて話す機会を設けること」は、女性の方が男性より11.2ポイント、「武蔵野市が被害を受けた戦争の歴史について知る、学ぶこと」も女性の方が男性より7.8ポイント高くなっている。(図表5－38)

図表5－39 平和の尊さ、戦争の悲惨さを継承するために自身に取り組めること(年代別) 上位6項目



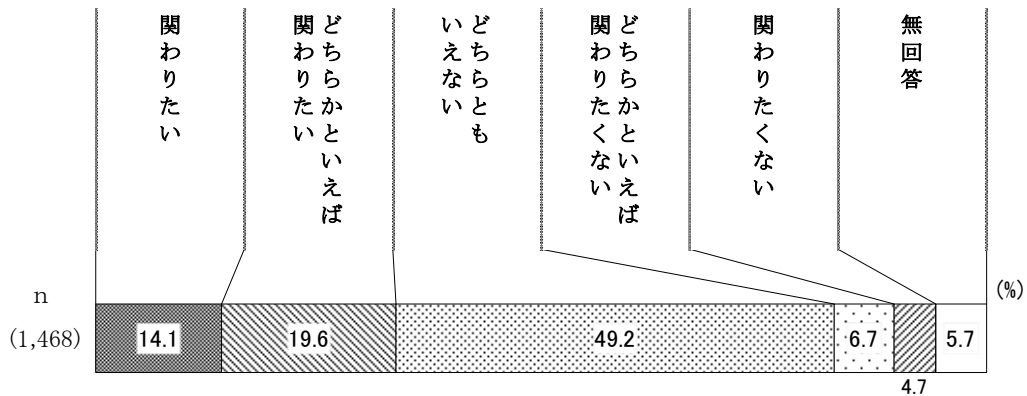
年代別で見ると、「現在の国際情勢(世界の戦争、紛争の状況など)を知る、学ぶこと」は、20歳以上の年代で6割を超えて高くなっている。「武蔵野市が被害を受けた戦争の歴史について知る、学ぶこと」は、80歳以上が5割台前半と最も高くなっている。「家庭の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて話す機会を設けること」は、40歳～49歳が4割台後半と最も高くなっている。(図表5－39)

5-11 武蔵野市在住の外国人との関わりの希望

◎ 「どちらともいえない」が約5割で高い。

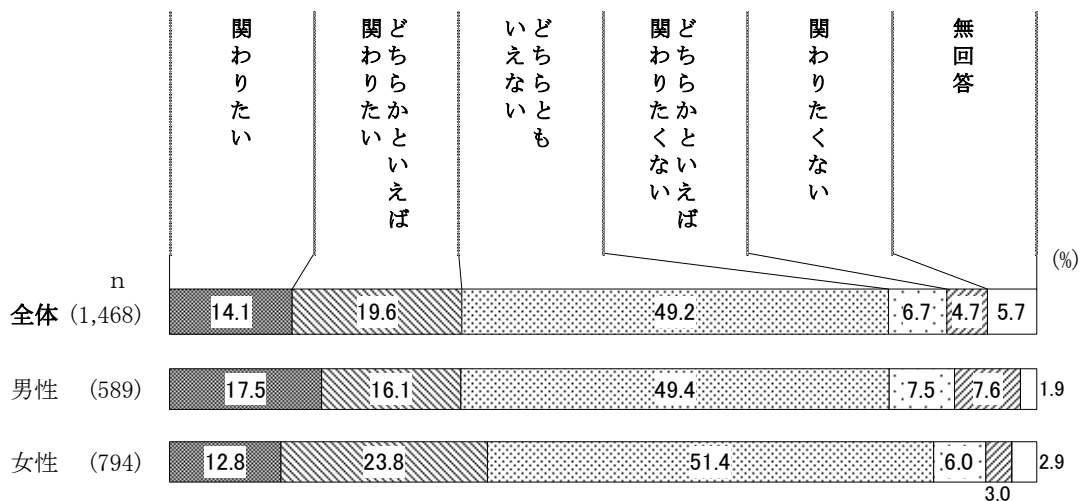
問30 現在、武蔵野市には3,000人を超える外国人（観光客は含みません。）が暮らしています。今後、あなたは武蔵野市に暮らす外国人と関わりたいですか。（○は1つ）

図表5-40 武蔵野市在住の外国人との関わりの希望



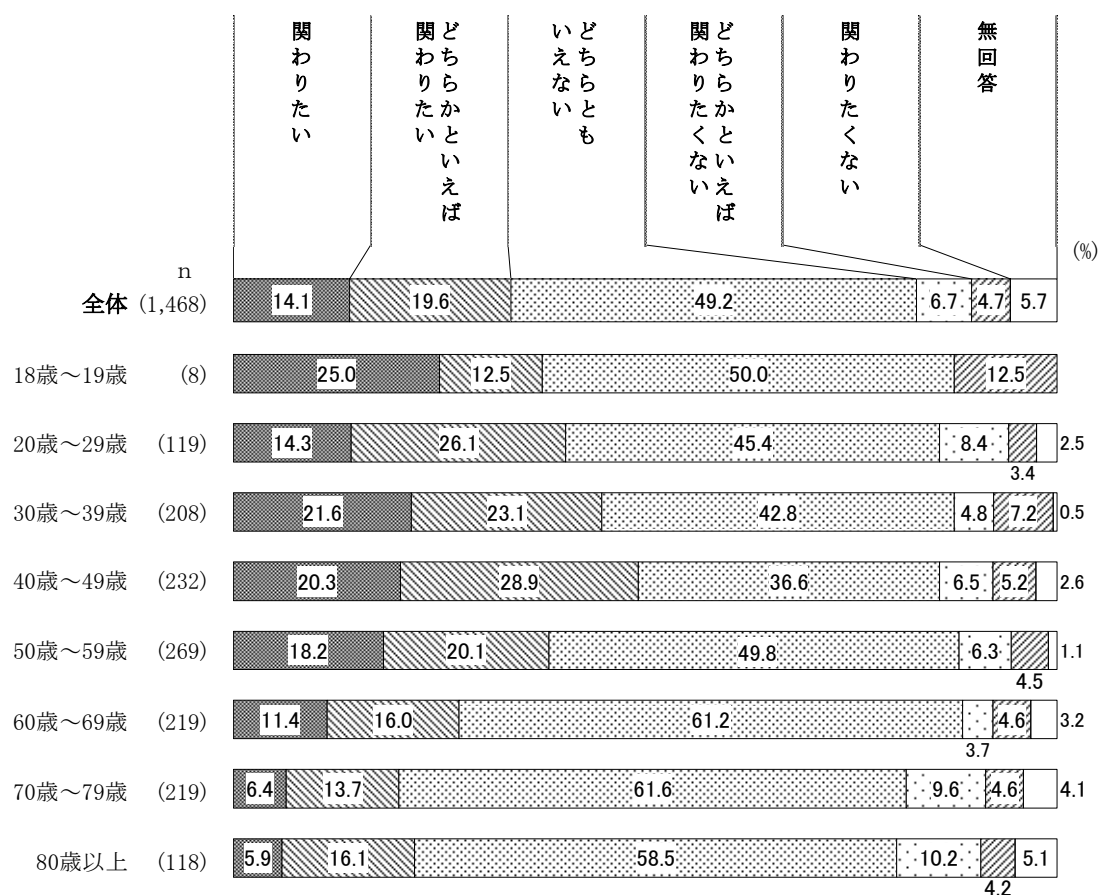
武蔵野市在住の外国人との関わりの希望は、「どちらともいえない」（49.2%）と回答した人が約5割と最も高く、「関わりたい」（14.1%）と「どちらかといえば関わりたい」（19.6%）を合わせた『関わりたい』（33.7%）が3割台前半である。（図表5-40）

図表5-41 武蔵野市在住の外国人との関わりの希望（性別）



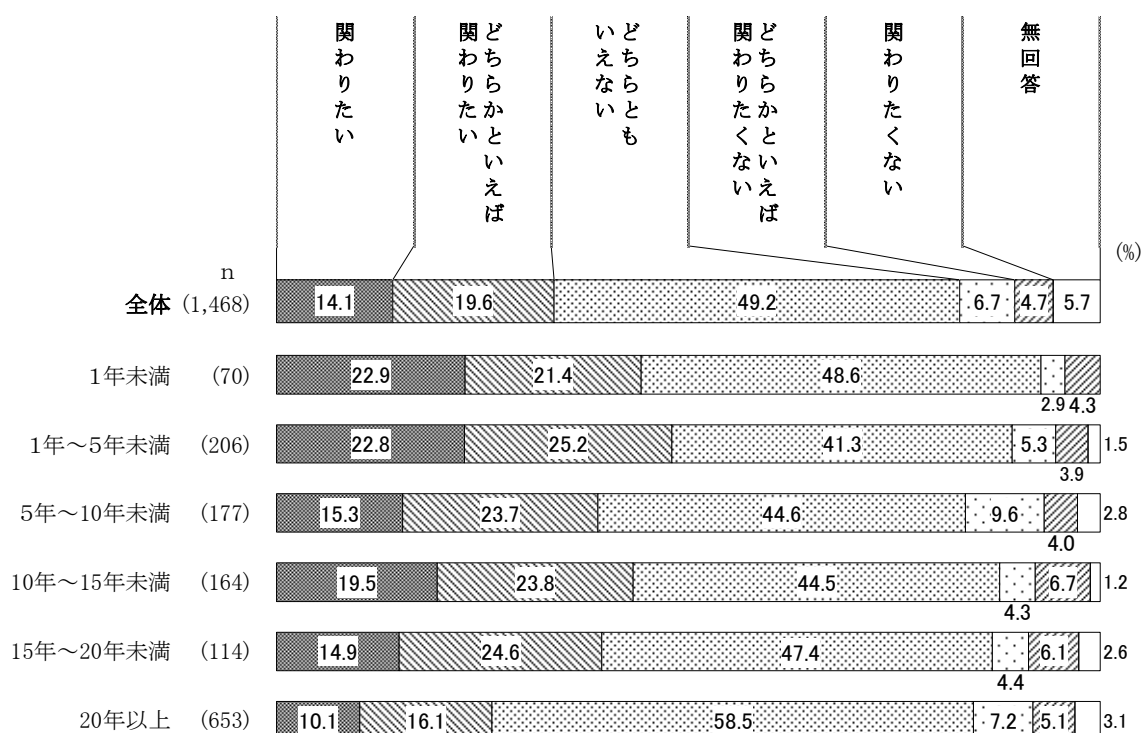
性別で見ると、「関わりたい」は、男性の方が女性より4.7ポイント高くなっているが、『関わりたい』は女性が3割台後半と、男性を3.0ポイント上回っている。（図表5-41）

図表5－42 武蔵野市在住の外国人との関わりの希望（年代別）



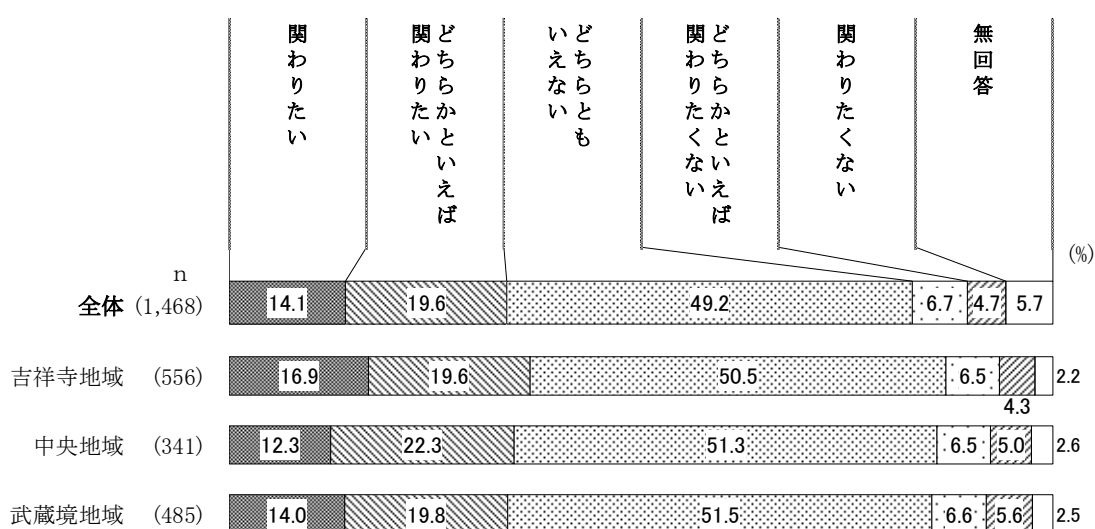
年代別で見ると、「関わりたい」は、30歳～39歳で2割台前半、40歳～49歳で2割と高く、『関わりたくない』は、40歳～49歳で約5割と最も高くなっている。（図表5－42）

図表5－43 武蔵野市在住の外国人との関わりの希望（居住年数別）



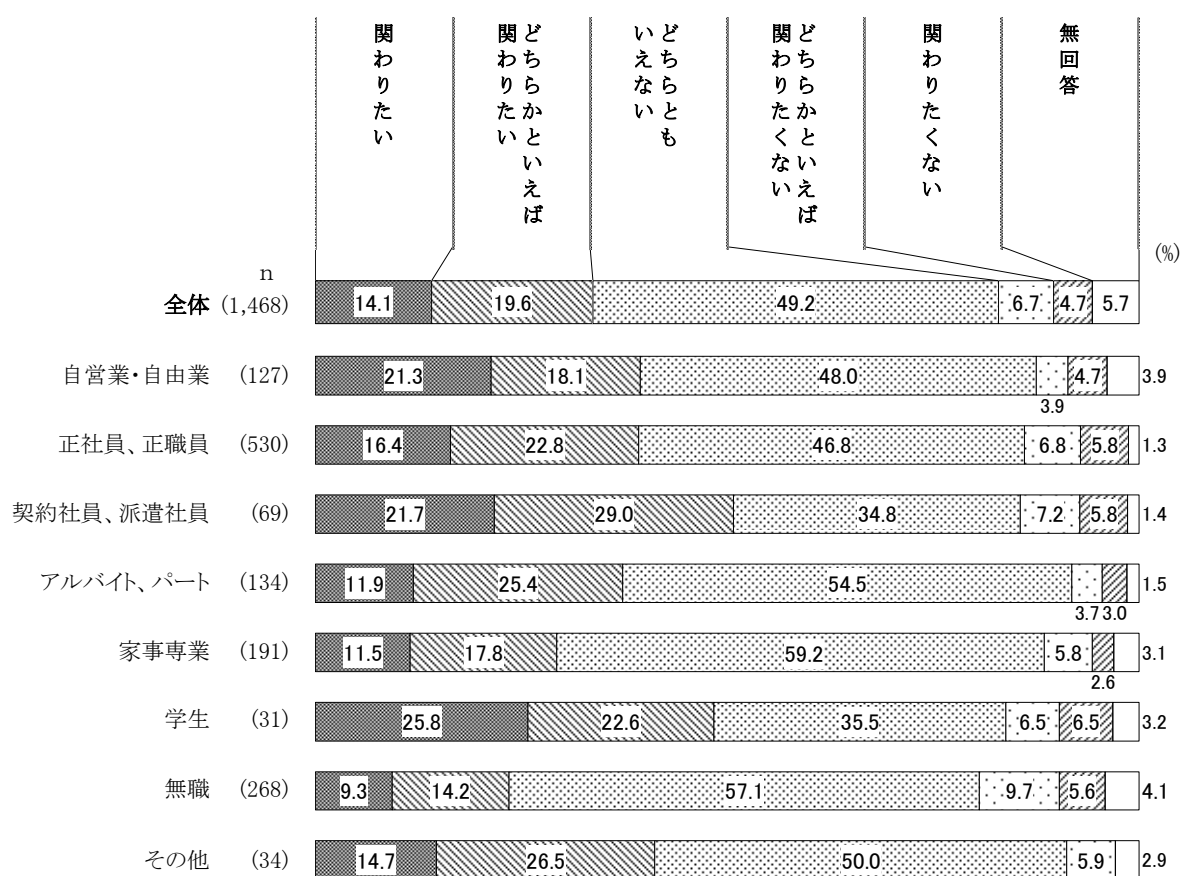
居住年数別で見ると、「関わりたい」は、1年未満、1年～5年未満で2割台前半と高く、『関わりたい』は1年～5年未満で4割台後半と最も高くなっている。（図表5－43）

図表5－44 市内外国人居住者との交流意向（居住地域別）



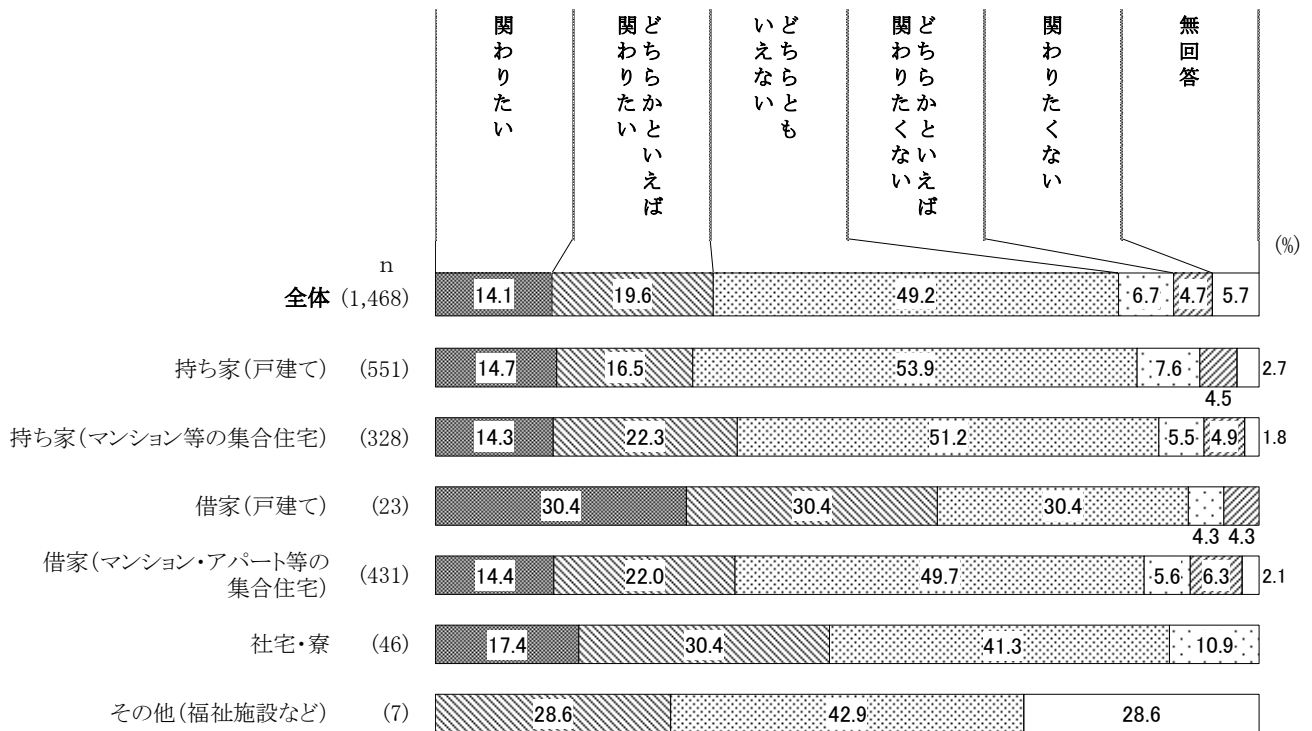
居住地域別で見ると、「関わりたい」は、吉祥寺地域で1割台後半で最も高く、『関わりたい』は吉祥寺地域で3割台後半と最も高くなっている。また、「どちらかといえば関わりたい」は、中央地域で2割台前半と高い。一方、「どちらともいえない」はすべての地域で過半数となっている。（図表5－44）

図表5－45 武蔵野市在住の外国人との関わりの希望（職業別）



職業別で見ると、「関わりたい」は、学生で2割台半ばと最も高く、『関わりたくない』は、無職で1割台半ばと最も高くなっている。（図表5－45）

図表5－46 武蔵野市在住の外国人との関わり方の希望（住宅の種類別）



住宅の種類別で見ると、「関わりたい」は、借家（戸建て）で3割と最も高く、『関わりたい』も6割を超えている。一方で、「どちらともいえない」は、持ち家（戸建て）、持ち家（マンション等の集合住宅）で過半数を超えて高くなっている。（図表5－46）

5-12 希望する外国人との関わり方

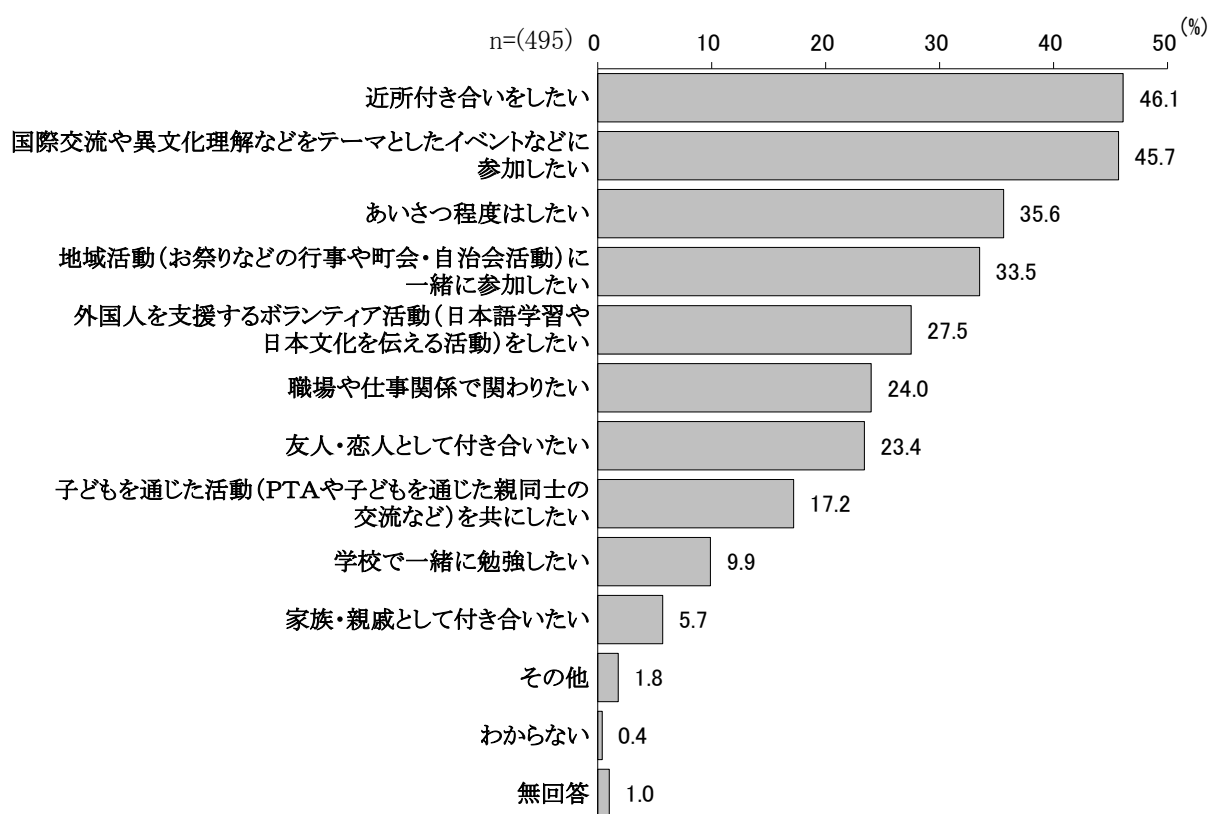
◎ 「近所付き合いをしたい」、「国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい」がともに4割を超えて高い。

【問30で、「関わりたい」、「どちらかといえば関わりたい」を選んだ方にお尋ねします。】

問30-1 あなたは外国人とどのように関わりたいですか。(〇はいくつでも)

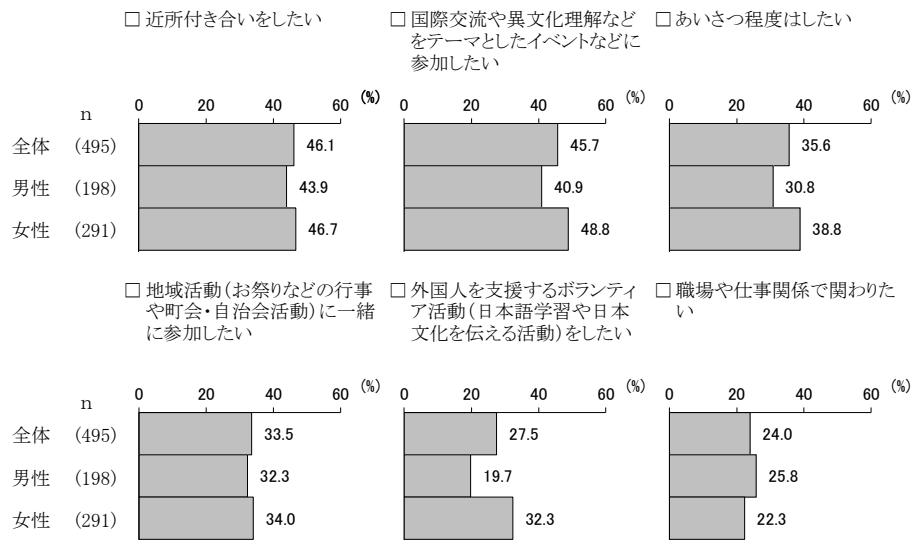
※今現在行っている活動も含みます。

図表5-47 希望する外国人との関わり方



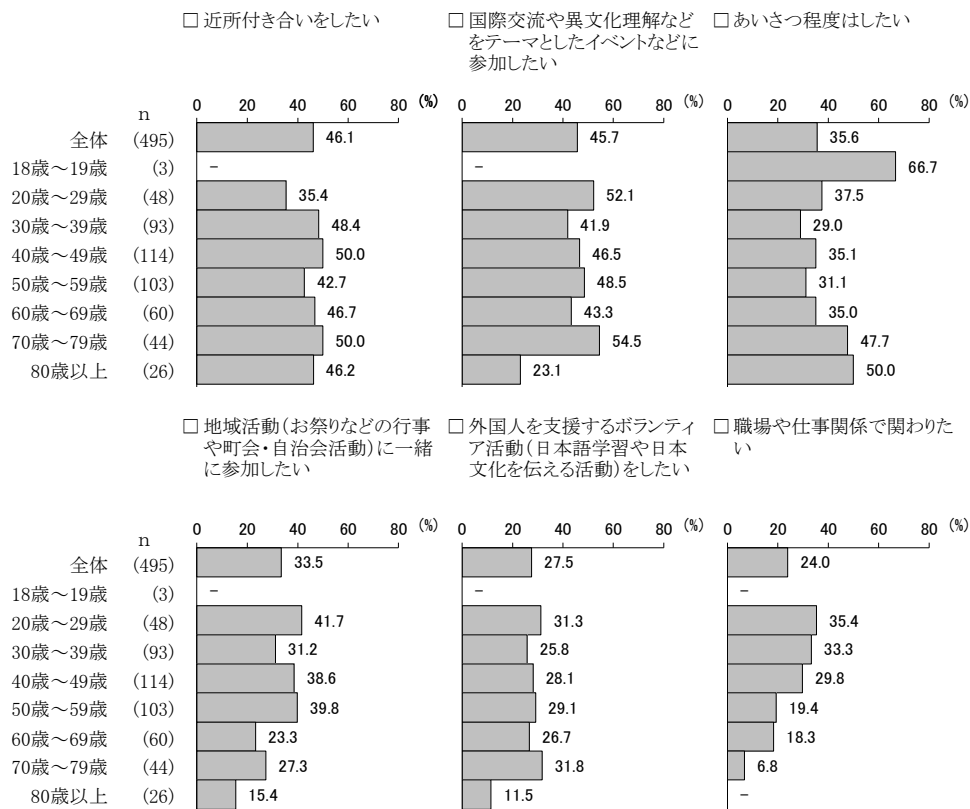
希望する外国人との関わり方は、「近所付き合いをしたい」(46.1%)、「国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい」(45.7%)がともに4割を超えて高くなっている。次いで、「あいさつ程度はしたい」(35.6%)が3割台半ば、「地域活動(お祭りなどの行事や町会・自治会活動)と一緒に参加したい」(33.5%)が3割台前半で続いている。(図表5-47)

図表5－48 希望する外国人との関わり方(性別) 上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、おおむね女性の方が男性よりも高い傾向となっており、「外国人を支援するボランティア活動(日本語学習や日本文化を伝える活動)をしたい」は、女性の方が男性より12.6ポイント、「あいさつ程度はしたい」も女性の方が男性より8.0ポイント高くなっている。(図表5－48)

図表5－49 希望する外国人との関わり方(年代別) 上位6項目



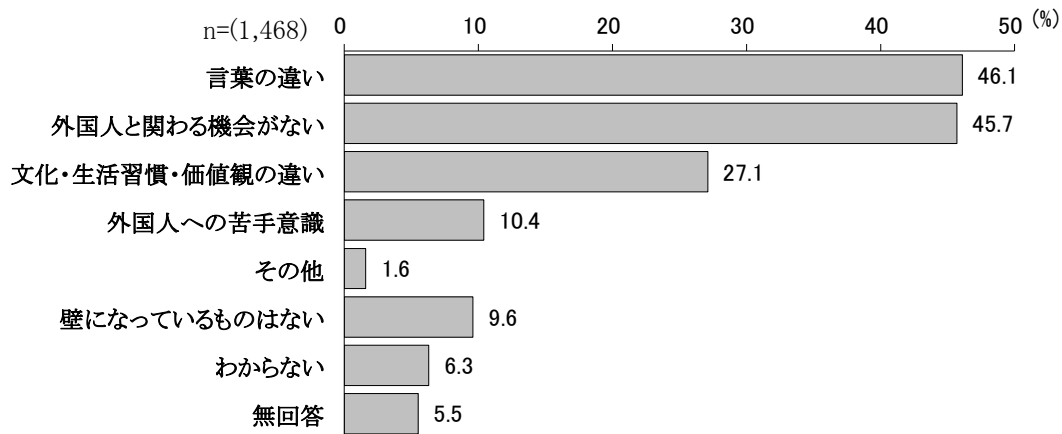
年代別で見ると、「近所付き合いをしたい」は、40歳～49歳、70歳～79歳が5割と高くなっている。「国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい」は、70歳～79歳が5割台半ば、20歳～29歳が5割台前半と高くなっている。(図表5－49)

5-13 外国人と関わる際の支障

◎ 「言葉の違い」、「外国人と関わる機会がない」が4割を超えて高い。

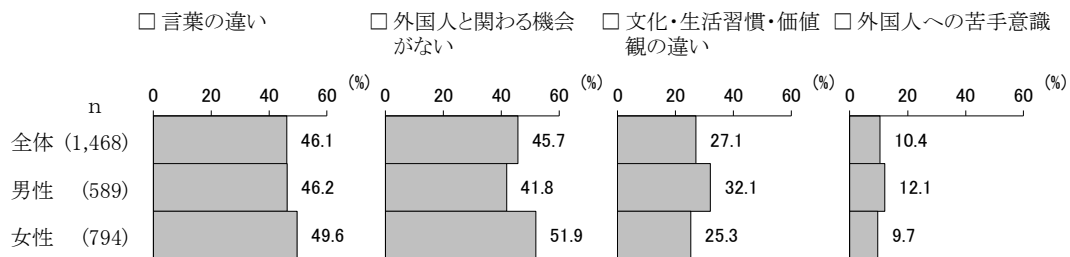
問31 あなたが武蔵野市に暮らす外国人と関わるにあたり、壁になっていると感じるものはありますか。
(○はいくつでも)

図表5-50 外国人と関わる際の支障



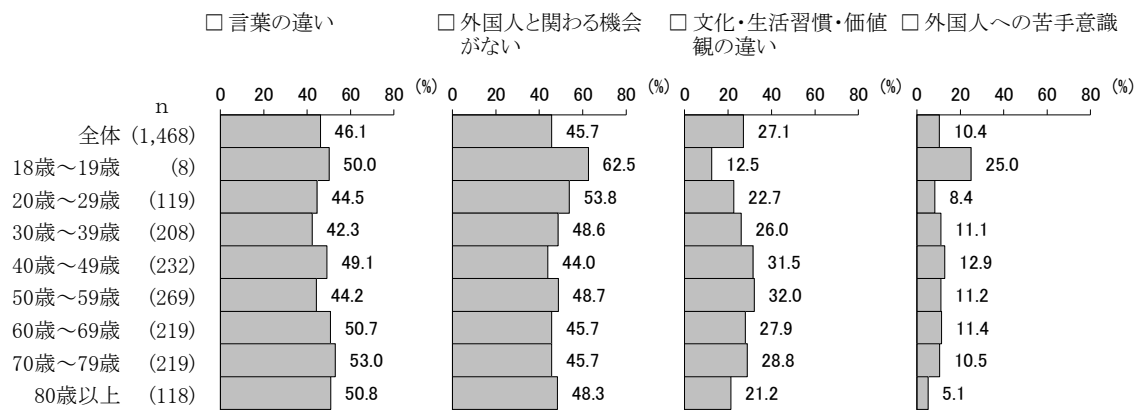
外国人と関わる際の支障は、「言葉の違い」(46.1%)、「外国人と関わる機会がない」(45.7%)がともに4割を超えて高くなっている。次いで、「文化・生活習慣・価値観の違い」(27.1%)が続いている。(図表5-50)

図表5-51 外国人と関わる際の支障(性別)



性別で見ると、「外国人と関わる機会がない」は、女性の方が男性より10.1ポイント高く、「文化・生活習慣・価値観の違い」は、男性の方が女性より6.8ポイント高い。(図表5-51)

図表5－52 外国人と関わる際の支障(年代別)



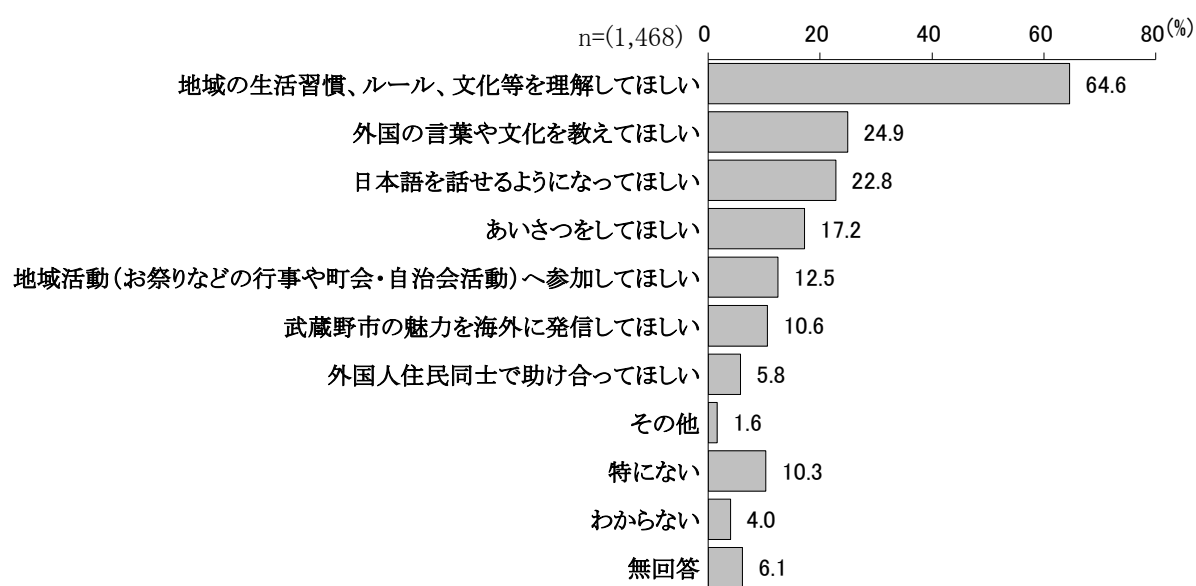
年代別で見ると、「言葉の違い」は、70歳～79歳で5割台前半と最も高くなっている。「外国人と関わる機会がない」は、20歳～29歳で5割台前半と高くなっている。「文化・生活習慣・価値観の違い」は、50歳～59歳、40歳～49歳で3割台前半と高くなっている。（図表5－52）

5-14 外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと

◎ 「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」が6割台半ばで高い。

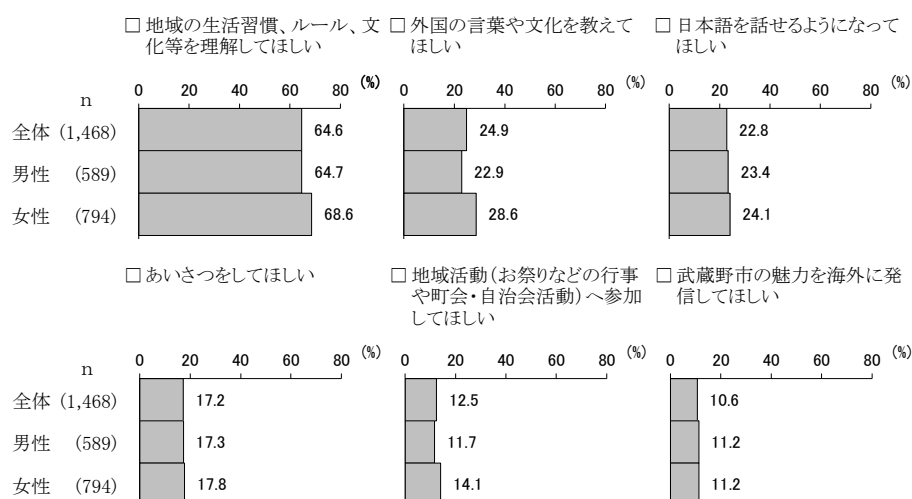
問32 あなたは、武蔵野市に暮らす外国人が地域社会の一員として生活していくうえで、してほしいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

図表5-53 外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと



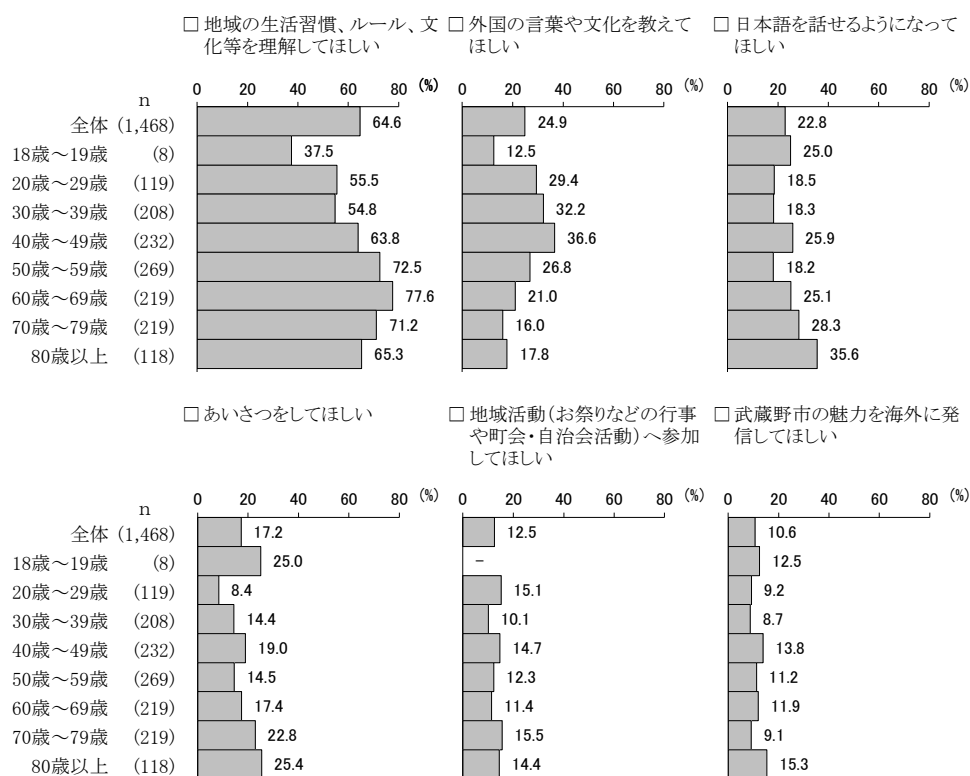
外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うことは、「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」(64.6%)が最も高く6割を超えている。次いで、「外国の言葉や文化を教えてほしい」(24.9%)が2割台半ば、「日本語を話せるようになってほしい」(22.8%)が2割台前半、「あいさつをしてほしい」(17.2%)が1割台後半で続いている。(図表5-53)

図表5-54 外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと(性別) 上位6項目



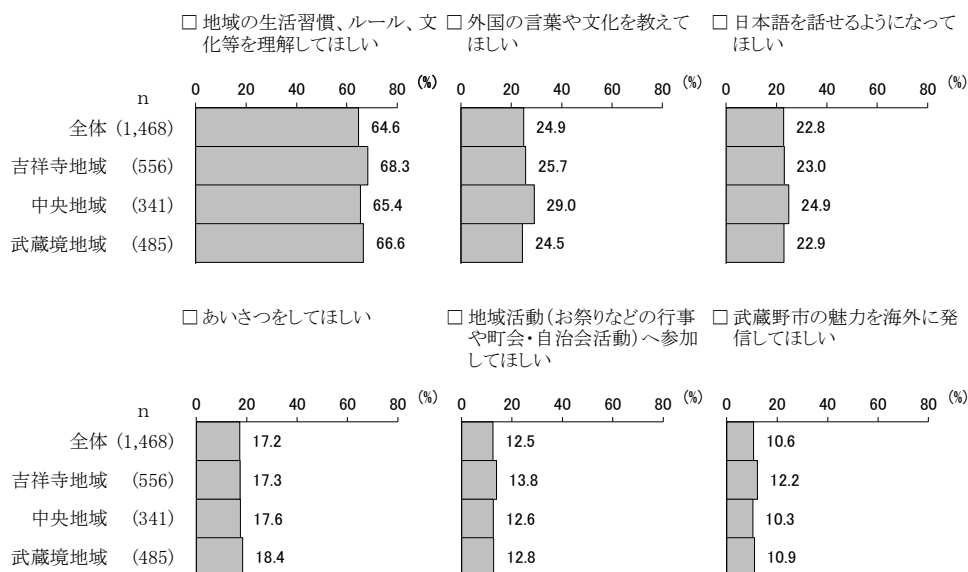
上位6項目について、性別で見ると、おおむね女性の方が男性よりも高い傾向となっており、「外国の言葉や文化を教えてほしい」は、女性の方が男性より5.7ポイント、「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」も女性の方が男性より3.9ポイント高くなっている。(図表5-54)

図表5-55 外国人が地域社会の一員として生活するうえでほしいと思うこと(年代別) 上位6項目



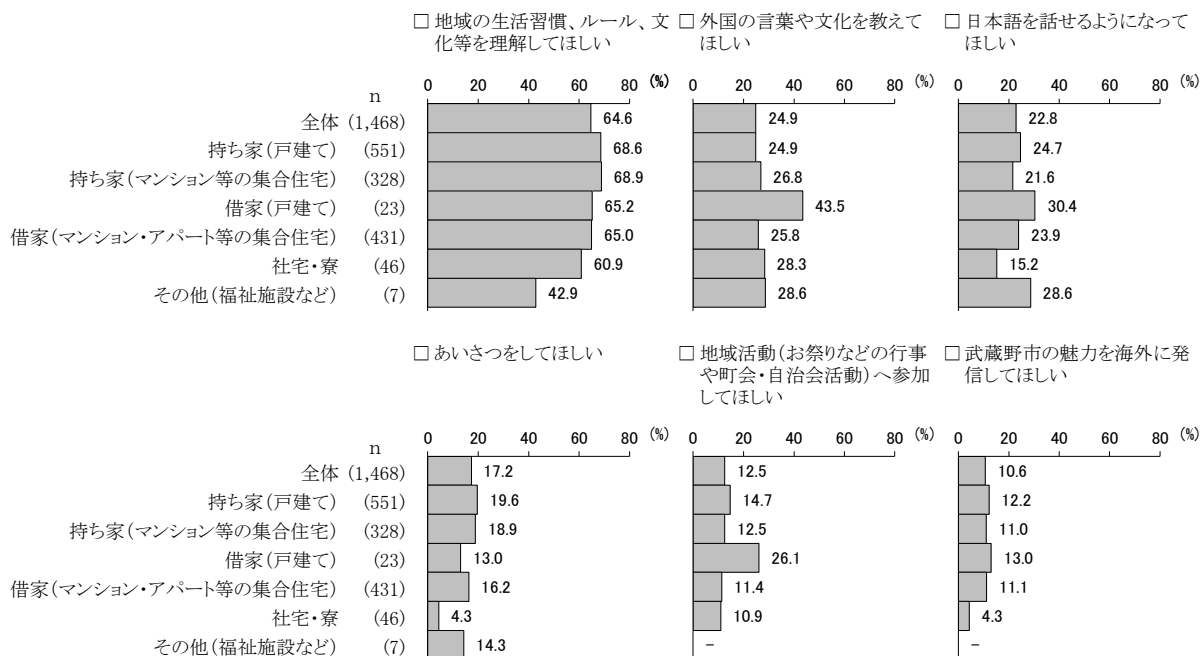
年代別で見ると、「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」は、おおむね年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、60歳～69歳で7割台後半と最も高くなっている。「外国の言葉や文化を教えてほしい」は、40歳～49歳で3割台後半、30歳～39歳で3割台前半と高くなっている。「日本語を話せるようになってほしい」は、80歳以上で3割台半ばと最も高く、次いで70歳～79歳で2割台後半となっている。(図表5-55)

図表5-56 外国人が地域社会の一員として生活するうえでしてほしいと思うこと
(居住地域別) 上位6項目



居住地域別で見ると、「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」は、吉祥寺地域で6割台後半と最も高くなっている。「外国の言葉や文化を教えてほしい」は、中央地域で約3割と最も高くなっている。(図表5-56)

図表5-57 市内外国人居住者に地域の一員として望むこと(住宅の種類別) 上位6項目



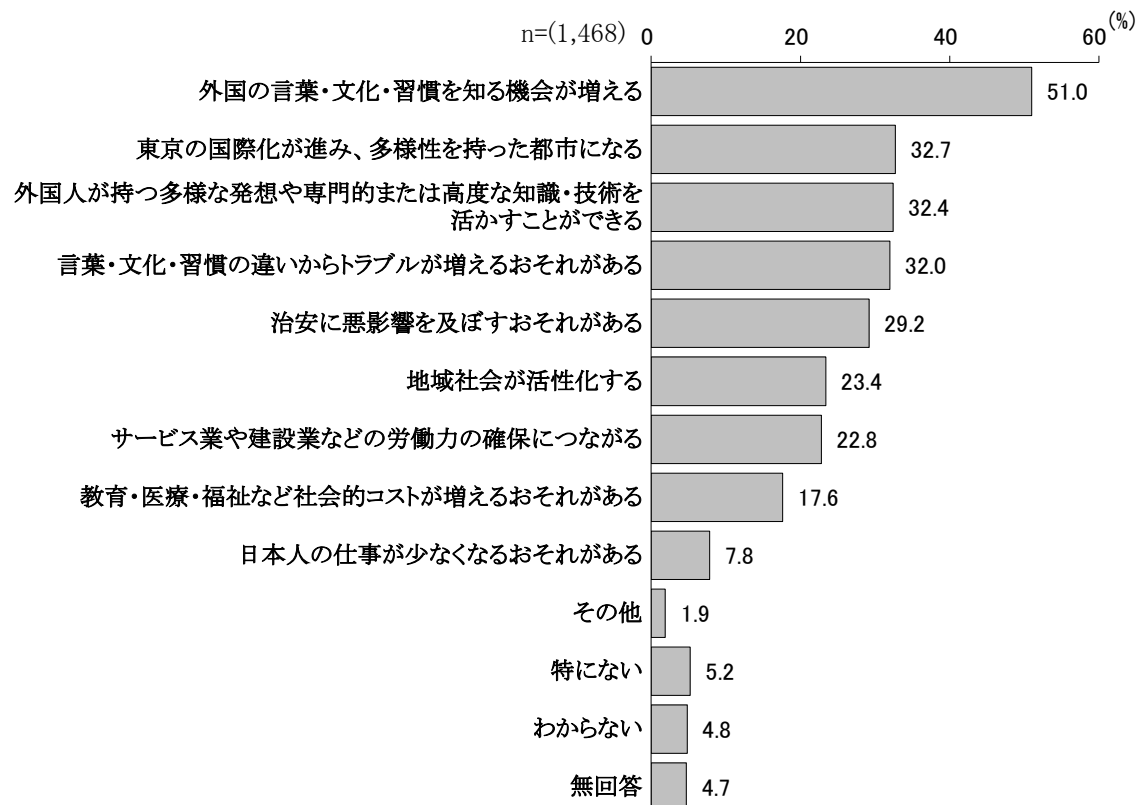
住宅の種類別で見ると、「地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい」は、持ち家(マンション等の集合住宅)、持ち家(戸建て)で6割台後半と高くなっている。「外国の言葉や文化を教えてほしい」は、借家(戸建て)で4割台前半と最も高く、「地域活動(お祭りなどの行事や町会・自治会活動)へ参加してほしい」も借家(戸建て)で2割台後半と最も高くなっている。(図表5-57)

5-15 地域に外国人が増えることによる影響

◎ 「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」が過半数を超えている。

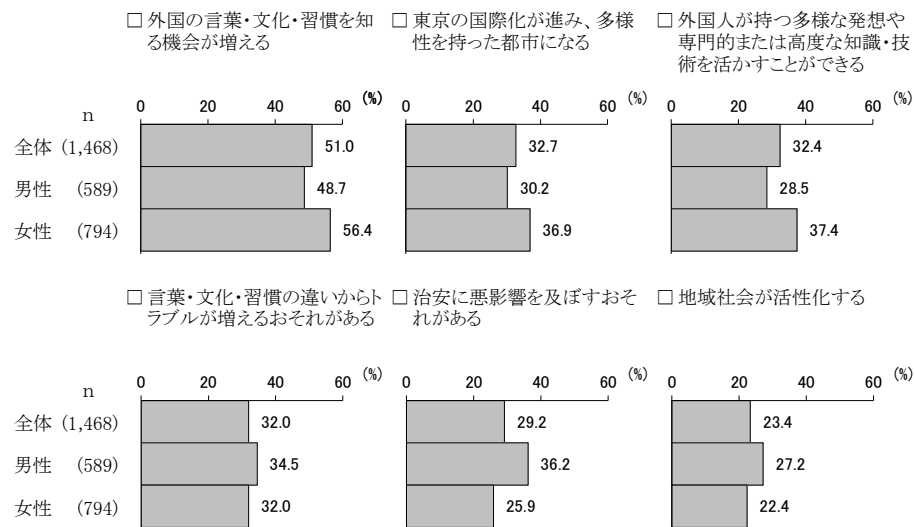
問33 あなたは、地域で活躍する外国人や働く外国人が増えることについて、どのような影響があると思いますか。(〇はいくつでも)

図表5-58 地域に外国人が増えることによる影響



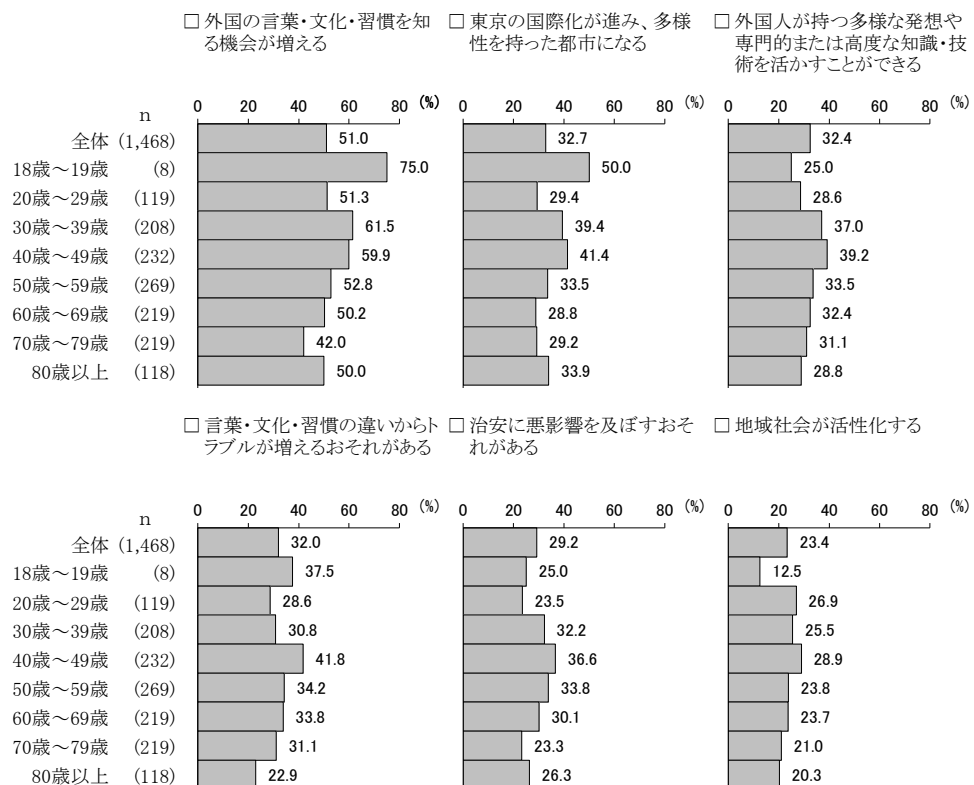
地域に外国人が増えることによる影響は、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」(51.0%)が過半数を超えている。次いで、「東京の国際化が進み、多様性を持った都市になる」(32.7%)、「外国人が持つ多様な発想や専門的または高度な知識・技術を活かすことができる」(32.4%)、「言葉・文化・習慣の違いからトラブルが増えるおそれがある」(32.0%)が3割台前半で続いている。(図表5-58)

図表5－59 地域に外国人が増えることによる影響（性別） 上位6項目



性別で見ると、「外国人が持つ多様な発想や専門的または高度な知識・技術を活かすことができる」は、女性の方が男性より8.9ポイント高く、「治安に悪影響を及ぼすおそれがある」は、男性の方が女性より10.3ポイント高い。（図表5－59）

図表5－60 地域に外国人が増えることによる影響（年代別） 上位6項目



年代別で見ると、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」は、30歳～39歳で6割台前半と高くなっている。「東京の国際化が進み、多様性を持った都市になる」、「言葉・文化・習慣の違いからトラブルが増えるおそれがある」は、40歳～49歳でともに4割台前半と高くなっている。（図表5－60）

図表5－61 地域に外国人が増えることによる影響（居住地域別） 上位6項目



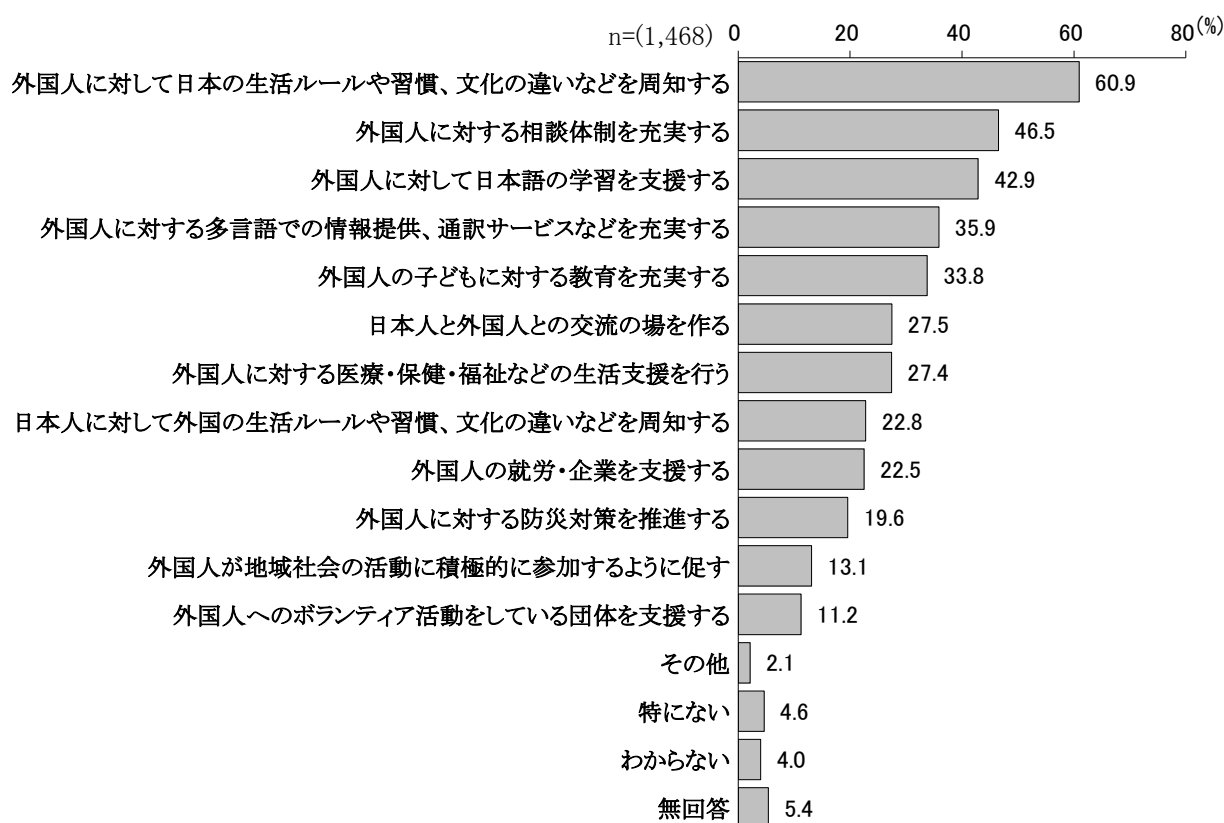
居住地域別で見ると、「外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える」は、吉祥寺地域、中央地域とともに5割台半ばと高くなっている。「言葉・文化・習慣の違いからトラブルが増えるおそれがある」は、武蔵境地域、中央地域とともに3割台半ばと高くなっている。「治安に悪影響を及ぼすおそれがある」は、吉祥寺地域で3割台前半と最も高くなっている。（図表5－61）

5-16 多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと

◎ 「外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」が6割を超えて高い。

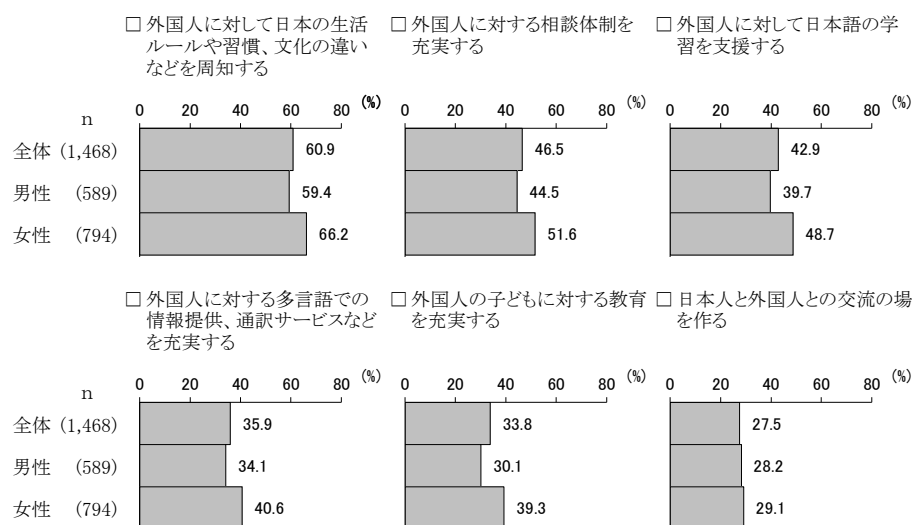
問34 多文化共生の社会づくりに向けて、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(〇はいくつでも)

図表5-62 多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと



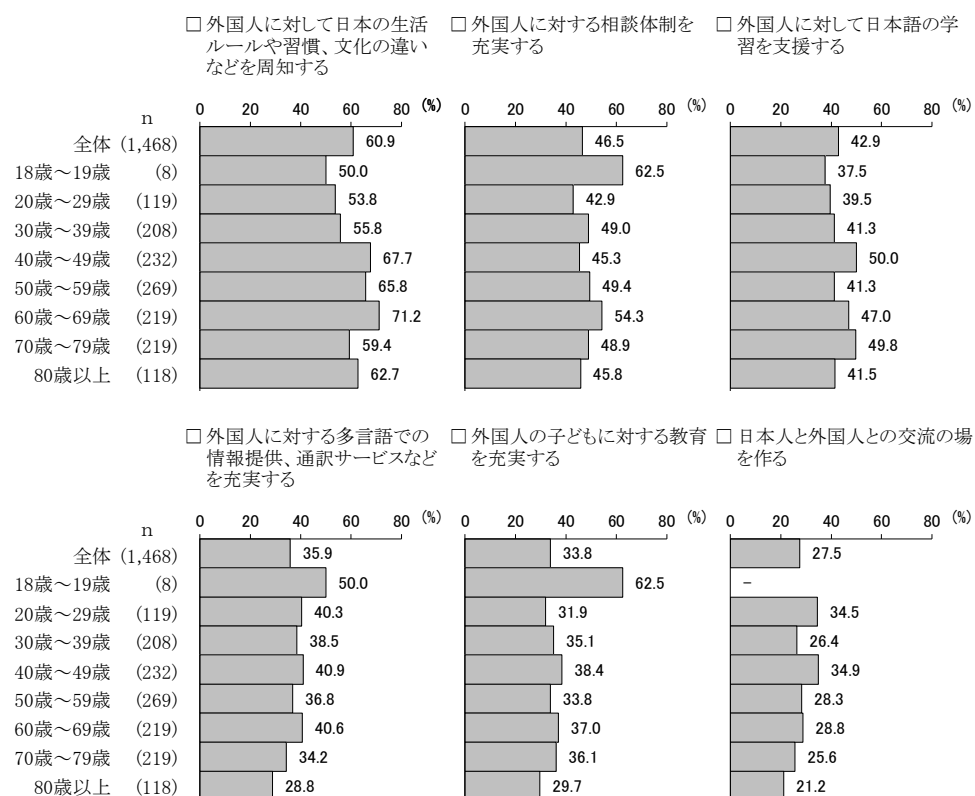
多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきことは、「外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」(60.9%)が6割を超えて最も高くなっている。次いで、「外国人に対する相談体制を充実する」(46.5%)が4割台後半、「外国人に対して日本語の学習を支援する」(42.9%)が4割台前半、「外国人に対する多言語での情報提供、通訳サービスなどを充実する」(35.9%)が3割台半ば、「外国人の子どもに対する教育を充実する」(33.8%)が3割台前半で続く。(図表5-62)

図表5－63 多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと(性別) 上位6項目



上位6項目について、性別で見ると、おおむね女性の方が男性よりも高い傾向となっており、「外国人の子どもに対する教育を充実する」は、女性の方が男性より9.2ポイント、「外国人に対して日本語の学習を支援する」も女性の方が男性より9.0ポイント高くなっている。(図表5－63)

図表5－64 多文化共生の社会づくりに向けて行政が力を入れるべきこと(年代別) 上位6項目



年代別で見ると、「外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する」は、60歳～69歳で7割台前半と最も高くなっている。「外国人に対して日本語の学習を支援する」は、40歳～49歳で5割、70歳～79歳で約5割と高くなっている。(図表5－64)

6 平和・多文化共生についての自由回答

平和・多文化共生に関する市の政策についての意見、要望として合計308件の回答が寄せられた。一人の回答が複数の内容にわたる場合には、本文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分けて分類・整理したため、合計件数は延べ件数となる。

なお、下記の項目に該当しない回答が29件あった。

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載する。なお、固有名詞や長文等は一部省略等している場合がある。

6-1 多文化共生(237件)

分類	内容	性別	年齢	地域
武蔵野市住民投票条例案に関する意見	外国人の方達に選挙権を与えるのに賛成です。そこに居住する以上、責任と自覚を持ってもらう事の方が重要だと思います。	男性	50 歳～59 歳	中央地域
	住民投票は、外国出身の住民もできるようにした方がよいです。外国人であろうとなかろうと、武蔵野市に住んでいるのであれば、住民として意見が言えるようにすべきです。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	外国籍の方に選挙権といいだすのはやめた方がいいと思います。差別等ではなく、ただ単純に永住する気がない人に選挙権を与えても、おかしい方向に傾くだけです。自分は海外に住んでいましたが、選挙権がほしいと思ったことはなかったです。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	外国人の投票は反対です。	男性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	国籍によって受けられるサービスは明確に区別されるべきです。現在 3,000 人を超える外国人が武蔵野市に暮らしていますが、その方達の意見を取り上げたいのであれば、今回のようにアンケートを実施すれば充分ではないでしょうか。外国籍市民が住民投票資格を持つことに反対です。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	外国人が市政に参加するには、市のしくみや市民についての理解がある程度できるようになってからが望ましいです。市在住 5 年以上などと、規制を設けた方が、より健全な行政であると言えます。	男性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
	市政への参加は在住歴や日本人の何割などと条件をつけるべきです。選挙権目当ての外国人の人数が増えすぎると、破綻すると思います。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	住民投票権の件は準備不足だったように感じます。	男性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
共生・理解・支援・交流	私の母は、介護施設で外国人の方々のお世話になっています。母の生活を支えてくださっている方々が、不安や心配事なく武蔵野市で過ごしていただきたいと願っています。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	市役所職員として外国人を採用するのはいかがでしょうか。市の施設、行政の案内係として育て、市民と触れ合う機会を多くしたら良いと思います。	男性	70 歳～79 歳	中央地域
	外国人と気軽に集える場を企画して欲しいです。	男性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	外国にルーツのある子どもや家族への教育支援を充実させてほしいです。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
施策、行政への意見	日本の少子高齢化は更に進み、人手不足は深刻化するので今後移民政策を変更し、外国人を積極的に採り入れないと、立ち行かなくなります。自治体も政府と協力して、外国人受入れ体制（法的に）を進めるべきです。	男性	80 歳以上	吉祥寺地域
	多文化共生を武蔵野市民が求めているのかよく考えて頂きたいです。外国人が 3,000 人以上いて、発言力を持ってきたから彼らの住みやすい街づくりをする必要があるのでしょうか。多民族国家がどのような問題を抱えているのか、相互理解という理想論が通用するなら現在のような問題は生じていないはずです。	男性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	夫は外国人です。外国人が住みやすい、住みたくなる街をつくることは武蔵野市の魅力を高めると思います。近くにはアメリカンスクール、ＩＣＵもありますので、国際的な街にする要素は充分あると思います。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	外国人だからといって外国人向けにあえて政策を行う必要はないのではないのでしょうか。「外国人としての扱い」を強く考慮することがかえって共生の妨げになっているのではないかと思います。外国人のためにというより市民のために、という政策で十分です。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	日本は多文化共生には地理的に不慣れで、しかも、日本のようなケースは外国には前例がないかもしれないので、そのような社会づくりを進める場合には、何からはじめるにせよ、適宜修正の繰り返しとなると思います。	男性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	日本人を冷遇しないで欲しいです。	男性	40 歳～49 歳	中央地域
	日本人ファーストの事業を推進して欲しいです。	男性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
治安・トラブル	治安に関して、犯罪が多くなってきており、子どもたちの登下校の不安があります。きれいな街を維持していきたいです。他の国でも移民受入れや共生を実施した国でも、治安の悪化やその国の人たちとの衝突が見られます。	男性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	平和は賛成です。多文化共生はあまり望んでいません。治安が悪くなります。	男性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
外国人への情報提供・相談窓口の充実	共生も必要な政策なのかもしれませんが、それ以前に武蔵野市に住んでいる外国人の方達が何に困っているのか把握出来るよう相談窓口を充実した方がよいと思います。（外国人の方達に限らず、市民の方達全員に言えることです）	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	多言語での情報発信ができるとよいと思います。	男性	50 歳～59 歳	中央地域
暮らしのルール・マナー	外国人が日本、または武蔵野市に増えてきて感じるのは、生活ルールや習慣の違い、町内、住居の周りなどがきたなく、ゴミが多いことです。	男性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	お互いの国の文化、宗教を理解して、尊重したうえで、郷に入れば郷に従えというように、武蔵野市の住人になっていってほしいです。特別に優遇し過ぎるのはどうかと思います。例えば東京都の「外国人起業家の資金調達支援事業」は明らかにおかしいです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
偏見・差別の是正	言葉や文化が互いに違う中で、理解し合うことは容易ではありませんが、人として差別することなく関わりをもつことは今後とも必要かと思います。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
国際交流	多文化共生は自治体によって異なると思いますが武蔵野市の政策に関しては特に具体的にどのような情報を発信しているか見えてきません。オリンピックを目標にルーマニアとのホストタウンという情報がありましたが、オリンピックの終了と共に終わるということは知りませんでした。具体的な継続があってもよかったと思います。	男性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
「外国人」と一括りで考えない	まず外国人と一括りにして表現することに欺瞞を感じます。日本と同じ民主主義的価値観を共有する諸外国から自分の意志で来日する親日的な外国人と、中国のような専制国家から来日して就労する外国人を同列に語ることはとても危険です。多文化共生などという耳障りの良い言葉でサイレントインベージョンの本質から目を逸らさせるような安易な政策を立案すべきではありません。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
学校教育	学校で子供たちがもっと国際的なテーマや文化について学ぶ機会が増えるといいと思います。外国や外国人や外国語に触れる機会が少なすぎると思うためです。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
「日本人」、 「外国人」と分けない	『外国人』というカテゴリーを強調しすぎないようにしてほしいです。あくまでも「すべての住民(国籍を問わず)」というカテゴリーで行政サービスや市民の権利を市民全員が平等に受けられるような仕組み作り進めてほしいです。「外国人」というレッテルを行政側から作ってしまうという本末転倒なことになるのは避けてほしいです。	男性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
他国のことより 自国のことをもっと知るべき	日本人は他国文化を学ぶ前に、自国の文化をもっと学ぶべきだと思います。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域

6-2 平和(42件)

分類	内容	性別	年齢	地域
平和を望む	ロシアのウクライナ侵攻は既に8ヶ月に及んでおり、ニュース等で戦争の悲惨な状況を映像で見るたびに心を痛めています。あまり過去の戦争の話題には触れたくないと思いますが、終戦記念日が近づくといやでも新聞やテレビで悲惨なニュースに接することに心が暗くなります。いつまでも平和な時代が続くこと願っております。	女性	70歳～79歳	武蔵境地域
	平和は大切なことです。戦争だけが平和を伝える手段ではないと思います。	女性	50歳～59歳	中央地域
子どものうちから平和の大切さを教育	せっかく中島飛行場跡地に市役所、公園、競技場等が立地しているのに、空襲情報だけが伝えられている気がします。当時市民だったであろう多数の従業員の生活、戦前から何を作りどんな役割があったのか総合的な情報を後世（学校で）に積極的に伝えることが平和教育だと思います。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
	やはり小さい頃から、日本であった戦争の知識をしっかり伝えるのが重要と感じています。その上で自分でどうすれば回避できるのか考えるよう導くべきです。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
善悪含めた記録・記憶の伝承	平和の尊さ、戦争の悲惨さは、教えるより実際広島・長崎・沖縄に行って目にし話を聞いて感じる事が大切だと思います。学校や家庭で広島や長崎や沖縄で学べる機会を与えられる助成があればと思います。	女性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	遺品などは貴重な資料になるのでぜひとも平和博物館を作ってください。	男性	40歳～49歳	中央地域
市政への要望・意見	他の市の駅前で『核反対宣言都市』の大きなモニュメントを見たが、みっともないから止めて欲しいです。当たり前な事を議論していると思うと悲しいです。	男性	70歳～79歳	武蔵境地域
	抽象的な「平和」ということを議論したり、教育することよりも、普段の日常の生活を平和にし、外国人も日本人も一緒に生活しながらお互いの良さを学び合い、良くない点は理解したり、修正し合ったりして暮らすことを、支えて行くことが行政の仕事であると思います。	男性	70歳～79歳	吉祥寺地域
	就学期には市の平和に関連した市政に触れることができたが、成人した現在は日々の生活の中でそのようなことを感じる機会はありません。もう少しアピールしたほうがいいのではないのでしょうか。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
日本を取り巻く 国際情勢	平和に関心があっても実際は趣味のようなものです。それを知ったからといって何かできるわけではありません。今は平和な時代だから平和だと気付かない人がほとんどです。何が平和なのか、なんで平和なのか、どうしたら平和でいられるのかを考え知ることの方が大事なのではないのでしょうか。そしてもし、その平和が今のウクライナの様になくなり戦争が起きたらどうしますか。武蔵野市はどうしますか。そういう事を考えていく時期なのだと思います。	女性	50 歳～59 歳	中央地域
	武蔵野市だけに限らず日本は島国のため、周辺のアジア諸国だけでなく世界情勢について若干他人事のように過ごしていると思います。何ができるのか具体的な政策は直ぐに思い浮かびませんが分かりやすく今起こっている世界の出来事や真実を市政やY o u T u b eなどの情報発信を使って伝えるなど何かすべきだと思います。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
戦争の懸念	平和を唱えても戦争はなくなりません。むしろ平和を追い求める余り、戦争に引き込まれるおそれもあります。	男性	80 歳以上	中央地域
	平和に関しては自治体での活動には限界があると思うと同時に市民の平和意識だけでは戦争が防げないのはウクライナを見ても明らかです。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域

7 市政についての自由回答

市政についての意見や要望、市政に対するアイデアとして合計357件の回答が寄せられた。一人の回答が複数の内容にわたる場合には、本文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、これを武蔵野市第六期長期計画における施策体系に沿って分類・整理したため、合計件数は延べ件数となる。なお、下記の項目に該当しない回答が24件あった。

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載する。なお、固有名詞や長文等は一部省略等している。

7-1 健康・福祉(24件)

分類	内容	性別	年齢	地域
まちぐるみの支え合いを実現するための取組み	勝手ですがこれから先の高齢者福祉の仕組みに関する資料がもっとはっきりしたものがあるといいなと強く感じます。皆さん口伝えであつてはこうすればの迷いが余りに多過ぎる様に思われます。	女性	80 歳以上	武蔵境地域
	障がい者向けにグループホームをもっとたくさん作って運営してほしいです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
生命と健康を守る地域医療充実への取組みと連携の強化	子育て支援施策も重要ですが、同じくらい高齢者施策や介護者支援にも力を入れてほしいです。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	高齢者福祉は充実していると感じていますが、年齢を重ねても元気に生きて行けるように、介護を必要としないような人を増やせるようにして欲しいです。高齢者総合センター、社会活動センターの講座や健康づくり支援センターの講座と、地域健康クラブ etc. 60 才以上の人達が誰でも気軽に参加出来るよう充実させて欲しいです。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実	産後ケアに力を入れるのはどうでしょうか。少子化、妊産婦の高齢化で産後２ヶ月までのケアがあると心身ともに回復も早く育児の波に乗りやすいのではないのでしょうか。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
	生活弱者に対する保護や支援に対する線引きをもっと明確にすべきではないのでしょうか。	男性	60歳～69歳	中央地域
	他の自治体に比べて障がい者福祉が充実していて暮らしやすいと思う場面がよくあります。就労施設も多いように思います。今後ますます充実して、障がいがあってもなくても、当たり前で暮らしやすい地域になったら良いと思っています。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
新しい福祉サービスの整備	寝たきりの人のマイナンバーカードの申請ができないので困っています（背景白のみなどのきまりがあるため）。これから単身世帯の高齢者や子供のいない高齢者がさらに増えていきますが、元気なうちに入居できて死後の手続きまでしてもらえるような施設あるいは仕組みがほしいです。死後は全財産を市が引き継ぐのを条件にしてもよいと思います。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域

7-2 子ども・教育(27件)

分類	内容	性別	年齢	地域
子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	将来を考えると子育て関連でお世話になることがあるかもしれないので、そちらが充実しているとより住みやすい街になると思います。	女性	20歳～29歳	中央地域
	子育て支援に力を入れてほしいです。特に収入による制限を設けないでほしいです。高所得世帯であっても、子育てにかかる負担が大きいことは変わりません。	女性	20歳～29歳	武蔵境地域
安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	武蔵野市は乳児の子育てについて、支援が充実していると思います。子育てがしやすいため、今後も住み続けたいと思っています。保育園への入りやすさ、質の高い保育（人員不足解消など）が実現することを希望しています。	女性	20歳～29歳	吉祥寺地域
	待機児童がいないとはいえ、認可保育園に入園させるのに苦労が伴います。親が不安なく保育園に入園させることができるよう、認可保育園の拡充を図ってほしいです。	女性	30歳～39歳	吉祥寺地域
子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実	小学校4年生以上になると学童が使えなくなります。その際、友だちと家の外で遊ぶことが増えると思うので、子どもの遊び場を増やしてほしいです。	女性	40歳～49歳	中央地域
子どもの「生きる力」を育む	市立小学校のセカンドスクールは、長期間過ぎるのもっと短期間にしてほしいです。着替えなども含め買い揃えなければならない物も多く準備も負担です。一週間もの間、塾を休むことになり、追いつくのも大変で子どもにとっても負担が大きいです。近隣の自治体と比べても長いので、もっと短くてよいと思います。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
	学校のオンライン授業など主に教育に関連するICT化の促進を迅速に実行願います。とても後進的です。	男性	50歳～59歳	武蔵境地域
教育環境の充実と学校施設の整備	青少協のあり方、予算など見直す必要があると、PTA役員として活動した際に思いました。親子運動会など、PTAにも負担がかかる行事は縮小、廃止してもいいのではないかと思います。青少協の存在がPTAの負担にしかかっていないと感じた役員1年間でした。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域

7-3 平和・文化・市民生活(62件)

分類	内容	性別	年齢	地域
多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築	ジェンダー、年齢、国籍などすべての市民が等しく尊重される社会であることを祈ります。	女性	30歳～39歳	中央地域
	パートナーシップ制度の導入はとても良いと思います。いま世間でマイノリティとされている人々のみならず、自分はマジョリティ側だと思っている人たちにも働きかけるような施策やイベントなどがあると更に良いかと思います。	女性	30歳～39歳	武蔵境地域
	武蔵野市は全国のなかでも生活環境がとても整っていると感じています。その生活環境の良さを、外国の方も十分に享受できるよう政策を展開していただければと思います。	男性	30歳～39歳	吉祥寺地域
	武蔵野市で働いていたり地域貢献している外国人の方を、市報やSNSなどで積極的に紹介するようにしたらいかがでしょうか。日本人の市民が身近に感じられるとともに、そこに外国人を支援する情報（英訳はしておいた方がよいと思います）へのアクセスをつければ、外国人の方にも役立つのではないのでしょうか。	女性	30歳～39歳	武蔵境地域
災害への備えの拡充	防災放送のスピーカーの音が割れたり、何を言っているのか分からない事があるので、防災放送のある日に市の方がそれぞれのスピーカーの聞こえ方のチェックを行って、もれなく市内全域に聞こえるかを確認して頂きたいです。	女性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	災害時、人口に対して避難場所が少ないので、自宅にいられない状況になった場合どうするべきかわかりません。	女性	40歳～49歳	中央地域
安全・安心なまちづくり	サンロードや他の通りの「禁煙表示」が道路上にあり、下を向いて歩く人は知っているが、前を見ていたら全然分かりません。表示の位置等を再考したと思います。自転車もそうです。これらを注意すると「アブナイ」事になりかねない。またこの件は難しいですが、勧誘など（サンロードの途中で）に毎日会いますが、何かの条例でやめさせる事はできないのでしょうか。（迷惑防止条例等）	男性	70歳～79歳	吉祥寺地域
	人通りの少ない暗い道など危ないのでパトロールをお願いします。	男性	18歳～19歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
地域社会と市民活動の活性化	市民の方々は色々と市政に希望・期待を感じています。市民の声に耳を傾けてほしいです。	男性	70歳～79歳	武蔵境地域
	マンションが増えたせいでしょうか、近年あまりにも近隣住民同士の交流や助け合いといった場面が希薄であると感じています。相互の理解を深めていく一つの方策は「地域の歴史」を知ることです。「歴史」を共有することで共生の道が開かれると思われます。身近なものとして道路の名称を掘り起こしたり、新しく名称を考えるのも一案です。かつてあった「～小路」の名称がすたれてしまった地域が多いようです。そうしたものを議論する機会があればよいかと考えます。	男性	70歳～79歳	中央地域
	コミュニティセンターの利用申込みをオンラインにする方法を考えて下さい。グループの中の当番がコミセンの利用申込みをしますが、申込み本人が当日行かない時もあります。利用申込み者が当日行かないとダメという規定を無くして下さい。	女性	70歳～79歳	吉祥寺地域
	地域のことは年配の方が取組むイメージがあったり、地域のしがらみが濃いイメージがありますが、将来を担う若い世代が仕事をしながらでも関わりやすい体制を構築していくのも大事だと思いました。	女性	20歳～29歳	吉祥寺地域
	南町コミセンの自治活動のようなものを広く周知してはどうでしょうか。ちらっとだけ参加しましたが、やり過ぎず、強制せず、でもとても前向きで入りやすく、あれくらいなら、と思える身近なやり方でした。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
豊かで多様な文化の醸成	吉祥寺を音楽に溢れる街にして欲しいです。駅ピアノ等、ストリートピアノの設置を希望します。	男性	50歳～59歳	武蔵境地域
	芸術活動を強化してほしいです。都市としてのコンペティションを設けて、歴史を作り、芸術に富んだ街にしてほしいです。それに関する活動を私が協力したいほどです。	男性	20歳～29歳	中央地域

分類	内容	性別	年齢	地域
多様な学びや運動・スポーツ活動の推進	60 歳以上の講座等はあるが、50 代後半は参加出来るものがありません。境南地区で健康の為のスポーツ、運動等講座的なものが無いです。市の体育館、保健センターが遠いため、近所でないとなかなか通い続けられません。昔はありましたが今はなくなってしまいました。水泳等。市の為に働きたいが、短時間等で何かあればと思います。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	ふるさと歴史館の発信が弱いと思います。テーマを図書館等他の文化施設と連携して行ってもよいのではないのでしょうか。図書館については、23 区に比べて3 館は少ないです。しかもこの内、書庫を持つ館が中央のみというのは貧困だと思います。多くの古い資料が（実質的に）廃棄されている現状に驚いています。プレイスが新設される際にも大量の（分館の）資料が処分されました。	男性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
	図書館、文化ホール等の施設が人口に対して少ないので、場所、面接とも増やして頂きたいです。テレワーク等の環境も併せて整備して頂きたいです。（有料でも良いと思います。）	男性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興	アメリカのテキサス州のようにもっと市政が積極的に企業誘致などへの取組みをしてほしいのと、最先端技術などの投資への街への活性化につなげるような改革をしてほしいです。武蔵野市はあまりにも法人企業数が少ないので、世界からこの街へ企業を。魅力ある街作りをお願いしたいです。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
	くらし地域応援券がとても良かったので年1 回などやってほしいです。金額・期間など利用しやすかったです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	武蔵野市は緑が多く交通の便もよく満足しています。一方で近隣の市と比べ、飲食店、ファミリーレストラン等が著しく少ないと感じます。駅の高架下が駐輪場、駐車場などが多いため、もっと飲食に重点を置き積極的に活用する方法を考えていただきたいです。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
	マンションなど増えて人口増になっていると思いますが、日常的に利用できるスーパーなど商業施設が近くにないため生活しづらいです。	女性	50 歳～59 歳	中央地域
	市民農園を増やしてほしいです。	男性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域

7-4 緑・環境(35件)

分類	内容	性別	年齢	地域
刻々と変化する環境問題への対応	エコ対策が不十分です。例えば、市役所にEV車用の急速充電器が設置されていません。近隣の市役所では既に設置されているのに出遅れ感があります。外国人問題より優先することにはあるのに違和感を感じます。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域
地球温暖化対策の推進	とても住みやすく武蔵野市は大好きです。吉祥寺以外の町自慢があるといいです。これからは、環境への対策が未来の子どもたちの地球を守るためにも必須だと思います。今節電をスーパーなどでやっていいますが、それで何とかなっているならずっと節電を続けてほしいです。それを武蔵野市が率先してやってほしいです。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
	これからの日本に生きる子どもたち世代のためにも、環境問題とりわけ、地球温暖化対策を市の事業へ重要に位置づけてほしいと思います。商業地域も多く、CO ₂ 排出も課題であるので、繁葉樹でのCO ₂ 削減対策を推進して行って欲しいと思います。また家庭のレベルでも、脱炭素排出を周知し、ごみ問題、電気の使用についても身近に理解できる環境づくりが大切だと思います。子ども達の世代は、近年のSDGsのプログラムや学校での活動等において、地球温暖化への懸念する意識が非常に高いと感じます。小・中・高生がこれからの武蔵野市から始められる脱炭素・環境問題へのアイデアを発表・実現できる場を作る事も有意義な施策だと思います。子どもたちが温暖化の中で猛暑に苦しむ事もないよう街としていつも注目を集めている私たちの市、武蔵野市が動き始めればきっと近隣の市から東京都、また全国へと活動は広がっていくと信じています。	女性	40歳～49歳	中央地域

分類	内容	性別	年齢	地域
「緑」を基軸としたまちづくりの推進	街路樹を切りつめすぎていませんか。安全上とは思いますが貧相な感じがします。日陰にもなりません。	男性	80 歳以上	武蔵境地域
	武蔵野市は都内でも際立って都市環境と緑とが共存できている居住地域で、満足度が高い理由の 1 つかと思います。気にかかるところは、その緑の一部です。①玉川上水沿い（境浄水場辺り、前後 1 k m づつ）の桜、もみじ。②桜堤一丁目のくぬぎ橋通り・公団通りの桜。が雑に手入れ／伐採されているのが大変気になります。景観美しく、桜でいえば昔は市役所前中央通りのような景観でしたが、手入れ／伐採で寂しくなっていました。①の無理な手入れ（但し、低木、つる、勢力拡大中の笠の除去は大いに歓迎致します。）は防げないものかと感じます。	男性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	大きな広場に大きな噴水がほしいです。（噴水広場）。たくさんの人がのんびりとくつろげて、良い効果があると思います。	女性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
省エネルギー・省資源型の持続可能な都市の構築	武蔵野市リサイクルセンターを復活させてもらいたいです。また、まだ利用可能な不用品を持ち込め、安価な価格で提供してくれる場を作って欲しいです（例：高井戸リサイクルセンター）。定期的に市民参加のフリーマーケットを企画して欲しいです。武蔵野市には、まだまだ使えるものや、新品だが使わない物を引き取ってくれる場所がなく、いつもゴミとして捨ててしまっています。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	武蔵野市で現在収集できないゴミ（土や石など）を無料で収集できるようにしてほしいです。	男性	20 歳～29 歳	武蔵境地域
	びん缶・ペットボトルのゴミ回収は、隔週ではなく以前のように毎週行なって欲しいです。	男性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
様々な環境の変化に対応した良質な生活環境の確保	路上喫煙、客引き呼び込みは厳しく対応していただきたいです。ネズミ、カラス等の対策ももっと積極的に対応して欲しいです。	男性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	近隣の道路が路上喫煙禁止区域であるにも関わらず、喫煙者が毎日居て通りかかる度に呼吸が苦しくなります。条例等で取り締まってほしいです。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	三鷹駅北口駅前付近の喫煙スペースの環境、景観が悪いため、改善してほしいです。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域

7-5 都市基盤(72件)

分類	内容	性別	年齢	地域
個性あふれる魅力的な地域のまちづくり	多様性、変化の容認の中にもソフトなルールを持つことにより、住みやすい街「武蔵野市」のブランドが保たれ、時代に合せて成長して行けると考えます。現在の武蔵野市は、特に吉祥寺駅周辺を中心に統一感のない開発が進んでおり、「キタナイ街(←→住みやすい魅力が低下している)」へ変貌しています。	男性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	美しい街並みを実現するため、所有している建物や土地を適切に管理する義務を定めた条例を作してほしいです。	女性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	市内の各所、無電柱化をしてほしいです。	女性	50歳～59歳	中央地域
	毎日外出する都度、感じている事です。年寄りなので、やっと歩行が出来る程度です。所々に腰かけを作って欲しいです。駅にもデパートにも全く年寄りが休めるベンチが少なすぎます。それに今あるベンチはすべて低いので、あと10～20cm高めのベンチにして下さい。(京王電鉄の駅のベンチは高くて気に入っています。市役所の前のバス停のベンチは低すぎて、座れません。中央公園にもまだまだ足りません。)	女性	80歳以上	中央地域
将来にわたり持続性ある都市基盤づくり	街路の標識など統合化、簡略廃止化してもっと少なくしてはどうでしょうか。	男性	80歳以上	武蔵境地域
	道路拡張を検討願います。3～4年前に台湾に行った時、台湾では道路が狭いので、商店街の1階部分を歩道として利用していました。いわゆる歩道の上は商店街の二階部分でした。五日市街道、井ノ頭通りなど自転車と混在しているので、込み合っているところは一方通行にできないでしょうか。	男性	70歳～79歳	吉祥寺地域
	吉祥寺の街は、まだ少し雨が降ると下水道のにおいなのか異臭を感じます。対策をお願いします。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
	安全な水、価格が保障されない心配があるため、水道の民間委託、民営化には反対します。	男性	50歳～59歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
誰もが利用しやすい交通環境の整備	境南地域から市役所までに行ける路線バス（or ムーバス）を増やしてほしいです。	女性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	吉祥寺通りの自転車走行がしにくいです。路上駐車 の厳しい取り締まりや、安全な道路整備をお願い したいです。	女性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	2 年前に 23 区内から引っ越してきましたが年齢、生 別問わず自転車のマナーが悪い街の処が残念です。 市の取り組み方も見えてこず、警察の取り締まりも 不十分です。街のきれいさ、緑の多さは気にしてい ます。	男性	50 歳～59 歳	中央地域
	自転車マナーが悪いので、教育や道路環境の整備を 行ってほしいです。信号無視、右側走行などよく見 かけます。	男性	40 歳～49 歳	中央地域
	市役所への交通の便が悪いと思いますので検討して 下さい。特に吉祥寺近辺からのバスの便が少ないと 思います。	男性	80 歳以上	吉祥寺地域
安全で快適な道 路ネットワーク の構築	以前、同居の義父と買い物や散歩に出掛ける時は足 が不自由なので、ゆっくりとシルバーカーを押して 歩きました。歩道はガタガタ、自転車も歩道でスピー ドをゆるめずに真横を通過します。高齢者が増化と のことですのでシルバーカーの幅を確保した道作り をお願いしたいです。学生や、成人の方々も、スピー ドを出して高齢者の真横を通過しないで！！と P R して欲しいです。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
安心して心地よ く住み続けられ る住環境づくり	空き屋対策を確りして欲しいです。隣地は 30 年以上 空き家、老朽化が進み防災、防犯上も心配です。市に 相談をするも、具体的なセクションがありません。	男性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	武蔵野市の住民のかかなりの割合は賃貸の借家人であ ると思われます。貸主のコンプライアンスを明確化 して武蔵野ルールなどの取り決めを作り、借主が安 心して住めるような街作りを行い、万一のトラブル などは間に市が介入するなどをしてはいかがでしょ うか。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
活力とにぎわい のある駅周辺の まちづくり	吉祥寺駅南口→ヤマダ電機前～末広通りの道路の水 はけが悪すぎます。雨の日に車が通ると歩いている 人が水をかぶります。早急に整備してほしいです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	三鷹駅北口の再開発を進めて下さい。吉祥寺や武蔵 境駅周辺と比較して遅れを取っています。	男性	40 歳～49 歳	中央地域
	武蔵境駅周辺は、歩道が整備され、街路樹もきれい で、歩いていて気持ちが良いです。これからも、緑豊 かなまちづくりをお願いします。ただ、団地が多いの が景観的に残念です。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域

7-6 行財政(113件)

分類	内容	性別	年齢	地域
市民参加と連携・協働の推進	外国籍の住民に対して住民投票への参加を認める条例案については反対します。寝耳に水で驚きました。	女性	30歳～39歳	中央地域
	外国籍の人にも投票権を認める問題で市が注目されたり、市長の駐輪場跡地売却問題等不透明な市政が多いように感じます。高校生の医療無償化も表向きは無償化でいいですが、現在は病院と提携できていないため病院の窓口でお金を払うことになりました。	女性	50歳～59歳	武蔵境地域
	住民投票条例はぜひ実施して下さい。	女性	70歳～79歳	中央地域
	武蔵野市は全体的に豊かな市だと思っており、市政も積極的で市民寄り添い型と感じますが、単身世帯に手薄く、居心地は正直良くはなく、また偏りをよく感じます。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
	武蔵野市独自の施策(ムーバス、レモンキャブ、デンミリオンハウス、ジャンボリー、セカンドスクール等)は、市長が変わっても継続されて成果を上げていますが、社会情勢や環境の変化もあるため、それぞれの事業の検証を行い見直し等も検討していく時期ではないかと思います。	男性	60歳～69歳	吉祥寺地域
	市民に対するサービスを向上させるためには、役所の人員を増やす必要がありますが、それは税金の増額となる訳で、地域のことは地域で自立的に対応する体制(意識)づくりが必要と考えます。何でも行政に押しつけるのは良くないことで市民の意識の改革も必要です。災害時の対応では、その重要性が理解されると思いますので、市民教育も常に意識した計画が必要です。	男性	70歳～79歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
効果的な広報・ 広聴の仕組みづ くりとシティプ ロモーション	正直政治には明るくありません。しかしながら関心を持たなければならない分野だと思います。そのため、ゼロからわかるような記載やコンテンツがあったり、取っかかりがあるようなものがあったりすることで、遠く感じがちな政治・市政が身近に感じられるのではないかと考えました。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	「市報むさしの」の文字の大きさが情報量の増大のためか、小さくなりました。月 3 回発行にして、文字の大きさは従前のように大きくできないでしょうか。	男性	80 歳以上	武蔵境地域
	市からの情報発信が不足しているように思います。「伝える」ことではなく「伝わる」ことを心がけて欲しいです。	男性	70 歳～79 歳	吉祥寺地域
	今回のアンケートで、様々な取り組みがなされていることに気付きました。情報発信が大事だと思います。武蔵野市の住民だけでなく、日々訪れる人たちにも、目に付く取り組みも大事だと思います。口コミや交流の場で街の良さを発見したり、再確認したりできることに繋がると思います。	男性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	財政豊かな武蔵野市ならではの魅力的な政策が打ち出せていない感じがします。(ファッショナブルタウン、古民家活用等もすぐ出来るはずです。)	男性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
公共施設等の再 構築と市有地の 有効活用	税の物納等と思われる、市の所有地があちこちに見られます。これらの有効活用のご検討をお願いします。	女性	70 歳～79 歳	吉祥寺地域

分類	内容	性別	年齢	地域
社会の変化に対応していく行財政運営	地域振興券はとてもありがたかったです。また給付金も可能な限り続けてほしいです。コロナ禍でより生活が苦しくなってきたと感じるので、少しでも援助やサービスがあると心強いです。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	市にとっての財源とは、そこに住む、集う人だと思います。特に武蔵野市はその色が強いと思います。彼らの活動の邪魔をせず、市は堅実に運営をしていくことが肝要であると思います。	男性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	今後、更なる高齢化社会にあって、市の特色を生かした財政健全化を図ってほしいです。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	手続きのオンライン化はぜひお願い致します。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	紙で知らせるより、LINEなどでニュースを伝えてくれるといいなと思います。LINEなどの方が通知がくると思わず見てしまうためです。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	市役所職員の方々は、雑多な業務が多すぎて、市政のICT化を含めた業務の革新化ができず、古いやり方を継続している感じがします。このままでは、市長や市議会レベルで漸進的な提案をしても、具体化が困難になっていってしまいそうなので、このアンケートのような外交的な改善をめざした取り組みよりも内部業務の改善に予算を割くのも一つの方法だと思います。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
多様な人材の確保・育成と組織の活性化	市の職員やスタッフに外国人を採用したらどうでしょうか。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	全ての人の要望を満たすことはできません。優先順位の見極めが市政に求められます。しっかりとした明確な理由とビジョンがあれば理解して貰えるはずです。説明力、発信力が公務員にも求められます。何かあった時各組織トップが責任を持って支える気風があれば職員は安心して働けて、意見しやすいのではないのでしょうか。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	限られた財政の中で、優秀な職員を気持ちよく働かせて欲しいと思います。学校教師もですが、事務処理にはITを活用し、不要な会議等で、市民および職員の貴重な時間を無駄に費やすべきではありません。支払う交通費等参加費も馬鹿になりません。合理的な（外郭団体を作って、それを職員の退任後の職場にする等ではなく）委員会やボランティアの募集を考えて欲しいと思います。	女性	70 歳～79 歳	吉祥寺地域

8 新型コロナウイルス感染症についての自由回答

新型コロナウイルス感染症についての意見や要望、施策に対するアイデアとして291件の回答が寄せられた。一人の回答が複数の内容にわたる場合には、本文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、調査票（アンケート用紙）問18の1～27の施策ごとに分類・整理した。なお、下記の項目に該当しない回答が29件あった。

寄せられた回答の中から、代表的・特徴的なものを抜粋して掲載する。なお、固有名詞や長文等は一部省略等している。

8-1 経済的支援策について(16件)

分類	内容	性別	年齢	地域
くらし地域応援券（令和3年度実施）	コロナに対する市の政策は頑張って下さっていると感じています。また、地域応援券などあれば、購買意欲もでて、経済活性化すると思います。	女性	40歳～49歳	吉祥寺地域
	くらし地域応援券は、お得感を味わいつつ事業者を支えていくぞという気持ちで利用できました。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
その他の経済的支援策	貴重な財源を真に支援が必要な方に届けるよう、引き続きお願いしたいです。不正受給や過剰な給付がないか、施策の検証も重要であり、ともすれば市民の納得感が一層失われかねません。	女性	30歳～39歳	吉祥寺地域
	飲食店応援キャンペーンなどの支援は普段いかない地域に行く動機にもなって良いと思いました。デジタルスタンプラリーも、飲食店支援のほかにも市民体育館と連動して健康推進のためとしてなど、観光事業と連動してさらに幅広く使えるのではないかと思います。	女性	30歳～39歳	中央地域
	コロナで収入が減った一人親世帯への援助をお願いします。	女性	18歳～19歳	吉祥寺地域

8-2 健康福祉支援策について(130件)

分類	内容	性別	年齢	地域
自宅療養者に対する支援	支援物資、大変助かりました。食品だけでなく日用品（特にトイレトペーパー、ティッシュ、ウェットティッシュなど）まであり、またおむつも提供していただき感動しました。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域
	新型コロナに感染し、自宅療養をしました。市へ支援物資のお願いをしたところ、その日のうちにお届けいただき、とても有難かったです。この場をお借りし、再度お礼を申し上げます。	女性	70 歳～79 歳	中央地域
	自宅で治療している人の買い物代行サービスを市で支援するのも良いと思います。	男性	60 歳～69 歳	中央地域
	コロナにかかった時の食料の配給は、非常食のようなものを配達するのではなく、補助金でネットスーパーなどが利用できて、上限金額を超える場合は自己負担でも良いので、自分が食べられそうなものを選べると良いです。その方が早く配達してもらえて、具合が悪い時は、レトルトカレーやカップめんなどは食べたくないと思います。	女性	50 歳～59 歳	中央地域
ワクチン接種体制の整備	ワクチンの集団接種会場がかたよりすぎています。吉祥寺周辺が便利ははずですが、極端に少ないです。	女性	50 歳～59 歳	吉祥寺地域
	ワクチン接種券配布の時期が他市町村に比べて遅いので、迅速なワクチン接種体制をつくって頂けるとありがたいです。	男性	30 歳～39 歳	吉祥寺地域
	接種券を自動的に送ってもらいたいです。4 回目から自分で電話し書類、接種券を送ってもらう事をしなければいけませんでした。医療者を中心に早く送ってほしいです。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	接種OKの医療機関がどこか、空き状況を一元管理してほしいです。Web で調べて探すのがとても大変でしたし、リアルタイムで更新しておらず、電話したらもうダメとか言われました。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	コロナウイルスワクチンの接種を、すべて予約システムにしたのは高齢者にとって良いとはいえません。	女性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	コロナワクチンが不足している時に、全国の自治体に先駆けて妊婦のワクチン接種を進めてくれたことを高く評価しています。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域

分類	内容	性別	年齢	地域
その他の健康福祉策	子どもが感染した際、多摩の保健センターの管轄だからなかなかスムーズにできませんでした。市単位で対応できればいいのと思いました。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	P C R 検査の場所を増やしてください。保健所を市内に戻してください。	女性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
	感染した時に病院にかかるように、入院しない場合は隔離ホテルへの案内等をして欲しいです。自宅療養になる場合は食料品や物資の配達をお願い致します。	女性	60 歳～69 歳	吉祥寺地域
	「対外診断用医薬品」と記載ある抗原検査キットが手に入りません。市内薬局どこも入荷未定です。仕方なく、「研究用」のキットで陰性として社会復帰せざるをえません。市で確保してほしいです。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	コロナ感染対策は必要最低限にして、アフターコロナの政策にシフトすべきです。	男性	40 歳～49 歳	中央地域
	乳幼児で P C R 検査が受けられる場所を増設頂きたいです。	女性	30 歳～39 歳	中央地域
	医療関係の方々は大変尽力していただいているので、給与面のベースアップや、新規就業者が増えるような施策でフォローしてあげてほしいです。	男性	30 歳～39 歳	中央地域
	高齢者が罹患した際に利用できる支援が皆無であったので考えてほしいです。	女性	40 歳～49 歳	吉祥寺地域
	広く対策をするよりも、高齢の方、基礎疾患のある方、妊婦、子どもなど、必要な方へのケアを最優先してほしいです。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域

8-3 子育て支援策について(9件)

分類	内容	性別	年齢	地域
学校の ICT 学習環境の拡充	コロナ罹患者が安心して休めるように公教育のオンライン化と I C T 教育に関するリテラシーを高める施策を両輪で迅速に実施してください。	男性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
その他の子育て支援策	コロナ禍で子育てをしている中で、子どもが通っている小学校では今年度から保護者会や面談もオンラインで実施された点は非常に良かったと思います。もっと早い時点の第 1 波・第 2 波の頃からでも良かったのに、と思わずにはいられません。	女性	40 歳～49 歳	中央地域
	学校に関してはそろそろセーブされているところを緩和して欲しいです。授業参観や運動会などのイベントに一家庭一人しか参加できないのは寂しいと思います。黙食も子供はととてもつまらなさそうです。	女性	30 歳～39 歳	武蔵境地域

8-4 その他の支援策について(107件)

分類	内容	性別	年齢	地域
公共施設の利用制限	コミセンの人数ですが、上限があるのは理解できませんが、最低人数が5人か6人でないと借りられないのは、なぜですか。3人以上とかにはならないのでしょうか。5人で申し込みして、1人体調不良となったら、次から貸せませんと言われました。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
新型コロナウイルス感染症に関する情報提供	P C R検査可能な医療機関一覧の情報が少なく困りました。例えば、かかりつけ以外の患者対応可／不可、妊婦や小児優先か、休診日等も載せてほしいです。	女性	30歳～39歳	吉祥寺地域
	市報に出ている筈ですが色々なもの場合どこに連絡したらいいのか掲示用の印刷物があつたらなと思います。	男性	80歳以上	武蔵境地域
	子どもへのワクチン接種のエビデンスを市民にもわかるように示してほしいです。打つ、打たないの判断ができません。発熱外来で受け入れることができる医療機関を一目でわかるようなシステムがほしいです。今、ここは予約がいっぱいとか、片っ端から電話しないといけないので具合が悪い時にそれは大変です。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
	まだワクチンを打っていない人たちに向けて積極的な発信をお願いします。	男性	18歳～19歳	武蔵境地域
	社会情勢をかんがみ、迅速なワクチン接種体制を構えたり、オリ・パラ学校連携観戦への参加見送りを即断するなど、市民の健康を守る姿勢は評価できるものの、市のHPが見づらく、必要な情報へのアクセスが良いとは言えません。改善して頂きたいところです。	女性	40歳～49歳	武蔵境地域
	自身がコロナに感染した事がないので知らない、知ろうとしない現状です。今後はポストに入れてくださっている武蔵野市のお知らせなどちゃんと読んでいきたいと思います。	女性	30歳～39歳	武蔵境地域
	学校に対しても地域に対しても、はっきりした方針を定めずに丸投げして、責任の所在をうやむやにするのはよくないと思います（修学旅行やジャンボリー等について）。市の主導で、費用的な面でも何かあった時にどこへ問い合わせれば解決するのかを確定すべきです。	女性	50歳～59歳	吉祥寺地域
感染者数情報の公表	正しい感染者数の公開と、ワクチン接種により死亡した人数、後遺症者の被害の実態を公開すべきです。	無回答	60歳～69歳	無回答

分類	内容	性別	年齢	地域
その他	感染してからいろいろな所へ問い合わせ、受診できる所を探すのは出来るだろうかと思います。保健所に連絡してもなかなか繋がらない報道を知ると、連絡がついて、治療できる（受けられる）システムを考えていただきたいです。コロナ発生から感染者への国の対応を見ていると、安心して外出出来ないのでは市の催し物があっても参加する気になれません。まず、安心を得られる国の体制が変わらない限り難しいです。	女性	70 歳～79 歳	中央地域
	次回の感染症に備えて、今回の新型コロナウイルス対策を分析して良かったところと悪かったところを明確にして、次回に生かして欲しいです。	男性	60 歳～69 歳	無回答
	リスクを大きく考えすぎないことが重要かと思います。冷静さに対応速度だけは、確保した対応が求められるかと思います。	男性	40 歳～49 歳	武蔵境地域
	国や都の方針を待っていたら、現状に間に合いません。可能な範囲で武蔵野市で判断して迅速な対応をお願いしたいです。	男性	50 歳～59 歳	武蔵境地域
	まだこの先も続くと考えられるため、今行っている施策の維持だけでなく、更に発展させた施策も取り入れることで、ウィズコロナの時代でも、活力を失わずに、更に発展していくと考えます。	女性	20 歳～29 歳	吉祥寺地域
	他の行政と関係なく、武蔵野独自の施策をお願いします。お金持ちの武蔵野市ですから、大胆に施策を練ってください。	男性	70 歳～79 歳	武蔵境地域
	最初は出遅れ気味でしたが、今はよくやっていると感じます。武蔵野市役所の職員の方はまた大変優秀だなと日々感じているところです。	男性	40 歳～49 歳	中央地域
	マイナンバーカードを有効に利用して欲しいです。接種情報の入力もかなり省略化できるはずです。	男性	60 歳～69 歳	武蔵境地域
	商業施設、公共施設の営業時間を以前のように戻して欲しいです。市民はすでに感染に配慮した生活に慣れており、時間短縮は現在の状況にそぐわないです。	女性	40 歳～49 歳	中央地域

IV 調査票

武蔵野市民意識調査

市民の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、将来の基本目標や重要施策を定める「長期計画」を市民参加によって策定し、市政運営を進めています。

今年度策定する、第六期長期計画・調整計画の基礎資料とするとともに、第六期長期計画に掲げる広聴手段の充実を踏まえ、武蔵野市にお住まいの皆さまが市政に対してどのようなご意見をお持ちかがうため、市民意識調査を実施いたします。

調査の実施にあたっては、令和4年7月1日現在、満18歳以上の市民の方4,000人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただきました。ご記入いただいた内容は、無記名のうえ、すべて統計的に処理いたしますので、個々の方のご回答内容や個人情報が特定されることは一切ございません。ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年7月

武蔵野市長

松下 玲子

【回答のしかた】 次の2つの方法からいずれか1つを選び回答してください。

1. 調査票（この冊子）に直接記入し郵送（返信用封筒を同封しております。）
2. パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答
→別紙「オンライン回答のご案内」をご覧ください。

＜調査票記入上のご注意＞

- ◆ 封筒の宛名のご本人がお答えください。
- ◆ ご記入は、濃いえんぴつまたはボールペン・万年筆でお願いいたします。
- ◆ お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。
- ◆ お答えは、設問ごとに（○は1つ）（○はいくつでも）などと指定されていますので、ご注意ください。
- ◆ 設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

ご記入が済みました調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れ、

8月26日（金）までに ご投函ください。

【調査についてのお問い合わせ先】 ☎武蔵野市役所 市民活動推進課 市民相談係

電話：0422-60-1829（直通） 担当／森本・吉川

封筒に入れる際は、線に沿って三つ折りにしてください

○市政全般に関する質問	P 1 ～P10
○新型コロナウイルス感染症に関する質問	P11～P14
○平和・多文化共生に関する質問	P14～P18

はじめに、お住まいの地域のことについてうかがいます。

問1 あなたが現在住んでいるところに住みはじめた理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 公園などが整備され、緑が比較的多い	11. 治安がよい
2. 道路その他の都市インフラが整っている	12. 防災、防火対策が進んでいる
3. 文化・スポーツなどの施設が整っている	13. 騒音などの公害が少ない
4. 交通の便がよい	14. 商業や事業に有利
5. 買い物が便利	15. 家賃や生活費が手ごろ
6. 子育てや子どもの教育の環境が整っている	16. 親族が住んでいる
7. 高齢者や障がい者などの施設が充実している	17. 生まれ育った地域である
8. 健康・医療施設が整っている	18. 通勤・通学先に近い
9. 芸術や文化に触れる機会が多い	19. 社宅・寮がある
10. 市政に参加する機会が多い	20. その他 ()

問2 あなたは、お住まいの周りの環境についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	よい	まあよい	あまり よくない	わるい
例 周りの環境 →	1	2	3	4
ア) 地域の治安・安全性	1	2	3	4
イ) 騒音や振動	1	2	3	4
ウ) 公園や緑の多さ	1	2	3	4
エ) 防災や災害時の避難	1	2	3	4
オ) 道路整備の状況	1	2	3	4
カ) 日常の利便性(買物・通勤など)	1	2	3	4
キ) 近所づきあい・地域活動	1	2	3	4
ク) 文化施設・スポーツ施設	1	2	3	4
ケ) まち並みや景観・美観	1	2	3	4
コ) 全体的な雰囲気	1	2	3	4

問3 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 住み続けたい

2. 市内の他のところへ移りたい

3. 武蔵野市以外のところへ移りたい

4. わからない → 問4にお進みください

【問1で「1. 住み続けたい」もしくは「2. 市内の他のところへ移りたい」を選んだ方にお尋ねします。】

問3-1 武蔵野市内に住み続けたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 公園などが整備され、緑が比較的多い | 11. 市政に参加する機会が多い |
| 2. 道路その他の都市インフラが整っている | 12. 治安がよい |
| 3. 文化・スポーツなどの施設が整っている | 13. 防災、防火対策が進んでいる |
| 4. 交通の便がよい | 14. 騒音などの公害が少ない |
| 5. 買い物が便利 | 15. 商業や事業に有利 |
| 6. 近所づきあいなど、人間関係がよい | 16. 家賃や生活費が手ごろ |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている | 17. 親族が住んでいる |
| 8. 高齢者や障がい者などの施設が充実している | 18. 生まれ育った地域である |
| 9. 健康・医療施設が整っている | 19. 仕事や通学に便利である |
| 10. 芸術や文化に触れる機会が多い | 20. その他 () |

【問3で「3. 武蔵野市以外のところへ移りたい」を選んだ方にお尋ねします。】

問3-2 武蔵野市外に移りたい理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 公園などが整備されず、緑が比較的小さい | 11. 市政に参加する機会が少ない |
| 2. 道路その他の都市インフラが整っていない | 12. 治安がよくない |
| 3. 文化・スポーツなどの施設が整っていない | 13. 防災、防火対策が遅れている |
| 4. 交通の便が悪い | 14. 騒音などの公害に悩まされている |
| 5. 買い物が不便 | 15. 商業や事業に不利、不向き |
| 6. 近所づきあいなど、人間関係が悪い | 16. 家賃や生活費が高い |
| 7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない | 17. 親族が住んでいない |
| 8. 高齢者や障がい者などの施設が不十分である | 18. 生まれ育った地域に戻りたい |
| 9. 健康・医療施設が整っていない | 19. 仕事や通学に不便である |
| 10. 芸術や文化に触れる機会が少ない | 20. その他 () |

問4 あなたは、武蔵野市全体のできごとにどの程度関心をお持ちですか。
また、お住まいの地域のできごとについてはいかがですか。(○はそれぞれ1つ)

	非常に 関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない
ア) 武蔵野市全体について	1	2	3	4
イ) お住まいの地域について	1	2	3	4

問5 あなたは日頃、近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(○はいくつでも)

1. 会えばあいさつする
2. 会えば立ち話する
3. ときどき食事をしたり、出かけたりすることがある
4. 互いにおすそ分けをしたり、物の貸し借りをする
5. 互いの家に行って、おしゃべりや飲食をする
6. ほとんどつきあいはない

【問3で「1」～「5」(つきあいがある)を選んだ方にお尋ねします。】

問3-1 どのようなきっかけで、近所の方とのつながりができましたか。
(○はいくつでも)

1. 日常生活の中で
2. 保育園、幼稚園、学校などを通じて
3. 趣味やスポーツ、習い事などを通じて
4. コミュニティセンターで
5. 地域のボランティア活動を通じて
6. 地域の集会や会合、イベントなどで
7. 友人、知人を通じて
8. その他 ()

【問3で「6. ほとんどつきあいはない」を選んだ方にお尋ねします。】

問3-2 近所の方とのつきあいがない理由は何でしょうか。(○はいくつでも)

1. つきあいをもちたいと思うが、きっかけがない
2. 仕事などで留守にすることが多く、近所の人と会う機会がない
3. 職場や学校の友人など、近所以外の人とのつきあいで満足している
4. 相手のプライバシーに配慮して、踏み込まないようにしている
5. 自分のプライバシーのため、あまりつきあいをもちたくない
6. 地域とのつながりを持つ必要がない
7. 新型コロナウイルス感染症の影響で外出が減った
8. その他 ()

問6 あなたは、お住まいの地域とのつながりやコミュニケーションのために何かしていることがありますか。していることがない場合、今後したいと思っていますか。
(○はそれぞれ1つ)

	している	今はしていないが 今後したい	これからも したいと思わない
例 行っていること→	①	2	3
ア) 日常的に気軽にあいさつや会話をする	1	2	3
イ) 趣味やスポーツなどを共有できる仲間をつくる	1	2	3
ウ) コミュニティセンターを利用する	1	2	3
エ) 地域のお祭りやイベントなどに参加する	1	2	3
オ) 集会や会合などに参加し、地域の課題について話し合う	1	2	3
カ) 地域や市に対し、自分の意見や要望を積極的に伝える	1	2	3
キ) 防災・福祉・環境ボランティアなどの地域活動に参加する	1	2	3
ク) 地域のリーダーや市の各種委員などになり、市政に参画する	1	2	3
ケ) 災害などいざというときに助け合う	1	2	3
コ) その他 ()	1	2	3

問7 防災・福祉・環境ボランティアなど、地域の活動に、より多くの人が参加するようになるために必要なことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 活動内容を積極的に広報すること 2. 団体の情報がオープンになっていること 3. 市民が求める地域課題に沿って活動すること 4. 活動・行事の内容を魅力的にすること 5. 企画・運営に気軽に参加できる仕組みがあること 6. 活動と一緒に行動する仲間や知り合いがいること 7. 活動に参加するときの役割や協力内容が明確化されていること 8. 地域の様々な人や団体との情報交換や交流の場があること 9. その他 ()
--

問8 あなたは、武蔵野市やお住まいの地域に誇りや愛着を感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

	感じている	やや感じて いる	あまり感じて いない	感じて いない
ア) 武蔵野市全体について	1	2	3	4
イ) お住まいの地域について	1	2	3	4

問9 日頃、生活や身近な環境で困っていることや不安なことはありますか。(○はいくつでも)

1. 自分や家族の病気や健康、介護のこと	10. 近隣や地域との関係のこと
2. 子どもの保育や教育のこと	11. 交通環境に関すること
3. 居場所や生きがいのこと	12. 住宅に関すること
4. 収入や資産など経済的なこと	13. 災害時のこと
5. 進学、就職のこと	14. 犯罪や防犯に関すること
6. 結婚、妊娠、出産のこと	15. その他
7. 老後に関すること	()
8. 事業や家業の経営のこと	
9. 家族や親族との関係のこと	16. 困っていることや不安なことはない

問10 あなたは、困りごとがあるときに、だれに手伝ってもらいますか。(○はいくつでも)

1. 配偶者（事実婚含む）・パートナー	7. 職場の同僚
2. 子ども	8. 市役所
3. 親	9. 民間サービス
4. その他の家族・親族	10. その他 ()
5. 友人・知人	11. 手伝いは必要ない
6. となり近所の人	12. 手伝って欲しいが、頼む人がいない

問11 あなたは、心配ごとや悩みごとができた場合、だれに話を聞いてもらったり、相談したりしますか。(○はいくつでも)

1. 配偶者（事実婚含む）・パートナー	9. 保育園、幼稚園、学校の先生
2. 子ども	10. かかりつけ医
3. 親	11. 民生委員・児童委員
4. その他の家族・親族	12. 警察
5. 友人・知人	13. 専門的な相談窓口、機関
6. となり近所の人	14. その他 ()
7. 職場の同僚	15. 相談はしない
8. 市役所	16. 相談したいが、する人がいない

市政に関する情報提供などについてうかがいます。

1. 十分に得られている	3. あまり得られていない
2. 充分ではないが必要な情報は得られている	

1. 保険・年金	9. 防犯・防災
2. 税金	10. 催し物・講座の情報
3. 福祉	11. 市の魅力・おすすめスポット
4. 保健・医療	12. 市の財政状況
5. 子育て・教育	13. 市内施設の開館日・空き状況等
6. 環境（緑・公園）	14. その他（ ）
7. ごみ・リサイクル	15. 特になし
8. 文化・スポーツ	

情報を得ているもの	知っていて、 利用している	知っているが、 利用していない	知らない
例 広報媒体等の名称 ……➡	①	2	3
ア) 市報	1	2	3
イ) 市議会だより	1	2	3
ウ) きょういく武蔵野	1	2	3
エ) 市のホームページ	1	2	3
オ) むさしのシティニュース (CATV)	1	2	3
カ) むさしのFM	1	2	3
キ) 季刊むさしの	1	2	3
ク) 市のFaceBook、Twitter、LINE	1	2	3
ケ) YouTube (市動画チャンネル)	1	2	3
コ) カタログポケット (言語ユニバーサル情報配信ツール)	1	2	3
サ) 新聞・タウン誌など	1	2	3
シ) むさしの防災・安全メール	1	2	3
ス) 市役所や市政センターなど	1	2	3
セ) コミュニティセンター	1	2	3
ソ) 口コミ (市以外のSNSを含む)	1	2	3
タ) その他 ()	1	2	3

現在の市の施策に対する満足度・重要度についてうかがいます。

問 15 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、②今後の重要度については可能な限りご回答ください。

①現在の市の施策・事業の実施状況、または今後実施予定の施策・事業に対し、どの程度満足していますか。

満足度を判断できない場合は「5. わからない」に○をしてください。

②これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。

(○は項目ごとに満足度・重要度それぞれ1つ)

		①現在の満足度					②今後の重要度			
		満足	満足 ある 程度	あまり ない 満足	不満 足	わ か ら な い	重 要	重 要 ある 程度	あ ま り 重 要 でない	重 要 でない
例	施策・事業の名称 取り組み事例	1	2	3	4	5	1	2	3	4
健康・福祉	ア) 地域福祉 ○地域の見守りネットワーク ○災害時要援護者対策事業 ○生活困窮者支援 ○シニア支え合いポイント制度 ○福祉総合相談窓口 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	イ) 高齢者福祉 ○介護保険 ○認知症対策 ○見守り支援 ○施設整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ウ) 障がい者福祉 ○相談事業 ○雇用や就労支援 ○施設整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	エ) 健康づくり ○各種検診や予防接種 ○身体やこころの健康づくり ○介護予防、食育 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
子ども・教育	オ) 子ども・子育て支援 ○子どもの医療費助成制度 ○待機児童対策 ○0123施設 ○桜堤児童館 ○生活困窮家庭支援 ○児童虐待・養育困難家庭支援 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	カ) 青少年施策 ○地域子ども館学童クラブ・あそべえ ○むさしのジャンボリー、プレーパーク など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	キ) 小・中学校教育 ○セカンドスクール ○特別支援教育 ○教育相談 ○不登校対策 ○教育環境での ICT 化 ○学校の改築・維持管理 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4

		①現在の満足度					②今後の重要度				
		満足	満足 ある 程度	あまり してい ない	不満足	わからない	重要	重要 ある 程度	あまり 重要 でない	重要でない	
平和・文化・市民生活	ク) 市民参加・市民活動 ○コミュニティセンター ○市民活動の支援 ○委員会委員の公募や会議の公開 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	ケ) 平和・多文化共生・国内外交流 ○平和啓発事業 ○人権擁護 ○男女平等施策 ○友好都市との交流事業 ○外国籍市民の支援 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	コ) 文化・学習・スポーツ ○生涯学習の支援 ○図書館、武蔵野プレイス ○文化、スポーツ ○ふるさと歴史館 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	サ) 産業・消費生活 ○産業の活性化、創業支援 ○農業振興、農地保全 ○消費者相談 ○都市観光 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	シ) 災害対策 ○防災訓練、防災態勢の強化 ○建築物の耐震化 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	ス) 安全対策 ○防犯対策、パトロール ○特殊詐欺対策 ○環境浄化（生活環境悪化の防止） など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
緑・環境	セ) 環境啓発 ○エコ re ゾート ○環境に関する情報発信 ○団体等の連携・活動支援 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	ソ) 気候変動・地球温暖化対策 ○省エネ、創エネ対策の支援 ○公共施設の環境負荷低減 ○雨水の利活用 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	タ) 緑化・水辺空間 ○公園、緑地等の整備、維持管理 ○民有地の緑の保全 ○生物多様性の保全 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	チ) ごみ ○ごみ減量、分別、リサイクル ○クリーンセンター など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	
	ツ) 生活環境 ○生活公害の低減 ○喫煙マナー向上 ○まちの美化 ○動物愛護 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	

		①現在の満足度					②今後の重要度			
		満足	ある程度満足	あまり満足していない	不満足	わからない	重要	ある程度重要	あまり重要でない	重要でない
都市基盤	テ) 都市基盤整備 ○都市景観 ○三駅周辺の整備 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ト) 交通・道路 ○安全な道路空間づくり ○ムーバス ○外環への対応 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ナ) 自転車対策 ○駐輪場、自転車走行空間の整備 ○自転車交通安全教育 ○放置自転車対策 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ニ) 上・下水道 ○都営水道一元化の推進 ○上・下水道施設の再整備 ○安全でおいしい水の安定供給 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ヌ) 住宅政策 ○公営住宅、高齢者向け住宅 ○分譲マンション管理支援 ○空き家対策、耐震化助成 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
行財政	ネ) 行財政改革 ○健全財政、職員育成、事務効率化 ○自治基本条例に基づく市政運営 ○市有地の有効活用 ○民間との連携 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
	ノ) 情報の収集・発信 ○広聴・広報の充実 ○情報セキュリティの徹底 など	1	2	3	4	5	1	2	3	4
ハ) 施策全般の総合的な満足度		1	2	3	4	5				

問 16 市政の現状や問題点についてあなたはどのように思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	わ から ない
例 現状や問題点について ……→	1	2	3	4	5
ア) 全体として、いまの武蔵野市政は、 うまくいっている	1	2	3	4	5
イ) 市民は、自分たちの意見を市政に 反映させるように努力している	1	2	3	4	5
ウ) 市政には自分たちの意見が反映されて いると感じられる	1	2	3	4	5
エ) 市政は、取り組む内容を誰がどのよう に決めているのかわかりにくい	1	2	3	4	5
オ) 多様な市民ニーズにこたえるために、 市民の負担を増やしても行政サービスを 拡大・充実させるべきだ	1	2	3	4	5
カ) よりよいまちづくりのためには、自分たちで できることは自分たちで行い、解決できない ことは行政と一緒に取り組むべきだ	1	2	3	4	5

問 17 武蔵野市は、これからどのようなになれば、より魅力的で活力あふれる都市（まち）になると思われますか。(○は3つまで)

1. 日頃から文化や芸術に触れあえるまち 2. 静かで豊かな緑に囲まれた住環境が広がるまち 3. 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援がある、安心して子育てしやすいまち 4. 年齢や障がいのあるなしに関わらず暮らし続けられる、支え合いのあるまち 5. 医療体制が整い、健康づくりが盛んな、いきいきと健康で暮らし続けられるまち 6. 誰もが学びたいときに学べる、生涯学習環境が整ったまち 7. 市民参加、地域参加、ボランティアなどが盛んなまち 8. 個性ある店から大型店まで歩いて回れる、買物やまち歩きが楽しいまち 9. 商工業や農業がさかんな産業都市 10. ごみの発生抑制やエネルギーの地産地消により、環境に配慮した持続可能なまち 11. 治安が良く災害に強い安全なまち 12. 行政サービスに人工知能や ICT 関連技術などを取り入れた先進都市 13. 全ての人がその個性と能力を生かせる多様性が尊重されるまち 14. その他 ()
--

市の新型コロナウイルス感染症に関する施策に対する満足度などについてうかがいます。

問 18 以下に挙げた項目について、現在の満足度をお答えください。

満足度を判断できない場合は「5. わからない」に○をしてください。

(○はそれぞれ1つ)

		満足	満足 ある程度	あまり満足 していない	不満足	わからない
例	施策・事業の名称	①	2	3	4	5
経済的支援策について	ア) 暮らし地域応援券（令和3年度実施）	1	2	3	4	5
	イ) 中小企業者等特別支援金（令和3年度実施）	1	2	3	4	5
	ウ) 中小規模事業者事業資金融資あっせん制度	1	2	3	4	5
	エ) キャッシュレス決済ポイント還元事業（令和3年度実施）	1	2	3	4	5
	オ) 事業者支援「ほっとらいん」	1	2	3	4	5
	カ) 商店会活性化出店支援金	1	2	3	4	5
	キ) 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	1	2	3	4	5
健康福祉支援策について	ク) 自宅療養者に対する支援	1	2	3	4	5
	ケ) ふるさと納税を活用した市内医療体制への支援	1	2	3	4	5
	コ) 住居確保給付金	1	2	3	4	5
	サ) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	1	2	3	4	5
	シ) 国民健康保険・後期高齢者医療 傷病手当金	1	2	3	4	5
	ス) 高齢者等緊急訪問介護の拡充（レスキューヘルパー）	1	2	3	4	5
	セ) 高齢者支援事業（テンミリオンハウス、レモンキャブ、いきいきサロン、不老体操など）の再開・継続	1	2	3	4	5
	ソ) 福祉体制を維持するための支援金	1	2	3	4	5
	タ) ワクチン接種体制の整備	1	2	3	4	5
	チ) 介護保険料の減免	1	2	3	4	5
	ツ) 国民健康保険税の減免	1	2	3	4	5
	テ) 後期高齢者医療保険料の減免	1	2	3	4	5
子育て支援策について	ト) 学校の ICT 学習環境の拡充	1	2	3	4	5
	ナ) 子育て世帯への臨時特別給付金	1	2	3	4	5
	ニ) 就学援助費	1	2	3	4	5
	ヌ) 高等学校等修学給付金	1	2	3	4	5

		満足	満足 ある程度	あまり満足 していない	不満足	わからない
その他	ネ) 公共施設の利用制限	1	2	3	4	5
	ノ) 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供	1	2	3	4	5
	ハ) 感染者数情報の公表	1	2	3	4	5
	ヒ) 統一的な対応方針の公表	1	2	3	4	5
	フ) 施策全般の総合的な満足度	1	2	3	4	5

問 19 あなたは、新型コロナウイルス感染症に関してどのような施策が重要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 保健・医療	6. 文化・スポーツ
2. 福祉	7. 個人向け経済的支援
3. 子ども・子育て（経済的支援以外）	8. 事業者向け経済的支援
4. 教育（経済的支援以外）	9. 就労支援
5. 防犯・防災	10. 行政手続の電子化（オンライン申請など）
	11. その他（ ）

問 20 あなたが、新型コロナウイルス感染症の状況下で不安に感じたことや、困ったことは
どのようなことでしたか。(○はいくつでも)

1. 保育、育児	7. 自宅での学習、勤務場所の確保
2. 介護	8. 重要な予定への対応
3. 通院・買い物などの外出	9. 正確な情報の入手
4. 感染後の対応	10. 運動不足、体力の低下
5. 収入の減少	11. その他（ ）
6. ICT 環境の不足	12. 特にない

問 21 あなたは、新型コロナウイルス感染拡大により、生活や行動に次のような変化がありましたか。(○はそれぞれ1つ)

	あてはまらない	あてはまら あまり	どちらとも いえない	ややあてはまる	あてはまる
例 生活や行動の変化 ……………▶	1	2	3	4	5
ア) 仕事の負担が増えた	1	2	3	4	5
イ) 収入が減った(減る見込みになった)	1	2	3	4	5
ウ) 精神的に不安になることが増えた、イライラすることが増えた	1	2	3	4	5
エ) 夫婦・パートナーとの関係が悪化した	1	2	3	4	5
オ) 子どもの世話の負担が増えた	1	2	3	4	5
カ) 食事の支度や掃除等、家事負担が増えた	1	2	3	4	5
キ) 通院、買い物などの外出を控えた	1	2	3	4	5
ク) オンラインでの買い物が増えた	1	2	3	4	5
ケ) 食事のデリバリー利用が増えた	1	2	3	4	5
コ) オンラインを利用した手続きが増えた	1	2	3	4	5
サ) テレワーク、Web 会議の利用が増えた	1	2	3	4	5
シ) オンラインでの講座、セミナーの利用が増えた	1	2	3	4	5
ス) オンラインでの家族、友人との交流が増えた	1	2	3	4	5

問 22 オンラインによる様々な活動のうち、今後(新型コロナウイルス感染症を想定した日常において)も利用が促進されるべきと思うものに○をしてください。
(○はいくつでも)

1. 買い物(日用品・食料品)	7. 講座・セミナー
2. 買い物(その他)	8. エンターテインメント(ライブやゲーム等)
3. 食事の注文・配達	9. 家族・友人との交流
4. 手続き(申請、届出、問い合わせ等)	10. その他()
5. テレワーク・Web会議	11. 特にない
6. 学校の授業	

問 25 市が平和事業（憲法月間記念行事、夏季平和事業、平和の日イベント、平和パネル展など）を行っています。

①あなたは、これらの事業を知っていますか。

②「1. 知っている」に○をつけた事業の中で、参加したことがある事業はありますか。

（○は項目ごとに①、②それぞれ1つ）

	① 知っている		②参加したことがある	
	は い	いい え	は い	いい え
例 平和事業の項目	①	2	①	2
ア)【5月実施】憲法月間記念行事 （講演会、作品募集）	1	2	1	2
イ)【8月・11月実施】 夏季平和事業・平和の日イベント （講演会、映画上映会、演劇など）	1	2	1	2
ウ)【8月・11月実施】平和パネル展	1	2	1	2

「1」に○をつけた方

【問 25－1 と問 25－2 は、問 25 で いずれかの事業を①知っている「はい」→ ②参加したことがある「いいえ」を選んだ方にお尋ねします。】

問 25－1 あなたが平和事業に参加しなかった理由に○をしてください。

（○はいくつでも）

1. イベントに興味・関心を感じなかったため
2. 戦争の話題に触れたくないため
3. 忙しくて時間が取れなかった、日程が合わなかったため
4. 開催場所が遠かったため
5. 小さな子どもがいて、参加しづらかったため
6. その他（ ）

問 25－2 どのような事業・イベントであれば参加したいですか。（○はいくつでも）

1. 講演会
2. 戦争体験者の話を聞く会
3. 子どもが参加できる平和イベント（読み聞かせ・朗読・演劇（おしぱい）など）
4. ワークショップなどの体験型イベント
5. 戦争遺跡の見学などのフィールドワーク
6. 戦時中の食体験など食のイベント
7. 平和をテーマにしたコンサート
8. その他（ ）
9. 参加したくない

問 26 あなたは、現在の都立中央公園がある場所に、戦時中、航空機のエンジン工場（中島飛行機武蔵製作所）があったことを知っていますか。（○は1つ）

1. は い

2. いいえ

問 27 市は11月24日*を「武蔵野市平和の日」に制定していることを知っていますか。（○は1つ）

1. は い

2. いいえ

*：11月24日：第二次世界大戦中、市内に米軍による最初に空襲があった日

問 28 平和施策を進めるうえで、市が取り組むべきことは何だと思いますか。
（○はいくつでも）

1. 武蔵野市に中島飛行機武蔵製作所があったことを伝えること
2. 武蔵野市に戦争被害があった歴史を伝えること
3. 日本国内の戦争被害について伝えること
4. 現在の国際情勢（世界の戦争、紛争の状況など）を伝えること
5. 学校教育の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて教える時間を設けること
6. 家庭の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて教えることを促すこと
（例：家族で参加できる平和イベントの実施など）
7. 戦時中の生活の状況について伝えること
8. 戦争・平和に関する啓発資料を作成、提供すること
9. 戦争関連資料、遺物、遺構等を収集、保存すること
10. 国際交流を通じて多文化理解を深めること
11. その他（ ）
12. 市が平和事業を行う必要はない

問 29 平和の尊さ、戦争の悲惨さを次世代に継承するために、あなたが取り組めることはどのようなことだと思いますか。（○はいくつでも）

1. 武蔵野市が被害を受けた戦争の歴史について知る、学ぶこと
2. 現在の国際情勢（世界の戦争、紛争の状況など）を知る、学ぶこと
3. 戦争・平和に関する資料を読んだり、映像等を見ること
4. 戦争遺跡、遺物や、平和に関連した施設の見学等を行うこと
5. 家庭の中で平和の尊さ、戦争の悲惨さについて話す機会を設けること
6. 市や市民団体などが開催する平和イベントなどに参加すること
7. 平和事業を企画・運営する市民による実行委員会や、市民活動団体に参加すること
8. 国内外の交流イベントや関連した市の事業等に参加すること
9. 異文化、習慣に触れる機会を設けるなど、多文化理解を深めること
10. その他（ ）

問 30 現在、武蔵野市には 3,000 人を超える外国人（観光客は含みません。）が暮らしています。今後、あなたは武蔵野市に暮らす外国人と関わりたいですか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 関わりたい | 3. どちらともいえない |
| 2. どちらかといえば関わりたい | 4. どちらかといえば関わりたくない |
| | 5. 関わりたくない |

【問 30 で「1」～「2」（関わりたい）を選んだ方にお尋ねします。】

問 30－1 あなたは外国人とどのように関わりたいですか。（○はいくつでも）
※今現在行っている活動も含めます。

- | |
|---|
| 1. 家族・親戚として付き合いたい |
| 2. 友人・恋人として付き合いたい |
| 3. 近所付き合いをしたい |
| 4. 学校で一緒に勉強したい |
| 5. 子どもを通じた活動（PTA や子どもを通じた親同士の交流など）を共にしたい |
| 6. 職場や仕事関係で関わりたい |
| 7. 外国人を支援するボランティア活動（日本語学習や日本文化を伝える活動）をしたい |
| 8. 地域活動（お祭りなどの行事や町会・自治会活動）に一緒に参加したい |
| 9. 国際交流や異文化理解などをテーマとしたイベントなどに参加したい |
| 10. あいさつ程度はしたい |
| 11. その他（ ） |
| 12. わからない |

問 31 あなたが武蔵野市に暮らす外国人と関わるにあたり、壁になっていると感じるものがありますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 言葉の違い | 5. その他（ ） |
| 2. 文化・生活習慣・価値観の違い | 6. 壁になっているものはない |
| 3. 外国人への苦手意識 | 7. わからない |
| 4. 外国人と関わる機会がない | |

問 32 あなたは、武蔵野市に暮らす外国人が地域社会の一員として生活していくうえで、してほしいと思うことは何ですか。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 地域の生活習慣、ルール、文化等を理解してほしい |
| 2. 日本語を話せるようになってほしい |
| 3. あいさつをしてほしい |
| 4. 地域活動（お祭りなどの行事や町会・自治会活動）へ参加してほしい |
| 5. 外国の言葉や文化を教えてほしい |
| 6. 武蔵野市の魅力を海外に発信してほしい |
| 7. 外国人住民同士で助け合ってほしい |
| 8. その他（ ） |
| 9. 特にない |
| 10. わからない |

問 33 あなたは、地域で活躍する外国人や働く外国人が増えることについて、どのような影響があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増える
2. 外国人が持つ多様な発想や専門的または高度な知識・技術を活かすことができる
3. サービス業や建設業などの労働力の確保につながる
4. 地域社会が活性化する
5. 東京の国際化が進み、多様性を持った都市になる
6. 言葉・文化・習慣の違いからトラブルが増えるおそれがある
7. 日本人の仕事が少なくなるおそれがある
8. 治安に悪影響を及ぼすおそれがある
9. 教育・医療・福祉など社会的コストが増えるおそれがある
10. その他 ()
11. 特にない
12. わからない

問 34 多文化共生の社会づくりに向けて、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 外国人に対して日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する
2. 外国人に対して日本語の学習を支援する
3. 外国人の子どもに対する教育を充実する
4. 外国人に対する相談体制を充実する
5. 外国人に対する多言語での情報提供、通訳サービスなどを充実する
6. 外国人に対する医療・保健・福祉などの生活支援を行う
7. 外国人に対する防災対策を推進する
8. 外国人の就労・企業を支援する
9. 外国人が地域社会の活動に積極的に参加するように促す
10. 日本人と外国人との交流の場を作る
11. 日本人に対して外国の生活ルールや習慣、文化の違いなどを周知する
12. 外国人へのボランティア活動をしている団体を支援する
13. その他 ()
14. 特にない
15. わからない

◇平和・多文化共生に関する市の政策についてのご意見・ご要望などはこちらにご記入ください。

◇市政についてのご意見・ご要望、市政に対するアイデアなどがありましたら、
ご自由にご記入ください。

◇新型コロナウイルス感染症に関する市の政策についてのご意見・ご要望などは
こちらにご記入ください。

統計処理のため、以下の項目にもお答えください。

F 1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 男 性 | 2. 女 性 | 3. その他 |
|--------|--------|--------|

F 2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18歳～19歳 | 4. 40歳～49歳 | 7. 70歳～79歳 |
| 2. 20歳～29歳 | 5. 50歳～59歳 | 8. 80歳以上 |
| 3. 30歳～39歳 | 6. 60歳～69歳 | |

F 3 あなたの職業をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 自営業・自由業 | 5. 家事専業 |
| 2. 正社員、正職員 | 6. 学生 |
| 3. 契約社員、派遣社員 | 7. 無職 |
| 4. アルバイト、パート | 8. その他 () |

F 4 あなたは現在、結婚をしていますか(事実婚、パートナー含む)。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 現在、結婚している | 3. 一度も結婚したことはない |
| 2. 過去に結婚していた(離別、死別など) | |

F 5 あなたの(同居している)家族構成をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. ひとり暮らし | 5. 自分と子と孫(3世代世帯) |
| 2. 自分と配偶者(事実婚含む)・パートナー | 6. 親と自分と子(3世代世帯) |
| 3. 自分と子(2世代世帯) | 7. 祖父母と親と自分(3世代世帯) |
| 4. 自分と親(2世代世帯) | 8. その他 () |

【F 5で「3. 自分と子(2世代世帯)」、「5. 自分と子と孫(3世代世帯)」、「6. 親と自分と子(3世代世帯)」を選んだ方にお尋ねします。】

F 5-1 お子さん(1番年少の方)の状況をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 小学校入学前 | 5. 専門学校、短期大学、大学生等 |
| 2. 小学生 | 6. 社会人 |
| 3. 中学生 | 7. その他 () |
| 4. 高校生 | |

F 6 同居のご家族に高齢や障がい等で介護の必要な方はいますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|--------|
| 1. い る | 2. いない |
|--------|--------|

F 7 職場・学校等、あなたが平日の日中に最も多くの時間を過ごす場所はどこですか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 武蔵野市内 | 3. 東京都23区内 |
| 2. 武蔵野市以外の東京都の市町村 | 4. 東京都外 |

F 8 武蔵野市内での合計の居住年数をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 4. 10年～15年未満 |
| 2. 1年～5年未満 | 5. 15年～20年未満 |
| 3. 5年～10年未満 | 6. 20年以上 |

F 9 現在お住まいの町名をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|--------|---------|
| 1. 吉祥寺東町 | 5. 吉祥寺北町 | 8. 緑町 | 11. 境 |
| 2. 吉祥寺南町 | 6. 中町 | 9. 八幡町 | 12. 境南町 |
| 3. 御殿山 | 7. 西久保 | 10. 関前 | 13. 桜堤 |
| 4. 吉祥寺本町 | | | |

F 10 現在お住まいの住宅の種類をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 持ち家（戸建て） | 4. 借家（マンション・アパート等の集合住宅） |
| 2. 持ち家（マンション等の集合住宅） | 5. 社宅・寮 |
| 3. 借家（戸建て） | 6. その他（福祉施設など） |

F 11 あなたの世帯全体の令和3年中の収入額はどのくらいでしたか。(○は1つ)

※収入には年金や財産収入等を含め、世帯で同居されている方全体の収入（税金や保険が引かれる前の金額）でお答えください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 収入なし | 6. 700～1,000万円未満 |
| 2. 100万円未満 | 7. 1,000～1,500万円未満 |
| 3. 100～300万円未満 | 8. 1,500万円以上 |
| 4. 300～500万円未満 | 9. わからない |
| 5. 500～700万円未満 | |

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、

8月26日（金）までに ご投函ください。

※無記名による調査ですので、調査票や返信用封筒には住所や氏名を書かないでください。

令和4(2022)年度
武蔵野市民意識調査

発行 令和5(2023)年3月

発行 武蔵野市 市民部 市民活動推進課
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号
電 話 0422-60-1829(直通)

実施 株式会社サーベイリサーチセンター(本社)
〒116-8581 東京都荒川区西日暮里2-40-10
電 話 03-3802-6711(代)